

対象校No. 965
注4

学校コード F129310109266
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部設置
注1

届出

注2
天理大学 人文学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人天理大学
令和6年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

人文学部

＜宗教学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	33

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人天理大学

(2) 大 学 名

天理大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒632-8510

奈良県天理市杣之内町1050番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フカヤ ヨシタロウ) 深谷 善太郎 (平成28年3月)		
学 長	(ナガオ ヒナオ) 永尾 比奈夫 (令和5年4月)		
学 部 長	(ヤマナカ ヒデオ) 山中 秀夫 (令和6年4月)		
学科長等	(オカダ マサヒコ) 岡田 正彦 (令和6年4月)	(ヒガシババ イクオ) 東馬場 郁生 (令和6年4月)	設置計画時に宗教学科主任就任を予定していた岡田正彦教授が宗教文化研究科長留任のため変更。 令和6年4月1日(6)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文学部 宗教学科 学士(宗教学)	文学関係	4 年	20 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	80 人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	—	0.45 倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []				
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.45				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
 (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用) IV. 33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	9 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)		— [—] (—)		— [—] (—)		— [—] (—)		— [—] (—)		9 [—] (—)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	9 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜人文学部 宗教学科＞

(1)－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	天理スピリット科目群	建学の精神と天理大学のあゆみ	2前	2			2	1	2				兼14
		英語1	1-2-3-4期	1				1					兼14
		英語2	1-2-3-4期	1				1					兼14
		韓国・朝鮮語1	1-2-3-4期		1								兼1
		韓国・朝鮮語2	1-2-3-4期		1								兼1
		中国語1	1-2-3-4期		1								兼1
		中国語2	1-2-3-4期		1								兼1
		教養アカデミック英語1	1-2-3-4期		1								兼1
		教養アカデミック英語2	1-2-3-4期		1								兼1
		実践アカデミック英語1	1-2-3-4期		1								兼1
		実践アカデミック英語2	1-2-3-4期		1								兼2
		アカデミック英語上級	1-2-3-4期		1								兼1
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4期		2								兼1
		日本事情1	1-2-3-4期		2								兼1
		日本事情2	1-2-3-4期		2								兼1
		健康スポーツ科学1	1-2-3-4期		2								兼8
		健康スポーツ科学2	1-2-3-4期		2								兼6
		国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4期		2								兼2
		保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4期		2								兼1
		ローカリーアウト天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4期		1								兼3
		ローカリーアウト天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4期		1								兼3
		国際協力入門	1-2-3-4期		2								兼1
		国際協力実習	1-2-3-4期		2								兼1
		国際協力演習1	1-2-3-4期		2								兼1
		国際協力演習2	1-2-3-4期		2								兼1
		国際ボランティア論	2-3-4期		2								兼1
		天理大学特別講義1	1-2-3-4期		2								兼1
		天理大学特別講義2	1-2-3-4期		2								兼1
		天理大学特別講義3	1-2-3-4期		2								兼1
		天理大学特別講義4	1-2-3-4期		2								兼1
		天理異文化伝道	2-3-4期		2								兼1
			小計(41科目)	—	4	65	0	2	1	2	0	0	兼42
	キャリア教育科目群	キャリアプランニング	1-2-3期		2							兼3	
		キャリアデザイン1	2-3-4期		2							兼1	
		キャリアデザイン2	2-3-4期		2							兼1	
		インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1	
		インターンシップ2	1-2-3通		2							兼1	
		海外インターンシップ1	2-3-4通		1							兼1	
		海外インターンシップ2	2-3-4通		2							兼1	

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手	
総合 教育 科目	天理 スピ リット 科目 群	建学の精神と天理大学のあゆみ	2前	2			2	2	1				
		英語1	1-2-3-4期	1				1				兼15	
		英語2	1-2-3-4期	1				1				兼15	
		韓国・朝鮮語1	1-2-3-4期		1							兼1	
		韓国・朝鮮語2	1-2-3-4期		1							兼1	
		中国語1	1-2-3-4期		1							兼1	
		中国語2	1-2-3-4期		1							兼1	
		教養アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1	
		教養アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼1	
		実践アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1	
		実践アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼2	
		アカデミック英語上級	1-2-3-4期		1							兼1	
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4期		2							兼2	
		多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4期		2							兼1	
		多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4期		2							兼1	
		多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4期		2							兼1	
		多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4期		2							兼1	
		多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4期		2							兼1	
		多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4期		2							兼1	
		多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4期		2							兼1	
		多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4期		2							兼1	
		多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4期		2							兼1	
		多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4期		2							兼1	
		日本事情1	1-2-3-4期		2							兼1	
		日本事情2	1-2-3-4期		2							兼1	
		健康スポーツ科学1	1-2-3-4期		2							兼11	
		健康スポーツ科学2	1-2-3-4期		2							兼8	
		国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4期		2							兼2	
		保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4期		2							兼1	
		ローカリーアウト天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4期		1							兼3	
		ローカリーアウト天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4期		1							兼3	
		国際協力入門	1-2-3-4期		2							兼1	
		国際協力実習	1-2-3-4期		2							兼1	
		国際協力演習1(未開講)	1-2-3-4期		2							兼1	
		国際協力演習2	1-2-3-4期		2							兼1	
		国際ボランティア論	2-3-4期		2							兼1	
		天理大学特別講義1	1-2-3-4期		2							兼1	
		天理大学特別講義2	1-2-3-4期		2							兼1	
		天理大学特別講義3	1-2-3-4期		2							兼1	
		天理大学特別講義4	1-2-3-4期		2							兼1	
		天理大学特別講義5	1-2-3-4期		2							兼1	
		天理大学特別講義6	1-2-3-4期		2							兼1	
		天理大学特別講義7	1-2-3-4期		2							兼1	
		天理大学特別講義8	1-2-3-4期		2							兼1	
		天理異文化伝道	2-3-4期		2							兼1	
			小計(45科目)		—	4	73	0	2	2	1	0	0
	キャ リア ア 教 育 科 目 群	キャリアプランニング	1-2-3期		2								兼5
		キャリアデザイン1	2-3-4期		2								兼1
		キャリアデザイン2	2-3-4期		2								兼1
		インターンシップ1	1-2-3通		1								兼1
		インターンシップ2	1-2-3通		2								兼1
		海外インターンシップ1	2-3-4通		1								兼1
		海外インターンシップ2	2-3-4通		2								兼1

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合教育科目	基礎リテラシー科目群	小計(7科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼6
		基礎ゼミナール1	1前	2					1			
		基礎ゼミナール2	1後	2					1			
		データサイエンス・AI入門	1前後	2								兼2
		データサイエンス・AI応用	2・3・4前修	2								兼1
		データリテラシー	2・3・4前修	2								兼1
		コンピュータ入門	1・2・3・4前修	2								兼2
		情報処理	2・3・4前修	2								兼1
		基礎からわかるレポート作成	1・2・3・4前修	2								兼4
		基礎からわかる近代史	1・2・3・4前修	2								兼1
		基礎からわかる現代社会	1・2・3・4前修	2								兼1
		基礎からわかる数学	1・2・3・4前修	2								兼1
		基礎からわかる生物・化学	1・2・3・4前修	2								兼1
		小計(12科目)	—	2	22	0	0	0	1	0	0	兼11
	一般教養教育科目群	生活の中の科学	1・2・3・4前修	2								兼1
		地球環境論	1・2・3・4前修	2								兼1
		科学と現代	1・2・3・4前修	2								兼1
		数学と論理	1・2・3・4前修	2								兼1
		統計学1	1・2・3・4前	2								兼1
		統計学2	1・2・3・4後	2								兼1
		経営学1	1・2・3・4前	2								兼1
		経営学2	1・2・3・4後	2								兼1
		地理学1	1・2・3・4前	2								兼1
		地理学2	1・2・3・4後	2								兼1
		日本国憲法	1・2・3・4前	2								兼2
		法学	1・2・3・4前	2								兼2
		経済学1	1・2・3・4前	2								兼1
		経済学2	1・2・3・4後	2								兼1
		政治学	1・2・3・4前修	2								兼1
		社会学	1・2・3・4前修	2								兼1
		民法1	1・2・3・4前	2								兼1
		民法2	1・2・3・4後	2								兼1
		行政法1	1・2・3・4前	2								兼1
		行政法2	1・2・3・4後	2								兼1
		哲学概論1	1・2・3・4前	2								兼2
		哲学概論2	1・2・3・4後	2								兼2
		倫理学1	1・2・3・4前修	2								兼1
		倫理学2	1・2・3・4後	2								兼1
		心理学1	1・2・3・4前	2								兼2
		心理学2	1・2・3・4後	2								兼2
		ジェンダー・セクシャリティ	1・2・3・4前修	2								兼1
		近現代の遺産と未来	1・2・3・4前修	2								兼1
		宗教と芸能	1・2・3・4後	2								兼1
		労働と社会	1・2・3・4前修	2								兼1
		障害学	1・2・3・4前修	2								兼2
		世界の文学1	1・2・3・4前	2								兼1
		世界の文学2	1・2・3・4後	2								兼1
		カルチュラルスタディーズ	1・2・3・4前修	2								兼1
		宗教と現代社会	1・2・3・4前修	2					1			
		人権と差別1	1・2・3・4前	2								兼3
		人権と差別2	1・2・3・4後	2								兼3
		日本手話A	1・2・3・4前修	2								兼1
		日本手話B	1・2・3・4後	2								兼1
		アウトドアスポーツ	1・2・3・4前	1								兼1
		レクリエーションスポーツ	2・3・4前	1								兼2
		ニューススポーツ	2・3・4前	1								兼2
		小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	1	0	0	兼31
		合計(102科目)		—	6	180	0	2	1	2	0	0

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合教育科目		小計(7科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼7	
	基礎リテラシー科目群	基礎ゼミナール1	1前	2				1					
		基礎ゼミナール2	1後		2			1					
		データサイエンス・AI入門	1前後		2							兼2	
		データサイエンス・AI応用	2・3・4前		2							兼1	
		データリテラシー	2・3・4前		2							兼1	
		コンピュータ入門	1・2・3・4前		2							兼2	
		情報処理	2・3・4前		2							兼1	
		基礎からわかるレポート作成	1・2・3・4前		2							兼5	
		基礎からわかる近代史	1・2・3・4前		2							兼1	
		基礎からわかる現代社会	1・2・3・4前		2							兼1	
		基礎からわかる数学	1・2・3・4前		2							兼1	
		基礎からわかる生物・化学	1・2・3・4前		2							兼1	
			小計(12科目)	—	2	22	0	0	1	0	0	0	兼11
	一般教養教育科目群	生活の中の科学	1・2・3・4前		2								兼1
		地球環境論	1・2・3・4前		2								兼1
		科学と現代	1・2・3・4前		2								兼1
		数学と論理	1・2・3・4前		2								兼1
		統計学1	1・2・3・4前		2								兼1
		統計学2	1・2・3・4前		2								兼1
		経営学1	1・2・3・4前		2								兼1
		経営学2	1・2・3・4前		2								兼1
		地理学1	1・2・3・4前		2								兼1
		地理学2	1・2・3・4前		2								兼1
		日本国憲法	1・2・3・4前		2								兼2
		法学	1・2・3・4前		2								兼2
		経済学1	1・2・3・4前		2								兼1
		経済学2	1・2・3・4前		2								兼1
		政治学	1・2・3・4前		2								兼1
		社会学	1・2・3・4前		2								兼1
		民法1	1・2・3・4前		2								兼1
		民法2	1・2・3・4前		2								兼1
		行政法1	1・2・3・4前		2								兼1
		行政法2	1・2・3・4前		2								兼1
		哲学概論1	1・2・3・4前		2								兼2
		哲学概論2	1・2・3・4前		2								兼2
		倫理学1	1・2・3・4前		2								兼1
		倫理学2	1・2・3・4前		2								兼1
		心理学1	1・2・3・4前		2								兼2
		心理学2	1・2・3・4前		2								兼2
		ジェンダー・セクシャリティ	1・2・3・4前		2								兼1
		近現代の遺産と未来	1・2・3・4前		2								兼1
		宗教と芸能	1・2・3・4前		2								兼1
		労働と社会	1・2・3・4前		2								兼1
		障害学	1・2・3・4前		2								兼2
		世界の文学1	1・2・3・4前		2								兼1
		世界の文学2	1・2・3・4前		2								兼1
		カルチュラルスタディーズ	1・2・3・4前		2								兼1
		宗教と現代社会	1・2・3・4前		2				1				
		人権と差別1	1・2・3・4前		2								兼3
		人権と差別2	1・2・3・4前		2								兼3
		日本手話A	1・2・3・4前		2								兼1
		日本手話B	1・2・3・4前		2								兼1
		アウトドアスポーツ	1・2・3・4前		1								兼1
		レクリエーションスポーツ	2・3・4前		1								兼2
		ニューススポーツ	2・3・4前		1								兼2
		小計(42科目)	—	0	81	0	0	1	0	0	0	兼33	
		合計(106科目)	—	6	188	0	2	2	1	0	0	兼84	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
宗 教 学 科 専 攻 科 目	天理教学概論1	1前	2			1					
	天理教学概論2	1後	2			1					
	天理教教祖伝概説1	1前	2								兼1
	天理教教祖伝概説2	1後	2								兼1
	宗教史概説1	1前	2			1					
	宗教史概説2	1後	2								兼1
	宗教研究基礎演習	1後	2				1	1			
	宗教学概論1	2前	2			1					
	宗教学概論2	2後	2			1					
	現代宗教を読み解くゼミ1	2前	2				1	1			
	現代宗教を読み解くゼミ2	2後	2				1	1			
	伝道実習1	1休		1				1			
	伝道実習2	1休		1				1			
	伝道実習3	2前		1				1			
	伝道実習4	2後		1				1			
	天理教原典学1概説	2前		2							兼1
	天理教原典学2概説	2後		2							兼1
	天理教原典学3概説	2前		2							兼1
	天理教学特殊講義1	3・4前		2				1			
	天理教学特殊講義2	3・4後		2				1			
	天理教学特殊講義3	3・4前		2							兼1
	天理教史特殊講義1	3・4後		2		1					
	天理教史特殊講義2	3・4後		2							兼1
	宗教学特殊講義1	3・4前		2			1				
	宗教学特殊講義2	3・4後		2				1			
	宗教学特殊講義3	3・4前		2		1					
	宗教学特殊講義4	3・4後		2		1					
	宗教史特殊講義1	2前		2							兼1
	宗教史特殊講義2	2後		2		1					
	宗教史特殊講義3	2前		2		1					
	宗教史特殊講義4	2後		2		1					
	宗教史特殊講義5	2前		2				1			
	宗教史特殊講義6	2後		2				1			
	宗教科指導法1	3前		2		1					
	宗教科指導法2	3後		2		1					
	宗教科指導法3	3前		2			1				
	宗教科指導法4	3後		2				1			
	宗教研究演習1	3前		2					2		
	宗教研究演習2	3後		2					2		
	宗教課題演習1	4前		2		1	1				
	宗教課題演習2	4後		2		1	1				
	卒業論文	4通		6		1					
	小計(42科目)	—	36	48	0	3	1	2	0	0	兼6
資 格 科 目	人文科学部門										
	日本語学入門	1前			2						兼1
	日本語教育入門	1後			2						兼1
	日本語語彙論	2前			2						兼1
	日本語文法論1	2前			2						兼1
	日本語文法論2	2後			2						兼1
	日本語音声学	2後			2						兼1
	言語の対照研究	3前			2						兼1
	日本語教授法1	3前			2						兼1
	日本語教授法2	3後			2						兼1
	第二言語習得論	3前			2						兼1
	日本語指導法	4前			2						兼1
	日本語教育評価法	4後			2						兼1
	日本語教育実習	4通			2						兼1
	小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0	兼2

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
宗 教 学 科 専 攻 科 目	天理教学概論1	1前	2			1					
	天理教学概論2	1後	2			1					
	天理教教祖伝概説1	1前	2								兼1
	天理教教祖伝概説2	1後	2								兼1
	宗教史概説1	1前	2			1					
	宗教史概説2	1後	2								兼1
	宗教研究基礎演習	1後	2				1	1			
	宗教学概論1	2前	2			1					
	宗教学概論2	2後	2			1					
	現代宗教を読み解くゼミ1	2前	2				1	1			
	現代宗教を読み解くゼミ2	2後	2				1	1			
	伝道実習1	1休		1				1			
	伝道実習2	1休		1				1			
	伝道実習3	2前		1				1			
	伝道実習4	2後		1				1			
	天理教原典学1概説	2前		2							兼1
	天理教原典学2概説	2後		2							兼1
	天理教原典学3概説	2前		2							兼1
	天理教学特殊講義1	3・4前		2				1			
	天理教学特殊講義2	3・4後		2				1			
	天理教学特殊講義3	3・4前		2							兼1
	天理教史特殊講義1	3・4後		2		1					
	天理教史特殊講義2	3・4後		2							兼1
	宗教学特殊講義1	3・4前		2			1				
	宗教学特殊講義2	3・4後		2				1			
	宗教学特殊講義3	3・4前		2		1					
	宗教学特殊講義4	3・4後		2		1					
	宗教史特殊講義1	2前		2							兼1
	宗教史特殊講義2	2後		2		1					
	宗教史特殊講義3	2前		2		1					
	宗教史特殊講義4	2後		2		1					
	宗教史特殊講義5	2前		2				1			
	宗教史特殊講義6	2後		2				1			
	宗教科指導法1	3前		2		1					
	宗教科指導法2	3後		2		1					
	宗教科指導法3	3前		2			1				
	宗教科指導法4	3後		2			1				
	宗教研究演習1	3前		2			1	1			
	宗教研究演習2	3後		2			1	1			
	宗教課題演習1	4前		2		1	1				
	宗教課題演習2	4後		2		1	1				
	卒業論文	4通		6		1					
	小計(42科目)	—	36	48	0	3	2	1	0	0	兼6
資 格 科 目	人文科学部門										
	日本語学入門	1前			2						兼1
	日本語教育入門	1後			2						兼1
	日本語語彙論	2前			2						兼1
	日本語文法論1	2前			2						兼1
	日本語文法論2	2後			2						兼1
	日本語音声学	2後			2						兼1
	言語の対照研究	3前			2						兼1
	日本語教授法1	3前			2						兼1
	日本語教授法2	3後			2						兼1
	第二言語習得論	3前			2						兼1
	日本語指導法	4前			2						兼1
	日本語教育評価法	4後			2						兼1
	日本語教育実習	4通			2						兼1
	小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0	兼2

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
社会科学部 門	資格科目	図書館情報システム論	2・3・4後			2						兼1	
		情報サービス論	3・4前			2						兼1	
		児童・YAサービス論	2・3・4前			2						兼1	
		情報サービス演習1	3・4後			2						兼1	
		情報サービス演習2	3・4後			2						兼1	
		図書館情報資源概論	2・3・4前			2						兼1	
		情報資源組織論	3・4前			2						兼1	
		情報資源組織演習1	3・4後			2						兼1	
		情報資源組織演習2	3・4後			2						兼1	
		図書館情報資源特論	3・4前			2						兼1	
		図書館情報学特論	4前			2						兼1	
		博物館実習1	3前			2						兼2	
		博物館実習2	4通			1						兼3	
		矯正概論	1・2・3・4前			2						兼1	
		更生保護概論	1・2・3・4前			2						兼1	
		矯正保護教育(施設参観を含む)	3・4後			2						兼1	
		矯正保護支援実践論	2・3・4後			2						兼2	
		犯罪被害者支援論	2・3・4後			2						兼1	
	小計(18科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	兼13		
	資格科目	教職に関する専門教育科目	教職論	1前後			2						兼1
			教育原理	2・3・4前後			2						兼1
			教育史	2・3・4前			2						兼1
			教育課程論	3・4前後			2						兼1
			学校教育心理学	2・3・4前後			2						兼1
			学校教育社会学	2・3・4前後			2						兼1
			道徳の理論及び指導法	3・4前後			2						兼1
			教育実習・情報教育実習(実習を含む)	3前後			2						兼2
			教育相談の理論及び方法	2・3・4前後			2						兼1
			生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3・4前後			2						兼2
			教育実習講義	3後			1						兼3
			介護等体験	3通			1						兼3
			教職実践演習(中・高)	4後			2						兼5
			教育実習1	4通			2						兼1
			教育実習2	4通			2						兼1
			人権教育論1	2・3・4前			2						兼3
			人権教育論2	2・3・4後			2						兼3
特別な支援の必要な生徒の理解			1前後			2						兼1	
学校教育支援	2・3・4通			1						兼3			
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2・3・4前後			2						兼1			
教育史特論	2・3・4後			2						兼1			
臨床教育学特論	2・3・4通			2						兼1			
小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0	兼12			
合計(53科目)		—	0	0	102	0	0	0	0	0	兼27		
合計(197科目)			—	42	228	102	3	1	2	0	0	兼101	
卒業要件及び履修方法													
総合教育科目:天理スピリット科目群8単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群4単位以上 計20単位以上 宗教学科専攻科目:必修科目36単位、選択必修科目34単位以上 計70単位以上 総合教育科目、宗教学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。 履修科目の登録上限:48単位(年間)													

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
社会科学部 門	資格科目	図書館情報システム論	2・3・4後			2							兼1
		情報サービス論	3・4前			2							兼1
		児童・YAサービス論	2・3・4前			2							兼1
		情報サービス演習1	3・4後			2							兼1
		情報サービス演習2	3・4後			2							兼1
		図書館情報資源概論	2・3・4前			2							兼1
		情報資源組織論	3・4前			2							兼1
		情報資源組織演習1	3・4後			2							兼1
		情報資源組織演習2	3・4後			2							兼1
		図書館情報資源特論	3・4前			2							兼1
		図書館情報学特論	4前			2							兼1
		博物館実習1	3前			2							兼2
		博物館実習2	4通			1							兼3
		矯正概論(未開講)	1・2・3・4前			2							兼1
		更生保護概論	1・2・3・4前			2							兼1
		矯正保護教育(施設参観を含む)	3・4後			2							兼1
		矯正保護支援実践論	2・3・4後			2							兼2
		犯罪被害者支援論	2・3・4後			2							兼1
	小計(18科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0		兼13	
	教職に 関する 専門 教育 科目	教職論	1前後			2							兼1
		教育原理	2・3・4前			2							兼1
		教育史	2・3・4前			2							兼1
		教育課程論	3・4前後			2							兼1
		学校教育心理学	2・3・4前			2							兼1
		学校教育社会学	2・3・4前			2							兼1
		道徳の理論及び指導法	3・4前後			2							兼1
		※実習(実習・情報教育実習を含む)・人権教育の理論及び方法を含む	3前後			2							兼2
		教育相談の理論及び方法	2・3・4前			2							兼1
		生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3・4前			2							兼2
		教育実習講義	3後			1							兼3
		介護等体験	3通			1							兼3
		教職実践演習(中・高)	4後			2							兼5
		教育実習1	4通			2							兼1
		教育実習2	4通			2							兼1
		人権教育論1	2・3・4前			2							兼3
		人権教育論2	2・3・4後			2							兼3
特別な支援の必要な生徒の理解		1前後			2							兼1	
学校教育支援	2・3・4通			1							兼3		
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2・3・4前			2							兼1		
教育史特論	2・3・4後			2							兼1		
臨床教育学特論	2・3・4通			2							兼1		
小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0		兼12		
合計(53科目)		—	0	0	102	0	0	0	0	0		兼27	
合計(201科目)		—	42	236	102	3	2	1	0	0		兼112	
卒業要件及び履修方法													
総合教育科目:天理スピリット科目群8単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群4単位以上 計20単位以上 宗教学科専攻科目:必修科目36単位、選択必修科目34単位以上 計70単位以上 総合教育科目、宗教学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。 履修科目の登録上限:48単位(年間)													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」**として記入してください。
 - ・ **1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。**
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和6年度】（新）→【令和5年度】（新）→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】（旧）→【令和5年度】（旧）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・「建学の精神と天理大学のあゆみ」 担当者の職位変更により、「教授2」「准教授1」「講師2」から「教授2」「准教授2」「講師1」に変更
- ・「英語1」 担当者の変更により、「准教授1」「兼14」から「准教授1」「兼15」に変更
- ・「英語2」 担当者の変更により、「准教授1」「兼14」から「准教授1」「兼15」に変更
- ・「健康スポーツ科学1」 担当者の変更により、「兼8」から「兼11」に変更
- ・「健康スポーツ科学2」 担当者の変更により、「兼6」から「兼8」に変更
- ・「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」 担当者の変更により、「兼1」から「兼2」に変更
- ・「天理大学特別講義1」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更
- ・「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」 天理スピリット科目群の教育課程を充実させるため科目を新設
- ・「キャリアプランニング」 担当者の変更及びクラス増により、「兼3」から「兼5」に変更
- ・「基礎ゼミナール1」「基礎ゼミナール2」 担当者の職位変更により、「講師1」から「准教授1」に変更
- ・「基礎からわかるレポート作成」 担当者の変更により、「兼4」から「兼5」に変更
- ・「宗教と現代社会」 担当者の職位変更により、「講師1」から「准教授1」に変更
- ・「宗教史特殊講義5」「宗教史特殊講義6」 担当者の職位変更により、「講師1」から「准教授1」に変更
- ・「宗教科指導法4」 担当者の職位変更により、「講師1」から「准教授1」に変更
- ・「宗教研究演習1」「宗教研究演習2」 担当者の職位変更により、「講師2」から「准教授1」「講師1」に変更
- ・「更生保護概論」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	124 科目	53 科目	197 科目	20 科目 [ー]	128 科目 [4]	53 科目 [ー]	201 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{197} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	148,449.28㎡ 148,332.61㎡	0 ㎡	0 ㎡	148,449.28㎡ 148,332.61㎡				
	運動場用地	163,322.48㎡	0 ㎡	0 ㎡	163,322.48㎡				
	小 計	311,771.76㎡ 311,655.09㎡	0 ㎡	0 ㎡	311,771.76㎡ 311,655.09㎡				
	そ の 他	28,069.17㎡ 27,034.99㎡	0 ㎡	0 ㎡	28,069.17㎡ 27,034.99㎡				
	合 計	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	0 ㎡	0 ㎡	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	面積が錯誤により増加したため（6）			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) -(81,584.21㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) -(81,584.21㎡)	厚生補導施設が含まれており、その数値を除いたため（6）				
(3) 教 室 等		講 義 室 60 室	演 習 室 44 室	実験実習室 22 室	情報処理学習施設 11 室 (補助職員 0人)	語学学習施設 5 室 (補助職員 0人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		人文学部 宗教学科			6 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	人文学部 宗教学科	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)	0 (0)	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 学術雑誌／申請時の数値に誤り（学術雑誌数に電子ジャーナル種数を含めていなかった）があったため（6）	
	計	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)	0 (0)		
		面 積	関 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			面積／錯誤により減少したため（6） 閲覧座席数、収納可能冊数／申請時の数値に誤り（別所キャンパスの数値を含めていなかった）があったため（6）	
(6) 図 書 館		14,260.80㎡ 14,348.40㎡	410 349		191,000 154,000				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		16,559.45㎡ 16,377.25㎡	武道館（柔剣道場） 空手道場		弓道場 トレーニングルーム		面積が錯誤により増加したため（6）		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	390千円	390千円	図書購入費	1,336千円 11,093千円	1,372千円 11,093千円	1,372千円 11,093千円	図書購入費、共同研究費、設備購入費／申請時は人文学部の合計金額を記載（6）
		共 同 研 究 費 等	926千円 5,730千円	926千円 5,730千円	設備購入費	370千円 8,473千円	362千円 8,473千円	362千円 8,473千円	
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,080千円	1,030千円	1,030千円	1,030千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、私立大学等経常費補助金、手数料、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	天理大学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	11	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考		
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
人文学部	4	240	0	960	—	0.55	—	—	令和6	—			
宗教学科	4	20	0	80	学士(宗教学)	0.45	—	—	令和6	奈良県天理市杣之内町1050番地			
国文学国語学科	4	40	0	160	学士(国文学)	0.35	—	—	令和6	同上			
歴史文化学科	4	50	0	200	学士(歴史文化学)	0.68	—	—	令和6	同上			
心理学科	4	40	0	160	学士(心理学)	0.55	—	—	令和6	同上			
社会教育学科	4	40	0	160	学士(社会教育学)	0.57	—	—	令和6	同上			
社会福祉学科	4	50	0	200	学士(社会福祉学)	0.60	—	—	令和6	同上			
国際学部	4	290	0	1160	—	0.59	—	—	平成22	—			
韓国・朝鮮語学科	4	40	0	160	学士(韓国・朝鮮語)	0.60	—	—	令和6	同上			
中国語学科	4	40	0	160	学士(中国語)	0.27	—	—	令和6	同上			
英米語学科	4	60	0	240	学士(英語)	0.58	—	—	令和6	同上			
国際文化学科	4	50	0	200	学士(国際文化学)	1.00	—	—	令和6	同上			
日本学科	4	40	0	160	学士(日本学)	0.52	—	—	令和6	同上			
外国語学科	4	60	0	240	学士(タイ語) (インドネシア語) (ドイツ語) (フランス語) (ロシア語) (スペイン語) (ブラジルポルトガル語)	0.56	—	—	平成22	同上	令和6年度から入学定員変更(165→60)		
英米語専攻	4	—	—	—	学士(英語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		
中国語専攻	4	—	—	—	学士(中国語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		
韓国・朝鮮語専攻	4	—	—	—	学士(韓国・朝鮮語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		
スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻	4	—	—	—	学士(スペイン語)又は(ブラジルポルトガル語)	—	—	—	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		
地域文化学科	4	—	—	—	学士(地域文化)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		
体育学部	4	240	0	960	—	1.06	—	—	昭和30	—			
体育学科	4	240	0	960	学士(体育学)	1.06	—	—	昭和30	奈良県天理市田井庄町80	令和6年度から入学定員変更(200→240)		
医療学部	4	100	0	400	—	1.03	—	—	令和5	—			
看護学科	4	70	0	280	学士(看護学)	1.14	—	—	令和5	奈良県天理市別所町80-1	令和5年度学部の設置者変更		
臨床検査学科	4	30	0	120	学士(臨床検査学)	0.78	—	—	令和5	同上	令和5年度学部の設置者変更		
人間学部	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	—			
宗教学科	4	—	—	—	学士(宗教学)	—	—	—	平成4	奈良県天理市杣之内町1050番地	令和6年度入学生より学生募集停止		
人間関係学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		
臨床心理専攻	4	—	—	—	学士(臨床心理)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		
生涯教育専攻	4	—	—	—	学士(生涯教育)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		
社会福祉専攻	4	—	—	—	学士(社会福祉)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		

文学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和24	-	
国文学国語学科	4	-	-	-	学士 (国文学)	-	-	-	昭和24	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
歴史文化学科	4	-	-	-	学士 (歴史文化)	-	-	-	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
大学全体	4	870	-	3480	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<人文学部 宗教学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
専 教授		岡田 正彦 <令和6年4月> Ph.D(米国)
		建学の精神と天理大学のあゆみ 天理学概論1 天理学概論2 宗教学概論1 天理教史特殊講義1 宗教学特殊講義3 宗教史特殊講義2 宗教科指導法1 卒業論文
専 教授		島田 勝巳 <令和6年4月> 修士(宗教学) 修士(神学)(米国)
		宗教史概説1 宗教史特殊講義3 宗教史特殊講義4
専 教授		東馬場 郁生 <令和6年4月> Doctor of Philosophy(History of Religions)(米国)
		建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教学概論2 宗教学特殊講義4 宗教科指導法2 宗教科指導法1 宗教課題演習2
専 准教授		澤井 治郎 <令和6年4月> 博士(文学)
		建学の精神と天理大学のあゆみ 英語1 英語2 宗教研究基礎演習 現代宗教を読み解くゼミ1 現代宗教を読み解くゼミ2 宗教学特殊講義1 宗教科指導法3 宗教課題演習1 宗教課題演習2
専 講師		深谷 耕治 <令和6年4月> 修士(社会学) 修士(宗教学)(米国)
		建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教研究基礎演習 現代宗教を読み解くゼミ1 現代宗教を読み解くゼミ2 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4 天理学特殊講義1 天理学特殊講義2 宗教学特殊講義2 宗教研究演習1 宗教研究演習2
専 講師		澤井 真 <令和6年4月> 博士(文学)
		建学の精神と天理大学のあゆみ 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 宗教と現代社会 宗教史特殊講義5 宗教史特殊講義6 宗教科指導法4 宗教研究演習1 宗教研究演習2
兼任 教授		齊藤 純 <令和6年4月> 文学修士※
		博物館実習1
兼任 教授		幡鎌 一弘 <令和6年4月> 修士(文学)
		宗教と芸術
兼任 教授		小田木 治太郎 <令和6年4月> 文学修士
		博物館実習1
兼任 教授		金山 元春 <令和6年4月> 博士(心理学)
		生徒指導・進路指導の理論及び方法

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等
専 教授		岡田 正彦 <令和6年4月> Ph.D(米国)
		建学の精神と天理大学のあゆみ 天理学概論1 天理学概論2 宗教学概論1 天理教史特殊講義1 宗教学特殊講義3 宗教史特殊講義2 宗教科指導法1 卒業論文
専 教授		島田 勝巳 <令和6年4月> 修士(宗教学) 修士(神学)(米国)
		宗教史概説1 宗教史特殊講義3 宗教史特殊講義4
専 教授		東馬場 郁生 <令和6年4月> Doctor of Philosophy(History of Religions)(米国)
		建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教学概論2 宗教学特殊講義4 宗教科指導法2 宗教科指導法1 宗教課題演習2
専 准教授		澤井 治郎 <令和6年4月> 博士(文学)
		建学の精神と天理大学のあゆみ 英語1 英語2 宗教研究基礎演習 現代宗教を読み解くゼミ1 現代宗教を読み解くゼミ2 宗教学特殊講義1 宗教科指導法3 宗教課題演習1 宗教課題演習2
専 講師		深谷 耕治 <令和6年4月> 修士(社会学) 修士(宗教学)(米国)
		建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教研究基礎演習 現代宗教を読み解くゼミ1 現代宗教を読み解くゼミ2 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4 天理学特殊講義1 天理学特殊講義2 宗教学特殊講義2 宗教研究演習1 宗教研究演習2
専 准教授		澤井 真 <令和6年4月> 博士(文学)
		建学の精神と天理大学のあゆみ 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 宗教と現代社会 宗教史特殊講義5 宗教史特殊講義6 宗教科指導法4 宗教研究演習1 宗教研究演習2
兼任 教授		齊藤 純 <令和6年4月> 文学修士※
		博物館実習1
兼任 教授		幡鎌 一弘 <令和6年4月> 修士(文学)
		宗教と芸術
兼任 教授		小田木 治太郎 <令和6年4月> 文学修士
		博物館実習1
兼任 教授		金山 元春 <令和6年4月> 博士(心理学)
		生徒指導・進路指導の理論及び方法

専任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	山中 秀夫 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	教授	山中 秀夫 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論			情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論
兼任	教授	関本 克良 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	教授	関本 克良 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成			ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成
兼任	教授	曾山 典子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	曾山 典子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理			データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理
兼任	教授	上田 喜彦 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）	兼任	教授	上田 喜彦 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）
		天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義3 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 教職実践演習（中・高）			天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 教職実践演習（中・高）
兼任	教授	竹村 景生 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※	兼任	教授	竹村 景生 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法			ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法
兼任	教授	仲 淳 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※	兼任	教授	仲 淳 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 教育実習1 教育実習2 学校教育支援			学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 教育実習1 教育実習2 学校教育支援
兼任	教授	古賀 崇 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） Master of Library Science （米國）※	兼任	教授	古賀 崇 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） Master of Library Science （米國）※
		図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論			図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論
兼任	教授	魯 ゼウオン ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	兼任	教授	魯 ゼウオン ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）
		カルチュラルスタディーズ			カルチュラルスタディーズ
兼任	教授	野津 幸治 ＜令和6年4月＞ M.A.（タイ）	兼任	教授	野津 幸治 ＜令和6年4月＞ M.A.（タイ）
		多文化理解と言語（タイ語）			多文化理解と言語（タイ語）
兼任	教授	奥島 美夏 ＜令和6年4月＞ 文学修士※	兼任	教授	奥島 美夏 ＜令和6年4月＞ 文学修士※
		多文化理解と言語（インドネシア語） キャリアデザイン2			多文化理解と言語（インドネシア語） キャリアデザイン2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	森 洋明 ＜令和6年4月＞ 言語学（意味論）修士 （フランス）	兼任	教授	森 洋明 ＜令和6年4月＞ 言語学（意味論）修士 （フランス）
		多文化理解と言語（フランス語） 天理異文化伝道			多文化理解と言語（フランス語） 天理異文化伝道
兼任	教授	野口 茂 ＜令和6年4月＞ Magister en Historia （ベネズエラ）	兼任	教授	野口 茂 ＜令和6年4月＞ Magister en Historia （ベネズエラ）
		多文化理解と言語（スペイン語）			多文化理解と言語（スペイン語）
兼任	教授	北森 絵里 ＜令和6年4月＞ 修士（地域研究）	兼任	教授	北森 絵里 ＜令和6年4月＞ 修士（地域研究）
		多文化理解と言語（ポルトガル語）			多文化理解と言語（ポルトガル語）
兼任	教授	岡田 龍樹 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※			
		日本事情 1 日本事情 2			
兼任	教授	菊池 律之 ＜令和6年4月＞ 修士（言語学）※	兼任	教授	菊池 律之 ＜令和6年4月＞ 修士（言語学）※
		日本語学入門 日本語文法論 1 日本語文法論 2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習			日本語学入門 日本語文法論 1 日本語文法論 2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習
兼任	教授	松永 稔也 ＜令和6年4月＞ 博士（言語文化学）	兼任	教授	松永 稔也 ＜令和6年4月＞ 博士（言語文化学）
		多文化理解と言語（日本語）			多文化理解と言語（日本語）
兼任	教授	奥田 真紀子 ＜令和6年4月＞ 修士（学術）※			
		保健医療の仕組みと健康づくり			
兼任	教授	増谷 弘 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	増谷 弘 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		基礎からわかる生物・化学			基礎からわかる生物・化学
兼任	教授	堀内 みどり ＜令和6年4月＞ 哲学博士（インド）	兼任	教授	堀内 みどり ＜令和6年4月＞ 哲学博士（インド）
		ジェンダー・セクシャリティ			ジェンダー・セクシャリティ
兼任	教授	金子 昭 ＜令和6年4月＞ 博士（哲学）	兼任	教授	金子 昭 ＜令和6年4月＞ 博士（哲学）
		哲学概論 1 哲学概論 2 倫理学 1 倫理学 2			哲学概論 1 哲学概論 2 倫理学 1 倫理学 2
兼任	准教授	黒岩 康博 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）			
		基礎からわかる近代史			
兼任	准教授	箱田 徹 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）			
		キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 社会学 哲学概論 1 哲学概論 2			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等			<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	小野 朗子 <令和6年4月> 博士（理学）	兼任	准教授	小野 朗子 <令和6年4月> 博士（理学）
		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2			ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2
兼任	講師	福井 孝三 <令和6年4月> 修士（言語教育情報学）	兼任	講師	福井 孝三 <令和6年4月> 修士（言語教育情報学）
		日本語教育入門 日本語語彙論			日本語教育入門 日本語語彙論
兼任	准教授	金 珠 <令和8年4月> 博士（日本語・日本文化）	兼任	准教授	金 珠 <令和8年4月> 博士（日本語・日本文化）
		日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法			日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法
兼任	准教授	中村 久美 <令和6年4月> Ph.D in Anglo-Irish Literature and Drama (アイルランド)			
		英語1 英語2 多文化理解と言語（英語） 世界の文学1 世界の文学2			
兼任	准教授	吉田 智佳 <令和6年4月> 博士（英語学）	兼任	教授	吉田 智佳 <令和6年4月> 博士（英語学）
		英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級			英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級
兼任	准教授	川上 晃司 <令和6年4月> 修士（体育学）	兼任	准教授	川上 晃司 <令和6年4月> 修士（体育学）
		健康スポーツ科学2 ニュースポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 ニュースポーツ
兼任	准教授	梅崎 さゆり <令和6年4月> 博士（学術）	兼任	准教授	梅崎 さゆり <令和6年4月> 博士（学術）
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割			健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割
兼任	准教授	穴井 隆将 <令和6年4月> 修士（教育学）	兼任	准教授	穴井 隆将 <令和6年4月> 修士（教育学）
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割			国際社会におけるスポーツの役割
兼任	准教授	蓬田 高正 <令和6年4月> 修士（体育学）	兼任	准教授	蓬田 高正 <令和6年4月> 修士（体育学）
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ
兼任	准教授	小畑 治 <令和6年4月> 修士（教育学）	兼任	准教授	小畑 治 <令和6年4月> 修士（教育学）
		健康スポーツ科学1 レクリエーションスポーツ			レクリエーションスポーツ
兼任	講師	須永 哲思 <令和6年4月> 博士（教育学）			
		教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 教育史特論			
兼任	講師	小関 康平 <令和6年4月> 博士（法学）	兼任	講師	小関 康平 <令和6年4月> 博士（法学）
		キャリアデザイン1 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2			キャリアアブランニング キャリアデザイン1 憲法からわかるレポート作成 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	松本 優也 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）※			
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			
兼任	助教	金子 竜大 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	助教	金子 竜大 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼任	教授	森元 伸枝 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
					天理大学特別講義7 天理大学特別講義8
			兼任	教授	石井 幸弘 ＜令和6年4月＞ 修士（学術）
					天理大学特別講義3
			兼任	教授	龍木 勉 ＜令和6年4月＞ 文学博士（大韓民国）
					多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）※
			兼任	教授	王 向華 ＜令和6年4月＞ 博士（社会人類学）
					日本事情1 日本事情2
			兼任	教授	白石 晃 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
					健康スポーツ科学1
			兼任	教授	寺田 和史 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
					健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼任	教授	金井 恵理 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
					保健医療の仕組みと健康づくり
			兼任	准教授	山本 佳世子 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）
					キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 哲学概論1
			兼任	准教授	高地 朋成 ＜令和6年4月＞ 文学博士（大韓民国）
					多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）
			兼任	准教授	松山 尚道 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
					健康スポーツ科学1
			兼任	助教	西田 昂平 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
					健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	蔡 珮菁 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	蔡 珮菁 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		多文化理解と言語（中国語）			多文化理解と言語（中国語）
兼任	講師	Zaberezhnaia Olga ＜令和6年4月＞ 博士（文化学）（ロシア）	兼任	講師	Zaberezhnaia Olga ＜令和6年4月＞ 博士（文化学）（ロシア）
		多文化理解と言語（ロシア語）			多文化理解と言語（ロシア語）
兼任	講師	井上 護夫 ＜令和8年4月＞ 修士（言語教育学）	兼任	講師	井上 護夫 ＜令和8年4月＞ 修士（言語教育学）
		天理教史特殊講義2			天理教史特殊講義2
兼任	講師	伊橋 幸江 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	伊橋 幸江 ＜令和7年4月＞ 文学士
		天理教原典学2概説 天理教原典学3概説			天理教原典学2概説 天理教原典学3概説
兼任	講師	澤井 一郎 ＜令和7年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	澤井 一郎 ＜令和7年4月＞ 修士（文学）※
		天理教原典学1概説			天理教原典学1概説
兼任	講師	成田 道広 ＜令和6年4月＞ 修士（宗教学） （ネパール）※	兼任	講師	成田 道広 ＜令和6年4月＞ 修士（宗教学） （ネパール）※
		宗教史概説2 宗教史特殊講義1			宗教史概説2 宗教史特殊講義1
兼任	講師	深谷 太清 ＜令和8年4月＞ Dr. phil.（ドイツ）	兼任	講師	深谷 太清 ＜令和8年4月＞ Dr. phil.（ドイツ）
		天理教学特殊講義3			天理教学特殊講義3
兼任	講師	山澤 昭造 ＜令和6年4月＞ 学士（文学）	兼任	講師	山澤 昭造 ＜令和6年4月＞ 学士（文学）
		天理教教祖伝概説1 天理教教祖伝概説2			天理教教祖伝概説1 天理教教祖伝概説2
兼任	講師	荒田 恵 ＜令和9年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	荒田 恵 ＜令和9年4月＞ 修士（文学）
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	乾 誠二 ＜令和9年4月＞ 文学士	兼任	講師	乾 誠二 ＜令和9年4月＞ 文学士
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	齊藤 純 ＜令和9年4月＞ 文学修士※	兼任	講師	齊藤 純 ＜令和9年4月＞ 文学修士※
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	講師	中尾 徳仁 ＜令和9年4月＞ 学士（教育学）	兼任	講師	中尾 徳仁 ＜令和9年4月＞ 学士（教育学）
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	今治 周平 ＜令和6年4月＞ 法務博士	兼任	講師	今治 周平 ＜令和6年4月＞ 法務博士
		民法1 民法2			民法1 民法2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	角 克明 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※	兼任	講師	角 克明 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※
		地理学1 地理学2			地理学1 地理学2
兼任	講師	加藤 康 ＜令和6年4月＞ 修士（商学）※	兼任	講師	加藤 康 ＜令和6年4月＞ 修士（商学）※
		経営学1 経営学2			経営学1 経営学2
兼任	講師	片岡 佐知子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）			
		科学と現代			
兼任	講師	坂手 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	講師	坂手 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		生活の中の科学			生活の中の科学
兼任	講師	鈴木 史子 ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学）※	兼任	講師	鈴木 史子 ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学）※
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	竹村 和也 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）※	兼任	講師	竹村 和也 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）※
		日本国憲法 法学			日本国憲法 法学
兼任	講師	東井 申雄 ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学）	兼任	講師	東井 申雄 ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学）
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	長沢 一恵 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	長沢 一恵 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		基礎からわかるレポート作成 近現代の遺産と未来			基礎からわかるレポート作成 基礎からわかる近代史 近現代の遺産と未来
兼任	講師	中村 珍晴 ＜令和6年4月＞ 博士（スポーツ科学）	兼任	講師	中村 珍晴 ＜令和6年4月＞ 博士（スポーツ科学）
		障害学			障害学
兼任	講師	西 直美 ＜令和6年4月＞ 博士（グローバル社会研究）	兼任	講師	西 直美 ＜令和6年4月＞ 博士（グローバル社会研究）
		基礎からわかるレポート作成 政治学			基礎からわかるレポート作成 政治学
兼任	講師	福島 沢美 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）	兼任	講師	福島 沢美 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）
		日本手話A 日本手話B			日本手話A 日本手話B
兼任	講師	藤井 稔 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	藤井 稔 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		基礎からわかるレポート作成			基礎からわかるレポート作成
兼任	講師	三宅 正夫 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	三宅 正夫 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		基礎からわかる数学			基礎からわかる数学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	八木 英治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	兼任	講師	八木 英治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		障害学			障害学
兼任	講師	安田 智博 ＜令和6年4月＞ 学士（文学）	兼任	講師	安田 智博 ＜令和6年4月＞ 学士（文学）
		キャリアプランニング 労働と社会			キャリアプランニング 労働と社会
兼任	講師	吉田 和弘 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）			
		地球環境論			
兼任	講師	持元 江津子 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	兼任	講師	持元 江津子 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		コンピュータ入門			コンピュータ入門
兼任	講師	渡邊 碩 ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）	兼任	講師	渡邊 碩 ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）
		経済学1 経済学2			経済学1 経済学2
兼任	講師	池田 華子 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）	兼任	講師	池田 華子 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）
		臨床教育学特論			臨床教育学特論
兼任	講師	奥本 武裕 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	奥本 武裕 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	金山 佐喜子 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※	兼任	講師	金山 佐喜子 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		特別な支援の必要な生徒の理解			特別な支援の必要な生徒の理解
兼任	講師	北口 学 ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）	兼任	講師	北口 学 ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	小島 源一郎 ＜令和8年4月＞ 教育学士	兼任	講師	小島 源一郎 ＜令和8年4月＞ 教育学士
		教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む）			教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む）
兼任	講師	冨田 稔 ＜令和6年4月＞ 修士（都市政策）	兼任	講師	冨田 稔 ＜令和6年4月＞ 修士（都市政策）
		人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習（中・高） 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習（中・高） 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	松枝 拓生 ＜令和8年4月＞ 博士（教育学）	兼任	講師	松枝 拓生 ＜令和8年4月＞ 博士（教育学）
		道徳の理論及び指導法			道徳の理論及び指導法
兼任	講師	犬飼 誠 ＜令和6年4月＞ 文学士	兼任	講師	犬飼 誠 ＜令和6年4月＞ 文学士
		矯正概論 矯正保護教育（施設参観を含む）			矯正概論 矯正保護教育（施設参観を含む）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	高橋 秀紀 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	高橋 秀紀 ＜令和7年4月＞ 文学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	中村 寛子 ＜令和6年4月＞ 学術修士※	兼任	講師	中村 寛子 ＜令和6年4月＞ 学術修士※
		更生保護概論			更生保護概論
兼任	講師	北條 正崇 ＜令和7年4月＞ 学士（法学）	兼任	講師	北條 正崇 ＜令和7年4月＞ 学士（法学）
		犯罪被害者支援論			犯罪被害者支援論
兼任	講師	山本 道次 ＜令和7年4月＞ 体育学士	兼任	講師	山本 道次 ＜令和7年4月＞ 体育学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	佐藤 敏江 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	佐藤 敏江 ＜令和7年4月＞ 文学士
		児童・YAサービス論			児童・YAサービス論
兼任	講師	鈴木 陽二 ＜令和6年4月＞ 文学修士（韓国）	兼任	講師	鈴木 陽二 ＜令和6年4月＞ 文学修士（韓国）
		韓国・朝鮮語 1 韓国・朝鮮語 2			韓国・朝鮮語 1 韓国・朝鮮語 2
兼任	講師	吉川 万寿彦 ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	講師	吉川 万寿彦 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）			多文化理解と言語（韓国・朝鮮語） ※
兼任	講師	乾 拓也 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	乾 拓也 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	鈴島 梓 ＜令和6年4月＞ 博士（英文学）	兼任	講師	鈴島 梓 ＜令和6年4月＞ 博士（英文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	日沖 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（宗教美術）（米園）	兼任	講師	日沖 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（宗教美術）（米園）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	山下 大輔 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	山下 大輔 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		多文化理解と言語（ドイツ語）			多文化理解と言語（ドイツ語）
兼任	講師	石田 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）※	兼任	講師	石田 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	萩野 綾 ＜令和6年4月＞ 修士（外国語教育学）	兼任	講師	萩野 綾 ＜令和6年4月＞ 修士（外国語教育学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	家村 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）	兼任	講師	家村 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）
		教養アカデミック英語1 教養アカデミック英語2 実践アカデミック英語2			教養アカデミック英語1 教養アカデミック英語2 実践アカデミック英語2
兼任	講師	小林 和代 ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	講師	小林 和代 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		中国語1 中国語2			中国語1 中国語2
兼任	講師	後藤 朗子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	後藤 朗子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	内藤 貴夫 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	内藤 貴夫 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	野田 智子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	野田 智子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	疋田 隆康 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	疋田 隆康 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	山川 仁 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）	兼任	講師	山川 仁 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	山口 徳一 ＜令和6年4月＞ 修士（英文学）※	兼任	講師	山口 徳一 ＜令和6年4月＞ 修士（英文学）※
		英語1 英語2			英語1 英語2 世界の文学1 世界の文学2
兼任	講師	山村 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）	兼任	講師	山村 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	坂井 隆秀 ＜令和6年4月＞ 体育学士	兼任	講師	坂井 隆秀 ＜令和6年4月＞ 体育学士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	講師	山田 貞子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士	兼任	講師	山田 貞子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーション・スポーツ ニュース・スポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーション・スポーツ ニュース・スポーツ
			兼任	講師	森田 実 ＜令和6年4月＞ 学士（法学）
					天理大学特別講義5 天理大学特別講義6
			兼任	講師	片山 雅男 ＜令和6年4月＞ 理学修士
					地球環境論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月＞ 保有学位等			<就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	金岡 直子
					<令和6年4月＞ 博士（文学）
					キャリアプランニング
			兼任	講師	緒田 敬
					<令和6年4月＞ 博士（学術）
					哲学概論2
			兼任	講師	細谷 祐司
					<令和6年4月＞ 学士（理学）
					科学と現代
			兼任	講師	須永 智恵
					<令和7年4月＞ 博士（教育学）
					教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護等体験 健康実践演習（中・高） 学校教育支援 教育史特論
			兼任	講師	芳賀 達彦
					<令和6年4月＞ 修士（人間科学）
					社会学
			兼任	講師	北岡 一弘
					<令和6年4月＞ 修士（学術） 修士（英文学） 修士（英語教育学）
					英語1 英語2 多文化理解と言語（英語）
			兼任	講師	村田 恵子
					<令和6年4月＞ 修士（政治学）
					英語1 英語2
			兼任	講師	山本 樹
					<令和6年4月＞ 修士（体育学）
					健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。

- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実））、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・澤井真（専任）講師から（専任）准教授に職位変更
- ・上田喜彦（兼任）教授 担当科目の見直しにより「天理大学特別講義3」1科目削除
- ・岡田龍樹（兼任）教授を辞退
- ・奥田真紀子（兼任）教授を辞退
- ・黒岩康博（兼任）准教授を辞退
- ・箱田徹（兼任）准教授を辞退し（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎からわかる現代社会」「社会学」「哲学概論1」4科目削除
- ・中村久美（兼任）准教授を辞退
- ・吉田智佳（兼任）准教授から（兼任）教授に職位変更
- ・川上晃司（兼任）准教授 担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加
- ・穴井隆将（兼任）准教授 担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目削除
- ・小畑治（兼任）准教授 担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目削除
- ・須永哲思（兼任）准教授を辞退し（兼任）講師として就任。
- ・小関康平（兼任）講師 担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎からわかるレポート作成」2科目追加
- ・松本優也（兼任）講師を辞退
- ・森元伸枝（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」2科目追加
- ・石井孝弘（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「天理大学特別講義3」1科目追加
- ・熊本 勉（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」1科目追加
- ・王向華（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「日本事情1」「日本事情2」2科目追加
- ・白石晃（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加
- ・寺田和史（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加
- ・金井恵理（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「保健医療の仕組みと健康づくり」1科目追加
- ・山本佳世子（兼任）准教授として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎からわかる現代社会」「哲学概論1」3科目追加
- ・高地 朋成（兼任）准教授として就任。担当科目の見直しにより「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」1科目追加
- ・松山尚道（兼任）准教授として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加
- ・西田昂平（兼任）助教として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加
- ・片岡佐和子（兼任）講師を辞退
- ・長沢一恵（兼任）講師 担当科目の見直しにより「基礎からわかる近代史」1科目追加
- ・吉田和弘（兼任）講師を辞退
- ・吉川万寿彦（兼任）講師 担当科目の見直しにより「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」をオムニバスに変更
- ・山口徳一（兼任）講師 担当科目の見直しにより「世界の文学1」「世界の文学2」2科目追加
- ・森田実（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」2科目追加
- ・片山雅男（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「地球環境論」1科目追加
- ・金岡直子（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」1科目追加
- ・細谷祐司（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「科学と現代」1科目追加
- ・芳賀達彦（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「社会学」1科目追加
- ・北岡一弘（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「英語1」「英語2」「多文化理解と言語（英語）」3科目追加
- ・村田恵子（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「英語1」「英語2」2科目追加
- ・山本樹（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**。
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
5	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
3	1	2	0	6	0	3	2	1	0	6	0
(3)	(1)	(2)	(0)	(6)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
3	2	1	0	6	0	3	2	1	0	6	0
[0]	[1]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[△1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{6}{6} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1		該当なし									
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0人			必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1		該当なし											
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）＋（F）						後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{0}{6} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時 (令和5年)	人間学部宗教学科の収容定員未充足の是正に努めること	人間学部宗教学科の収容定員未充足を改善すべく改編を行った。人間学部宗教学科は令和6年4月より学生募集を停止し、入学定員を40名から20名に削減した。人間学部宗教学科を設置した。ただし、改編初年度となる令和6年度の人間学部宗教学科の入学人数は9名(収容定員充足率45%)となり、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。
届出時 (令和5年)	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足の是正に努めること	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足を改善すべく、外国語学科の韓国・朝鮮語専攻、中国語専攻、英米語専攻、スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻の各専攻と地域文化学科を国際学部韓国・朝鮮語学科、中国語学科、英米語学科、外国語学科、国際文化学科、日本学科に改編した。外国語学科の各専攻と地域文化学科は令和6年4月より学生募集を停止し、国際学部全体の入学定員を360名から290名に削減した。ただし、改編初年度となる令和6年度の国際学部各学科の入学人数は韓国・朝鮮語学科24名(収容定員充足率60%)、中国語学科11名(同27%)、英米語学科35名(同58%)、外国語学科13名(同56%)、国際文化学科50名(同100%)、日本学科21名(同52%)となった。国際文化学科を除く5学科は、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文学部 宗教学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成17年4月に天理大学FD委員会が設置された。同委員会は、令和6年4月より天理大学全学教育推進会議（専門委員会）に引き継がれ、審議等を行っている。同会議には委員として、学部長及び学科主任、もしくは学科の専任教員が出席している【資料】。

FD委員会とは異なる形だが、平成29年度よりスタッフ・ディベロップメントが義務化されたことに伴い、「天理大学SDの実施方針」および「SDの実施計画」を定め、担当部署が研修を企画実施している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

全学教育推進会議は、本学の教学マネジメントを担う会議体として、基本的に毎月1回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席している。

FD委員会は、令和5年度は6回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席していた。

SDに関する委員会は設置されていない。

c 委員会の審議事項等

FDに関することは全学教育推進会議で諮られている。

- (1) 教育の計画、内容、方法及び評価・改善に関すること。
- (2) 教育課程の編成に関すること。
- (3) 単位の認定に関すること。
- (4) FD活動に関すること。
- (5) 教員養成教育及び資格課程に関すること。
- (6) その他全学の教育推進に関すること。

SDの研修等に関しては、事務局の部長連絡会で調整され実施をしている。

② 実施状況

a 実施内容（令和5年度）

<FD>

- FD研修会 ○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク） ○学生による授業評価アンケート
- ティーチング・ポートフォリオ ○学外研修会等参加

<SD>

- SD研修会

b 実施方法

<FD>

- FD研修会
各学部・研究科単位で研修会を実施し、専任教員は全員参加（欠席者に対しては事後研修）。各学部・研究科が独自に設定したテーマで研修を行う。
- FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）
専任教員は、毎年度定められた期間内に1科目以上の授業の公開と1科目以上の参観を義務づけて実施。また、参観後は教員個人が報告書を学内グループウェアの専用ファイルに記載し公開しており、教員相互の授業改善に活用する。
- 学生による授業評価アンケート
年2回、学期（春期と秋期）末に、学生による授業評価アンケートを実施。
- ティーチング・ポートフォリオ
各教員が個別に研究・習得した教授法に関する知識・情報を全学的に共有し、それぞれの授業改善および教育内容の充実役に役立てる意図のもと令和3年度より導入。学内のグループウェアを使用しアップロードや閲覧可能なシステムを構築している。
- 学外研修会等参加
本学が加盟する日本私立大学連盟が主催するFD推進ワークショップの案内や関西地区FD連絡協議会が主催する各種研修会の案内を随時行い希望者が参加する。
- FD活動報告書
FD活動を体系的に整理し、報告書を作成。

<SD>

○SD研修会

全体研修として、外部団体より講師を招き全教職員を対象に研修会を開催。
職階別研修として、日本私立大学連盟などが実施している研修などの情報を提供し、職階に応じた教職員が各研修会に参加。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<FD>

○FD研修会 ※令和5年度

・各学部（5学部）で各テーマを設定し実施。教員は全員参加（事後研修含む）。

○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）※令和5年度

・実施期間：令和5年10月10日（火）～令和6年1月31日（水）
・公開科目：194科目（参観のあった科目：109科目）参観した教職員：165人

○学生による授業評価アンケート※令和5年度

・各学期（春学期・秋学期）の履修登録者5名以上の全学部全授業科目対象（非常勤講師含む）に実施。

○ティーチング・ポートフォリオ（令和3年度～令和5年度）

・各教員が学内グループウェアに年度・学期・学部毎に掲載する形式で実施。

○学外研修会等参加（令和3年度～令和5年度）

・希望者が日本私立大学連盟主催のFD推進ワークショップ（新任教員向け）に参加。

○FD活動報告書

・毎年作成し公表。

<SD>

○SD研修会 ※令和5年度

・業務領域の知見の獲得を目的とする内容

学外から講師を招いてのSD講演会

「志願者獲得に向けた昨年度入試にかかる分析結果について」

（令和5年7月26日開催＋録画視聴：参加者367名のうち、教員の参加者169名）

・学生の厚生補導に関する内容

学生相談委員会、人権教育推進会議共催による学内研修会

「学校における労働安全衛生管理の観点からの適切な職場環境づくり

—労働安全衛生法と教職員の健康管理—」

令和5年12月1日～令和6年3月31日（動画視聴：参加者数不明）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD、SDの取り組みを大学全体で組織的に継続していくことで、授業改善は着実に進んでいる。

令和6年度も同様に実施し、授業の質の担保・向上に努めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況（令和5年度）

a 実施の有無及び実施時期

年2回各学期末にWebにより実施。

春学期：令和5年7月10日～8月2日 秋学期：令和6年1月11日～2月7日

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は個人の集計結果を通知。また、教員、学生は全体の集計結果の情報を本学のホームページで閲覧できる。併せて、「FD活動報告書」（毎年度作成）の中で全体の集計結果の情報を掲載している（教員は配付、学生は図書館他で閲覧可能）。

以上の活動を通じて、教員の資質の維持向上を図っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人文学部宗教学科は、既設の人間学部宗教学科を改編し、令和6年に開設した。
教育研究上の目的として、「宗教学及び天理教学の枠組みに基づく歴史的、理論的かつ実践的な宗教学及び天理教学の枠組みに基づく歴史的、理論的かつ実践的な学習をふまえ、現代世界をとりまく多様な宗教状況を広く学ぶことを通して、ものごとに多面的に対応できる資質と能力を修得させ、同時に、建学の精神にもとづき、国の内外で社会に貢献する実践的意欲をそなえた人材を養成する」と掲げ、教育・研究活動に取り組んでいる。
授業計画については、兼任及び兼任教員の未就任により、一部の科目において担当者の変更が生じたが、概ね当初の計画通りに授業科目を開講している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年4月公表

b 公表方法

・自己点検・報告書を大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

令和4年度に評価機関(公益財団法人大学基準協会)の大学評価(認証評価)を受審し、大学基準に適合していると認定された。

今回は令和11年に大学基準協会の大学評価(認証評価)の受審を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和6年度)

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

対象校No. 966
注4

学校コード F129310109266
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部設置
注1

届出

注2
天理大学 人文学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人天理大学
令和6年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

人文学部

＜国文学国語学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人天理大学

(2) 大 学 名

天理大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒632-8510

奈良県天理市杣之内町1050番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フカヤ ヨシタロウ) 深谷 善太郎 (平成28年3月)		
学 長	(ナガオ ヒナオ) 永尾 比奈夫 (令和5年4月)		
学 部 長	(ヤマナカ ヒデオ) 山中 秀夫 (令和6年4月)		
学科長等	(ニシノ ユキ) 西野 由紀 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
- (例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文学部 国文学国語学科 学士(国文学)	文学関係	4年	40人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	160人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	—	0.35 倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []				
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.35				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用) IV. 33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	14 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	14 [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入**してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	14 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜人文学部 国文学国語学科＞

(1)－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合 教育 科目	天理 スピリ ット 科目 群	天理教概説1	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教概説2	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教学1	2-3-4期		2							兼3
		天理教学2	2-3-4期		2							兼3
		建学の精神と天理大学のあゆみ	2前期	2								兼5
		英語1	1-2-3-4期	1								兼15
		英語2	1-2-3-4期	1								兼15
		韓国・朝鮮語1	1-2-3-4期		1							兼1
		韓国・朝鮮語2	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語1	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語2	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼2
		アカデミック英語上級	1-2-3-4期		1							兼1
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情1	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情2	1-2-3-4期		2							兼1
		健康スポーツ科学1	1-2-3-4期		2							兼8
		健康スポーツ科学2	1-2-3-4期		2							兼6
		国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4期		2							兼2
		保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4期		2							兼1
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4期		1							兼3
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4期		1							兼3
		国際協力入門	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力実習	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力演習1	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力演習2	1-2-3-4期		2							兼1
		国際ボランティア論	2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義1	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義2	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義3	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義4	1-2-3-4期		2							兼1
		天理異文化伝道	2-3-4期		2							兼1
		小計(45科目)	—	8	69	0	0	0	0	0	0	兼55
	キ ャ リ ア 教 育 科 目 群	キャリアプランニング	1-2-3期後		2							兼3
		キャリアデザイン1	2-3-4期		2							兼1
		キャリアデザイン2	2-3-4期		2							兼1
		インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 教育 科目	天理 スピ リ ッ ト 科 目 群	天理教概説1	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教概説2	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教学1	2-3-4期		2							兼3
		天理教学2	2-3-4期		2							兼3
		建学の精神と天理大学のあゆみ	2前	2								兼5
		英語1	1-2-3-4期	1								兼16
		英語2	1-2-3-4期	1								兼16
		韓国・朝鮮語1	1-2-3-4期		1							兼1
		韓国・朝鮮語2	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語1	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語2	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼2
		アカデミック英語上級	1-2-3-4期		1							兼1
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4期		2							兼2
		多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情1	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情2	1-2-3-4期		2							兼1
		健康スポーツ科学1	1-2-3-4期		2							兼11
		健康スポーツ科学2	1-2-3-4期		2							兼8
		国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4期		2							兼2
		保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4期		2							兼1
		ローカリーアクト天理SDGs：森に生きる入門編	1-2-3-4期		1							兼3
		ローカリーアクト天理SDGs：森に生きる実践編	2-3-4期		1							兼3
		国際協力入門	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力実習	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力演習1(未開講)	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力演習2	1-2-3-4期		2							兼1
		国際ボランティア論	2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義1	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義2	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義3	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義4	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義5	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義6	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義7	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義8	1-2-3-4期		2							兼1
		天理異文化伝道	2-3-4期		2							兼1
			小計(49科目)	—	8	77	0	0	0	0	0	0
キ ャ リ ア 教 育 科 目 群	キャリアプランニング	1-2-3期後		2							兼5	
	キャリアデザイン1	2-3-4期		2							兼1	
	キャリアデザイン2	2-3-4期		2							兼1	
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合教育科目	キャリア教育科目群	インターンシップ2	1-2-3通		2							兼1
		海外インターンシップ1	2-3-4通		1							兼1
		海外インターンシップ2	2-3-4通		2							兼1
		小計(7科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼6
	基礎リテラシー科目群	基礎ゼミナール1	1前	2								兼2
		基礎ゼミナール2	1後		2							兼1
		データサイエンス・AI入門	1前後		2							兼2
		データサイエンス・AI応用	2-3-4前後		2							兼1
		データリテラシー	2-3-4前後		2							兼1
		コンピュータ入門	1-2-3-4前後		2							兼2
		情報処理	2-3-4前後		2							兼1
		基礎からわかるレポート作成	1-2-3-4前後		2							兼4
		基礎からわかる近代史	1-2-3-4前後		2							兼1
		基礎からわかる現代社会	1-2-3-4前後		2							兼1
		基礎からわかる数学	1-2-3-4前後		2							兼1
		基礎からわかる生物・化学	1-2-3-4前後		2							兼1
	小計(12科目)	—	2	22	0	0	0	0	0	0	兼13	
	一般教養教育科目群	生活の中の科学	1-2-3-4前後		2							兼1
		地球環境論	1-2-3-4前後		2							兼1
		科学と現代	1-2-3-4前後		2							兼1
		数学と論理	1-2-3-4前後		2							兼1
		統計学1	1-2-3-4前		2							兼1
		統計学2	1-2-3-4後		2							兼1
		経営学1	1-2-3-4前		2							兼1
		経営学2	1-2-3-4後		2							兼1
		地理学1	1-2-3-4前		2							兼1
		地理学2	1-2-3-4後		2							兼1
		日本国憲法	1-2-3-4後		2							兼2
		法学	1-2-3-4前		2							兼2
		経済学1	1-2-3-4前		2							兼1
		経済学2	1-2-3-4後		2							兼1
		政治学	1-2-3-4前後		2							兼1
		社会学	1-2-3-4前後		2							兼1
		民法1	1-2-3-4前		2							兼1
		民法2	1-2-3-4後		2							兼1
		行政法1	1-2-3-4前		2							兼1
		行政法2	1-2-3-4後		2							兼1
		哲学概論1	1-2-3-4前		2							兼2
		哲学概論2	1-2-3-4後		2							兼2
		倫理学1	1-2-3-4前後		2							兼1
倫理学2		1-2-3-4後		2							兼1	
心理学1		1-2-3-4前		2							兼2	
心理学2		1-2-3-4後		2							兼2	
ジェンダー・セクシャリティ		1-2-3-4前後		2							兼1	
近現代の遺産と未来		1-2-3-4前後		2							兼1	
宗教と芸能		1-2-3-4後		2							兼1	
労働と社会		1-2-3-4前後		2							兼1	
障害学		1-2-3-4前後		2							兼2	
世界の文学1		1-2-3-4前		2							兼1	
世界の文学2		1-2-3-4後		2							兼1	
カルチュラルスタディーズ		1-2-3-4前後		2							兼1	
宗教と現代社会		1-2-3-4前後		2							兼1	
人権と差別1		1-2-3-4前		2							兼3	
人権と差別2	1-2-3-4後		2							兼3		
日本手話A	1-2-3-4前後		2							兼1		
日本手話B	1-2-3-4後		2							兼1		
アウトドアスポーツ	1-2-3-4通		1							兼1		
レクリエーションスポーツ	2-3-4前		1							兼2		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合教育科目	キャリア教育科目群	インターンシップ2	1-2-3通		2							兼1
		海外インターンシップ1	2-3-4通		1							兼1
		海外インターンシップ2	2-3-4通		2							兼1
		小計(7科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼7
	基礎リテラシー科目群	基礎ゼミナール1	1前	2								兼2
		基礎ゼミナール2	1後		2			1				
		データサイエンス・AI入門	1前後		2							兼2
		データサイエンス・AI応用	2-3-4前第		2							兼1
		データリテラシー	2-3-4前第		2							兼1
		コンピュータ入門	1-2-3-4前第		2							兼2
		情報処理	2-3-4前第		2							兼1
		基礎からわかるレポート作成	1-2-3-4前第		2							兼5
		基礎からわかる近代史	1-2-3-4前第		2							兼1
		基礎からわかる現代社会	1-2-3-4前第		2							兼1
	基礎からわかる数学	1-2-3-4前第		2							兼1	
	基礎からわかる生物・化学	1-2-3-4前第		2							兼1	
	小計(12科目)	—	2	22	0	0	1	0	0	0	兼12	
	一般教養教育科目群	生活の中の科学	1-2-3-4前第		2							兼1
		地球環境論	1-2-3-4前第		2							兼1
		科学と現代	1-2-3-4前第		2							兼1
		数学と論理	1-2-3-4前第		2							兼1
		統計学1	1-2-3-4前		2							兼1
		統計学2	1-2-3-4後		2							兼1
		経営学1	1-2-3-4前		2							兼1
		経営学2	1-2-3-4後		2							兼1
		地理学1	1-2-3-4前		2							兼1
		地理学2	1-2-3-4後		2							兼1
		日本国憲法	1-2-3-4後		2							兼2
		法学	1-2-3-4前		2							兼2
		経済学1	1-2-3-4前		2							兼1
		経済学2	1-2-3-4後		2							兼1
		政治学	1-2-3-4前第		2							兼1
		社会学	1-2-3-4前第		2							兼1
		民法1	1-2-3-4前		2							兼1
		民法2	1-2-3-4後		2							兼1
		行政法1	1-2-3-4前		2							兼1
		行政法2	1-2-3-4後		2							兼1
		哲学概論1	1-2-3-4前		2							兼2
		哲学概論2	1-2-3-4後		2							兼2
		倫理学1	1-2-3-4前第		2							兼1
		倫理学2	1-2-3-4後		2							兼1
		心理学1	1-2-3-4前		2							兼2
		心理学2	1-2-3-4後		2							兼2
		ジェンダー・セクシャリティ	1-2-3-4前第		2							兼1
		近現代の遺産と未来	1-2-3-4前第		2							兼1
		宗教と芸能	1-2-3-4後		2							兼1
労働と社会		1-2-3-4前第		2							兼1	
障害学		1-2-3-4前第		2							兼2	
世界の文学1		1-2-3-4前		2							兼1	
世界の文学2		1-2-3-4後		2							兼1	
カルチュラルスタディーズ		1-2-3-4前第		2							兼1	
宗教と現代社会		1-2-3-4前第		2							兼1	
人権と差別1		1-2-3-4前		2							兼3	
人権と差別2		1-2-3-4後		2							兼3	
日本手話A		1-2-3-4前第		2							兼1	
日本手話B	1-2-3-4後		2							兼1		
アウトドアスポーツ	1-2-3-4通		1							兼1		
レクリエーションスポーツ	2-3-4前		1							兼2		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合 教育 科目		ニューススポーツ	2・3・4期		1								兼2
		小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0	0	兼32
		合計(106科目)	—	10	184	0	0	0	0	0	0	0	兼88
国 学 国 語 学 科 専 攻 科 目		国文学基礎演習	1前	2			1						
		国文学概論1	1前	2			1						
		国文学概論2	1後	2			1						
		上代文学講読1	1・2前		2				1				
		上代文学講読2	1・2後		2				1				
		中古文学講読1	1・2前		2		1						
		中古文学講読2	1・2後		2		1						
		中世文学講読1	1・2前		2								兼1
		中世文学講読2	1・2後		2								兼1
		近世文学講読1	1・2前		2		1						
		近世文学講読2	1・2後		2		1						
		近代文学講読1	1・2前		2		1						
		近代文学講読2	1・2後		2		1						
		上代文学特論1	2前		2				1				
		上代文学特論2	2後		2				1				
		中古文学特論1	2前		2								兼1
		中古文学特論2	2後		2		1						
		中世文学特論1	2前		2								兼1
		中世文学特論2	2後		2								兼1
		近世文学特論1	2前		2		1						
		近世文学特論2	2後		2		1						
		近代文学特論1	2前		2		1						
		近代文学特論2	2後		2		1						
		古典文学史1	2・3前		2		1						
		古典文学史2	2・3後		2		1						
		近代文学史1	2・3前		2		1						
		近代文学史2	2・3後		2		1						
		国文学演習(上代)1	3前		2				1				
		国文学演習(上代)2	3後		2				1				
		国文学演習(中古)1	3前		2		1						
		国文学演習(中古)2	3後		2		1						
		国文学演習(近世)1	3前		2		1						
		国文学演習(近世)2	3後		2		1						
		国文学演習(近代)1	3前		2		1						
		国文学演習(近代)2	3後		2		1						
		国語学基礎演習	1前	2				1					
		国語学概論1	1前	2				1					
		国語学概論2	1後	2				1					
		国語学特論(言語構造)1	2前		2								兼1
		国語学特論(言語構造)2	2後		2								兼1
	国語学特論(言語運用)1	2前		2								兼1	
	国語学特論(言語運用)2	2後		2								兼1	
	国語学特論(言語実態)1	2前		2			1						
	国語学特論(言語実態)2	2後		2			1						
	国語史1	2・3前		2								兼1	
	国語史2	2・3後		2								兼1	
	国語学演習(言語構造)1	3前		2								兼1	
	国語学演習(言語構造)2	3後		2								兼1	
	国語学演習(言語運用)1	3前		2								兼1	
	国語学演習(言語運用)2	3後		2								兼1	
	国語学演習(言語実態)1	3前		2			1						
	国語学演習(言語実態)2	3後		2			1						
	漢文学基礎演習	1後	2					1					
	漢文学特論1	2前		2				1					
	漢文学特論2	2後		2				1					

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合 教育 科目	学 部 学 科 専 攻 科 目	ニューススポーツ	2・3・4期		1							兼2
		小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0	兼34
		合計(110科目)	—	10	192	0	0	1	0	0	0	兼98
国 学 国 語 学 科 専 攻 科 目	国文学基礎演習	1前	2			1						
	国文学概論1	1前	2			1						
	国文学概論2	1後	2			1						
	上代文学講読1	1・2前		2				1				
	上代文学講読2	1・2後		2				1				
	中古文学講読1(未開講)	1・2前		2		1						
	中古文学講読2	1・2後		2		1						
	中世文学講読1	1・2前		2								兼1
	中世文学講読2	1・2後		2								兼1
	近世文学講読1	1・2前		2		1						
	近世文学講読2	1・2後		2		1						
	近代文学講読1	1・2前		2								兼1
	近代文学講読2	1・2後		2								兼1
	上代文学特論1	2前		2				1				
	上代文学特論2	2後		2				1				
	中古文学特論1	2前		2								兼1
	中古文学特論2	2後		2		1						
	中世文学特論1	2前		2								兼1
	中世文学特論2	2後		2								兼1
	近世文学特論1	2前		2		1						
	近世文学特論2	2後		2		1						
	近代文学特論1	2前		2								兼1
	近代文学特論2	2後		2								兼1
	古典文学史1	2・3前		2		1						
	古典文学史2	2・3後		2		1						
	近代文学史1	2・3前		2		1						
	近代文学史2	2・3後		2		1						
	国文学演習(上代)1	3前		2					1			
	国文学演習(上代)2	3後		2					1			
	国文学演習(中古)1	3前		2		1						
	国文学演習(中古)2	3後		2		1						
	国文学演習(近世)1	3前		2		1						
	国文学演習(近世)2	3後		2		1						
	国文学演習(近代)1	3前		2								兼1
	国文学演習(近代)2	3後		2								兼1
	国語学基礎演習	1前	2				1					
	国語学概論1	1前	2				1					
	国語学概論2	1後	2				1					
	国語学特論(言語構造)1	2前		2				1				
	国語学特論(言語構造)2	2後		2				1				
国語学特論(言語運用)1	2前		2								兼1	
国語学特論(言語運用)2	2後		2								兼1	
国語学特論(言語実態)1	2前		2			1						
国語学特論(言語実態)2	2後		2			1						
国語史1	2・3前		2				1					
国語史2	2・3後		2				1					
国語学演習(言語構造)1	3前		2				1					
国語学演習(言語構造)2	3後		2				1					
国語学演習(言語運用)1	3前		2								兼1	
国語学演習(言語運用)2	3後		2								兼1	
国語学演習(言語実態)1	3前		2			1						
国語学演習(言語実態)2	3後		2			1						
漢文学基礎演習	1後	2						1				
漢文学特論1	2前		2					1				
漢文学特論2	2後		2					1				

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
国 文 学 国 語 学 科 専 攻 科 目	実用国語表現	2・3前		2								兼1	
	音声言語	2・3後		2								兼1	
	天理図書館資料論(上代・中古)	2・3前		2		1							
	天理図書館資料論(中世・近世)	2・3後		2									
	大和の地域文化論(文学)	2・3・4前		2		1							
	大和の地域文化論(言語)	2・3・4後		2			1						
	文章表現1	3前		2		1							
	文章表現2	3後		2		1							
	書道(書写を中心とする)	2前		1								兼1	
	国語科指導法1	3前		2			1						
	国語科指導法2	3後		2			1						
	国語科指導法3	3前		2								兼1	
	国語科指導法4	3後		2		1							
	卒業論文演習	4通	4			3	1	1					
卒業論文	4通	6			1								
小計(70科目)		—	24	121	0	3	1	1	0	0		兼6	
資格科目	天理 教学 部門	伝道実習1	1・2・3・4後			1							兼1
		伝道実習2	1・2・3・4後			1							兼1
		伝道実習3	2・3・4前			1							兼1
		伝道実習4	2・3・4後			1							兼1
		小計(4科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0		兼1
	人文 科学 部門	日本語学入門	1前			2							兼1
		日本語教育入門	1後			2							兼1
		日本語語彙論	2前			2							兼1
		日本語文法論1	2前			2							兼1
		日本語文法論2	2後			2							兼1
		日本語音声学	2後			2							兼1
		言語の対照研究	3前			2							兼1
		日本語教授法1	3前			2							兼1
		日本語教授法2	3後			2							兼1
		第二言語習得論	3前			2							兼1
		日本語指導法	4前			2							兼1
		日本語教育評価法	4後			2							兼1
		日本語教育実習	4通			2							兼1
	小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0		兼2	
	社会 科学 部門	図書館情報システム論	2・3・4後			2							兼1
		情報サービス論	3・4前			2							兼1
		児童・YAサービス論	2・3・4前			2							兼1
		情報サービス演習1	3・4後			2							兼1
		情報サービス演習2	3・4後			2							兼1
		図書館情報資源概論	2・3・4前			2							兼1
		情報資源組織論	3・4前			2							兼1
情報資源組織演習1		3・4後			2							兼1	
情報資源組織演習2		3・4後			2							兼1	
図書館情報資源特論		3・4前			2							兼1	
図書館情報学特論		4前			2							兼1	
博物館実習1		3前			2							兼2	
博物館実習2		4通			1							兼3	
矯正概論		1・2・3・4前			2							兼1	
更生保護概論		1・2・3・4前			2							兼1	
矯正保護教育(施設参観を含む)		3・4後			2							兼1	
矯正保護支援実践論		2・3・4後			2							兼2	
犯罪被害者支援論		2・3・4後			2							兼1	
小計(18科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0		兼13		
教 職 に 関 する 専 門 教 育 科 目	教職論	1前後			2							兼1	
	教育原理	2・3・4前後			2							兼1	
	教育史	2・3・4前			2							兼1	
	教育課程論	3・4前後			2							兼1	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
国文学国語学科専攻科目	実用国語表現	2・3期		2				1					兼1

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
資格科目	教職に 関する 専門 教育 科目	学校教育心理学	2・3・4前後			2							兼1
		学校教育社会学	2・3・4前後			2							兼1
		道德の理論及び指導法	3・4前後			2							兼1
		教育相談の理論及び方法	3前後			2							兼2
		教育相談の理論及び方法	2・3・4前後			2							兼1
		生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3・4前後			2							兼2
		教育実習講義	3後			1							兼3
		介護等体験	3通			1							兼3
		教職実践演習(中・高)	4後			2							兼5
		教育実習1	4通			2							兼1
		教育実習2	4通			2							兼1
		人権教育論1	2・3・4前			2							兼3
		人権教育論2	2・3・4後			2							兼3
		特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2							兼1
		学校教育支援	2・3・4通			1							兼3
		特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2・3・4前後			2							兼1
		教育史特論	2・3・4後			2							兼1
		臨床教育学特論	2・3・4通			2							兼1
		小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0		兼12
	合計(57科目)	—	0	0	106	0	0	0	0	0		兼28	
合計(233科目)			—	34	305	106	3	1	1	0	0		兼114
卒業要件及び履修方法													
総合教育科目:天理スピリット科目群12単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテ ラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群4単位以上 計24単位以上 国文学国語学科専攻科目:必修科目24単位 選択科目は選択必修科目の必要単位を含 め48単位以上 計72単位以上 総合教育科目、国文学国語学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修 得すること。 履修科目の登録上限:48単位(年間)													

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
資格科目	教職に関する専門教育科目	学校教育心理学	2・3・4前後			2						兼1
		学校教育社会学	2・3・4前後			2						兼1
		道德の理論及び指導法	3・4前後			2						兼1
		教育実習・特別活動・総合的な学習の時間の指導法(各2単位)	3前後			2						兼2
		教育相談の理論及び方法	2・3・4前後			2						兼1
		生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3・4前後			2						兼2
		教育実習講義	3後			1						兼3
		介護等体験	3通			1						兼3
		教職実践演習(中・高)	4後			2						兼5
		教育実習1	4通			2						兼1
		教育実習2	4通			2						兼1
		人権教育論1	2・3・4前			2						兼3
		人権教育論2	2・3・4後			2						兼3
		特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2						兼1
		学校教育支援	2・3・4通			1						兼3
		特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2・3・4前後			2						兼1
		教育史特論	2・3・4後			2						兼1
		臨床教育学特論	2・3・4通			2						兼1
		小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0	兼12
	合計(57科目)	—	0	0	106	0	0	0	0	0	兼28	
合計(237科目)			—	34	313	106	3	1	1	0	0	兼127
卒業要件及び履修方法												
総合教育科目:天理スピリット科目群12単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群4単位以上 計24単位以上 国文学国語学科専攻科目:必修科目24単位 選択科目は選択必修科目の必要単位を含め48単位以上 計72単位以上 総合教育科目、国文学国語学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。 履修科目の登録上限:48単位(年間)												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後半に「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・「英語1」 担当者の変更により、「兼15」から「兼16」に変更
- ・「英語2」 担当者の変更により、「兼15」から「兼16」に変更
- ・「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」 担当者の変更により、「兼1」から「兼2」に変更
- ・「健康スポーツ科学1」 担当者の変更により、「兼8」から「兼11」に変更
- ・「健康スポーツ科学2」 担当者の変更により、「兼6」から「兼8」に変更
- ・「天理大学特別講義1」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更
- ・「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」 天理スピリット科目群の教育課程を充実させるため科目を新設
- ・「キャリアプランニング」 担当者の変更及びクラス増により、「兼3」から「兼5」に変更
- ・「基礎ゼミナール2」 担当者の変更により、「兼1」から「准教授1」に変更
- ・「基礎からわかるレポート作成」 担当者の変更により、「兼4」から「兼5」に変更
- ・「近代文学講読1」「近代文学講読2」 担当者の職位変更により、「教授1」から「兼1」に変更
- ・「近代文学特論1」「近代文学特論2」 担当者の変更により、「教授1」から「兼1」に変更
- ・「国文学演習（近代）1」「国文学演習（近代）2」 担当者の変更により、「教授1」から「兼1」に変更
- ・「国語学基礎演習」 担当者の職位変更により、「准教授1」から「教授1」に変更
- ・「国語学概論1」「国語学概論2」 担当者の職位変更により、「准教授1」から「教授1」に変更
- ・「国語学特論（言語構造）1」「国語学特論（言語構造）2」 担当者の変更により、「兼1」から「准教授1」に変更
- ・「国語学特論（言語実態）1」「国語学特論（言語実態）2」 担当者の職位変更により、「准教授1」から「教授1」に変更
- ・「国語史1」「国語史2」 担当者の変更により、「兼1」から「准教授1」に変更
- ・「国語学演習（言語構造）1」「国語学演習（言語構造）2」 担当者の変更により、「兼1」から「准教授1」に変更
- ・「国語学演習（言語実態）1」「国語学演習（言語実態）2」 担当者の職位変更により、「准教授1」から「教授1」に変更
- ・「実用国語表現」 担当者の変更により、「兼1」から「准教授1」に変更
- ・「音声言語」 担当者の変更により、「兼1」から「准教授1」に変更
- ・「大和の地域文化論（言語）」 担当者の職位変更により、「准教授1」から「教授1」に変更
- ・「文章表現1」「文章表現2」 担当者の変更により、「教授1」から「准教授1」に変更
- ・「国語科指導法1」「国語科指導法2」 担当者の職位変更により、「准教授1」から「教授1」に変更
- ・「卒業論文演習」 担当者の職位変更により、「教授3」「准教授1」「講師1」から「教授3」「講師1」「兼1」に変更
- ・「更生保護概論」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更

- (注) ・ 2(1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
15 科目	161 科目	57 科目	233 科目	15 科目 [ー]	165 科目 [4]	57 科目 [ー]	237 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{233} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	面積が錯誤により増加したため(6)			
	校 舎 敷 地	148,449.28㎡ 148,332.61㎡	0 ㎡	0 ㎡	148,449.28㎡ 148,332.61㎡				
	運動場用地	163,322.48㎡	0 ㎡	0 ㎡	163,322.48㎡				
	小 計	311,771.76㎡ 311,655.09㎡	0 ㎡	0 ㎡	311,771.76㎡ 311,655.09㎡				
	そ の 他	28,069.17㎡ 27,034.99㎡	0 ㎡	0 ㎡	28,069.17㎡ 27,034.99㎡				
	合 計	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	0 ㎡	0 ㎡	339,840.93㎡ 338,690.08㎡				
(2) 校 舎	専 用	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) -(81,584.21㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) -(81,584.21㎡)	厚生補導施設が含まれており、その数値を除いたため(6)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 (補助職員 0人) (補助職員 0人)			
	60 室	44 室	22 室	11 室	5 室				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人文学部 国文学国語学科			5 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 学術雑誌／申請時の数値に誤り(学術雑誌数に電子ジャーナル種数を含めていなかった)があったため(6)	
	人文学部 国文学国語学科	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)	0 (0)		
	計	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		面積／錯誤により減少したため(6) 閲覧座席数、収納可能冊数／申請時の数値に誤り(別所キャンパスの数値を含めていなかった)があったため(6)		
	14,260.80㎡ 14,348.40㎡		410 349		191,000 154,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				面積が錯誤により増加したため(6)		
	16,559.45㎡ 16,377.25㎡		武道館(柔剣道場)		弓道場				
			空手道場		トレーニングルーム				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費、共同研究費、設備購入費／申請時は人文学部の合計金額を記載(6)
		教員 1 人 当 研究費等	390千円	390千円	図書購入費	1,821千円 11,093千円	1,822千円 11,093千円	1,822千円 11,093千円	
		共 同 研 究 費 等	772千円 5,730千円	772千円 5,730千円	設備購入費	874千円 8,473千円	885千円 8,473千円	885千円 8,473千円	
	学生 1 人 当 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,080千円	1,030千円	1,030千円	1,030千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、私立大学等経常費補助金、手数料、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	天理大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	11	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
人文学部	4	240	0	960	—	0.55	—	—	令和6	—				
宗教学科	4	20	0	80	学士(宗教学)	0.45	—	—	令和6	奈良県天理市杣之内町1050番地				
国文学国語学科	4	40	0	160	学士(国文学)	0.35	—	—	令和6	同上				
歴史文化学科	4	50	0	200	学士(歴史文化学)	0.68	—	—	令和6	同上				
心理学科	4	40	0	160	学士(心理学)	0.55	—	—	令和6	同上				
社会教育学科	4	40	0	160	学士(社会教育学)	0.57	—	—	令和6	同上				
社会福祉学科	4	50	0	200	学士(社会福祉学)	0.60	—	—	令和6	同上				
国際学部	4	290	0	1160	—	0.59	—	—	平成22	—				
韓国・朝鮮語学科	4	40	0	160	学士(韓国・朝鮮語)	0.60	—	—	令和6	同上				
中国語学科	4	40	0	160	学士(中国語)	0.27	—	—	令和6	同上				
英米語学科	4	60	0	240	学士(英語)	0.58	—	—	令和6	同上				
国際文化学科	4	50	0	200	学士(国際文化学)	1.00	—	—	令和6	同上				
日本学科	4	40	0	160	学士(日本学)	0.52	—	—	令和6	同上				
外国語学科	4	60	0	240	学士(タイ語) (インドネシア語) (ドイツ語) (フランス語) (ロシア語) (スペイン語) (ブラジルポルトガル語)	0.56	—	—	平成22	同上	令和6年度から入学定員変更(165→60)			
英米語専攻	4	—	—	—	学士(英語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
中国語専攻	4	—	—	—	学士(中国語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
韓国・朝鮮語専攻	4	—	—	—	学士(韓国・朝鮮語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻	4	—	—	—	学士(スペイン語)又は(ブラジルポルトガル語)	—	—	—	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
地域文化学科	4	—	—	—	学士(地域文化)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
体育学部	4	240	0	960	—	1.06	—	—	昭和30	—				
体育学科	4	240	0	960	学士(体育学)	1.06	—	—	昭和30	奈良県天理市田井庄町80	令和6年度から入学定員変更(200→240)			
医療学部	4	100	0	400	—	1.03	—	—	令和5	—				
看護学科	4	70	0	280	学士(看護学)	1.14	—	—	令和5	奈良県天理市別所町80-1	令和5年度学部の設置者変更			
臨床検査学科	4	30	0	120	学士(臨床検査学)	0.78	—	—	令和5	同上	令和5年度学部の設置者変更			
人間学部	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	—				
宗教学科	4	—	—	—	学士(宗教学)	—	—	—	平成4	奈良県天理市杣之内町1050番地	令和6年度入学生より学生募集停止			
人間関係学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
臨床心理専攻	4	—	—	—	学士(臨床心理)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
生涯教育専攻	4	—	—	—	学士(生涯教育)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
社会福祉専攻	4	—	—	—	学士(社会福祉)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			

文学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和24	-	
国文学国語学科	4	-	-	-	学士 (国文学)	-	-	-	昭和24	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
歴史文化学科	4	-	-	-	学士 (歴史文化)	-	-	-	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
大学全体	4	870	-	3480	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<人文学部 国文学国語学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	北川（吉井）扶生子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 近代文学講義1 近代文学講義2 近代文学特論1 近代文学特論2 近代文学史1 近代文学史2 国文学演習（近代）1 国文学演習（近代）2 文章表現1 文章表現2 卒業論文演習
専	教授	原 豊二 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 国文学概論1 国文学概論2 中古文学講義1 中古文学講義2 中古文学特論2 古典文学史1 国文学演習（中古）1 国文学演習（中古）2 天理図書館資料論（上代・中古） 大和の地域文化論（文学） 国語科指導法4 卒業論文演習
専	教授	西野（齋藤）由紀 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※ 国文学基礎演習 近世文学講義1 近世文学講義2 近世文学特論1 近世文学特論2 古典文学史2 国文学演習（近世）1 国文学演習（近世）2 天理図書館資料論（中世・近世） 大和の地域文化論（文学） 卒業論文演習 卒業論文
専	准教授	鳥谷 善史 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）※ 国語学基礎演習 国語学概論1 国語学概論2 国語学特論（言語実態）1 国語学特論（言語実態）2 国語学演習（言語実態）1 国語学演習（言語実態）2 大和の地域文化論（言語） 国語科指導法1 国語科指導法2 卒業論文演習
専	講師	大谷 歩 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 上代文学講義1 上代文学講義2 上代文学特論1 上代文学特論2 国文学演習（上代）1 国文学演習（上代）2 漢文学基礎演習 漢文学特論1 漢文学特論2 卒業論文演習
兼任	教授	岡田 正彦 ＜令和6年4月＞ Ph.D（米国） 天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ
兼任	教授	東馬場 郁生 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy(History of Religions)（米国） 天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	原 豊二 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 国文学概論1 国文学概論2 中古文学講義1 中古文学講義2 中古文学特論2 古典文学史1 国文学演習（中古）1 国文学演習（中古）2 天理図書館資料論（上代・中古） 大和の地域文化論（文学） 国語科指導法4 卒業論文演習
専	教授	西野（齋藤）由紀 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※ 国文学基礎演習 近世文学講義1 近世文学講義2 近世文学特論1 近世文学特論2 古典文学史2 国文学演習（近世）1 国文学演習（近世）2 天理図書館資料論（中世・近世） 大和の地域文化論（文学） 卒業論文演習 卒業論文
専	教授	鳥谷 善史 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）※ 国語学基礎演習 国語学概論1 国語学概論2 国語学特論（言語実態）1 国語学特論（言語実態）2 国語学演習（言語実態）1 国語学演習（言語実態）2 大和の地域文化論（言語） 国語科指導法1 国語科指導法2 卒業論文演習
専	講師	大谷 歩 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 上代文学講義1 上代文学講義2 上代文学特論1 上代文学特論2 国文学演習（上代）1 国文学演習（上代）2 漢文学基礎演習 漢文学特論1 漢文学特論2 卒業論文演習
専	准教授	峰矢 真弓 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 基礎ゼミナール2 国語学特論（言語構造）1 国語学特論（言語構造）2 国語史1 国語史2 国語学演習（言語構造）1 国語学演習（言語構造）2 実用国語表現 音声言語 文章表現1 文章表現2
兼任	教授	岡田 正彦 ＜令和6年4月＞ Ph.D（米国） 天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ
兼任	教授	東馬場 郁生 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy(History of Religions)（米国） 天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	齊藤 純 ＜令和6年4月＞ 文学修士※	兼任	教授	齊藤 純 ＜令和6年4月＞ 文学修士※
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	教授	幡鎌 一弘 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	教授	幡鎌 一弘 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		宗教と芸能			宗教と芸能
兼任	教授	小田木 治太郎 ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	教授	小田木 治太郎 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	教授	金山 元春 ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）	兼任	教授	金山 元春 ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）
		生徒指導・進路指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導の理論及び方法
兼任	教授	山中 秀夫 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	教授	山中 秀夫 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論			情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論
兼任	教授	関本 克良 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	教授	関本 克良 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成			ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成
兼任	教授	曾山 典子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	曾山 典子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理			データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理
兼任	教授	上田 喜彦 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）	兼任	教授	上田 喜彦 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）
		天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義3 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 教職実践演習（中・高）			天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 教職実践演習（中・高）
兼任	教授	竹村 景生 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※	兼任	教授	竹村 景生 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法			ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法
兼任	教授	仲 淳 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※	兼任	教授	仲 淳 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 教育実習1 教育実習2 学校教育支援			学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 教育実習1 教育実習2 学校教育支援

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任 教授		古賀 崇 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） Master of Library Science （米国）※ 図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論	兼任 教授		古賀 崇 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） Master of Library Science （米国）※ 図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論
		魯 ゼウオン ＜令和6年4月＞ 博士（社会学） カルチュラルスタディーズ			魯 ゼウオン ＜令和6年4月＞ 博士（社会学） カルチュラルスタディーズ
兼任 教授		野津 幸治 ＜令和6年4月＞ M.A.（タイ） 多文化理解と言語（タイ語）	兼任 教授		野津 幸治 ＜令和6年4月＞ M.A.（タイ） 多文化理解と言語（タイ語）
		奥島 美夏 ＜令和6年4月＞ 文字修士※ 多文化理解と言語（インドネシア語） キャリアデザイン2			奥島 美夏 ＜令和6年4月＞ 文字修士※ 多文化理解と言語（インドネシア語） キャリアデザイン2
兼任 教授		森 洋明 ＜令和6年4月＞ 言語学（意味論）修士 （フランス） 多文化理解と言語（フランス語） 天理異文化伝道	兼任 教授		森 洋明 ＜令和6年4月＞ 言語学（意味論）修士 （フランス） 多文化理解と言語（フランス語） 天理異文化伝道
		野口 茂 ＜令和6年4月＞ Magister en Historia （ベネズエラ） 多文化理解と言語（スペイン語）			野口 茂 ＜令和6年4月＞ Magister en Historia （ベネズエラ） 多文化理解と言語（スペイン語）
兼任 教授		北森 絵里 ＜令和6年4月＞ 修士（地域研究） 多文化理解と言語（ポルトガル語）	兼任 教授		北森 絵里 ＜令和6年4月＞ 修士（地域研究） 多文化理解と言語（ポルトガル語）
		岡田 龍樹 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※ 日本事情1 日本事情2			
兼任 教授		菊池 律之 ＜令和6年4月＞ 修士（言語学）※ 日本語学入門 日本語文法論1 日本語文法論2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習	兼任 教授		菊池 律之 ＜令和6年4月＞ 修士（言語学）※ 日本語学入門 日本語文法論1 日本語文法論2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習
		松永 稔也 ＜令和6年4月＞ 博士（言語文化学） 多文化理解と言語（日本語）			松永 稔也 ＜令和6年4月＞ 博士（言語文化学） 多文化理解と言語（日本語）
兼任 教授		奥田 真紀子 ＜令和6年4月＞ 修士（学術）※ 保健医療の仕組みと健康づくり			
		増谷 弘 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 基礎からわかる生物・化学			増谷 弘 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 基礎からわかる生物・化学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	堀内 みどり ＜令和6年4月＞ 哲学博士（インド）	兼任	教授	堀内 みどり ＜令和6年4月＞ 哲学博士（インド）
		ジェンダー・セクシャリティ			ジェンダー・セクシャリティ
兼任	教授	金子 昭 ＜令和6年4月＞ 博士（哲学）	兼任	教授	金子 昭 ＜令和6年4月＞ 博士（哲学）
		哲学概論1 哲学概論2 倫理学1 倫理学2			哲学概論1 哲学概論2 倫理学1 倫理学2
兼任	准教授	澤井 治郎 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	澤井 治郎 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 英語1 英語2			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 英語1 英語2
兼任	准教授	黒岩 康博 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）			
		基礎からわかる近代史			
兼任	准教授	箱田 徹 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）			
		キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 社会学 哲学概論1 哲学概論2			
兼任	准教授	小野 朗子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	小野 朗子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2			ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2
兼任	講師	福井 孝三 ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育情報学）	兼任	講師	福井 孝三 ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育情報学）
		日本語教育入門 日本語語彙論			日本語教育入門 日本語語彙論
兼任	准教授	金 珠 ＜令和8年4月＞ 博士（日本語・日本文化）	兼任	准教授	金 珠 ＜令和8年4月＞ 博士（日本語・日本文化）
		日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法			日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法
兼任	准教授	中村 久美 ＜令和6年4月＞ Ph.D in Anglo-Irish Literature and Drama （アイルランド）			
		英語1 英語2 多文化理解と言語（英語） 世界の文学1 世界の文学2			
兼任	准教授	吉田 智佳 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）	兼任	教授	吉田 智佳 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）
		英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級			英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級
兼任	准教授	川上 晃司 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	准教授	川上 晃司 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		健康スポーツ科学2 ニュースポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 ニュースポーツ
兼任	准教授	梅崎 さゆり ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	梅崎 さゆり ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割			健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	穴井 隆将 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	兼任	准教授	穴井 隆将 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割			健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割
兼任	准教授	逢田 高正 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	准教授	逢田 高正 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ
兼任	准教授	小畑 治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	兼任	准教授	小畑 治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		健康スポーツ科学1 レクリエーションスポーツ			レクリエーションスポーツ
兼任	講師	深谷 耕治 ＜令和6年4月＞ 修士（社会学） 修士（宗教学）（米國）	兼任	講師	深谷 耕治 ＜令和6年4月＞ 修士（社会学） 修士（宗教学）（米國）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4
兼任	講師	澤井 真 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	澤井 真 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会
兼任	講師	須永 哲思 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）			
		教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 教育史特論			
兼任	講師	小関 康平 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	兼任	講師	小関 康平 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）
		キャリアデザイン1 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2			キャリアデザイン1 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2
兼任	講師	松本 優也 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）※			
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			
兼任	助教	金子 竜大 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	助教	金子 竜大 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼任	教授	森元 伸枝 ＜令和6年4月＞ 修士（経営学）※
					天理大学特別講義7 天理大学特別講義8
			兼任	教授	石井 幸弘 ＜令和6年4月＞ 修士（学術）
					天理大学特別講義3
			兼任	教授	龍木 勉 ＜令和6年4月＞ 文学博士（大韓民國）
					多文化理解と言語（韓国・朝鮮語） ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼担	教授	王 向華 ＜令和6年4月＞ 博士（社会人類学） 日本事情1 日本事情2
			兼担	教授	白石 晃 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 健康スポーツ科学1
			兼担	教授	寺田 和史 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼担	教授	金井 恵理 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 保健医療の仕組みと健康づくり
			兼担	准教授	山本 佳世子 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学） キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 哲学概論1
			兼担	准教授	高地 朋成 ＜令和6年4月＞ 文学博士（大韓民国） 多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）
			兼担	准教授	松山 尚道 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学） 健康スポーツ科学1
			兼担	助教	西田 昂平 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学） 健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	講師	蔡 珮菁 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 多文化理解と言語（中国語）	兼任	講師	蔡 珮菁 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 多文化理解と言語（中国語）
兼任	講師	Zaberezhnaia Olga ＜令和6年4月＞ 博士（文化学）（ロシア） 多文化理解と言語（ロシア語）	兼任	講師	Zaberezhnaia Olga ＜令和6年4月＞ 博士（文化学）（ロシア） 多文化理解と言語（ロシア語）
兼任	講師	今枝 杏子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 中世文学講読1 中世文学講読2 中世文学特論1 中世文学特論2	兼任	講師	今枝 杏子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 中世文学講読1 中世文学講読2 中世文学特論1 中世文学特論2
兼任	講師	金 石哲 ＜令和6年4月＞ 修士（文学） 基礎ゼミナール1 中古文学特論1	兼任	講師	金 石哲 ＜令和6年4月＞ 修士（文学） 基礎ゼミナール1 中古文学特論1
兼任	講師	佐野 秀一 ＜令和8年4月＞ 文学士 国語科指導法3	兼任	講師	佐野 秀一 ＜令和8年4月＞ 文学士 国語科指導法3

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	新田町 義尚 ＜令和7年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	新田町 義尚 ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		国語学特論（言語運用）1 国語学特論（言語運用）2 国語学演習（言語運用）1 国語学演習（言語運用）2			国語学特論（言語運用）1 国語学特論（言語運用）2 国語学演習（言語運用）1 国語学演習（言語運用）2
兼任	講師	浜田 秀 ＜令和6年4月＞ 文学修士※			
		基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 国語学特論（言語構造）1 国語学特論（言語構造）2 国語史1 国語史2 国語学演習（言語構造）1 国語学演習（言語構造）2 実用国語表現 音声言語			
兼任	講師	山本 肇一 ＜令和7年4月＞ 学士（国文学）	兼任	講師	山本 肇一 ＜令和7年4月＞ 学士（国文学）
		書道（書写を中心とする）			書道（書写を中心とする）
兼任	講師	井上 成人 ＜令和6年4月＞ 文学士	兼任	講師	井上 成人 ＜令和6年4月＞ 文学士
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	伊橋 幸江 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	伊橋 幸江 ＜令和7年4月＞ 文学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	上原 道延 ＜令和7年4月＞ 教育学士	兼任	講師	上原 道延 ＜令和7年4月＞ 教育学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	梅田 正之 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	梅田 正之 ＜令和7年4月＞ 文学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	加藤 匡人 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	加藤 匡人 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	澤井 一郎 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	澤井 一郎 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	松山 常教 ＜令和6年4月＞ 学士（宗教学）	兼任	講師	松山 常教 ＜令和6年4月＞ 学士（宗教学）
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	安井 幹直 ＜令和6年4月＞ M.A（文学修士）（米国）	兼任	講師	安井 幹直 ＜令和6年4月＞ M.A（文学修士）（米国）
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	荒田 恵 ＜令和9年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	荒田 恵 ＜令和9年4月＞ 修士（文学）
		博物館実習2			博物館実習2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	乾 誠二 ＜令和9年4月＞ 文学士	兼任	講師	乾 誠二 ＜令和9年4月＞ 文学士
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	齊藤 純 ＜令和9年4月＞ 文学修士※	兼任	講師	齊藤 純 ＜令和9年4月＞ 文学修士※
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	講師	中尾 徳仁 ＜令和9年4月＞ 学士（教育学）	兼任	講師	中尾 徳仁 ＜令和9年4月＞ 学士（教育学）
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	今治 周平 ＜令和6年4月＞ 法務博士	兼任	講師	今治 周平 ＜令和6年4月＞ 法務博士
		民法1 民法2			民法1 民法2
兼任	講師	角 克明 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※	兼任	講師	角 克明 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※
		地理学1 地理学2			地理学1 地理学2
兼任	講師	加藤 康 ＜令和6年4月＞ 修士（商学）※	兼任	講師	加藤 康 ＜令和6年4月＞ 修士（商学）※
		経営学1 経営学2			経営学1 経営学2
兼任	講師	片岡 佐知子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）			
		科学と現代			
兼任	講師	坂手 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	講師	坂手 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		生活の中の科学			生活の中の科学
兼任	講師	鈴木 史子 ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学）※	兼任	講師	鈴木 史子 ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学）※
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	竹村 和也 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）※	兼任	講師	竹村 和也 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）※
		日本国憲法 法学			日本国憲法 法学
兼任	講師	東井 申雄 ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学）	兼任	講師	東井 申雄 ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学）
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	長沢 一恵 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	長沢 一恵 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		基礎からわかるレポート作成 近現代の遺産と未来			基礎からわかるレポート作成 基礎からわかる近代史 近現代の遺産と未来
兼任	講師	中村 珍晴 ＜令和6年4月＞ 博士（スポーツ科学）	兼任	講師	中村 珍晴 ＜令和6年4月＞ 博士（スポーツ科学）
		障害学			障害学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	西 直美 ＜令和6年4月＞ 博士（グローバル社会研究）	兼任	講師	西 直美 ＜令和6年4月＞ 博士（グローバル社会研究）
		基礎からわかるレポート作成 政治学			基礎からわかるレポート作成 政治学
兼任	講師	福島 沢美 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）	兼任	講師	福島 沢美 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）
		日本語A 日本語B			日本語A 日本語B
兼任	講師	藤井 稔 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	藤井 稔 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		基礎からわかるレポート作成			基礎からわかるレポート作成
兼任	講師	三宅 正夫 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	三宅 正夫 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		基礎からわかる数学			基礎からわかる数学
兼任	講師	八木 英治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	兼任	講師	八木 英治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		障害学			障害学
兼任	講師	安田 智博 ＜令和6年4月＞ 学士（文学）	兼任	講師	安田 智博 ＜令和6年4月＞ 学士（文学）
		キャリアプランニング 労働と社会			キャリアプランニング 労働と社会
兼任	講師	吉田 和弘 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）			
		地球環境論			
兼任	講師	持元 江津子 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	兼任	講師	持元 江津子 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		コンピュータ入門			コンピュータ入門
兼任	講師	渡邊 碩 ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）	兼任	講師	渡邊 碩 ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）
		経済学 1 経済学 2			経済学 1 経済学 2
兼任	講師	池田 華子 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）	兼任	講師	池田 華子 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）
		臨床教育学特論			臨床教育学特論
兼任	講師	奥本 武裕 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	奥本 武裕 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		人権と差別 1 人権と差別 2 人権教育論 1 人権教育論 2			人権と差別 1 人権と差別 2 人権教育論 1 人権教育論 2
兼任	講師	金山 佐喜子 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※	兼任	講師	金山 佐喜子 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		特別な支援の必要な生徒の理解			特別な支援の必要な生徒の理解
兼任	講師	北口 学 ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）	兼任	講師	北口 学 ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		人権と差別 1 人権と差別 2 人権教育論 1 人権教育論 2			人権と差別 1 人権と差別 2 人権教育論 1 人権教育論 2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	小島 源一郎 ＜令和8年4月＞ 教育学士	兼任	講師	小島 源一郎 ＜令和8年4月＞ 教育学士
		教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む）			教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む）
兼任	講師	富田 稔 ＜令和6年4月＞ 修士（都市政策）	兼任	講師	富田 稔 ＜令和6年4月＞ 修士（都市政策）
		人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習（中・高） 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習（中・高） 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	松枝 拓生 ＜令和8年4月＞ 博士（教育学）	兼任	講師	松枝 拓生 ＜令和8年4月＞ 博士（教育学）
		道徳の理論及び指導法			道徳の理論及び指導法
兼任	講師	犬飼 誠 ＜令和6年4月＞ 文学士	兼任	講師	犬飼 誠 ＜令和6年4月＞ 文学士
		矯正概論 矯正保護教育（施設参観を含む）			矯正概論 矯正保護教育（施設参観を含む）
兼任	講師	高橋 秀紀 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	高橋 秀紀 ＜令和7年4月＞ 文学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	中村 寛子 ＜令和6年4月＞ 学術修士※	兼任	講師	中村 寛子 ＜令和6年4月＞ 学術修士※
		更生保護概論			更生保護概論
兼任	講師	北條 正崇 ＜令和7年4月＞ 学士（法学）	兼任	講師	北條 正崇 ＜令和7年4月＞ 学士（法学）
		犯罪被害者支援論			犯罪被害者支援論
兼任	講師	山本 道次 ＜令和7年4月＞ 体育学士	兼任	講師	山本 道次 ＜令和7年4月＞ 体育学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	佐藤 敏江 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	佐藤 敏江 ＜令和7年4月＞ 文学士
		児童・YAサービス論			児童・YAサービス論
兼任	講師	鈴木 陽二 ＜令和6年4月＞ 文学修士（韓国）	兼任	講師	鈴木 陽二 ＜令和6年4月＞ 文学修士（韓国）
		韓国・朝鮮語1 韓国・朝鮮語2			韓国・朝鮮語1 韓国・朝鮮語2
兼任	講師	吉川 万寿彦 ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	講師	吉川 万寿彦 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）			多文化理解と言語（韓国・朝鮮語） ※
兼任	講師	乾 拓也 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	乾 拓也 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	鈴島 梓 ＜令和6年4月＞ 博士（英文学）	兼任	講師	鈴島 梓 ＜令和6年4月＞ 博士（英文学）
		英語1 英語2			英語1 英語2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	日沖 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（宗教美術）（米園）	兼任	講師	日沖 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（宗教美術）（米園）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	山下 大輔 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	山下 大輔 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		多文化理解と言語（ドイツ語）			多文化理解と言語（ドイツ語）
兼任	講師	石田 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）※	兼任	講師	石田 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	荻野 綾 ＜令和6年4月＞ 修士（外国語教育学）	兼任	講師	荻野 綾 ＜令和6年4月＞ 修士（外国語教育学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	家村 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）	兼任	講師	家村 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）
		教養アカデミック英語 1 教養アカデミック英語 2 実践アカデミック英語 2			教養アカデミック英語 1 教養アカデミック英語 2 実践アカデミック英語 2
兼任	講師	小林 和代 ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	講師	小林 和代 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		中国語 1 中国語 2			中国語 1 中国語 2
兼任	講師	後藤 朗子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	後藤 朗子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	内藤 貴夫 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	内藤 貴夫 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	野田 智子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	野田 智子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	疋田 隆康 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	疋田 隆康 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	山川 仁 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）	兼任	講師	山川 仁 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	山口 徳一 ＜令和6年4月＞ 修士（英文学）※	兼任	講師	山口 徳一 ＜令和6年4月＞ 修士（英文学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2 世界の文学 1 世界の文学 2
兼任	講師	山村 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）	兼任	講師	山村 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2

専任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	坂井 隆秀 ＜令和6年4月＞ 体育学士	兼任	講師	坂井 隆秀 ＜令和6年4月＞ 体育学士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	講師	山田 貞子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士	兼任	講師	山田 貞子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーションスポーツ ニューススポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーションスポーツ ニューススポーツ
					磯部 敦 ＜令和8年4月＞ 博士（文学）
					国文学演習（近代）1 国文学演習（近代）2
					鹿谷 昭宏 ＜令和7年4月＞ 博士（国文学）
					近代文学特論1 近代文学特論2 近代文学史1 近代文学史2
			兼任	講師	北川（吉井）扶生子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
					近代文学講義1 近代文学講義2 卒業論文演習
			兼任	講師	森田 実 ＜令和6年4月＞ 学士（法学）
					天理大学特別講義6 天理大学特別講義6
			兼任	講師	片山 雅男 ＜令和6年4月＞ 理学修士
					地球環境論
			兼任	講師	金岡 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
					キャリアプランニング
			兼任	講師	稲田 徹 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
					哲学概論2
			兼任	講師	細谷 祐司 ＜令和6年4月＞ 学士（理学）
					科学と現代
			兼任	講師	須永 智恵 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）
					教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 教育史特論
			兼任	講師	芳賀 達彦 ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学）
					社会学

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

・北川扶生子（専任）教授を辞退し（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「近代文学特論1」「近代文学特論2」「近代文学史1」「近代文学史2」「国文学演習（近代）1」「国文学演習（近代）2」「文章表現1」「文章表現2」8科目削除
・鳥谷善史（専任）准教授から（専任）教授に職位変更
・蜂矢真弓（専任）准教授として就任。担当科目の見直しにより「基礎ゼミナール2」「国語学特論（言語構造）1」「国語学特論（言語構造）2」「国語史1」「国語史2」「国語学演習（言語構造）1」「国語学演習（言語構造）2」「実用国語表現」「音声言語」「文章表現1」「文章表現2」11科目追加
・上田喜彦（兼任）教授 担当科目の見直しにより「天理大学特別講義3」1科目削除
・岡田龍樹（兼任）教授を辞退
・奥田真紀子（兼任）教授を辞退
・黒岩康博（兼任）准教授を辞退
・箱田徹（兼任）准教授を辞退し（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎からわかる現代社会」「社会学」「哲学概論1」4科目削除
・中村久美（兼任）准教授を辞退
・吉田智佳（兼任）准教授から（兼任）教授に職位変更
・川上晃司（兼任）准教授 担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加
・穴井隆将（兼任）准教授 担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目削除
・小畑治（兼任）准教授 担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目削除
・澤井真（兼任）講師から（兼任）准教授に職位変更
・須永哲思（兼任）准教授を辞退し（兼任）講師として就任。
・小関康平（兼任）講師 担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎からわかるレポート作成」2科目追加
・松本優也（兼任）講師を辞退
・森元伸枝（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」2科目追加
・石井孝弘（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「天理大学特別講義3」1科目追加
・熊木 勉（兼任）教授として就任。 担当科目の見直しにより「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」1科目追加
・王向華（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「日本事情1」「日本事情2」2科目追加
・白石晃（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加
・寺田和史（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加
・金井恵理（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「保健医療の仕組みと健康づくり」1科目追加
・山本佳世子（兼任）准教授として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎からわかる現代社会」「哲学概論1」3科目追加
・高地 朋成（兼任）准教授として就任。 担当科目の見直しにより「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」1科目追加
・松山尚道（兼任）准教授として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加
・西田昂平（兼任）助教として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加
・浜田秀（兼任）講師を辞退
・片岡佐和子（兼任）講師を辞退
・長沢一恵（兼任）講師 担当科目の見直しにより「基礎からわかる近代史」1科目追加
・吉田和弘（兼任）講師を辞退
・吉川万寿彦（兼任）講師 担当科目の見直しにより「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」をオムニバスに変更
・山口徳一（兼任）講師 担当科目の見直しにより「世界の文学1」「世界の文学2」2科目追加
・磯部敦（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「国文学演習（近代）1」「国文学演習（近代）2」2科目追加
・熊谷昭宏（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「近代文学特論1」「近代文学特論2」「近代文学史1」「近代文学史2」4科目追加
・森田実（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」2科目追加
・片山雅男（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「地球環境論」1科目追加
・金岡直子（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」1科目追加
・細谷祐司（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「科学と現代」1科目追加
・芳賀達彦（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「社会学」1科目追加
・北岡一弘（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「英語1」「英語2」「多文化理解と言語（英語）」3科目追加
・村田恵子（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「英語1」「英語2」2科目追加
・山本樹（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**。
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) - ② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
5	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
3	1	1	0	5	0	3	1	1	0	5	0
(3)	(1)	(1)	(0)	(5)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
3	1	1	0	5	0	3	1	1	0	5	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{5}{5} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	北川 扶生子	R6.4	選択	近代文学講読 1	②	R6.4一身上の都合のため就任辞退（6）
				選択	近代文学講読 2	②	
				選択	近代文学特論 1	②	
				選択	近代文学特論 2	②	
				選択	近代文学史 1	②	
				選択	近代文学史 2	②	
				選択	国文学演習（近代）1	②	
				選択	国文学演習（近代）2	②	
				選択	文章表現 1	①	
				選択	文章表現 2	①	
				必修	卒業論文演習	②	
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	2	科目
						計	9
						科目	0

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
- 就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」

・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」

・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	該当なし						
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）	
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目
						計	0
						科目	0

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」

・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」

・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）			
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	2	科目
						計	9
						科目	0

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{1}{5} = 20\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「近代文学講読1」「近代文学講読2」「卒業論文演習」については当該教員が兼任講師として担当する。
 「文章表現1」「文章表現2」は、他の専任教員が担当し、「近代文学特論1」「近代文学特論2」「近代文学史1」「近代文学史2」「国文学演習（近代）」「国文学演習（近代）1」「国文学演習（近代）2」は、兼任講師が担当する。
 令和6年度より国文学国語学科において、専任教員を1名採用した。また、令和7年度には後任の専任教員採用人事を予定しており、教育研究活動に支障が生じないよう配慮している。
 なお、学生に対してはシラバス、時間割表等で周知を行った。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時 (令和5年)	人間学部宗教学科の収容定員未充足の是正に努めること	人間学部宗教学科の収容定員未充足を改善すべく改編を行った。人間学部宗教学科は令和6年4月より学生募集を停止し、入学定員を40名から20名に削減した。人間学部宗教学科を設置した。ただし、改編初年度となる令和6年度の人間学部宗教学科の入学人数は9名(収容定員充足率45%)となり、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。
届出時 (令和5年)	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足の是正に努めること	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足を改善すべく、外国語学科の韓国・朝鮮語専攻、中国語専攻、英米語専攻、スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻の各専攻と地域文化学科を国際学部韓国・朝鮮語学科、中国語学科、英米語学科、外国語学科、国際文化学科、日本学科に改編した。外国語学科の各専攻と地域文化学科は令和6年4月より学生募集を停止し、国際学部全体の入学定員を360名から290名に削減した。ただし、改編初年度となる令和6年度の国際学部各学科の入学人数は韓国・朝鮮語学科24名(収容定員充足率60%)、中国語学科11名(同27%)、英米語学科35名(同58%)、外国語学科13名(同56%)、国際文化学科50名(同100%)、日本学科21名(同52%)となった。国際文化学科を除く5学科は、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜人文学部 国文学国語学科＞

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成17年4月に天理大学FD委員会が設置された。同委員会は、令和6年4月より天理大学全学教育推進会議（専門委員会）に引き継がれ、審議等を行っている。同会議には委員として、学部長及び学科主任、もしくは学科の専任教員が出席している【資料】。

FD委員会とは異なる形だが、平成29年度よりスタッフ・ディベロップメントが義務化されたことに伴い、「天理大学SDの実施方針」および「SDの実施計画」を定め、担当部署が研修を企画実施している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

全学教育推進会議は、本学の教学マネジメントを担う会議体として、基本的に毎月1回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席している。

FD委員会は、令和5年度は6回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席していた。

SDに関する委員会は設置されていない。

c 委員会の審議事項等

FDに関することは全学教育推進会議で諮られている。

- （１）教育の計画、内容、方法及び評価・改善に関すること。
- （２）教育課程の編成に関すること。
- （３）単位の認定に関すること。
- （４）FD活動に関すること。
- （５）教員養成教育及び資格課程に関すること。
- （６）その他全学の教育推進に関すること。

SDの研修等に関しては、事務局の部長連絡会で調整され実施をしている。

② 実施状況

a 実施内容（令和5年度）

＜FD＞

- FD研修会 ○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク） ○学生による授業評価アンケート
- ティーチング・ポートフォリオ ○学外研修会等参加

＜SD＞

- SD研修会

b 実施方法

＜FD＞

- FD研修会
各学部・研究科単位で研修会を実施し、専任教員は全員参加（欠席者に対しては事後研修）。各学部・研究科が独自に設定したテーマで研修を行う。
- FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）
専任教員は、毎年度定められた期間内に1科目以上の授業の公開と1科目以上の参観を義務づけて実施。また、参観後は教員個人が報告書を学内グループウェアの専用ファイルに記載し公開しており、教員相互の授業改善に活用する。
- 学生による授業評価アンケート
年2回、学期（春期と秋期）末に、学生による授業評価アンケートを実施。
- ティーチング・ポートフォリオ
各教員が個別に研究・習得した教授法に関する知識・情報を全学的に共有し、それぞれの授業改善および教育内容の充実役に役立てる意図のもと令和3年度より導入。学内のグループウェアを使用しアップロードや閲覧可能なシステムを構築している。
- 学外研修会等参加
本学が加盟する日本私立大学連盟が主催するFD推進ワークショップの案内や関西地区FD連絡協議会が主催する各種研修会の案内を随時行い希望者が参加する。
- FD活動報告書
FD活動を体系的に整理し、報告書を作成。

<SD>

○SD研修会

全体研修として、外部団体より講師を招き全教職員を対象に研修会を開催。
職階別研修として、日本私立大学連盟などが実施している研修などの情報を提供し、職階に応じた教職員が各研修会に参加。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<FD>

○FD研修会 ※令和5年度

・各学部（5学部）で各テーマを設定し実施。教員は全員参加（事後研修含む）。

○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）※令和5年度

・実施期間：令和5年10月10日（火）～令和6年1月31日（水）
・公開科目：194科目（参観のあった科目：109科目）参観した教職員：165人

○学生による授業評価アンケート※令和5年度

・各学期（春学期・秋学期）の履修登録者5名以上の全学部の全授業科目対象（非常勤講師含む）に実施。

○ティーチング・ポートフォリオ（令和3年度～令和5年度）

・各教員が学内グループウェアに年度・学期・学部毎に掲載する形式で実施。

○学外研修会等参加（令和3年度～令和5年度）

・希望者が日本私立大学連盟主催のFD推進ワークショップ（新任教員向け）に参加。

○FD活動報告書

・毎年作成し公表。

<SD>

○SD研修会 ※令和5年度

・業務領域の知見の獲得を目的とする内容

学外から講師を招いてのSD講演会

「志願者獲得に向けた昨年度入試にかかる分析結果について」

（令和5年7月26日開催＋録画視聴：参加者367名のうち、教員の参加者169名）

・学生の厚生補導に関する内容

学生相談委員会、人権教育推進会議共催による学内研修会

「学校における労働安全衛生管理の観点からの適切な職場環境づくり

—労働安全衛生法と教職員の健康管理—」

令和5年12月1日～令和6年3月31日（動画視聴：参加者数不明）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD、SDの取り組みを大学全体で組織的に継続していくことで、授業改善は着実に進んでいる。
令和6年度も同様に実施し、授業の質の担保・向上に努めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況（令和5年度）

a 実施の有無及び実施時期

年2回各学期末にWebにより実施。

春学期：令和5年7月10日～8月2日 秋学期：令和6年1月11日～2月7日

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は個人の集計結果を通知。また、教員、学生は全体の集計結果の情報を本学のホームページで閲覧できる。併せて、「FD活動報告書」（毎年度作成）の中で全体の集計結果の情報を掲載している（教員は配付、学生は図書館他で閲覧可能）。

以上の活動を通じて、教員の資質の維持向上を図っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人文学部国文学国語学科は、既設の文学部国文学国語学科を改編し、令和6年に開設した。
教育研究上の目的として、「国文学ならびに国語学の知識を基礎から高度な専門領域まで段階的・組織的に修得し、文学作品や言語資料の考察を通して日本の文化を幅広く理解するとともに、国際社会のなかでみずからの知見を主体的に発信できる人材を養成する」と掲げ、教育・研究活動に取り組んでいる。
授業計画については、1名の専任教授の一身上の都合による就任辞退と兼任及び兼任教員の未就任により、一部の科目において担当者の変更が生じたが、概ね当初の計画通りに授業科目を開講している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年4月公表

b 公表方法

・自己点検・報告書を大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和4年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の大学評価（認証評価）を受審し、大学基準に適合していると認定された。

今回は令和11年に大学基準協会の大学評価（認証評価）の受審を予定している。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。

対象校No. 967
注4

学校コード F129310109266
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部設置
注1

届出

注2
天理大学 人文学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人天理大学
令和6年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

人文学部

＜歴史文化学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	35
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人天理大学

(2) 大 学 名

天理大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒632-8510
奈良県天理市杣之内町1050番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フカヤ ヨシタロウ) 深谷 善太郎 (平成28年3月)		
学 長	(ナガオ ヒナオ) 永尾 比奈夫 (令和5年4月)		
学 部 長	(ヤマナカ ヒデオ) 山中 秀夫 (令和6年4月)		
学科長等	(ハシモト ヒデマサ) 橋本 英将 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
- (例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文学部 歴史文化学科 学士(歴史文化学)	文学関係	4年	50人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	200人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 50 () []					
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	85 () []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	85 () []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	69 () []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	34 () []					
入学定員超過率 B/A	—		—		—		—		—		0.68					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	34 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	34 [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入**してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	34 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{34} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人文学部 歴史文化学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合 教育 科目	天理 スピリット 科目群	天理教概説1	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教概説2	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教学1	2-3-4期		2							兼3
		天理教学2	2-3-4期		2							兼3
		建学の精神と天理大学のあゆみ	2前期	2								兼5
		英語1	1-2-3-4期	1								兼15
		英語2	1-2-3-4期	1								兼15
		韓国・朝鮮語1	1-2-3-4期		1							兼1
		韓国・朝鮮語2	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語1	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語2	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼2
		アカデミック英語上級	1-2-3-4期		1							兼1
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情1	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情2	1-2-3-4期		2							兼1
		健康スポーツ科学1	1-2-3-4期		2							兼8
		健康スポーツ科学2	1-2-3-4期		2							兼6
		国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4期		2							兼2
		保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4期		2							兼1
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4期		1							兼3
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4期		1							兼3
		国際協力入門	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力実習	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力演習1	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力演習2	1-2-3-4期		2							兼1
		国際ボランティア論	2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義1	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義2	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義3	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義4	1-2-3-4期		2							兼1
		天理異文化伝道	2-3-4期		2							兼1
	小計(45科目)	—	8	69	0	0	0	0	0	0	兼55	
キ ャ リ ア 教 育 科 目 群	キャリアプランニング	1-2-3期		2							兼3	
	キャリアデザイン1	2-3-4期		2							兼1	
	キャリアデザイン2	2-3-4期		2							兼1	
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1	

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手
総合教育科目	天理スピリット科目群	天理教概説1	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教概説2	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教学1	2-3-4期		2							兼3
		天理教学2	2-3-4期		2							兼3
		建学の精神と天理大学のあゆみ	2期	2								兼5
		英語1	1-2-3-4期	1								兼16
		英語2	1-2-3-4期	1								兼16
		韓国・朝鮮語1	1-2-3-4期		1							兼1
		韓国・朝鮮語2	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語1	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語2	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼2
		アカデミック英語上級	1-2-3-4期		1							兼1
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4期		2							兼2
		多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情1	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情2	1-2-3-4期		2							兼1
		健康スポーツ科学1	1-2-3-4期		2							兼11
		健康スポーツ科学2	1-2-3-4期		2							兼8
		国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4期		2							兼2
		保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4期		2							兼1
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4期		1							兼3
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4期		1							兼3
		国際協力入門	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力実習	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力演習1(未開講)	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力演習2	1-2-3-4期		2							兼1
		国際ボランティア論	2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義1	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義2	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義3	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義4	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義5	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義6	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義7	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義8	1-2-3-4期		2							兼1
		天理異文化伝道	2-3-4期		2							兼1
	小計(49科目)	—	8	77	0	0	0	0	0	0	兼63	
キャリア教育科目群	キャリアプランニング	1-2-3期		2							兼5	
	キャリアデザイン1	2-3-4期		2							兼1	
	キャリアデザイン2	2-3-4期		2							兼1	
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合教育科目	キャリア教育科目群	インターンシップ2	1・2・3通		2								兼1
		海外インターンシップ1	2・3・4通		1								兼1
		海外インターンシップ2	2・3・4通		2								兼1
		小計(7科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0		兼6
	基礎リテラシー科目群	基礎ゼミナール1	1前	2			1		1				
		基礎ゼミナール2	1後		2		2						
		データサイエンス・AI入門	1前後		2								兼2
		データサイエンス・AI応用	2・3・4前後		2								兼1
		データリテラシー	2・3・4前後		2								兼1
		コンピュータ入門	1・2・3・4前後		2								兼2
		情報処理	2・3・4前後		2								兼1
		基礎からわかるレポート作成	1・2・3・4前後		2								兼4
		基礎からわかる近代史	1・2・3・4前後		2			1					
		基礎からわかる現代社会	1・2・3・4前後		2								兼1
		基礎からわかる数学	1・2・3・4前後		2								兼1
		基礎からわかる生物・化学	1・2・3・4前後		2								兼1
	小計(12科目)	—	2	22	0	2	1	1	0	0		兼10	
	一般教養教育科目群	生活の中の科学	1・2・3・4前後		2								兼1
		地球環境論	1・2・3・4前後		2								兼1
		科学と現代	1・2・3・4前後		2								兼1
		数学と論理	1・2・3・4前後		2								兼1
		統計学1	1・2・3・4前		2								兼1
		統計学2	1・2・3・4前		2								兼1
		経営学1	1・2・3・4前		2								兼1
		経営学2	1・2・3・4前		2								兼1
		地理学1	1・2・3・4前		2								兼1
		地理学2	1・2・3・4前		2								兼1
		日本国憲法	1・2・3・4前		2								兼2
		法学	1・2・3・4前		2								兼2
		経済学1	1・2・3・4前		2								兼1
		経済学2	1・2・3・4前		2								兼1
		政治学	1・2・3・4前後		2								兼1
		社会学	1・2・3・4前後		2								兼1
		民法1	1・2・3・4前		2								兼1
		民法2	1・2・3・4前		2								兼1
		行政法1	1・2・3・4前		2								兼1
		行政法2	1・2・3・4前		2								兼1
		哲学概論1	1・2・3・4前		2								兼2
		哲学概論2	1・2・3・4前		2								兼2
		倫理学1	1・2・3・4前後		2								兼1
倫理学2		1・2・3・4前		2								兼1	
心理学1		1・2・3・4前		2								兼2	
心理学2		1・2・3・4前		2								兼2	
ジェンダー・セクシャリティ		1・2・3・4前後		2								兼1	
近現代の遺産と未来		1・2・3・4前後		2								兼1	
宗教と芸能		1・2・3・4前		2			1						
労働と社会		1・2・3・4前後		2								兼1	
障害学		1・2・3・4前後		2								兼2	
世界の文学1		1・2・3・4前		2								兼1	
世界の文学2		1・2・3・4前		2								兼1	
カルチュラルスタディーズ		1・2・3・4前後		2								兼1	
宗教と現代社会		1・2・3・4前後		2								兼1	
人権と差別1		1・2・3・4前		2								兼3	
人権と差別2	1・2・3・4前		2								兼3		
日本手話A	1・2・3・4前後		2								兼1		
日本手話B	1・2・3・4前		2								兼1		
アウトドアスポーツ	1・2・3・4通		1								兼1		
レクリエーションスポーツ	2・3・4前		1								兼1		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合教育科目	キャリア教育科目群	インターンシップ2	1-2-3通		2								兼1
		海外インターンシップ1	2-3-4通		1								兼1
		海外インターンシップ2	2-3-4通		2								兼1
		小計(7科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0		兼7
	基礎リテラシー科目群	基礎ゼミナール1	1前	2			1		1				
		基礎ゼミナール2	1後		2		2						
		データサイエンス・AI入門	1前後		2								兼2
		データサイエンス・AI応用	2-3-4前第		2								兼1
		データリテラシー	2-3-4前第		2								兼1
		コンピュータ入門	1-2-3-4前第		2								兼2
		情報処理	2-3-4前第		2								兼1
		基礎からわかるレポート作成	1-2-3-4前第		2								兼5
		基礎からわかる近代史	1-2-3-4前第		2								兼1
		基礎からわかる現代社会	1-2-3-4前第		2								兼1
	基礎からわかる数学	1-2-3-4前第		2								兼1	
	基礎からわかる生物・化学	1-2-3-4前第		2								兼1	
	小計(12科目)	—	2	22	0	2	0	1	0	0		兼11	
	一般教養教育科目群	生活の中の科学	1-2-3-4前第		2								兼1
		地球環境論	1-2-3-4前第		2								兼1
		科学と現代	1-2-3-4前第		2								兼1
		数学と論理	1-2-3-4前第		2								兼1
		統計学1	1-2-3-4前		2								兼1
		統計学2	1-2-3-4前		2								兼1
		経営学1	1-2-3-4前		2								兼1
		経営学2	1-2-3-4前		2								兼1
		地理学1	1-2-3-4前		2								兼1
		地理学2	1-2-3-4前		2								兼1
		日本国憲法	1-2-3-4前		2								兼2
		法学	1-2-3-4前		2								兼2
		経済学1	1-2-3-4前		2								兼1
		経済学2	1-2-3-4前		2								兼1
		政治学	1-2-3-4前第		2								兼1
		社会学	1-2-3-4前第		2								兼1
		民法1	1-2-3-4前		2								兼1
		民法2	1-2-3-4前		2								兼1
		行政法1	1-2-3-4前		2								兼1
		行政法2	1-2-3-4前		2								兼1
		哲学概論1	1-2-3-4前		2								兼2
		哲学概論2	1-2-3-4前		2								兼2
		倫理学1	1-2-3-4前第		2								兼1
		倫理学2	1-2-3-4前		2								兼1
		心理学1	1-2-3-4前		2								兼2
		心理学2	1-2-3-4前		2								兼2
		ジェンダー・セクシャリティ	1-2-3-4前第		2								兼1
		近現代の遺産と未来	1-2-3-4前第		2								兼1
		宗教と芸能	1-2-3-4前		2			1					
労働と社会		1-2-3-4前第		2								兼1	
障害学		1-2-3-4前第		2								兼2	
世界の文学1		1-2-3-4前		2								兼1	
世界の文学2		1-2-3-4前		2								兼1	
カルチュラルスタディーズ		1-2-3-4前第		2								兼1	
宗教と現代社会	1-2-3-4前第		2								兼1		
人権と差別1	1-2-3-4前		2								兼3		
人権と差別2	1-2-3-4前		2								兼3		
日本手話A	1-2-3-4前第		2								兼1		
日本手話B	1-2-3-4前		2								兼1		
アウトドアスポーツ	1-2-3-4通		1								兼1		
レクリエーションスポーツ	2-3-4前		1								兼2		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 教育 科目		ニュースポーツ	2・3・4前		1							兼2
		小計(42科目)	—	0	81	0	1	0	0	0	0	兼31
		合計(106科目)	—	10	184	0	2	1	1	0	0	兼84
歴史学 化学 科 専 攻 科 目		歴史学概論	1前	2			1					
		考古学概論	1前	2			1					
		民俗学概論	1前	2					1			
		歴史文化基礎演習	1後	2			1	1	1			
		日本史要説	1後		2		1					
		東洋史要説	1後		2							兼1
		西洋史要説	1後		2							兼1
		日本考古学要説	1後		2		1					
		日本民俗学要説	1後		2				1			
		くずし字入門	1後		2		1					
		人文地理学概論	1・2前		2							兼1
		自然地理学概論	1・2前		2							兼1
		地誌	1・2前		2							兼1
		美術史	1・2前		2							兼1
		文化財行政学	2・3前	2			1					
		文化財科学・保存科学	2・3後		2		1					
		大和の文化遺産を学ぶ1	2・3前		2		1					
		大和の文化遺産を学ぶ2	2・3後		2							兼1
		大和の文化遺産を学ぶ3	2・3後		2		1					
		博物館学概論	2・3後		2							兼1
		博物館経営総論	2・3後		2							兼1
		博物館教育論	2・3前		2							兼1
		博物館情報・メディア論	2・3後		2		1					
		博物館展示論	3・4後		2		1					
		博物館資料論	3・4前		2		1					
		博物館資料保存論	3・4前		2		1					
		社会科指導法1	3前		2							兼1
		社会科指導法2	3前		2							兼1
		社会・地理歴史科指導法1	3後		2							兼1
		社会・地理歴史科指導法2	3後		2							兼1
		英語文献講読1	3前		2		1					
		英語文献講読2	3後		2		1					
		卒業論文	4通	6			1					
		小計(33科目)	—	16	54	0	5	1	1	0	0	兼9
歴史学 コ ー ス 科 目		歴史学研究入門1	2前		2			1				
		歴史学研究入門2	2後		2		1					
		文化交流史の研究1	2・3前		2							兼1
		文化交流史の研究2	2・3後		2							兼1
		日本古代史の研究	2・3前		2							兼1
		日本中世史の研究	2・3前		2		1					
		日本近世史の研究	2・3後		2		1					
		日本近代史の研究	2・3前		2			1				
		東アジア史の研究	2・3後		2							兼1
		古文書学	2・3後		2		1					
		日本古代史料の講読1	2・3前		2							兼1
		日本古代史料の講読2	2・3後		2							兼1
		日本中世史料の講読1	2・3前		2		1					
		日本中世史料の講読2	2・3後		2		1					
		日本近世史料の講読1	2・3前		2		1					
		日本近世史料の講読2	2・3後		2		1					
		日本近代史料の講読1	2・3前		2			1				
		日本近代史料の講読2	2・3後		2			1				
		歴史学史料実習1	2前		1		1					
		歴史学史料実習2	2後		1			1				
		歴史学史料実習3	3前		1		2	1				

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 教育 科目		ニュースポーツ	2・3・4前		1							兼2
		小計(42科目)	—	0	81	0	1	0	0	0	0	兼33
		合計(110科目)	—	10	192	0	2	0	1	0	0	兼96
歴史学 化学 科 専 攻 科 目		歴史学概論	1前	2			1					
		考古学概論	1前	2			1					
		民俗学概論	1前	2					1			
		歴史文化基礎演習	1後	2			1	1	1			
		日本史要説	1後		2		1					兼1
		東洋史要説	1後		2							兼1
		西洋史要説	1後		2							
		日本考古学要説	1後		2		1					
		日本民俗学要説	1後		2				1			
		くずし字入門	1後		2		1					
		人文地理学概論	1・2前		2							兼1
		自然地理学概論	1・2前		2							兼1
		地誌	1・2前		2							兼1
		美術史	1・2前		2							兼1
		文化財行政学	2・3前	2			1					
		文化財科学・保存科学	2・3後		2		1					
		大和の文化遺産を学ぶ1	2・3前		2		1					
		大和の文化遺産を学ぶ2	2・3後		2							兼1
		大和の文化遺産を学ぶ3	2・3後		2		1					
		博物館学概論	2・3後		2							兼1
		博物館経営総論	2・3後		2							兼1
		博物館教育論	2・3前		2							兼1
		博物館情報・メディア論	2・3後		2		1					
		博物館展示論	3・4後		2		1					
		博物館資料論	3・4前		2		1					
		博物館資料保存論	3・4前		2		1					
		社会科指導法1	3前		2							兼1
		社会科指導法2	3前		2							兼1
		社会・地理歴史科指導法1	3後		2							兼1
		社会・地理歴史科指導法2	3後		2							兼1
		英語文献講読1	3前		2		1					
		英語文献講読2	3後		2		1					
		卒業論文	4通	6			1					
		小計(33科目)	—	16	54	0	5	1	1	0	0	兼9
歴史学 コ ー ス 科 目		歴史学研究入門1	2前		2			1				
		歴史学研究入門2	2後		2		1					
		文化交流史の研究1	2・3前		2							兼1
		文化交流史の研究2	2・3後		2							兼1
		日本古代史の研究	2・3前		2							兼1
		日本中世史の研究	2・3前		2		1					
		日本近世史の研究	2・3後		2		1					
		日本近代史の研究	2・3前		2			1				
		東アジア史の研究	2・3後		2							兼1
		古文書学	2・3後		2		1					
		日本古代史料の講読1	2・3前		2							兼1
		日本古代史料の講読2	2・3後		2							兼1
		日本中世史料の講読1	2・3前		2		1					
		日本中世史料の講読2	2・3後		2		1					
		日本近世史料の講読1	2・3前		2		1					
		日本近世史料の講読2	2・3後		2		1					
		日本近代史料の講読1	2・3前		2			1				
		日本近代史料の講読2	2・3後		2			1				
		歴史学史料実習1	2前		1		1					
		歴史学史料実習2	2後		1			1				
		歴史学史料実習3	3前		1		2	1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
歴史学 コース科目	歴史学史料実習4	3後		1		2	1				
	日本古代中世史演習1	3・4前		2							
	日本古代中世史演習2	3・4後		2							
	日本古代中世史演習3	3・4前		2		1					
	日本古代中世史演習4	3・4後		2		1					
	日本近世史演習1	3・4前		2							
	日本近世史演習2	3・4後		2							
	日本近世史演習3	3・4前		2		1					
	日本近世史演習4	3・4後		2		1					
	日本近代史演習1	3・4前		2							
	日本近代史演習2	3・4後		2							
	日本近代史演習3	3・4前		2			1				
	日本近代史演習4	3・4後		2			1				
	小計(34科目)	—	0	64	0	2	1	0	0	0	兼3
考古学 コース科目	考古学研究入門1	2前		2		1					
	考古学研究入門2	2後		2		1					
	旧石器・縄文時代の考古学	2・3後		2							兼1
	弥生時代の考古学	2・3前		2		1					
	古墳時代の考古学	2・3後		2		1					
	飛鳥・奈良時代の考古学	2・3前		2		1					
	中近世の考古学	2・3前		2							兼1
	東アジア考古学	2・3前		2		1					
	西アジア考古学	2・3後		2		1					
	遺跡探査学	2・3後		2							兼1
	遺跡の保存と活用	3・4後		2		1					
	考古資料の情報化	3・4前		2		1					
	考古学実習1	2・3前		1		2					
	考古学実習2	2・3後		1		2					
	考古学実習3	2・3休		1		3					
	考古学実習4	3休		1		1					
	先史考古学演習1	3・4前		2							
	先史考古学演習2	3・4後		2							
	先史考古学演習3	3・4前		2		1					
	先史考古学演習4	3・4後		2		1					
	原史考古学演習1	3・4前		2							
	原史考古学演習2	3・4後		2							
	原史考古学演習3	3・4前		2		1					
	原史考古学演習4	3・4後		2		1					
	歴史考古学演習1	3・4前		2							
	歴史考古学演習2	3・4後		2							
	歴史考古学演習3	3・4前		2		1					
	歴史考古学演習4	3・4後		2		1					
	小計(28科目)	—	0	52	0	3	0	0	0	0	兼3
民俗学 コース科目	民俗学研究入門1	2前		2							兼1
	民俗学研究入門2	2後		2				1			
	民俗学と現代社会	2・3前		2				1			
	生活文化史	2・3前		2							兼1
	フィールドワークからみる民俗文化	2・3前		2				1			
	民話と伝承	2・3後		2							兼1
	宗教民俗学	2・3前		2							兼1
	民俗資料論	2・3後		2							兼1
	民俗学実習1	2・3前		1				1			兼1
	民俗学実習2	2・3後		1				1			兼1
	民俗学実習3	2・3休		1				1			兼1
	民俗学実習4	3休		1							兼1
	歴史民俗学演習1	3・4前		2							
	歴史民俗学演習2	3・4後		2							
	歴史民俗学演習3	3・4前		2							
	歴史民俗学演習4	3・4後		2							
	小計(17科目)	—	0	32	0	0	0	0	0	0	兼3

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
歴史学 コース科目	歴史学史料実習4	3後		1			2	1			
	日本古代中世史演習1	3・4前		2							
	日本古代中世史演習2	3・4後		2							
	日本古代中世史演習3	3・4前		2		1					
	日本古代中世史演習4	3・4後		2		1					
	日本近世史演習1	3・4前		2							
	日本近世史演習2	3・4後		2							
	日本近世史演習3	3・4前		2		1					
	日本近世史演習4	3・4後		2		1					
	日本近代史演習1	3・4前		2							
	日本近代史演習2	3・4後		2							
	日本近代史演習3	3・4前		2			1				
	日本近代史演習4	3・4後		2			1				
	小計(34科目)	—	0	64	0	2	1	0	0	0	兼3
考古学 コース科目	考古学研究入門1	2前		2		1					
	考古学研究入門2	2後		2		1					
	旧石器・縄文時代の考古学	2・3後		2							兼1
	弥生時代の考古学	2・3前		2		1					
	古墳時代の考古学	2・3後		2		1					
	飛鳥・奈良時代の考古学	2・3前		2		1					
	中近世の考古学	2・3前		2							兼1
	東アジア考古学	2・3前		2		1					
	西アジア考古学	2・3後		2		1					
	遺跡探査学	2・3後		2							兼1
	遺跡の保存と活用	3・4後		2		1					
	考古資料の情報化	3・4前		2		1					
	考古学実習1	2・3前		1		2					
	考古学実習2	2・3後		1		2					
	考古学実習3	2・3休		1		3					
	考古学実習4	3休		1		1					
	先史考古学演習1	3・4前		2							
	先史考古学演習2	3・4後		2							
	先史考古学演習3	3・4前		2		1					
	先史考古学演習4	3・4後		2		1					
	原史考古学演習1	3・4前		2							
	原史考古学演習2	3・4後		2							
	原史考古学演習3	3・4前		2		1					
	原史考古学演習4	3・4後		2		1					
	歴史考古学演習1	3・4前		2							
	歴史考古学演習2	3・4後		2							
	歴史考古学演習3	3・4前		2		1					
	歴史考古学演習4	3・4後		2		1					
	小計(28科目)	—	0	52	0	3	0	0	0	0	兼3
民俗学 コース科目	民俗学研究入門1	2前		2							兼1
	民俗学研究入門2	2後		2					1		
	民俗学と現代社会	2・3前		2					1		
	生活文化史	2・3前		2							兼1
	フィールドワークからみる民俗文化	2・3前		2					1		
	民話と伝承	2・3後		2							兼1
	宗教民俗学	2・3前		2							兼1
	民俗資料論	2・3後		2							兼1
	民俗学実習1	2・3前		1					1		兼1
	民俗学実習2	2・3後		1					1		兼1
	民俗学実習3	2・3休		1					1		兼1
	民俗学実習4	3休		1							兼1
	歴史民俗学演習1	3・4前		2							
	歴史民俗学演習2	3・4後		2							
	歴史民俗学演習3	3・4前		2							
	歴史民俗学演習4	3・4後		2							
	小計(17科目)	—	0	32	0	0	0	0	0	0	兼3

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
民俗学 コース科目	歴史民俗学演習4	3・4後		2							兼1	
	現代民俗学演習1	3・4前		2								
	現代民俗学演習2	3・4後		2								
	現代民俗学演習3	3・4前		2				1				
	現代民俗学演習4	3・4後		2				1				
	小計(20科目)	—	0	36	0	0	0	1	0	0	兼3	
	合計(115科目)	—	16	206	0	5	1	1	0	0	兼15	
資格科目	天理 教学部門	伝道実習1	1・2・3・4後			1						兼1
		伝道実習2	1・2・3・4後			1						兼1
		伝道実習3	2・3・4前			1						兼1
		伝道実習4	2・3・4後			1						兼1
		小計(4科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0	兼1
	人文 科学部門	日本語学入門	1前			2						兼1
		日本語教育入門	1後			2						兼1
		日本語彙論	2前			2						兼1
		日本語文法論1	2前			2						兼1
		日本語文法論2	2後			2						兼1
		日本語音声学	2後			2						兼1
		言語の対照研究	3前			2						兼1
		日本語教授法1	3前			2						兼1
		日本語教授法2	3後			2						兼1
		第二言語習得論	3前			2						兼1
		日本語指導法	4前			2						兼1
		日本語教育評価法	4後			2						兼1
		日本語教育実習	4通			2						兼1
	小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0	兼2	
	社会 科学部門	図書館情報システム論	2・3・4後			2						兼1
		情報サービス論	3・4前			2						兼1
		児童・YAサービス論	2・3・4前			2						兼1
		情報サービス演習1	3・4後			2						兼1
		情報サービス演習2	3・4後			2						兼1
		図書館情報資源概論	2・3・4前			2						兼1
		情報資源組織論	3・4前			2						兼1
		情報資源組織演習1	3・4後			2						兼1
		情報資源組織演習2	3・4後			2						兼1
		図書館情報資源特論	3・4前			2						兼1
		図書館情報学特論	4前			2						兼1
		博物館実習1	3前			2	1					兼1
		博物館実習2	4通			1						兼3
		矯正概論	1・2・3・4後			2						兼1
		更生保護概論	1・2・3・4後			2						兼1
		矯正保護教育(施設参観を含む)	3・4後			2						兼1
		矯正保護支援実践論	2・3・4後			2						兼2
犯罪被害者支援論		2・3・4後			2						兼1	
小計(18科目)		—	0	0	35	1	0	0	0	0	兼12	
教職に 関する 専門 教育科目		教職論	1前後			2						兼1
	教育原理	2・3・4前後			2						兼1	
	教育史	2・3・4前			2						兼1	
	教育課程論	3・4前後			2						兼1	
	学校教育心理学	2・3・4前後			2						兼1	
	学校教育社会学	2・3・4前後			2						兼1	
	道徳の理論及び指導法	3・4前後			2						兼1	
	教育実習講義	3前後			2						兼2	
	教育相談の理論及び方法	2・3・4前後			2						兼1	
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3・4前後			2						兼2	
	教育実習講義	3後			1						兼3	
	介護等体験	3通			1						兼3	
教職実践演習(中・高)	4後			2						兼5		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
民俗学 コース科目	歴史民俗学演習4	3・4後		2							兼1	
	現代民俗学演習1	3・4前		2								
	現代民俗学演習2	3・4後		2								
	現代民俗学演習3	3・4前		2				1				
	現代民俗学演習4	3・4後		2				1				
	小計(20科目)	—	0	36	0	0	0	1	0	0	兼3	
	合計(115科目)	—	16	206	0	5	1	1	0	0	兼15	
資格科目	天理 教学部門	伝道実習1	1・2・3・4後			1						兼1
		伝道実習2	1・2・3・4後			1						兼1
		伝道実習3	2・3・4前			1						兼1
		伝道実習4	2・3・4後			1						兼1
		小計(4科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0	兼1
	人文 科学部門	日本語学入門	1前			2						兼1
		日本語教育入門	1後			2						兼1
		日本語彙論	2前			2						兼1
		日本語文法論1	2前			2						兼1
		日本語文法論2	2後			2						兼1
		日本語音声学	2後			2						兼1
		言語の対照研究	3前			2						兼1
		日本語教授法1	3前			2						兼1
		日本語教授法2	3後			2						兼1
		第二言語習得論	3前			2						兼1
		日本語指導法	4前			2						兼1
		日本語教育評価法	4後			2						兼1
		日本語教育実習	4通			2						兼1
	小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0	兼2	
	社会 科学部門	図書館情報システム論	2・3・4後			2						兼1
		情報サービス論	3・4前			2						兼1
		児童・YAサービス論	2・3・4前			2						兼1
		情報サービス演習1	3・4後			2						兼1
		情報サービス演習2	3・4後			2						兼1
		図書館情報資源概論	2・3・4前			2						兼1
		情報資源組織論	3・4前			2						兼1
		情報資源組織演習1	3・4後			2						兼1
		情報資源組織演習2	3・4後			2						兼1
		図書館情報資源特論	3・4前			2						兼1
		図書館情報学特論	4前			2						兼1
		博物館実習1	3前			2	1					兼1
		博物館実習2	4通			1						兼3
		矯正概論(未開講)	1・2・3・4前			2						兼1
		更生保護概論	1・2・3・4後			2						兼1
矯正保護教育(施設参観を含む)		3・4後			2						兼1	
矯正保護支援実践論		2・3・4後			2						兼2	
犯罪被害者支援論		2・3・4後			2						兼1	
小計(18科目)	—	0	0	35	1	0	0	0	0	兼12		
教職に 関する専門 教育科目	教職論	1前後			2						兼1	
	教育原理	2・3・4前後			2						兼1	
	教育史	2・3・4前			2						兼1	
	教育課程論	3・4前後			2						兼1	
	学校教育心理学	2・3・4前後			2						兼1	
	学校教育社会学	2・3・4前後			2						兼1	
	道徳の理論及び指導法	3・4前後			2						兼1	
	教育実習講義	3前後			2						兼2	
	教育相談の理論及び方法	2・3・4前後			2						兼1	
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3・4前後			2						兼2	
	教育実習講義	3後			1						兼3	
	介護等体験	3通			1						兼3	
	教職実践演習(中・高)	4後			2						兼5	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
資格科目	教育実習1	4通			2						兼1
	教育実習2	4通			2						兼1
	人権教育論1	2-3-4期			2						兼3
	人権教育論2	2-3-4後			2						兼3
	特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2						兼1
	学校教育支援	2-3-4通			1						兼3
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2-3-4期後			2						兼1
	教育史特論	2-3-4後			2						兼1
	臨床教育学特論	2-3-4通			2						兼1
	小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0	兼12
合計(57科目)		—	0	0	106	1	0	0	0	0	兼27
合計(278科目)		—	26	390	106	5	1	1	0	0	兼119
卒業要件及び履修方法											
総合教育科目:天理スピリット科目群12単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群4単位以上 計22単位以上 歴史文化学科専攻科目:必修科目16単位 選択科目はコース毎の選択必修科目の必要単位を含め54単位以上 計70単位以上 総合教育科目、歴史文化学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。 履修科目の登録上限:48単位(年間)											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
資格科目	教育実習1	4通			2						兼1
	教育実習2	4通			2						兼1
	人権教育論1	2-3-4期			2						兼3
	人権教育論2	2-3-4後			2						兼3
	特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2						兼1
	学校教育支援	2-3-4通			1						兼3
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2-3-4期後			2						兼1
	教育史特論	2-3-4後			2						兼1
	臨床教育学特論	2-3-4通			2						兼1
	小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0	兼12
合計(57科目)		—	0	0	106	1	0	0	0	0	兼27
合計(282科目)		—	26	398	106	5	1	1	0	0	兼131
卒業要件及び履修方法											
総合教育科目:天理スピリット科目群12単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群4単位以上 計22単位以上 歴史文化学科専攻科目:必修科目16単位 選択科目はコース毎の選択必修科目の必要単位を含め54単位以上 計70単位以上 総合教育科目、歴史文化学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。 履修科目の登録上限:48単位(年間)											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
- (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・「英語1」 担当者の変更により、「兼15」から「兼16」に変更
- ・「英語2」 担当者の変更により、「兼15」から「兼16」に変更
- ・「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」 担当者の変更により、「兼1」から「兼2」に変更
- ・「健康スポーツ科学1」 担当者の変更により、「兼8」から「兼11」に変更
- ・「健康スポーツ科学2」 担当者の変更により、「兼6」から「兼8」に変更
- ・「天理大学特別講義1」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更
- ・「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」 天理スピリット科目群の教育課程を充実させるため科目を新設
- ・「キャリアプランニング」 担当者の変更及びクラス増により、「兼3」から「兼5」に変更
- ・「基礎からわかるレポート作成」 担当者の変更により、「兼4」から「兼5」に変更
- ・「基礎からわかる近代史」 担当者の変更により、「准教授1」から「兼1」に変更
- ・「更生保護概論」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
12 科目	209 科目	57 科目	278 科目	12 科目 [ー]	213 科目 [4]	57 科目 [ー]	282 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{278} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	148,449.28㎡ 148,332.61㎡	0 ㎡	0 ㎡	148,449.28㎡ 148,332.61㎡				
	運動場用地	163,322.48㎡	0 ㎡	0 ㎡	163,322.48㎡				
	小 計	311,771.76㎡ 311,655.09㎡	0 ㎡	0 ㎡	311,771.76㎡ 311,655.09㎡				
	そ の 他	28,069.17㎡ 27,034.99㎡	0 ㎡	0 ㎡	28,069.17㎡ 27,034.99㎡				
	合 計	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	0 ㎡	0 ㎡	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	面積が錯誤により増加したため(6)			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) -(81,584.21㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) -(81,584.21㎡)	厚生補導施設が含まれており、その数値を除いたため(6)				
(3) 教 室 等		講 義 室 60 室	演 習 室 44 室	実験実習室 22 室	情報処理学習施設 11 室 (補助職員 0人)	語学学習施設 5 室 (補助職員 0人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		人文学部 歴史文化学科			8 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	人文学部 歴史文化学科	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)	0 (0)	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 学術雑誌／申請時の数値に誤り(学術雑誌数に電子ジャーナル種数を含めていなかった)があったため(6)	
	計	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館		面 積 14,260.80㎡ 14,348.40㎡		閱 覧 座 席 数 410 349		収 納 可 能 冊 数 191,000 154,000		面積／錯誤により減少したため(6) 閲覧座席数、収納可能冊数／申請時の数値に誤り(別所キャンパスの数値を含めていなかった)があったため(6)	
(7) 体 育 館		面 積 16,559.45㎡ 16,377.25㎡		体育館以外のスポーツ施設の概要 武道館(柔剣道場) 弓道場 空手道場 トレーニングルーム				面積が錯誤により増加したため(6)	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費、共同研究費、設備購入費／申請時は人文学部の合計金額を記載(6)
		教員 1 人 当 研究費等	390千円	390千円	図書購入費	2,573千円 11,093千円	2,531千円 11,093千円	2,531千円 11,093千円	
		共 同 研 究 費 等	1,235千円 5,730千円	1,235千円 5,730千円	設備購入費	2,508千円 8,473千円	2,473千円 8,473千円	2,473千円 8,473千円	
	学生 1 人 当 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,080千円	1,030千円	1,030千円	1,030千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、私立大学等経常費補助金、手数料、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	天理大学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	11	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考		
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
人文学部	4	240	0	960	—	0.55	—	—	令和6	—			
宗教学科	4	20	0	80	学士(宗教学)	0.45	—	—	令和6	奈良県天理市杣之内町1050番地			
国文学国語学科	4	40	0	160	学士(国文学)	0.35	—	—	令和6	同上			
歴史文化学科	4	50	0	200	学士(歴史文化学)	0.68	—	—	令和6	同上			
心理学科	4	40	0	160	学士(心理学)	0.55	—	—	令和6	同上			
社会教育学科	4	40	0	160	学士(社会教育学)	0.57	—	—	令和6	同上			
社会福祉学科	4	50	0	200	学士(社会福祉学)	0.60	—	—	令和6	同上			
国際学部	4	290	0	1160	—	0.59	—	—	平成22	—			
韓国・朝鮮語学科	4	40	0	160	学士(韓国・朝鮮語)	0.60	—	—	令和6	同上			
中国語学科	4	40	0	160	学士(中国語)	0.27	—	—	令和6	同上			
英米語学科	4	60	0	240	学士(英語)	0.58	—	—	令和6	同上			
国際文化学科	4	50	0	200	学士(国際文化学)	1.00	—	—	令和6	同上			
日本学科	4	40	0	160	学士(日本学)	0.52	—	—	令和6	同上			
外国語学科	4	60	0	240	学士(タイ語) (インドネシア語) (ドイツ語) (フランス語) (ロシア語) (スペイン語) (ブラジルポルトガル語)	0.56	—	—	平成22	同上	令和6年度から入学定員変更(165→60)		
英米語専攻	4	—	—	—	学士(英語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		
中国語専攻	4	—	—	—	学士(中国語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		
韓国・朝鮮語専攻	4	—	—	—	学士(韓国・朝鮮語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		
スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻	4	—	—	—	学士(スペイン語)又は(ブラジルポルトガル語)	—	—	—	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		
地域文化学科	4	—	—	—	学士(地域文化)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		
体育学部	4	240	0	960	—	1.06	—	—	昭和30	—			
体育学科	4	240	0	960	学士(体育学)	1.06	—	—	昭和30	奈良県天理市田井庄町80	令和6年度から入学定員変更(200→240)		
医療学部	4	100	0	400	—	1.03	—	—	令和5	—			
看護学科	4	70	0	280	学士(看護学)	1.14	—	—	令和5	奈良県天理市別所町80-1	令和5年度学部の設置者変更		
臨床検査学科	4	30	0	120	学士(臨床検査学)	0.78	—	—	令和5	同上	令和5年度学部の設置者変更		
人間学部	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	—			
宗教学科	4	—	—	—	学士(宗教学)	—	—	—	平成4	奈良県天理市杣之内町1050番地	令和6年度入学生より学生募集停止		
人間関係学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		
臨床心理専攻	4	—	—	—	学士(臨床心理)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		
生涯教育専攻	4	—	—	—	学士(生涯教育)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		
社会福祉専攻	4	—	—	—	学士(社会福祉)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止		

文学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和24	-	
国文学国語学科	4	-	-	-	学士 (国文学)	-	-	-	昭和24	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
歴史文化学科	4	-	-	-	学士 (歴史文化)	-	-	-	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
大学全体	4	870	-	3480	-	-	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(太学院、専攻科及び別科を除く)。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部、学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<人文学部 歴史文化学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等
専 教授		齊藤 純 <令和6年4月> 文学修士※
		博物館学概論 博物館経営概論 民俗学研究入門1 宗教民俗学 民俗資料論 民俗学実習1 民俗学実習2 民俗学実習3 民俗学実習4 歴史民俗学演習1 歴史民俗学演習2 博物館実習1
専 教授		幡鎌 一弘 <令和6年4月> 修士（文学）
		基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 宗教と芸能 くずし字入門 日本近世史の研究 日本近世史料の講読1 日本近世史料の講読2 歴史学史料実習3 歴史学史料実習4 日本近世史演習1 日本近世史演習2 日本近世史演習3 日本近世史演習4
専 教授		桑原 久男 <令和6年4月> 文学修士※
		基礎ゼミナール2 考古学概論 日本考古学要説 文化財行政学 大和の文化遺産を学ぶ3 考古学研究入門1 弥生時代の考古学 遺跡の保存と活用 考古学実習2 考古学実習3 考古学実習4 先史考古学演習1 先史考古学演習2 先史考古学演習3 先史考古学演習4
専 教授		小田木 治太郎 <令和6年4月> 文学修士
		歴史文化基礎演習 博物館展示論 博物館資料論 考古学研究入門2 古墳時代の考古学 東アジア考古学 考古学実習1 考古学実習3 原史考古学演習1 原史考古学演習2 原史考古学演習3 原史考古学演習4 博物館実習1
専 教授		橋本 英将 <令和6年4月> 修士（文学）※
		文化財科学・保存科学 博物館情報・メディア論 博物館資料保存論 英語文献講読1 英語文献講読2 卒業論文 飛鳥・奈良時代の考古学 西アジア考古学 考古資料の情報化 考古学実習1 考古学実習2 考古学実習3 歴史考古学演習1 歴史考古学演習2 歴史考古学演習3 歴史考古学演習4
専 教授		天野 忠幸 <令和6年4月> 博士（文学）
		歴史学概論 日本史要説 大和の文化遺産を学ぶ1 歴史学研究入門2 日本中世史の研究 古文書学 日本中世史料の講読1 日本中世史料の講読2 歴史学史料実習1 歴史学史料実習3 歴史学史料実習4 日本古代中世史演習1 日本古代中世史演習2 日本古代中世史演習3 日本古代中世史演習4

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等
専 教授		齊藤 純 <令和6年4月> 文学修士※
		博物館学概論 博物館経営概論 民俗学研究入門1 宗教民俗学 民俗資料論 民俗学実習1 民俗学実習2 民俗学実習3 民俗学実習4 歴史民俗学演習1 歴史民俗学演習2 博物館実習1
専 教授		幡鎌 一弘 <令和6年4月> 修士（文学）
		基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 宗教と芸能 くずし字入門 日本近世史の研究 日本近世史料の講読1 日本近世史料の講読2 歴史学史料実習3 歴史学史料実習4 日本近世史演習1 日本近世史演習2 日本近世史演習3 日本近世史演習4
専 教授		桑原 久男 <令和6年4月> 文学修士※
		基礎ゼミナール2 考古学概論 日本考古学要説 文化財行政学 大和の文化遺産を学ぶ3 考古学研究入門1 弥生時代の考古学 遺跡の保存と活用 考古学実習2 考古学実習3 考古学実習4 先史考古学演習1 先史考古学演習2 先史考古学演習3 先史考古学演習4
専 教授		小田木 治太郎 <令和6年4月> 文学修士
		歴史文化基礎演習 博物館展示論 博物館資料論 考古学研究入門2 古墳時代の考古学 東アジア考古学 考古学実習1 考古学実習3 原史考古学演習1 原史考古学演習2 原史考古学演習3 原史考古学演習4 博物館実習1
専 教授		橋本 英将 <令和6年4月> 修士（文学）※
		文化財科学・保存科学 博物館情報・メディア論 博物館資料保存論 英語文献講読1 英語文献講読2 卒業論文 飛鳥・奈良時代の考古学 西アジア考古学 考古資料の情報化 考古学実習1 考古学実習2 考古学実習3 歴史考古学演習1 歴史考古学演習2 歴史考古学演習3 歴史考古学演習4
専 教授		天野 忠幸 <令和6年4月> 博士（文学）
		歴史学概論 日本史要説 大和の文化遺産を学ぶ1 歴史学研究入門2 日本中世史の研究 古文書学 日本中世史料の講読1 日本中世史料の講読2 歴史学史料実習1 歴史学史料実習3 歴史学史料実習4 日本古代中世史演習1 日本古代中世史演習2 日本古代中世史演習3 日本古代中世史演習4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等			<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	黒岩 康博 <令和6年4月> 博士（文学）	専	准教授	黒岩 康博 <令和6年4月> 博士（文学）
		基礎からわかる近代史 歴史文化基礎演習 歴史学研究入門1 日本近代史の研究 日本近代史の講義1 日本近代史の講義2 歴史学史料実習2 歴史学史料実習3 歴史学史料実習4 日本近代史演習1 日本近代史演習2 日本近代史演習3 日本近代史演習4			歴史文化基礎演習 歴史学研究入門1 日本近代史の研究 日本近代史の講義1 日本近代史の講義2 歴史学史料実習2 歴史学史料実習3 歴史学史料実習4 日本近代史演習1 日本近代史演習2 日本近代史演習3 日本近代史演習4
専	講師	松岡 薫 <令和6年4月> 博士（文学）	専	講師	松岡 薫 <令和6年4月> 博士（文学）
		基礎ゼミナール1 民俗学概論 歴史文化基礎演習 日本民俗学要説 民俗学研究入門2 民俗学と現代社会 フィールドワークからみる民俗文化 民俗学実習1 民俗学実習2 民俗学実習3 現代民俗学演習1 現代民俗学演習2 現代民俗学演習3 現代民俗学演習4			基礎ゼミナール1 民俗学概論 歴史文化基礎演習 日本民俗学要説 民俗学研究入門2 民俗学と現代社会 フィールドワークからみる民俗文化 民俗学実習1 民俗学実習2 民俗学実習3 現代民俗学演習1 現代民俗学演習2 現代民俗学演習3 現代民俗学演習4
兼任	教授	岡田 正彦 <令和6年4月> Ph.D（米国）	兼任	教授	岡田 正彦 <令和6年4月> Ph.D（米国）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ
兼任	教授	東馬場 郁生 <令和6年4月> Doctor of Philosophy(History of Religions)（米国）	兼任	教授	東馬場 郁生 <令和6年4月> Doctor of Philosophy(History of Religions)（米国）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ
兼任	教授	金山 元春 <令和6年4月> 博士（心理学）	兼任	教授	金山 元春 <令和6年4月> 博士（心理学）
		生徒指導・進路指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導の理論及び方法
兼任	教授	山中 秀夫 <令和6年4月> 博士（学術）	兼任	教授	山中 秀夫 <令和6年4月> 博士（学術）
		情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論			情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論
兼任	教授	関本 克良 <令和6年4月> 博士（学術）	兼任	教授	関本 克良 <令和6年4月> 博士（学術）
		ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成			ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成
兼任	教授	曾山 典子 <令和6年4月> 博士（理学）	兼任	教授	曾山 典子 <令和6年4月> 博士（理学）
		データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理			データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理
兼任	教授	上田 喜彦 <令和6年4月> 学士（教育学）	兼任	教授	上田 喜彦 <令和6年4月> 学士（教育学）
		天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義3 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 教職実践演習（中・高）			天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 教職実践演習（中・高）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	竹村 景生 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※	兼任	教授	竹村 景生 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法			ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法
兼任	教授	仲 淳 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※	兼任	教授	仲 淳 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 教育実習1 教育実習2 学校教育支援			学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 教育実習1 教育実習2 学校教育支援
兼任	教授	古賀 崇 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） Master of Library Science（米国）※	兼任	教授	古賀 崇 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） Master of Library Science（米国）※
		図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論			図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論
兼任	教授	魯 ゼウオン ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	兼任	教授	魯 ゼウオン ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）
		カルチュラルスタディーズ			カルチュラルスタディーズ
兼任	教授	野津 幸治 ＜令和6年4月＞ M.A.（タイ）	兼任	教授	野津 幸治 ＜令和6年4月＞ M.A.（タイ）
		多文化理解と言語（タイ語）			多文化理解と言語（タイ語）
兼任	教授	奥島 美夏 ＜令和6年4月＞ 文学修士※	兼任	教授	奥島 美夏 ＜令和6年4月＞ 文学修士※
		多文化理解と言語（インドネシア語） キャリアデザイン2			多文化理解と言語（インドネシア語） キャリアデザイン2
兼任	教授	森 洋明 ＜令和6年4月＞ 言語学（意味論）修士（フランス）	兼任	教授	森 洋明 ＜令和6年4月＞ 言語学（意味論）修士（フランス）
		多文化理解と言語（フランス語） 天理異文化伝道			多文化理解と言語（フランス語） 天理異文化伝道
兼任	教授	野口 茂 ＜令和6年4月＞ Magister en Historia（ベネズエラ）	兼任	教授	野口 茂 ＜令和6年4月＞ Magister en Historia（ベネズエラ）
		多文化理解と言語（スペイン語）			多文化理解と言語（スペイン語）
兼任	教授	北森 絵里 ＜令和6年4月＞ 修士（地域研究）	兼任	教授	北森 絵里 ＜令和6年4月＞ 修士（地域研究）
		多文化理解と言語（ポルトガル語）			多文化理解と言語（ポルトガル語）
兼任	教授	谷井 陽子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	谷井 陽子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		東洋史要説 文化交流史の研究1 東アジア史の研究			東洋史要説 文化交流史の研究1 東アジア史の研究
兼任	教授	岡田 龍樹 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※			
		日本事情1 日本事情2			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	菊池 律之 ＜令和6年4月＞ 修士（言語学）※	兼任	教授	菊池 律之 ＜令和6年4月＞ 修士（言語学）※
		日本語学入門 日本語文法論1 日本語文法論2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習			日本語学入門 日本語文法論1 日本語文法論2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習
兼任	教授	松永 稔也 ＜令和6年4月＞ 博士（言語文化学）	兼任	教授	松永 稔也 ＜令和6年4月＞ 博士（言語文化学）
		多文化理解と言語（日本語）			多文化理解と言語（日本語）
兼任	教授	奥田 真紀子 ＜令和6年4月＞ 修士（学術）※			
		保健医療の仕組みと健康づくり			
兼任	教授	増谷 弘 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	増谷 弘 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		基礎からわかる生物・化学			基礎からわかる生物・化学
兼任	教授	堀内 みどり ＜令和6年4月＞ 哲学博士（インド）	兼任	教授	堀内 みどり ＜令和6年4月＞ 哲学博士（インド）
		ジェンダー・セクシャリティ			ジェンダー・セクシャリティ
兼任	教授	金子 昭 ＜令和6年4月＞ 博士（哲学）	兼任	教授	金子 昭 ＜令和6年4月＞ 博士（哲学）
		哲学概論1 哲学概論2 倫理学1 倫理学2			哲学概論1 哲学概論2 倫理学1 倫理学2
兼任	准教授	澤井 治郎 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	澤井 治郎 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 英語1 英語2			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 英語1 英語2
兼任	准教授	箱田 徹 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）			
		キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 社会学 哲学概論1 哲学概論2			
兼任	准教授	小野 朗子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	小野 朗子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2			ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2
兼任	准教授	福井 孝三 ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育情報学）	兼任	准教授	福井 孝三 ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育情報学）
		日本語教育入門 日本語語彙論			日本語教育入門 日本語語彙論
兼任	准教授	金 珠 ＜令和8年4月＞ 博士（日本語・日本文化）	兼任	准教授	金 珠 ＜令和8年4月＞ 博士（日本語・日本文化）
		日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法			日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法
兼任	准教授	中村 久美 ＜令和6年4月＞ Ph.D in Anglo-Irish Literature and Drama （アイルランド）			
		英語1 英語2 多文化理解と言語（英語） 世界の文学1 世界の文学2			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	吉田 智佳 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）	兼任	教授	吉田 智佳 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）
		英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級			英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級
兼任	准教授	川上 晃司 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	准教授	川上 晃司 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		健康スポーツ科学2 ニューススポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 ニューススポーツ
兼任	准教授	梅崎 さゆり ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	梅崎 さゆり ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割			健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割
兼任	准教授	穴井 隆将 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	兼任	准教授	穴井 隆将 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割			国際社会におけるスポーツの役割
兼任	准教授	蓬田 高正 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	准教授	蓬田 高正 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ
兼任	准教授	小畑 治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	兼任	准教授	小畑 治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		健康スポーツ科学1 レクリエーションスポーツ			レクリエーションスポーツ
兼任	講師	深谷 耕治 ＜令和6年4月＞ 修士（社会学） 修士（宗教学）（米国）	兼任	講師	深谷 耕治 ＜令和6年4月＞ 修士（社会学） 修士（宗教学）（米国）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4
兼任	講師	澤井 真 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	澤井 真 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会
兼任	講師	須永 哲思 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）			
		教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 教育史特論			
兼任	講師	小関 康平 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	兼任	講師	小関 康平 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）
		キャリアデザイン1 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2			キャリアアブリニシング キャリアデザイン1 基礎からわかるレポート作成 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2
兼任	講師	松本 優也 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）※			
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			
兼任	助教	金子 竜大 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	助教	金子 竜大 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼担	教授	森元 伸枝 ＜令和6年4月＞ 修士（経営学）※ 天理大学特別講義 7 天理大学特別講義 8
			兼担	教授	石井 幸弘 ＜令和6年4月＞ 修士（学術） 天理大学特別講義 3
			兼担	教授	熊木 勉 ＜令和6年4月＞ 文学博士（大韓民国） 多文化理解と言語（韓国・朝鮮語） ※
			兼担	教授	王 向華 ＜令和6年4月＞ 博士（社会人理学） 日本事情 1 日本事情 2
			兼担	教授	白石 晃 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 健康スポーツ科学 1
			兼担	教授	寺田 和史 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 健康スポーツ科学 1 健康スポーツ科学 2
			兼担	教授	金井 恵理 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 保健医療の仕組みと健康づくり
			兼担	准教授	山本 佳世子 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学） キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 哲学概論 1
			兼担	准教授	高地 朋成 ＜令和6年4月＞ 文学博士（大韓民国） 多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）
			兼担	准教授	松山 尚道 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学） 健康スポーツ科学 1
			兼担	助教	西田 昂平 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学） 健康スポーツ科学 1 健康スポーツ科学 2
兼任	講師	奈 瑠菁 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 多文化理解と言語（中国語）	兼任	講師	奈 瑠菁 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 多文化理解と言語（中国語）
兼任	講師	Zaberezhnaia Olga ＜令和6年4月＞ 博士（文化学）（ロシア） 多文化理解と言語（ロシア語）	兼任	講師	Zaberezhnaia Olga ＜令和6年4月＞ 博士（文化学）（ロシア） 多文化理解と言語（ロシア語）

専任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	荒田 恵 ＜令和9年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	荒田 恵 ＜令和9年4月＞ 修士（文学）
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	乾 誠二 ＜令和9年4月＞ 文学士	兼任	講師	乾 誠二 ＜令和9年4月＞ 文学士
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	岩宮 隆司 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	岩宮 隆司 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		大和の文化遺産を学ぶ2 日本古代史の研究 日本古代史料の講読1 日本古代史料の講読2			大和の文化遺産を学ぶ2 日本古代史の研究 日本古代史料の講読1 日本古代史料の講読2
兼任	講師	植松 利晴 ＜令和8年4月＞ 文学士	兼任	講師	植松 利晴 ＜令和8年4月＞ 文学士
		社会科指導法1 社会科指導法2 社会・地理歴史科指導法1 社会・地理歴史科指導法2			社会科指導法1 社会科指導法2 社会・地理歴史科指導法1 社会・地理歴史科指導法2
兼任	講師	海原 靖子 ＜令和6年4月＞ 学士（日本美術史）	兼任	講師	海原 靖子 ＜令和6年4月＞ 学士（日本美術史）
		美術史			美術史
兼任	講師	梅谷 昭範 ＜令和7年4月＞ 修士（学術）	兼任	講師	梅谷 昭範 ＜令和7年4月＞ 修士（学術）
		博物館教育論			博物館教育論
兼任	講師	大谷 誠 ＜令和6年4月＞ 博士（文化史学）	兼任	講師	大谷 誠 ＜令和6年4月＞ 博士（文化史学）
		西洋史要説			西洋史要説
兼任	講師	大平 陽一 ＜令和7年4月＞ 文学修士	兼任	講師	大平 陽一 ＜令和7年4月＞ 文学修士
		文化交流史の研究2			文化交流史の研究2
兼任	講師	岸田 徹 ＜令和7年4月＞ 博士（理学）	兼任	講師	岸田 徹 ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		遺跡探査学			遺跡探査学
兼任	講師	齊藤 純 ＜令和9年4月＞ 文学修士※	兼任	講師	齊藤 純 ＜令和9年4月＞ 文学修士※
		博物館学概論 博物館経営概論 民俗学研究入門1 宗教民俗学 民俗資料論 民俗学実習1 民俗学実習2 民俗学実習3 民俗学実習4 歴史民俗学演習3 歴史民俗学演習4 博物館実習1			博物館学概論 博物館経営概論 民俗学研究入門1 宗教民俗学 民俗資料論 民俗学実習1 民俗学実習2 民俗学実習3 民俗学実習4 歴史民俗学演習3 歴史民俗学演習4 博物館実習1
兼任	講師	佐藤 亜聖 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	佐藤 亜聖 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		中近世の考古学			中近世の考古学
兼任	講師	千葉 豊 ＜令和7年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	千葉 豊 ＜令和7年4月＞ 修士（文学）※
		旧石器・縄文時代の考古学			旧石器・縄文時代の考古学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	中尾 徳仁 ＜令和9年4月＞ 学士（教育学）	兼任	講師	中尾 徳仁 ＜令和9年4月＞ 学士（教育学）
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	根田 克彦 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	兼任	講師	根田 克彦 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		人文地理学概論 地誌			人文地理学概論 地誌
兼任	講師	幡鎌 真理 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	幡鎌 真理 ＜令和7年4月＞ 文学士
		生活文化史			生活文化史
兼任	講師	藤井 智康 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	兼任	講師	藤井 智康 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		自然地理学概論			自然地理学概論
兼任	講師	三浦 俊介 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	三浦 俊介 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		民話と伝承			民話と伝承
兼任	講師	井上 成人 ＜令和6年4月＞ 文学士	兼任	講師	井上 成人 ＜令和6年4月＞ 文学士
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	伊橋 幸江 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	伊橋 幸江 ＜令和7年4月＞ 文学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	上原 道延 ＜令和7年4月＞ 教育学士	兼任	講師	上原 道延 ＜令和7年4月＞ 教育学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	梅田 正之 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	梅田 正之 ＜令和7年4月＞ 文学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	加藤 匡人 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	加藤 匡人 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	澤井 一郎 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	澤井 一郎 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	松山 常教 ＜令和6年4月＞ 学士（宗教学）	兼任	講師	松山 常教 ＜令和6年4月＞ 学士（宗教学）
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	安井 幹直 ＜令和6年4月＞ M.A（文学修士）（米国）	兼任	講師	安井 幹直 ＜令和6年4月＞ M.A（文学修士）（米国）
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	今治 周平 ＜令和6年4月＞ 法務博士	兼任	講師	今治 周平 ＜令和6年4月＞ 法務博士
		民法1 民法2			民法1 民法2
兼任	講師	角 克明 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※	兼任	講師	角 克明 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※
		地理学1 地理学2			地理学1 地理学2
兼任	講師	加藤 康 ＜令和6年4月＞ 修士（商学）※	兼任	講師	加藤 康 ＜令和6年4月＞ 修士（商学）※
		経営学1 経営学2			経営学1 経営学2
兼任	講師	片岡 佐知子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）			
		科学と現代			
兼任	講師	坂手 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	講師	坂手 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		生活の中の科学			生活の中の科学
兼任	講師	鈴木 史子 ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学）※	兼任	講師	鈴木 史子 ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学）※
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	竹村 和也 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）※	兼任	講師	竹村 和也 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）※
		日本国憲法 法学			日本国憲法 法学
兼任	講師	東井 申雄 ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学）	兼任	講師	東井 申雄 ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学）
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	長沢 一恵 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	長沢 一恵 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		基礎からわかるレポート作成 近現代の遺産と未来			基礎からわかるレポート作成 基礎からわかる近代史 近現代の遺産と未来
兼任	講師	中村 珍晴 ＜令和6年4月＞ 博士（スポーツ科学）	兼任	講師	中村 珍晴 ＜令和6年4月＞ 博士（スポーツ科学）
		障害学			障害学
兼任	講師	西 直美 ＜令和6年4月＞ 博士（グローバル社会研究）	兼任	講師	西 直美 ＜令和6年4月＞ 博士（グローバル社会研究）
		基礎からわかるレポート作成 政治学			基礎からわかるレポート作成 政治学
兼任	講師	福島 沢美 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）	兼任	講師	福島 沢美 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）
		日本手話A 日本手話B			日本手話A 日本手話B
兼任	講師	藤井 稔 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	藤井 稔 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		基礎からわかるレポート作成			基礎からわかるレポート作成

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等			<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	三宅 正夫 <令和6年4月> 博士（工学）	兼任	講師	三宅 正夫 <令和6年4月> 博士（工学）
		基礎からわかる数学			基礎からわかる数学
兼任	講師	八木 英治 <令和6年4月> 修士（教育学）	兼任	講師	八木 英治 <令和6年4月> 修士（教育学）
		障害学			障害学
兼任	講師	安田 智博 <令和6年4月> 学士（文学）	兼任	講師	安田 智博 <令和6年4月> 学士（文学）
		キャリアプランニング 労働と社会			キャリアプランニング 労働と社会
兼任	講師	吉田 和弘 <令和6年4月> 博士（農学）			
		地球環境論			
兼任	講師	持元 江津子 <令和6年4月> 博士（経済学）	兼任	講師	持元 江津子 <令和6年4月> 博士（経済学）
		コンピュータ入門			コンピュータ入門
兼任	講師	渡邊 碩 <令和6年4月> 修士（経済学）	兼任	講師	渡邊 碩 <令和6年4月> 修士（経済学）
		経済学1 経済学2			経済学1 経済学2
兼任	講師	池田 華子 <令和7年4月> 博士（教育学）	兼任	講師	池田 華子 <令和7年4月> 博士（教育学）
		臨床教育学特論			臨床教育学特論
兼任	講師	奥本 武裕 <令和6年4月> 修士（文学）	兼任	講師	奥本 武裕 <令和6年4月> 修士（文学）
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	金山 佐喜子 <令和6年4月> 修士（教育学）※	兼任	講師	金山 佐喜子 <令和6年4月> 修士（教育学）※
		特別な支援の必要な生徒の理解			特別な支援の必要な生徒の理解
兼任	講師	北口 学 <令和6年4月> 学士（芸術）	兼任	講師	北口 学 <令和6年4月> 学士（芸術）
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	小島 源一郎 <令和8年4月> 教育学士	兼任	講師	小島 源一郎 <令和8年4月> 教育学士
		教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む）			教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む）
兼任	講師	富田 稔 <令和6年4月> 修士（都市政策）	兼任	講師	富田 稔 <令和6年4月> 修士（都市政策）
		人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習（中・高） 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習（中・高） 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	松枝 拓生 <令和8年4月> 博士（教育学）	兼任	講師	松枝 拓生 <令和8年4月> 博士（教育学）
		道徳の理論及び指導法			道徳の理論及び指導法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	犬飼 誠 ＜令和6年4月＞ 文学士	兼任	講師	犬飼 誠 ＜令和6年4月＞ 文学士
		矯正概論 矯正保護教育（施設参観を含む）			矯正概論 矯正保護教育（施設参観を含む）
兼任	講師	高橋 秀紀 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	高橋 秀紀 ＜令和7年4月＞ 文学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	中村 寛子 ＜令和6年4月＞ 学術修士※	兼任	講師	中村 寛子 ＜令和6年4月＞ 学術修士※
		更生保護概論			更生保護概論
兼任	講師	北條 正崇 ＜令和7年4月＞ 学士（法学）	兼任	講師	北條 正崇 ＜令和7年4月＞ 学士（法学）
		犯罪被害者支援論			犯罪被害者支援論
兼任	講師	山本 道次 ＜令和7年4月＞ 体育学士	兼任	講師	山本 道次 ＜令和7年4月＞ 体育学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	佐藤 敏江 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	佐藤 敏江 ＜令和7年4月＞ 文学士
		児童・YAサービス論			児童・YAサービス論
兼任	講師	鈴木 陽二 ＜令和6年4月＞ 文学修士（韓国）	兼任	講師	鈴木 陽二 ＜令和6年4月＞ 文学修士（韓国）
		韓国・朝鮮語 1 韓国・朝鮮語 2			韓国・朝鮮語 1 韓国・朝鮮語 2
兼任	講師	吉川 万寿彦 ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	講師	吉川 万寿彦 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）			多文化理解と言語（韓国・朝鮮語） ※
兼任	講師	乾 拓也 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	乾 拓也 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	鈴嵐 梓 ＜令和6年4月＞ 博士（英文学）	兼任	講師	鈴嵐 梓 ＜令和6年4月＞ 博士（英文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	日沖 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（宗教美術）（米園）	兼任	講師	日沖 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（宗教美術）（米園）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	山下 大輔 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	山下 大輔 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		多文化理解と言語（ドイツ語）			多文化理解と言語（ドイツ語）
兼任	講師	石田 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）※	兼任	講師	石田 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	荻野 綾 ＜令和6年4月＞ 修士（外国語教育学）	兼任	講師	荻野 綾 ＜令和6年4月＞ 修士（外国語教育学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	家村 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）	兼任	講師	家村 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）
		教養アカデミック英語 1 教養アカデミック英語 2 実践アカデミック英語 2			教養アカデミック英語 1 教養アカデミック英語 2 実践アカデミック英語 2
兼任	講師	小林 和代 ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	講師	小林 和代 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		中国語 1 中国語 2			中国語 1 中国語 2
兼任	講師	後藤 朗子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	後藤 朗子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	内藤 貴夫 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	内藤 貴夫 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	野田 智子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	野田 智子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	疋田 隆康 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	疋田 隆康 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	山川 仁 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）	兼任	講師	山川 仁 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	山口 徳一 ＜令和6年4月＞ 修士（英文学）※	兼任	講師	山口 徳一 ＜令和6年4月＞ 修士（英文学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2 世界の文学 1 世界の文学 2
兼任	講師	山村 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）	兼任	講師	山村 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	坂井 隆秀 ＜令和6年4月＞ 体育学士	兼任	講師	坂井 隆秀 ＜令和6年4月＞ 体育学士
		健康スポーツ科学 1 健康スポーツ科学 2			健康スポーツ科学 1 健康スポーツ科学 2
兼任	講師	山田 貞子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士	兼任	講師	山田 貞子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		健康スポーツ科学 1 健康スポーツ科学 2 レクリエーション・スポーツ ニュースポーツ			健康スポーツ科学 1 健康スポーツ科学 2 レクリエーション・スポーツ ニュースポーツ
			兼任	講師	森田 実 ＜令和6年4月＞ 学士（法学）
					天理大学特別講義 5 天理大学特別講義 6

専任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	片山 雅男 ＜令和6年4月＞ 理学修士 地球環境論
			兼任	講師	金岡 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） キャリアプランニング
			兼任	講師	箱田 敬 ＜令和6年4月＞ 博士（学術） 哲学概論2
			兼任	講師	細谷 祐司 ＜令和6年4月＞ 学士（理学） 科学と現代
			兼任	講師	須永 智恵 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学） 教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習実践 介護福祉教育 職業実践演習（中・高） 学校教育支援 教育史特論
			兼任	講師	芳賀 達彦 ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学） 社会学
			兼任	講師	北岡 一弘 ＜令和6年4月＞ 修士（学術） 修士（英文学） 修士（英語教育学） 英語1 英語2 多文化理解と言語（英語）
			兼任	講師	村田 恵子 ＜令和6年4月＞ 修士（政治学） 英語1 英語2
			兼任	講師	山本 樹 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学） 健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、**既出時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**

- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の歳年齢**を記入してください。
- ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実）、実（実）、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

・黒岩康博(専任) 准教授 担当科目の見直しにより「基礎からわかる近代史」1科目削除 ・上田喜彦(兼任) 教授 担当科目の見直しにより「天理大学特別講義3」1科目削除 ・岡田龍樹(兼任) 教授を辞退 ・奥田真紀子(兼任) 教授を辞退 ・箱田徹(兼任) 准教授を辞退し(兼任) 講師として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎からわかる現代社会」「社会学」「哲学概論1」4科目削除 ・中村久美(兼任) 准教授を辞退 ・吉田智佳(兼任) 准教授から(兼任) 教授に職位変更 ・川上晃司(兼任) 准教授 担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加 ・穴井隆将(兼任) 准教授 担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目削除 ・小畑治(兼任) 准教授 担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目削除 ・澤井真(兼任) 講師から(兼任) 准教授に職位変更 ・須永哲思(兼任) 准教授を辞退し(兼任) 講師として就任。 ・小関康平(兼任) 講師 担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎からわかるレポート作成」2科目追加 ・松木優也(兼任) 講師を辞退 ・森元伸枝(兼任) 教授として就任。担当科目の見直しにより「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」2科目追加 ・石井孝弘(兼任) 教授として就任。担当科目の見直しにより「天理大学特別講義3」1科目追加 ・熊木 勉(兼任) 教授として就任。担当科目の見直しにより「多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)」1科目追加 ・王向華(兼任) 教授として就任。担当科目の見直しにより「日本事情1」「日本事情2」2科目追加 ・白石晃(兼任) 教授として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加 ・寺田和史(兼任) 教授として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加 ・金井恵理(兼任) 教授として就任。担当科目の見直しにより「保健医療の仕組みと健康づくり」1科目追加 ・山本佳世子(兼任) 准教授として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎からわかる現代社会」「哲学概論1」3科目追加 ・高地 朋成(兼任) 准教授として就任。 担当科目の見直しにより「多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)」1科目追加 ・松山尚道(兼任) 准教授として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加 ・西田昂平(兼任) 助教として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加 ・片岡佐和子(兼任) 講師を辞退 ・長沢一恵(兼任) 講師 担当科目の見直しにより「基礎からわかる近代史」1科目追加 ・吉田和弘(兼任) 講師を辞退 ・吉川万寿彦(兼任) 講師 担当科目の見直しにより「多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)」をオムニバスに変更 ・山口徳一(兼任) 講師 担当科目の見直しにより「世界の文学1」「世界の文学2」2科目追加 ・森田実(兼任) 講師として就任。担当科目の見直しにより「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」2科目追加 ・片山雅男(兼任) 講師として就任。担当科目の見直しにより「地球環境論」1科目追加 ・金岡直子(兼任) 講師として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」1科目追加 ・細谷祐司(兼任) 講師として就任。担当科目の見直しにより「科学と現代」1科目追加 ・芳賀達彦(兼任) 講師として就任。担当科目の見直しにより「社会学」1科目追加 ・北岡一弘(兼任) 講師として就任。担当科目の見直しにより「英語1」「英語2」「多文化理解と言語(英語)」3科目追加 ・村田恵子(兼任) 講師として就任。担当科目の見直しにより「英語1」「英語2」2科目追加 ・山本樹(兼任) 講師として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**。
- ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
5	1	1	0	7	0	6	1	1	0	8	0
(6)	(1)	(1)	(0)	(8)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
5	1	1	0	7	0	5	1	1	0	7	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、〔 〕内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、〔 〕内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{7} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{8} = \boxed{12.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1		該当なし									
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0人			必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1		該当なし											
合 計（ F ）						後任補充状況の集計（ G ）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（ a ） + （ b ） + （ c ）			①の合計数（ a ）		②の合計数（ b ）		③の合計数（ c ）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合 計（D）+（F）						後任補充状況の集計（E）+（G）				
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
0 人			必修	0	科目	必修	0	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{8} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時 (令和5年)	人間学部宗教学科の収容定員未充足の是正に努めること	人間学部宗教学科の収容定員未充足を改善すべく改編を行った。人間学部宗教学科は令和6年4月より学生募集を停止し、入学定員を40名から20名に削減した人間学部宗教学科を設置した。ただし、改編初年度となる令和6年度の人間学部宗教学科の入学人数は9名(収容定員充足率45%)となり、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。
届出時 (令和5年)	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足の是正に努めること	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足を改善すべく、外国語学科の韓国・朝鮮語専攻、中国語専攻、英米語専攻、スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻の各専攻と地域文化学科を国際学部韓国・朝鮮語学科、中国語学科、英米語学科、外国語学科、国際文化学科、日本学科に改編した。外国語学科の各専攻と地域文化学科は令和6年4月より学生募集を停止し、国際学部全体の入学定員を360名から290名に削減した。ただし、改編初年度となる令和6年度の国際学部各学科の入学人数は韓国・朝鮮語学科24名(収容定員充足率60%)、中国語学科11名(同27%)、英米語学科35名(同58%)、外国語学科13名(同56%)、国際文化学科50名(同100%)、日本学科21名(同52%)となった。国際文化学科を除く5学科は、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文学部 歴史文化学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成17年4月に天理大学FD委員会が設置された。同委員会は、令和6年4月より天理大学全学教育推進会議（専門委員会）に引き継がれ、審議等を行っている。同会議には委員として、学部長及び学科主任、もしくは学科の専任教員が出席している【資料】。

FD委員会とは異なる形だが、平成29年度よりスタッフ・ディベロップメントが義務化されたことに伴い、「天理大学SDの実施方針」および「SDの実施計画」を定め、担当部署が研修を企画実施している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

全学教育推進会議は、本学の教学マネジメントを担う会議体として、基本的に毎月1回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席している。

FD委員会は、令和5年度は6回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席していた。

SDに関する委員会は設置されていない。

c 委員会の審議事項等

FDに関することは全学教育推進会議で諮られている。

- (1) 教育の計画、内容、方法及び評価・改善に関すること。
- (2) 教育課程の編成に関すること。
- (3) 単位の認定に関すること。
- (4) FD活動に関すること。
- (5) 教員養成教育及び資格課程に関すること。
- (6) その他全学の教育推進に関すること。

SDの研修等に関しては、事務局の部長連絡会で調整され実施をしている。

② 実施状況

a 実施内容（令和5年度）

<FD>

- FD研修会 ○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク） ○学生による授業評価アンケート
- ティーチング・ポートフォリオ ○学外研修会等参加

<SD>

- SD研修会

b 実施方法

<FD>

- FD研修会
各学部・研究科単位で研修会を実施し、専任教員は全員参加（欠席者に対しては事後研修）。各学部・研究科が独自に設定したテーマで研修を行う。
- FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）
専任教員は、毎年度定められた期間内に1科目以上の授業の公開と1科目以上の参観を義務づけて実施。また、参観後は教員個人が報告書を学内グループウェアの専用ファイルに記載し公開しており、教員相互の授業改善に活用する。
- 学生による授業評価アンケート
年2回、学期（春期と秋期）末に、学生による授業評価アンケートを実施。
- ティーチング・ポートフォリオ
各教員が個別に研究・習得した教授法に関する知識・情報を全学的に共有し、それぞれの授業改善および教育内容の充実役に役立てる意図のもと令和3年度より導入。学内のグループウェアを使用しアップロードや閲覧可能なシステムを構築している。
- 学外研修会等参加
本学が加盟する日本私立大学連盟が主催するFD推進ワークショップの案内や関西地区FD連絡協議会が主催する各種研修会の案内を随時行い希望者が参加する。
- FD活動報告書
FD活動を体系的に整理し、報告書を作成。

<SD>

○SD研修会

全体研修として、外部団体より講師を招き全教職員を対象に研修会を開催。
職階別研修として、日本私立大学連盟などが実施している研修などの情報を提供し、職階に応じた教職員が各研修会に参加。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<FD>

○FD研修会 ※令和5年度

・各学部（5学部）で各テーマを設定し実施。教員は全員参加（事後研修含む）。

○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）※令和5年度

・実施期間：令和5年10月10日（火）～令和6年1月31日（水）
・公開科目：194科目（参観のあった科目：109科目）参観した教職員：165人

○学生による授業評価アンケート※令和5年度

・各学期（春学期・秋学期）の履修登録者5名以上の全学部の全授業科目対象（非常勤講師含む）に実施。

○ティーチング・ポートフォリオ（令和3年度～令和5年度）

・各教員が学内グループウェアに年度・学期・学部毎に掲載する形式で実施。

○学外研修会等参加（令和3年度～令和5年度）

・希望者が日本私立大学連盟主催のFD推進ワークショップ（新任教員向け）に参加。

○FD活動報告書

・毎年作成し公表。

<SD>

○SD研修会 ※令和5年度

・業務領域の知見の獲得を目的とする内容

学外から講師を招いてのSD講演会

「志願者獲得に向けた昨年度入試にかかる分析結果について」

（令和5年7月26日開催＋録画視聴：参加者367名のうち、教員の参加者169名）

・学生の厚生補導に関する内容

学生相談委員会、人権教育推進会議共催による学内研修会

「学校における労働安全衛生管理の観点からの適切な職場環境づくり

—労働安全衛生法と教職員の健康管理—」

令和5年12月1日～令和6年3月31日（動画視聴：参加者数不明）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD、SDの取り組みを大学全体で組織的に継続していくことで、授業改善は着実に進んでいる。
令和6年度も同様に実施し、授業の質の担保・向上に努めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況（令和5年度）

a 実施の有無及び実施時期

年2回各学期末にWebにより実施。

春学期：令和5年7月10日～8月2日 秋学期：令和6年1月11日～2月7日

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は個人の集計結果を通知。また、教員、学生は全体の集計結果の情報を本学のホームページで閲覧できる。併せて、「FD活動報告書」（毎年度作成）の中で全体の集計結果の情報を掲載している（教員は配付、学生は図書館他で閲覧可能）。

以上の活動を通じて、教員の資質の維持向上を図っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人文学部歴史文化学科は、既設の文学部歴史文化を改編し、令和6年に開設した。
教育研究上の目的として、「歴史学・考古学・民俗学に立脚しながら、地域に根ざした歴史認識を養い、国際的視野に立った社会や文化の理解をめざす。また、歴史文化に関わる資料の調査・記録能力を修得し、自主的に学び正しく伝える力を身につける。これらの知識や能力を活用し、歴史文化に学びつつ現代社会に貢献する教養ある社会人を育成し、教育や文化財に関わる仕事を通して地域社会に寄与する人材を養成する」と掲げ、教育・研究活動に取り組んでいる。

授業計画については、兼担及び兼任教員の未就任により、一部の科目において担当者の変更が生じたが、概ね当初の計画通りに授業科目を開講している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年4月公表

b 公表方法

・自己点検・報告書を大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和4年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の大学評価（認証評価）を受審し、大学基準に適合していると認定された。

次回は令和11年に大学基準協会の大学評価（認証評価）の受審を予定している。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。

対象校No. 968
注4

学校コード F129310109266
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の設置
注1

届出

注2
天理大学 人文学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人天理大学
令和6年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

人文学部

<心理学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人天理大学

(2) 大 学 名

天理大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒632-8510

奈良県天理市杣之内町1050番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フカヤ ヨシタロウ) 深谷 善太郎 (平成28年3月)		
学 長	(ナガオ ヒナオ) 永尾 比奈夫 (令和5年4月)		
学 部 長	(ヤマナカ ヒデオ) 山中 秀夫 (令和6年4月)		
学科長等	(タカシマ ユウスケ) 高嶋 雄介 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文学部 心理学科 学士(心理学)	文学関係	4 年	40 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	160 人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 40 () []	人 () []	—	0.55 倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	80 () []	() []	—			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	78 () []	() []	—			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	52 () []	() []	—			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	22 () []	() []	—			
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.55	—	—			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
 (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用) IV. 33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	22 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	22 [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	22 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜人文学部 心理学科＞

(1)－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合 教育 科目	天理 スピリ ット 科目 群	天理教概説1	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教概説2	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教学1	2-3-4期		2							兼3
		天理教学2	2-3-4期		2							兼3
		建学の精神と天理大学のあゆみ	2前期	2								兼5
		英語1	1-2-3-4期	1								兼15
		英語2	1-2-3-4期	1								兼15
		韓国・朝鮮語1	1-2-3-4期		1							兼1
		韓国・朝鮮語2	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語1	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語2	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼2
		アカデミック英語上級	1-2-3-4期		1							兼1
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情1	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情2	1-2-3-4期		2							兼1
		健康スポーツ科学1	1-2-3-4期		2							兼8
		健康スポーツ科学2	1-2-3-4期		2							兼6
		国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4期		2							兼2
		保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4期		2							兼1
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4期		1							兼3
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4期		1							兼3
		国際協力入門	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力実習	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力演習1	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力演習2	1-2-3-4期		2							兼1
		国際ボランティア論	2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義1	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義2	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義3	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義4	1-2-3-4期		2							兼1
		天理異文化伝道	2-3-4期		2							兼1
		小計(45科目)	—	8	69	0	0	0	0	0	0	兼55
	キ ャ リ ア 教 育 科 目 群	キャリアプランニング	1-2-3期後		2							兼3
		キャリアデザイン1	2-3-4期		2							兼1
		キャリアデザイン2	2-3-4期		2							兼1
		インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
総合教育科目	天理スピリット科目群	天理教概説1	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教概説2	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教学1	2-3-4期		2							兼3
		天理教学2	2-3-4期		2							兼3
		建学の精神と天理大学のあゆみ	2前	2								兼5
		英語1	1-2-3-4期	1								兼16
		英語2	1-2-3-4期	1								兼16
		韓国・朝鮮語1	1-2-3-4期		1							兼1
		韓国・朝鮮語2	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語1	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語2	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼2
		アカデミック英語上級	1-2-3-4期		1							兼1
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4期		2							兼2
		多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情1	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情2	1-2-3-4期		2							兼1
		健康スポーツ科学1	1-2-3-4期		2							兼11
		健康スポーツ科学2	1-2-3-4期		2							兼8
		国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4期		2							兼2
		保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4期		2							兼1
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4期		1							兼3
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4期		1							兼3
		国際協力入門	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力実習	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力演習1(未開講)	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力演習2	1-2-3-4期		2							兼1
		国際ボランティア論	2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義1	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義2	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義3	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義4	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義5	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義6	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義7	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義8	1-2-3-4期		2							兼1
		天理異文化伝道	2-3-4期		2							兼1
	小計(49科目)	—	8	77	0	0	0	0	0	0	兼63	
キャリア教育科目群	キャリアプランニング	1-2-3期後		2							兼5	
	キャリアデザイン1	2-3-4期		2							兼1	
	キャリアデザイン2	2-3-4期		2							兼1	
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合教育科目	キャリア教育科目群	インターンシップ2	1・2・3通		2							兼1
		海外インターンシップ1	2・3・4通		1							兼1
		海外インターンシップ2	2・3・4通		2							兼1
		小計(7科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼6
	基礎リテラシー科目群	基礎ゼミナール1	1前	2								兼2
		基礎ゼミナール2	1後		2							兼2
		データサイエンス・AI入門	1前後		2							兼2
		データサイエンス・AI応用	2・3・4前後		2							兼1
		データリテラシー	2・3・4前後		2							兼1
		コンピュータ入門	1・2・3・4前後		2							兼2
		情報処理	2・3・4前後		2							兼1
		基礎からわかるレポート作成	1・2・3・4前後		2							兼4
		基礎からわかる近代史	1・2・3・4前後		2							兼1
		基礎からわかる現代社会	1・2・3・4前後		2							兼1
		基礎からわかる数学	1・2・3・4前後		2							兼1
		基礎からわかる生物・化学	1・2・3・4前後		2							兼1
	小計(12科目)	—	2	22	0	0	0	0	0	0	兼12	
	一般教養教育科目群	生活の中の科学	1・2・3・4前後		2							兼1
		地球環境論	1・2・3・4前後		2							兼1
		科学と現代	1・2・3・4前後		2							兼1
		数学と論理	1・2・3・4前後		2							兼1
		統計学1	1・2・3・4前		2							兼1
		統計学2	1・2・3・4後		2							兼1
		経営学1	1・2・3・4前		2							兼1
		経営学2	1・2・3・4後		2							兼1
		地理学1	1・2・3・4前		2							兼1
		地理学2	1・2・3・4後		2							兼1
		日本国憲法	1・2・3・4後		2							兼2
		法学	1・2・3・4前		2							兼2
		経済学1	1・2・3・4前		2							兼1
		経済学2	1・2・3・4後		2							兼1
		政治学	1・2・3・4前後		2							兼1
		社会学	1・2・3・4前後		2							兼1
		民法1	1・2・3・4前		2							兼1
		民法2	1・2・3・4後		2							兼1
		行政法1	1・2・3・4前		2							兼1
		行政法2	1・2・3・4後		2							兼1
		哲学概論1	1・2・3・4前		2							兼2
		哲学概論2	1・2・3・4後		2							兼2
		倫理学1	1・2・3・4前後		2							兼1
倫理学2		1・2・3・4後		2							兼1	
心理学1		1・2・3・4前		2							兼2	
心理学2		1・2・3・4後		2							兼2	
ジェンダー・セクシャリティ		1・2・3・4前後		2							兼1	
近現代の遺産と未来		1・2・3・4前後		2							兼1	
宗教と芸能		1・2・3・4後		2							兼1	
労働と社会		1・2・3・4前後		2							兼1	
障害学		1・2・3・4前後		2							兼2	
世界の文学1		1・2・3・4前		2							兼1	
世界の文学2		1・2・3・4後		2							兼1	
カルチュラルスタディーズ		1・2・3・4前後		2							兼1	
宗教と現代社会		1・2・3・4前後		2							兼1	
人権と差別1		1・2・3・4前		2							兼3	
人権と差別2	1・2・3・4後		2							兼3		
日本手話A	1・2・3・4前後		2							兼1		
日本手話B	1・2・3・4後		2							兼1		
アウトドアスポーツ	1・2・3・4通		1							兼1		
レクリエーションスポーツ	2・3・4前		1							兼2		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合教育科目	キャリア教育科目群	インターンシップ2	1-2-3通		2							兼1
		海外インターンシップ1	2-3-4通		1							兼1
		海外インターンシップ2	2-3-4通		2							兼1
		小計(7科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	兼7
	基礎リテラシー科目群	基礎ゼミナール1	1前	2								兼2
		基礎ゼミナール2	1後		2							兼2
		データサイエンス・AI入門	1前後		2							兼2
		データサイエンス・AI応用	2-3-4前修		2							兼1
		データリテラシー	2-3-4前修		2							兼1
		コンピュータ入門	1-2-3-4前修		2							兼2
		情報処理	2-3-4前修		2							兼1
		基礎からわかるレポート作成	1-2-3-4前修		2							兼5
		基礎からわかる近代史	1-2-3-4前修		2							兼1
		基礎からわかる現代社会	1-2-3-4前修		2							兼1
	基礎からわかる数学	1-2-3-4前修		2							兼1	
	基礎からわかる生物・化学	1-2-3-4前修		2							兼1	
	小計(12科目)	—	2	22	0	0	0	0	0	0	兼12	
	一般教養教育科目群	生活の中の科学	1-2-3-4前修		2							兼1
		地球環境論	1-2-3-4前修		2							兼1
		科学と現代	1-2-3-4前修		2							兼1
		数学と論理	1-2-3-4前修		2							兼1
		統計学1	1-2-3-4前		2							兼1
		統計学2	1-2-3-4後		2							兼1
		経営学1	1-2-3-4前		2							兼1
		経営学2	1-2-3-4後		2							兼1
		地理学1	1-2-3-4前		2							兼1
		地理学2	1-2-3-4後		2							兼1
		日本国憲法	1-2-3-4後		2							兼2
		法学	1-2-3-4前		2							兼2
		経済学1	1-2-3-4前		2							兼1
		経済学2	1-2-3-4後		2							兼1
		政治学	1-2-3-4前修		2							兼1
		社会学	1-2-3-4前修		2							兼1
		民法1	1-2-3-4前		2							兼1
		民法2	1-2-3-4後		2							兼1
		行政法1	1-2-3-4前		2							兼1
		行政法2	1-2-3-4後		2							兼1
		哲学概論1	1-2-3-4前		2							兼2
		哲学概論2	1-2-3-4後		2							兼2
		倫理学1	1-2-3-4前修		2							兼1
		倫理学2	1-2-3-4後		2							兼1
		心理学1	1-2-3-4前		2							兼2
		心理学2	1-2-3-4後		2							兼2
		ジェンダー・セクシャリティ	1-2-3-4前修		2							兼1
		近現代の遺産と未来	1-2-3-4前修		2							兼1
		宗教と芸能	1-2-3-4後		2							兼1
労働と社会		1-2-3-4前修		2							兼1	
障害学		1-2-3-4前修		2							兼2	
世界の文学1		1-2-3-4前		2							兼1	
世界の文学2		1-2-3-4後		2							兼1	
カルチュラルスタディーズ		1-2-3-4前修		2							兼1	
宗教と現代社会	1-2-3-4前修		2							兼1		
人権と差別1	1-2-3-4前		2							兼3		
人権と差別2	1-2-3-4後		2							兼3		
日本手話A	1-2-3-4前修		2							兼1		
日本手話B	1-2-3-4後		2							兼1		
アウトドアスポーツ	1-2-3-4通		1							兼1		
レクリエーションスポーツ	2-3-4前		1							兼2		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合 教育 科目		ニューススポーツ	2・3・4前		1								兼2
		小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0		兼32
		合計(106科目)	—	10	184	0	0	0	0	0	0		兼86
心理 学 科 専 攻 科 目		心理学概論	1・2・3・4前	2									兼1
		臨床心理学概論	1・2・3・4前	2			1						
		公認心理師の職責	1・2休		2								兼1
		心理学研究法	2後		4								兼1
		心理学統計法	2後		2								兼1
		多変量解析法	4前		2								兼1
		心理学実験法	2前		4								兼1
		知覚・認知心理学	2・3・4前		2								兼1
		学習・言語心理学	2・3・4後		2								兼1
		感情・人格心理学	2・3・4前		2								兼1
		神経・生理心理学	2・3・4休		2								兼1
		社会・集団・家族心理学	2・3・4後		2								兼1
		発達心理学	2・3・4前		2								兼1
		障害者・障害児心理学	2・3・4前		2		1						
		心理的アセスメント1	2前		4								兼1
		心理的アセスメント2	2後		4								兼1
		心理学的支援法	3・4後		2		1						
		健康・医療心理学	2・3・4休		2								兼1
		福祉心理学	3・4前		2								兼1
		教育・学校心理学	3・4後		2		1						
		司法・犯罪心理学	2・3・4後		2								兼1
		産業・組織心理学	2・3・4前		2								兼1
		人体の構造と機能及び疾病	2・3・4前		2								兼1
		精神疾患とその治療1	2・3・4前		2								兼1
		精神疾患とその治療2	2・3・4後		2								兼1
		関係行政論	3・4通		2								兼2
		精神分析学	3・4前		2		1						
		ユング心理学	3・4後		2		1						
		投影法演習	3・4後		4		1						
		対人スキル演習	3・4後		4		1						
		臨床心理学課題演習	3前		2		1						
		対人社会課題演習	3前		2		1						
		心理演習	3後		2		1						
		心理実習	4通		2		6						
		心理学入門演習	1後	2			1						
		心理学研究演習1	4前	2			6						
		心理学研究演習2	4後	2			6						
		卒業課題研究	4通	4			1						
		小計(38科目)	—				6	0	0	0	0		兼13
資格 科目	天理 教 学 部 門	伝道実習1	1・2・3・4前			1							兼1
		伝道実習2	1・2・3・4前			1							兼1
		伝道実習3	2・3・4前			1							兼1
		伝道実習4	2・3・4後			1							兼1
		小計(4科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0		兼1
	人文 科 学 部 門	日本語学入門	1前			2							兼1
		日本語教育入門	1後			2							兼1
		日本語語彙論	2前			2							兼1
		日本語文法論1	2前			2							兼1
		日本語文法論2	2後			2							兼1
		日本語音声学	2後			2							兼1
		言語の対照研究	3前			2							兼1
		日本語教授法1	3前			2							兼1
		日本語教授法2	3後			2							兼1
		第二言語習得論	3前			2							兼1
		日本語指導法	4前			2							兼1

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 教育 科目		ニューススポーツ	2・3・4前		1							兼2
		小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0	兼34
		合計(110科目)	—	10	192	0	0	0	0	0	0	兼97
学 科 専 攻 科 目		心理学概論	1・2・3・4前	2								兼1
		臨床心理学概論	1・2・3・4前	2			1					
		公認心理師の職責	1・2休		2							兼1
		心理学研究法	2後		4							兼1
		心理学統計法	2後		2							兼1
		多変量解析法	4前		2							兼1
		心理学実験法	2前		4							兼1
		知覚・認知心理学	2・3・4前		2							兼1
		学習・言語心理学	2・3・4後		2							兼1
		感情・人格心理学	2・3・4前		2							兼1
		神経・生理心理学	2・3・4休		2							兼1
		社会・集団・家族心理学	2・3・4後		2							兼1
		発達心理学	2・3・4前		2							兼1
		障害者・障害児心理学	2・3・4前		2		1					
		心理的アセスメント1	2前		4							兼1
		心理的アセスメント2	2後		4							兼1
		心理学的支援法	3・4後		2		1					
		健康・医療心理学	2・3・4休		2							兼1
		福祉心理学	3・4前		2							兼1
		教育・学校心理学	3・4後		2		1					
		司法・犯罪心理学	2・3・4後		2							兼1
		産業・組織心理学	2・3・4前		2							兼1
		人体の構造と機能及び疾病	2・3・4前		2							兼1
		精神疾患とその治療1	2・3・4前		2							兼1
		精神疾患とその治療2	2・3・4後		2							兼1
		関係行政論	3・4通		2							兼2
		精神分析学	3・4前		2		1					
		ユング心理学	3・4後		2		1					
		投影法演習	3・4後		4		1					
		対人スキル演習	3・4後		4		1					
		臨床心理学課題演習	3前		2		1					
		対人社会課題演習	3前		2		1					
		心理演習	3後		2		1					
		心理実習	4通		2		6					
		心理学入門演習	1後	2			1					
		心理学研究演習1	4前	2			6					
		心理学研究演習2	4後	2			6					
		卒業課題研究	4通	4			1					
		小計(38科目)	—				6	0	0	0	0	兼13
資 格 科 目	天理 教 学 部 門	伝道実習1				1						兼1
		伝道実習2				1						兼1
		伝道実習3				1						兼1
		伝道実習4				1						兼1
		小計(4科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0	兼1
	人 文 科 学 部 門	日本語学入門	1前			2						兼1
		日本語教育入門	1後			2						兼1
		日本語語彙論	2前			2						兼1
		日本語文法論1	2前			2						兼1
		日本語文法論2	2後			2						兼1
		日本語音声学	2後			2						兼1
		言語の対照研究	3前			2						兼1
		日本語教授法1	3前			2						兼1
		日本語教授法2	3後			2						兼1
		第二言語習得論	3前			2						兼1
		日本語指導法	4前			2						兼1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
人文 科学 部 門	日本語教育評価法	4後			2						兼1
	日本語教育実習	4通			2						兼1
	小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0	兼2
	図書館情報システム論	2・3・4後			2						兼1
	情報サービス論	3・4前			2						兼1
	児童・YAサービス論	2・3・4前			2						兼1
	情報サービス演習1	3・4後			2						兼1
	情報サービス演習2	3・4後			2						兼1
	図書館情報資源概論	2・3・4前			2						兼1
	情報資源組織論	3・4前			2						兼1
	情報資源組織演習1	3・4後			2						兼1
	情報資源組織演習2	3・4後			2						兼1
	図書館情報資源特論	3・4前			2						兼1
	図書館情報学特論	4前			2						兼1
	博物館実習1	3前			2						兼2
	博物館実習2	4通			1						兼3
	矯正概論	1・2・3・4前			2						兼1
	更生保護概論	1・2・3・4前			2						兼1
社会 科学 部 門	矯正保護教育(施設参観を含む)	3・4後			2						兼1
	矯正保護支援実践論	2・3・4後			2						兼2
	犯罪被害者支援論	2・3・4後			2						兼1
	小計(18科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	兼13
資格 科目	教職論	1前後			2						兼1
	教育原理	2・3・4前後			2						兼1
	教育史	2・3・4前			2						兼1
	教育課程論	3・4前後			2						兼1
	学校教育心理学	2・3・4前後			2						兼1
	学校教育社会学	2・3・4前後			2						兼1
	道徳の理論及び指導法	3・4前後			2						兼1
	教育実習(施設参観を含む)	3前後			2						兼2
	教育相談の理論及び方法	2・3・4前後			2						兼1
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3・4前後			2	1					兼1
	教育実習講義	3後			1						兼3
	介護等体験	3通			1						兼3
	教職実践演習(中・高)	4後			2						兼5
	教育実習1	4通			2						兼1
	教育実習2	4通			2						兼1
	人権教育論1	2・3・4前			2						兼3
	人権教育論2	2・3・4後			2						兼3
教職 に 関 する 専 門 教 育 科 目	特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2						兼1
	学校教育支援	2・3・4通			1						兼3
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2・3・4前後			2						兼1
	教育史特論	2・3・4後			2						兼1
	臨床教育学特論	2・3・4通			2						兼1
	小計(22科目)	—	0	0	41	1	0	0	0	0	兼11
	合計(57科目)	—	0	0	106	1	0	0	0	0	兼27
	合計(201科目)	—	24	260	106	6	0	0	0	0	兼119
卒業要件及び履修方法											
総合教育科目:天理スピリット科目群12単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群4単位以上 計24単位以上 心理学科専攻目:必修科目14単位 選択科目は選択必修科目の必要単位を含め42単位以上 計56単位以上 総合教育科目、心理学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。 履修科目の登録上限:48単位(年間)											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
人文 科学 部 門	日本語教育評価法	4後			2						兼1
	日本語教育実習	4通			2						兼1
	小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0	兼2
	図書館情報システム論	2・3・4後			2						兼1
	情報サービス論	3・4前			2						兼1
	児童・YAサービス論	2・3・4前			2						兼1
	情報サービス演習1	3・4後			2						兼1
	情報サービス演習2	3・4後			2						兼1
	図書館情報資源概論	2・3・4前			2						兼1
	情報資源組織論	3・4前			2						兼1
	情報資源組織演習1	3・4後			2						兼1
	情報資源組織演習2	3・4後			2						兼1
	図書館情報資源特論	3・4前			2						兼1
	図書館情報学特論	4前			2						兼1
	博物館実習1	3前			2						兼2
	博物館実習2	4通			1						兼3
	矯正概論(未開講)	1・2・3・4前			2						兼1
	更生保護概論	1・2・3・4前			2						兼1
社会 科学 部 門	矯正保護教育(施設参観を含む)	3・4後			2						兼1
	矯正保護支援実践論	2・3・4後			2						兼2
	犯罪被害者支援論	2・3・4後			2						兼1
	小計(18科目)	—	0	0	35	0	0	0	0	0	兼13
資格 科目	教職論	1前後			2						兼1
	教育原理	2・3・4前後			2						兼1
	教育史	2・3・4前			2						兼1
	教育課程論	3・4前後			2						兼1
	学校教育心理学	2・3・4前後			2						兼1
	学校教育社会学	2・3・4前後			2						兼1
	道徳の理論及び指導法	3・4前後			2						兼1
	教育実習(施設参観を含む)	3前後			2						兼2
	教育相談の理論及び方法	2・3・4前後			2						兼1
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3・4前後			2	1					兼1
	教育実習講義	3後			1						兼3
	介護等体験	3通			1						兼3
	教職実践演習(中・高)	4後			2						兼5
	教育実習1	4通			2						兼1
	教育実習2	4通			2						兼1
	人権教育論1	2・3・4前			2						兼3
	人権教育論2	2・3・4後			2						兼3
教職 に 関 する 専 門 教 育 科 目	特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2						兼1
	学校教育支援	2・3・4通			1						兼3
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2・3・4前後			2						兼1
	教育史特論	2・3・4後			2						兼1
	臨床教育学特論	2・3・4通			2						兼1
	小計(22科目)	—	0	0	41	1	0	0	0	0	兼11
	合計(57科目)	—	0	0	106	1	0	0	0	0	兼27
	合計(205科目)	—	24	268	106	6	0	0	0	0	兼130
卒業要件及び履修方法											
総合教育科目:天理スピリット科目群12単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群4単位以上 計24単位以上 心理学科専攻目:必修科目14単位 選択科目は選択必修科目の必要単位を含め42単位以上 計56単位以上 総合教育科目、心理学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。 履修科目の登録上限:48単位(年間)											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。

- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和6年度】（新）→【令和5年度】（新）→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】（旧）→【令和5年度】（旧）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・「英語1」 担当者の変更により、「兼15」から「兼16」に変更
- ・「英語2」 担当者の変更により、「兼15」から「兼16」に変更
- ・「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」 担当者の変更により、「兼1」から「兼2」に変更
- ・「健康スポーツ科学1」 担当者の変更により、「兼8」から「兼11」に変更
- ・「健康スポーツ科学2」 担当者の変更により、「兼6」から「兼8」に変更
- ・「天理大学特別講義1」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更
- ・「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」 天理スピリット科目群の教育課程を充実させるため科目を新設
- ・「キャリアプランニング」 担当者の変更及びクラス増により、「兼3」から「兼5」に変更
- ・「基礎からわかるレポート作成」 担当者の変更により、「兼4」から「兼5」に変更
- ・「更生保護概論」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
12 科目	132 科目	57 科目	201 科目	12 科目 [ー]	136 科目 [4]	57 科目 [ー]	205 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{201} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	面積が錯誤により増加したため（6）			
	校 舎 敷 地	148,449.28㎡ 148,332.61㎡	0 ㎡	0 ㎡	148,449.28㎡ 148,332.61㎡				
	運動場用地	163,322.48㎡	0 ㎡	0 ㎡	163,322.48㎡				
	小 計	311,771.76㎡ 311,655.09㎡	0 ㎡	0 ㎡	311,771.76㎡ 311,655.09㎡				
	そ の 他	28,069.17㎡ 27,034.99㎡	0 ㎡	0 ㎡	28,069.17㎡ 27,034.99㎡				
	合 計	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	0 ㎡	0 ㎡	339,840.93㎡ 338,690.08㎡				
(2) 校 舎	専 用	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) (-81,584.21㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) (-81,584.21㎡)	厚生補導施設が含まれており、その数値を除いたため（6）			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 (補助職員 0人) (補助職員 0人)			
	60 室	44 室	22 室	11 室	5 室				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人文学部 心理学科			6 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 学術雑誌／申請時の数値に誤り（学術雑誌数に電子ジャーナル種数を含めていなかった）があったため（6）	
		人文学部 心理学科	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)		0 (0)
		計	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)		0 (0)
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		面積／錯誤により減少したため（6） 閲覧座席数、収納可能冊数／申請時の数値に誤り（別所キャンパスの数値を含めていなかった）があったため（6）		
	14,260.80㎡ 14,348.40㎡		410 349		191,000 154,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				面積が錯誤により増加したため（6）		
	16,559.45㎡ 16,377.25㎡		武道館（柔剣道場）		弓道場				
			空手道場		トレーニングルーム				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費、共同研究費、設備購入費／申請時は人文学部の合計金額を記載（6）
		教員 1 人 当 研究費等	390千円	390千円	図書購入費	1,707千円 11,093千円	1,925千円 11,093千円	1,925千円 11,093千円	
		共 同 研 究 費 等	926千円 5,730千円	926千円 5,730千円	設備購入費	951千円 8,473千円	963千円 8,473千円	963千円 8,473千円	
	学生 1 人 当 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,080千円	1,030千円	1,030千円	1,030千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、私立大学等経常費補助金、手数料、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	天理大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	11	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
人文学部	4	240	0	960	—	0.55	—	—	令和6	—				
宗教学科	4	20	0	80	学士(宗教学)	0.45	—	—	令和6	奈良県天理市杣之内町1050番地				
国文学国語学科	4	40	0	160	学士(国文学)	0.35	—	—	令和6	同上				
歴史文化学科	4	50	0	200	学士(歴史文化学)	0.68	—	—	令和6	同上				
心理学科	4	40	0	160	学士(心理学)	0.55	—	—	令和6	同上				
社会教育学科	4	40	0	160	学士(社会教育学)	0.57	—	—	令和6	同上				
社会福祉学科	4	50	0	200	学士(社会福祉学)	0.60	—	—	令和6	同上				
国際学部	4	290	0	1160	—	0.59	—	—	平成22	—				
韓国・朝鮮語学科	4	40	0	160	学士(韓国・朝鮮語)	0.60	—	—	令和6	同上				
中国語学科	4	40	0	160	学士(中国語)	0.27	—	—	令和6	同上				
英米語学科	4	60	0	240	学士(英語)	0.58	—	—	令和6	同上				
国際文化学科	4	50	0	200	学士(国際文化学)	1.00	—	—	令和6	同上				
日本学科	4	40	0	160	学士(日本学)	0.52	—	—	令和6	同上				
外国語学科	4	60	0	240	学士(タイ語) (インドネシア語) (ドイツ語) (フランス語) (ロシア語) (スペイン語) (ブラジルポルトガル語)	0.56	—	—	平成22	同上	令和6年度から入学定員変更(165→60)			
英米語専攻	4	—	—	—	学士(英語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
中国語専攻	4	—	—	—	学士(中国語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
韓国・朝鮮語専攻	4	—	—	—	学士(韓国・朝鮮語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻	4	—	—	—	学士(スペイン語)又は(ブラジルポルトガル語)	—	—	—	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
地域文化学科	4	—	—	—	学士(地域文化)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
体育学部	4	240	0	960	—	1.06	—	—	昭和30	—				
体育学科	4	240	0	960	学士(体育学)	1.06	—	—	昭和30	奈良県天理市田井庄町80	令和6年度から入学定員変更(200→240)			
医療学部	4	100	0	400	—	1.03	—	—	令和5	—				
看護学科	4	70	0	280	学士(看護学)	1.14	—	—	令和5	奈良県天理市別所町80-1	令和5年度学部の設置者変更			
臨床検査学科	4	30	0	120	学士(臨床検査学)	0.78	—	—	令和5	同上	令和5年度学部の設置者変更			
人間学部	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	—				
宗教学科	4	—	—	—	学士(宗教学)	—	—	—	平成4	奈良県天理市杣之内町1050番地	令和6年度入学生より学生募集停止			
人間関係学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
臨床心理専攻	4	—	—	—	学士(臨床心理)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
生涯教育専攻	4	—	—	—	学士(生涯教育)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
社会福祉専攻	4	—	—	—	学士(社会福祉)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			

文学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和24	-	
国文学国語学科	4	-	-	-	学士 (国文学)	-	-	-	昭和24	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
歴史文化学科	4	-	-	-	学士 (歴史文化)	-	-	-	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
大学全体	4	870	-	3480	-	-	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<人文学部 心理学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	千原 雅代 ＜令和6年4月＞ 教育学博士 精神分析学 心理実習 心理学入門演習 心理学研究演習1 心理学研究演習2
専	教授	高森 淳一 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※ 投影法演習 臨床心理学課題演習 心理実習 心理学研究演習1 心理学研究演習2
専	教授	橋本（勝）尚子 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学） 臨床心理学概論 心理実習 心理学入門演習 心理学研究演習1 心理学研究演習2
専	教授	金山 元春 ＜令和6年4月＞ 博士（心理学） 障害者・障害児心理学 教育・学校心理学 対人スキル演習 心理実習 心理学入門演習 心理学研究演習1 心理学研究演習2 生徒指導・進路指導の理論及び 方法
専	教授	松井（出来）華子 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学） 臨床心理学概論 心理学的支援法 心理実習 心理学研究演習1 心理学研究演習2
専	教授	高嶋 雄介 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※ ユング心理学 対人社会課題演習 心理実習 心理学入門演習 心理学研究演習1 心理学研究演習2 卒業課題研究
兼任	教授	岡田 正彦 ＜令和6年4月＞ Ph.D（米國） 天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ
兼任	教授	東馬場 郁生 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy(History of Religions)（米國） 天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ
兼任	教授	齊藤 純 ＜令和6年4月＞ 文学修士※ 博物館実習1
兼任	教授	幡鎌 一弘 ＜令和6年4月＞ 修士（文学） 宗教と芸能
兼任	教授	小田木 治太郎 ＜令和6年4月＞ 文学修士 博物館実習1

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	千原 雅代 ＜令和6年4月＞ 教育学博士 精神分析学 心理実習 心理学入門演習 心理学研究演習1 心理学研究演習2
専	教授	高森 淳一 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※ 投影法演習 臨床心理学課題演習 心理実習 心理学研究演習1 心理学研究演習2
専	教授	橋本（勝）尚子 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学） 臨床心理学概論 心理実習 心理学入門演習 心理学研究演習1 心理学研究演習2
専	教授	金山 元春 ＜令和6年4月＞ 博士（心理学） 障害者・障害児心理学 教育・学校心理学 対人スキル演習 心理実習 心理学入門演習 心理学研究演習1 心理学研究演習2 生徒指導・進路指導の理論及び 方法
専	教授	松井（出来）華子 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学） 臨床心理学概論 心理学的支援法 心理実習 心理学研究演習1 心理学研究演習2
専	教授	高嶋 雄介 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※ ユング心理学 対人社会課題演習 心理実習 心理学入門演習 心理学研究演習1 心理学研究演習2 卒業課題研究
兼任	教授	岡田 正彦 ＜令和6年4月＞ Ph.D（米國） 天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ
兼任	教授	東馬場 郁生 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy(History of Religions)（米國） 天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ
兼任	教授	齊藤 純 ＜令和6年4月＞ 文学修士※ 博物館実習1
兼任	教授	幡鎌 一弘 ＜令和6年4月＞ 修士（文学） 宗教と芸能
兼任	教授	小田木 治太郎 ＜令和6年4月＞ 文学修士 博物館実習1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任 教授		山中 秀夫 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任 教授		山中 秀夫 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論			情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論
兼任 教授		関本 克良 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任 教授		関本 克良 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成			ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成
兼任 教授		曾山 典子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	兼任 教授		曾山 典子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理			データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理
兼任 教授		上田 喜彦 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）	兼任 教授		上田 喜彦 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）
		天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義3 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 教職実践演習（中・高）			天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 教職実践演習（中・高）
兼任 教授		竹村 景生 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※	兼任 教授		竹村 景生 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法			ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法
兼任 教授		仲 淳 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※	兼任 教授		仲 淳 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 教育実習1 教育実習2 学校教育支援			学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 教育実習1 教育実習2 学校教育支援
兼任 教授		古賀 崇 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） Master of Library Science（米国）※	兼任 教授		古賀 崇 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） Master of Library Science（米国）※
		図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論			図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論
兼任 教授		魯 ゼウオン ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	兼任 教授		魯 ゼウオン ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）
		カルチュラルスタディーズ			カルチュラルスタディーズ
兼任 教授		野津 幸治 ＜令和6年4月＞ M.A.（タイ）	兼任 教授		野津 幸治 ＜令和6年4月＞ M.A.（タイ）
		多文化理解と言語（タイ語）			多文化理解と言語（タイ語）
兼任 教授		奥島 美夏 ＜令和6年4月＞ 文学修士※	兼任 教授		奥島 美夏 ＜令和6年4月＞ 文学修士※
		多文化理解と言語（インドネシア語） キャリアデザイン2			多文化理解と言語（インドネシア語） キャリアデザイン2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等			<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	森 洋明 <令和6年4月> 言語学（意味論）修士 （フランス）	兼任	教授	森 洋明 <令和6年4月> 言語学（意味論）修士 （フランス）
		多文化理解と言語（フランス語） 天理異文化伝道			多文化理解と言語（フランス語） 天理異文化伝道
兼任	教授	野口 茂 <令和6年4月> Magister en Historia （ベネズエラ）	兼任	教授	野口 茂 <令和6年4月> Magister en Historia （ベネズエラ）
		多文化理解と言語（スペイン語）			多文化理解と言語（スペイン語）
兼任	教授	北森 絵里 <令和6年4月> 修士（地域研究）	兼任	教授	北森 絵里 <令和6年4月> 修士（地域研究）
		多文化理解と言語（ポルトガル語）			多文化理解と言語（ポルトガル語）
兼任	教授	岡田 龍樹 <令和6年4月> 教育学修士※			
		日本事情 1 日本事情 2			
兼任	教授	菊池 律之 <令和6年4月> 修士（言語学）※	兼任	教授	菊池 律之 <令和6年4月> 修士（言語学）※
		日本語学入門 日本語文法論 1 日本語文法論 2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習			日本語学入門 日本語文法論 1 日本語文法論 2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習
兼任	教授	松永 稔也 <令和6年4月> 博士（言語文化学）	兼任	教授	松永 稔也 <令和6年4月> 博士（言語文化学）
		多文化理解と言語（日本語）			多文化理解と言語（日本語）
兼任	教授	奥田 真紀子 <令和6年4月> 修士（学術）※			
		保健医療の仕組みと健康づくり			
兼任	教授	増谷 弘 <令和6年4月> 博士（医学）	兼任	教授	増谷 弘 <令和6年4月> 博士（医学）
		基礎からわかる生物・化学			基礎からわかる生物・化学
兼任	教授	堀内 みどり <令和6年4月> 哲学博士（インド）	兼任	教授	堀内 みどり <令和6年4月> 哲学博士（インド）
		ジェンダー・セクシャリティ			ジェンダー・セクシャリティ
兼任	教授	金子 昭 <令和6年4月> 博士（哲学）	兼任	教授	金子 昭 <令和6年4月> 博士（哲学）
		哲学概論 1 哲学概論 2 倫理学 1 倫理学 2			哲学概論 1 哲学概論 2 倫理学 1 倫理学 2
兼任	准教授	澤井 治郎 <令和6年4月> 博士（文学）	兼任	准教授	澤井 治郎 <令和6年4月> 博士（文学）
		天理教概説 1 天理教概説 2 建学の精神と天理大学のあゆみ 英語 1 英語 2			天理教概説 1 天理教概説 2 建学の精神と天理大学のあゆみ 英語 1 英語 2
兼任	准教授	黒岩 康博 <令和6年4月> 博士（文学）			
		基礎からわかる近代史			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	箱田 徹 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）			
		キャリアプランニング 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 基礎からわかる現代社会 社会学 哲学概論1 哲学概論2			
兼任	准教授	小野 朗子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	小野 朗子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2			ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2
兼任	講師	福井 孝三 ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育情報学）	兼任	講師	福井 孝三 ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育情報学）
		日本語教育入門 日本語語彙論			日本語教育入門 日本語語彙論
兼任	准教授	金 珠 ＜令和8年4月＞ 博士（日本語・日本文化）	兼任	准教授	金 珠 ＜令和8年4月＞ 博士（日本語・日本文化）
		日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法			日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法
兼任	准教授	中村 久美 ＜令和6年4月＞ Ph.D in Anglo-Irish Literature and Drama （アイルランド）			
		英語1 英語2 多文化理解と言語（英語） 世界の文学1 世界の文学2			
兼任	准教授	吉田 智佳 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）	兼任	教授	吉田 智佳 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）
		英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級 基礎ゼミナール1			英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級 基礎ゼミナール1
兼任	准教授	川上 晃司 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	准教授	川上 晃司 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		健康スポーツ科学2 ニュースポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 ニュースポーツ
兼任	准教授	梅崎 さゆり ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	梅崎 さゆり ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割			健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割
兼任	准教授	穴井 隆将 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	兼任	准教授	穴井 隆将 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割			国際社会におけるスポーツの役割
兼任	准教授	蓬田 高正 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	准教授	蓬田 高正 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ
兼任	准教授	小畑 治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	兼任	准教授	小畑 治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		健康スポーツ科学1 レクリエーションスポーツ			レクリエーションスポーツ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	深谷 耕治 ＜令和6年4月＞ 修士（社会学） 修士（宗教学）（米国）	兼任	講師	深谷 耕治 ＜令和6年4月＞ 修士（社会学） 修士（宗教学）（米国）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4
兼任	講師	澤井 真 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	澤井 真 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会
兼任	講師	須永 哲思 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）			
		教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 教育史特論			
兼任	講師	小関 康平 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	兼任	講師	小関 康平 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）
		キャリアデザイン1 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2			キャリアブランチング キャリアデザイン1 基礎からわかるレポート作成 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2
兼任	講師	松木 優也 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）※			
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			
兼任	助教	金子 竜大 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	助教	金子 竜大 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼任	教授	齋元 伸枝 ＜令和6年4月＞ 修士（健康学）※
					天理大学特別講義7 天理大学特別講義8
			兼任	教授	石井 幸弘 ＜令和6年4月＞ 修士（学術）
					天理大学特別講義3
			兼任	教授	熊木 勉 ＜令和6年4月＞ 文学博士（大韓民国）
					多文化理解と言語（韓国・朝鮮語） ※
			兼任	教授	王 向華 ＜令和6年4月＞ 博士（社会人観学）
					日本事情1 日本事情2
			兼任	教授	白石 晃 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
					健康スポーツ科学1
			兼任	教授	寺田 和史 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
					健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼担	教授	金井 恵理 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 保健医療の仕組みと健康づくり
			兼担	准教授	山本 佳世子 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学） キャリアプランニング 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 基礎からわかる現代社会 哲学概論1
			兼担	准教授	高池 朋成 ＜令和6年4月＞ 文学博士（大韓民国） 多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）
			兼担	准教授	松山 尚蓮 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学） 健康スポーツ科学1
			兼担	助教	西田 昂平 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学） 健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	講師	蔡 珮菁 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 多文化理解と言語（中国語）	兼任	講師	蔡 珮菁 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 多文化理解と言語（中国語）
兼任	講師	Zaberezhnaia Olga ＜令和6年4月＞ 博士（文化学）（ロシア） 多文化理解と言語（ロシア語）	兼任	講師	Zaberezhnaia Olga ＜令和6年4月＞ 博士（文化学）（ロシア） 多文化理解と言語（ロシア語）
兼任	講師	市原 有希子 ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）※ 感情・人格心理学 社会・集団・家族心理学	兼任	講師	市原 有希子 ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）※ 感情・人格心理学 社会・集団・家族心理学
兼任	講師	風井 浩志 ＜令和7年4月＞ 博士（心理学） 神経・生理心理学	兼任	講師	風井 浩志 ＜令和7年4月＞ 博士（心理学） 神経・生理心理学
兼任	講師	笹川 宏樹 ＜令和8年4月＞ 学士（教育学） 福祉心理学 関係行政論 ※	兼任	講師	笹川 宏樹 ＜令和8年4月＞ 学士（教育学） 福祉心理学 関係行政論 ※
兼任	講師	竹谷 早織 ＜令和7年4月＞ 修士（人間科学）※ 心理的アセスメント1 心理的アセスメント2	兼任	講師	竹谷 早織 ＜令和7年4月＞ 修士（人間科学）※ 心理的アセスメント1 心理的アセスメント2
兼任	講師	達 智哉 ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学） 公認心理師の職責 精神疾患とその治療1 精神疾患とその治療2	兼任	講師	達 智哉 ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学） 公認心理師の職責 精神疾患とその治療1 精神疾患とその治療2
兼任	講師	十倉 利廣 ＜令和7年4月＞ 教育学士 司法・犯罪心理学	兼任	講師	十倉 利廣 ＜令和7年4月＞ 教育学士 司法・犯罪心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	野田 智美 ＜令和7年4月＞ 博士（人間・環境学）	兼任	講師	野田 智美 ＜令和7年4月＞ 博士（人間・環境学）
		産業・組織心理学			産業・組織心理学
兼任	講師	松田 真理子 ＜令和7年4月＞ 博士（臨床心理学）	兼任	講師	松田 真理子 ＜令和7年4月＞ 博士（臨床心理学）
		健康・医療心理学			健康・医療心理学
兼任	講師	松本 敦 ＜令和7年4月＞ 博士（心理学）	兼任	講師	松本 敦 ＜令和7年4月＞ 博士（心理学）
		知覚・認知心理学 学習・言語心理学			知覚・認知心理学 学習・言語心理学
兼任	講師	森崎 礼子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	森崎 礼子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		心理学概論 心理学研究法 心理学統計法 多変量解析法 心理学実験法			心理学概論 心理学研究法 心理学統計法 多変量解析法 心理学実験法
兼任	講師	山本 正顕 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	兼任	講師	山本 正顕 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		発達心理学			発達心理学
兼任	講師	松田 美智子 ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）	兼任	講師	松田 美智子 ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		人体の構造と機能及び疾病			人体の構造と機能及び疾病
兼任	講師	井上 成人 ＜令和6年4月＞ 文学士	兼任	講師	井上 成人 ＜令和6年4月＞ 文学士
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	伊橋 幸江 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	伊橋 幸江 ＜令和7年4月＞ 文学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	上原 道延 ＜令和7年4月＞ 教育学士	兼任	講師	上原 道延 ＜令和7年4月＞ 教育学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	梅田 正之 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	梅田 正之 ＜令和7年4月＞ 文学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	加藤 匡人 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	加藤 匡人 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	澤井 一郎 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	澤井 一郎 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	松山 常教 ＜令和6年4月＞ 学士（宗教学）	兼任	講師	松山 常教 ＜令和6年4月＞ 学士（宗教学）
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	安井 幹直 ＜令和6年4月＞ M.A（文学修士）（米国）	兼任	講師	安井 幹直 ＜令和6年4月＞ M.A（文学修士）（米国）
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	荒田 恵 ＜令和9年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	荒田 恵 ＜令和9年4月＞ 修士（文学）
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	乾 誠二 ＜令和9年4月＞ 文学士	兼任	講師	乾 誠二 ＜令和9年4月＞ 文学士
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	齊藤 純 ＜令和9年4月＞ 文学修士※	兼任	講師	齊藤 純 ＜令和9年4月＞ 文学修士※
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	講師	中尾 徳仁 ＜令和9年4月＞ 学士（教育学）	兼任	講師	中尾 徳仁 ＜令和9年4月＞ 学士（教育学）
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	今治 周平 ＜令和6年4月＞ 法務博士	兼任	講師	今治 周平 ＜令和6年4月＞ 法務博士
		民法1 民法2			民法1 民法2
兼任	講師	角 克明 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※	兼任	講師	角 克明 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※
		地理学1 地理学2			地理学1 地理学2
兼任	講師	加藤 康 ＜令和6年4月＞ 修士（商学）※	兼任	講師	加藤 康 ＜令和6年4月＞ 修士（商学）※
		経営学1 経営学2			経営学1 経営学2
兼任	講師	片岡 佐知子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）			
		科学と現代			
兼任	講師	坂手 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	講師	坂手 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		生活の中の科学			生活の中の科学
兼任	講師	鈴木 史子 ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学）※	兼任	講師	鈴木 史子 ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学）※
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	竹村 和也 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）※	兼任	講師	竹村 和也 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）※
		日本国憲法 法学			日本国憲法 法学
兼任	講師	東井 申雄 ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学）	兼任	講師	東井 申雄 ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学）
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	長沢 一恵 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※ 基礎からわかるレポート作成 近現代の遺産と未来	兼任	講師	長沢 一恵 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※ 基礎からわかるレポート作成 基礎からわかる近代史 近現代の遺産と未来
兼任	講師	中村 珍晴 ＜令和6年4月＞ 博士（スポーツ科学） 障害学	兼任	講師	中村 珍晴 ＜令和6年4月＞ 博士（スポーツ科学） 障害学
兼任	講師	西 直美 ＜令和6年4月＞ 博士（グローバル社会研究） 基礎からわかるレポート作成 政治学	兼任	講師	西 直美 ＜令和6年4月＞ 博士（グローバル社会研究） 基礎からわかるレポート作成 政治学
兼任	講師	福島 沢美 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学） 日本手話A 日本手話B	兼任	講師	福島 沢美 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学） 日本手話A 日本手話B
兼任	講師	藤井 稔 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 基礎ゼミナール2 基礎からわかるレポート作成	兼任	講師	藤井 稔 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 基礎ゼミナール2 基礎からわかるレポート作成
兼任	講師	三宅 正夫 ＜令和6年4月＞ 博士（工学） 基礎からわかる数学	兼任	講師	三宅 正夫 ＜令和6年4月＞ 博士（工学） 基礎からわかる数学
兼任	講師	八木 英治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 障害学	兼任	講師	八木 英治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 障害学
兼任	講師	安田 智博 ＜令和6年4月＞ 学士（文学） キャリアプランニング 労働と社会	兼任	講師	安田 智博 ＜令和6年4月＞ 学士（文学） キャリアプランニング 労働と社会
兼任	講師	吉田 和弘 ＜令和6年4月＞ 博士（農学） 地球環境論			
兼任	講師	持元 江津子 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学） コンピュータ入門	兼任	講師	持元 江津子 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学） コンピュータ入門
兼任	講師	渡邊 碩 ＜令和6年4月＞ 修士（経済学） 経済学1 経済学2	兼任	講師	渡邊 碩 ＜令和6年4月＞ 修士（経済学） 経済学1 経済学2
兼任	講師	池田 華子 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学） 臨床教育学特論	兼任	講師	池田 華子 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学） 臨床教育学特論
兼任	講師	奥本 武裕 ＜令和6年4月＞ 修士（文学） 人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2	兼任	講師	奥本 武裕 ＜令和6年4月＞ 修士（文学） 人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	金山 佐喜子 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※	兼任	講師	金山 佐喜子 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		特別な支援の必要な生徒の理解			特別な支援の必要な生徒の理解
兼任	講師	北口 学 ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）	兼任	講師	北口 学 ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		人権と差別 1 人権と差別 2 人権教育論 1 人権教育論 2			人権と差別 1 人権と差別 2 人権教育論 1 人権教育論 2
兼任	講師	小島 源一郎 ＜令和8年4月＞ 教育学士	兼任	講師	小島 源一郎 ＜令和8年4月＞ 教育学士
		教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む）			教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む）
兼任	講師	富田 稔 ＜令和6年4月＞ 修士（都市政策）	兼任	講師	富田 稔 ＜令和6年4月＞ 修士（都市政策）
		人権と差別 1 人権と差別 2 教職実践演習（中・高） 人権教育論 1 人権教育論 2			人権と差別 1 人権と差別 2 教職実践演習（中・高） 人権教育論 1 人権教育論 2
兼任	講師	松枝 拓生 ＜令和8年4月＞ 博士（教育学）	兼任	講師	松枝 拓生 ＜令和8年4月＞ 博士（教育学）
		道徳の理論及び指導法			道徳の理論及び指導法
兼任	講師	犬飼 誠 ＜令和6年4月＞ 文学士	兼任	講師	犬飼 誠 ＜令和6年4月＞ 文学士
		矯正概論 矯正保護教育（施設参観を含む）			矯正概論 矯正保護教育（施設参観を含む）
兼任	講師	高橋 秀紀 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	高橋 秀紀 ＜令和7年4月＞ 文学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	中村 寛子 ＜令和6年4月＞ 学術修士※	兼任	講師	中村 寛子 ＜令和6年4月＞ 学術修士※
		更生保護概論			更生保護概論
兼任	講師	北條 正崇 ＜令和7年4月＞ 学士（法学）	兼任	講師	北條 正崇 ＜令和7年4月＞ 学士（法学）
		関係行政論 ※ 犯罪被害者支援論			関係行政論 ※ 犯罪被害者支援論
兼任	講師	山本 道次 ＜令和7年4月＞ 体育学士	兼任	講師	山本 道次 ＜令和7年4月＞ 体育学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	佐藤 敏江 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	佐藤 敏江 ＜令和7年4月＞ 文学士
		児童・YAサービス論			児童・YAサービス論
兼任	講師	鈴木 陽二 ＜令和6年4月＞ 文学修士（韓国）	兼任	講師	鈴木 陽二 ＜令和6年4月＞ 文学修士（韓国）
		韓国・朝鮮語 1 韓国・朝鮮語 2			韓国・朝鮮語 1 韓国・朝鮮語 2
兼任	講師	吉川 万寿彦 ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	講師	吉川 万寿彦 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）			多文化理解と言語（韓国・朝鮮語） ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	乾 拓也 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	乾 拓也 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	鈴島 梓 ＜令和6年4月＞ 博士（英文学）	兼任	講師	鈴島 梓 ＜令和6年4月＞ 博士（英文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	日沖 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（宗教美術）（米國）	兼任	講師	日沖 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（宗教美術）（米國）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	山下 大輔 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	山下 大輔 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		多文化理解と言語（ドイツ語）			多文化理解と言語（ドイツ語）
兼任	講師	石田 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）※	兼任	講師	石田 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	荻野 綾 ＜令和6年4月＞ 修士（外国語教育学）	兼任	講師	荻野 綾 ＜令和6年4月＞ 修士（外国語教育学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	家村 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）	兼任	講師	家村 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）
		教養アカデミック英語 1 教養アカデミック英語 2 実践アカデミック英語 2			教養アカデミック英語 1 教養アカデミック英語 2 実践アカデミック英語 2
兼任	講師	小林 和代 ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	講師	小林 和代 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		中国語 1 中国語 2			中国語 1 中国語 2
兼任	講師	後藤 朗子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	後藤 朗子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	内藤 貴夫 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	内藤 貴夫 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	野田 智子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	野田 智子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	疋田 隆康 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	疋田 隆康 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	山川 仁 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）	兼任	講師	山川 仁 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	山口 徳一 ＜令和6年4月＞ 修士（英文学）※	兼任	講師	山口 徳一 ＜令和6年4月＞ 修士（英文学）※
		英語1 英語2			英語1 英語2 世界の文学1 世界の文学2
兼任	講師	山村 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）	兼任	講師	山村 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	坂井 隆秀 ＜令和6年4月＞ 体育学士	兼任	講師	坂井 隆秀 ＜令和6年4月＞ 体育学士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	講師	山田 貞子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士	兼任	講師	山田 貞子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーション・スポーツ ニュース・スポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーション・スポーツ ニュース・スポーツ
			兼任	講師	森田 実 ＜令和6年4月＞ 学士（法学）
					天理大学特別講義5 天理大学特別講義6
			兼任	講師	片山 雅男 ＜令和6年4月＞ 理学修士
					地球環境論
			兼任	講師	金岡 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
					キャリアプランニング
			兼任	講師	箱田 敬 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
					哲学概論2
			兼任	講師	細谷 祐司 ＜令和6年4月＞ 学士（理学）
					科学と現代
			兼任	講師	須永 智恵 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）
					教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 教育史料論
			兼任	講師	芳賀 達彦 ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学）
					社会学
			兼任	講師	北岡 一弘 ＜令和6年4月＞ 修士（学術） 修士（英文学） 修士（英語教育学）
					英語1 英語2 多文化理解と言語（英語）

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

・上田喜彦（兼任）教授 担当科目の見直しにより「天理大学特別講義3」1科目削除 ・岡田龍樹（兼任）教授を辞退 ・奥田真紀子（兼任）教授を辞退 ・黒岩康博（兼任）准教授を辞退 ・箱田徹（兼任）准教授を辞退し（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎ゼミナール1」「基礎ゼミナール2」「基礎からわかる現代社会」「社会学」「哲学概論1」6科目削除 ・中村久美（兼任）准教授を辞退 ・吉田智佳（兼任）准教授から（兼任）教授に職位変更 ・川上晃司（兼任）准教授 担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加 ・穴井隆将（兼任）准教授 担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目削除 ・小畑治（兼任）准教授 担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目削除 ・澤井真（兼任）講師から（兼任）准教授に職位変更 ・須永哲思（兼任）准教授を辞退し（兼任）講師として就任。 ・小関康平（兼任）講師 担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎からわかるレポート作成」2科目追加 ・松木優也（兼任）講師を辞退 ・森元伸枝（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」2科目追加 ・石井孝弘（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「天理大学特別講義3」1科目追加 ・熊木 勉（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」1科目追加 ・王向華（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「日本事情1」「日本事情2」2科目追加 ・白石晃（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加 ・寺田和史（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加 ・金井恵理（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「保健医療の仕組みと健康づくり」1科目追加 ・山本佳世子（兼任）准教授として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎ゼミナール1」「基礎ゼミナール2」「基礎からわかる現代社会」「哲学概論1」5科目追加 ・高地 朋成（兼任）准教授として就任。担当科目の見直しにより「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」1科目追加 ・松山尚道（兼任）准教授として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加 ・西田昂平（兼任）助教として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加 ・片岡佐和子（兼任）講師を辞退 ・長沢一恵（兼任）講師 担当科目の見直しにより「基礎からわかる近代史」1科目追加 ・吉田和弘（兼任）講師を辞退 ・吉川万寿彦（兼任）講師 担当科目の見直しにより「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」をオムニバスに変更 ・山口徳一（兼任）講師 担当科目の見直しにより「世界の文学1」「世界の文学2」2科目追加 ・森田実（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」2科目追加 ・片山雅男（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「地球環境論」1科目追加 ・金岡直子（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」1科目追加 ・細谷祐司（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「科学と現代」1科目追加 ・芳賀達彦（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「社会学」1科目追加 ・北岡一弘（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「英語1」「英語2」「多文化理解と言語（英語）」3科目追加 ・村田恵子（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「英語1」「英語2」2科目追加 ・山本樹（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**、
- ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) - ② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
5	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
6	0	0	0	6	0	6	0	0	0	6	0
(6)	(0)	(0)	(0)	(6)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
6	0	0	0	6	0	6	0	0	0	6	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{6}{6} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1		該当なし								
合計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当なし									
合 計（ F ）						後任補充状況の集計（ G ）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（ a ） + （ b ） + （ c ）			①の合計数（ a ）		②の合計数（ b ）		③の合計数（ c ）	
0人			必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）						後任補充状況の集計（E）+（G）				
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
0 人			必修	0	科目	必修	0	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{6} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
		該当なし									
合 計					後任補充状況の集計						
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時 (令和5年)	人間学部宗教学科の収容定員未充足の是正に努めること	人間学部宗教学科の収容定員未充足を改善すべく改編を行った。人間学部宗教学科は令和6年4月より学生募集を停止し、入学定員を40名から20名に削減した。人間学部宗教学科を設置した。ただし、改編初年度となる令和6年度の人間学部宗教学科の入学人数は9名(収容定員充足率45%)となり、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学希望者選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。
届出時 (令和5年)	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足の是正に努めること	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足を改善すべく、外国語学科の韓国・朝鮮語専攻、中国語専攻、英米語専攻、スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻の各専攻と地域文化学科を国際学部韓国・朝鮮語学科、中国語学科、英米語学科、外国語学科、国際文化学科、日本学科に改編した。外国語学科の各専攻と地域文化学科は令和6年4月より学生募集を停止し、国際学部全体の入学定員を360名から290名に削減した。ただし、改編初年度となる令和6年度の国際学部各学科の入学人数は韓国・朝鮮語学科24名(収容定員充足率60%)、中国語学科11名(同27%)、英米語学科35名(同58%)、外国語学科13名(同56%)、国際文化学科50名(同100%)、日本学科21名(同52%)となった。国際文化学科を除く5学科は、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学希望者選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成17年4月に天理大学FD委員会が設置された。同委員会は、令和6年4月より天理大学全学教育推進会議（専門委員会）に引き継がれ、審議等を行っている。同会議には委員として、学部長及び学科主任、もしくは学科の専任教員が出席している【資料】。

FD委員会とは異なる形だが、平成29年度よりスタッフ・ディベロップメントが義務化されたことに伴い、「天理大学SDの実施方針」および「SDの実施計画」を定め、担当部署が研修を企画実施している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

全学教育推進会議は、本学の教学マネジメントを担う会議体として、基本的に毎月1回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席している。

FD委員会は、令和5年度は6回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席していた。

SDに関する委員会は設置されていない。

c 委員会の審議事項等

FDに関することは全学教育推進会議で諮られている。

- (1) 教育の計画、内容、方法及び評価・改善に関すること。
- (2) 教育課程の編成に関すること。
- (3) 単位の認定に関すること。
- (4) FD活動に関すること。
- (5) 教員養成教育及び資格課程に関すること。
- (6) その他全学の教育推進に関すること。

SDの研修等に関しては、事務局の部長連絡会で調整され実施をしている。

② 実施状況

a 実施内容（令和5年度）

<FD>

- FD研修会 ○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク） ○学生による授業評価アンケート
- ティーチング・ポートフォリオ ○学外研修会等参加

<SD>

- SD研修会

b 実施方法

<FD>

- FD研修会
各学部・研究科単位で研修会を実施し、専任教員は全員参加（欠席者に対しては事後研修）。各学部・研究科が独自に設定したテーマで研修を行う。
- FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）
専任教員は、毎年度定められた期間内に1科目以上の授業の公開と1科目以上の参観を義務づけて実施。また、参観後は教員個人が報告書を学内グループウェアの専用ファイルに記載し公開しており、教員相互の授業改善に活用する。
- 学生による授業評価アンケート
年2回、学期（春期と秋期）末に、学生による授業評価アンケートを実施。
- ティーチング・ポートフォリオ
各教員が個別に研究・習得した教授法に関する知識・情報を全学的に共有し、それぞれの授業改善および教育内容の充実役に役立てる意図のもと令和3年度より導入。学内のグループウェアを使用しアップロードや閲覧可能なシステムを構築している。
- 学外研修会等参加
本学が加盟する日本私立大学連盟が主催するFD推進ワークショップの案内や関西地区FD連絡協議会が主催する各種研修会の案内を随時行い希望者が参加する。
- FD活動報告書
FD活動を体系的に整理し、報告書を作成。

<SD>

○SD研修会

全体研修として、外部団体より講師を招き全教職員を対象に研修会を開催。
職階別研修として、日本私立大学連盟などが実施している研修などの情報を提供し、職階に応じた教職員が各研修会に参加。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<FD>

○FD研修会 ※令和5年度

・各学部（5学部）で各テーマを設定し実施。教員は全員参加（事後研修含む）。

○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）※令和5年度

・実施期間：令和5年10月10日（火）～令和6年1月31日（水）
・公開科目：194科目（参観のあった科目：109科目）参観した教職員：165人

○学生による授業評価アンケート※令和5年度

・各学期（春学期・秋学期）の履修登録者5名以上の全学部の全授業科目対象（非常勤講師含む）に実施。

○ティーチング・ポートフォリオ（令和3年度～令和5年度）

・各教員が学内グループウェアに年度・学期・学部毎に掲載する形式で実施。

○学外研修会等参加（令和3年度～令和5年度）

・希望者が日本私立大学連盟主催のFD推進ワークショップ（新任教員向け）に参加。

○FD活動報告書

・毎年作成し公表。

<SD>

○SD研修会 ※令和5年度

・業務領域の知見の獲得を目的とする内容

学外から講師を招いてのSD講演会

「志願者獲得に向けた昨年度入試にかかる分析結果について」

（令和5年7月26日開催＋録画視聴：参加者367名のうち、教員の参加者169名）

・学生の厚生補導に関する内容

学生相談委員会、人権教育推進会議共催による学内研修会

「学校における労働安全衛生管理の観点からの適切な職場環境づくり

—労働安全衛生法と教職員の健康管理—」

令和5年12月1日～令和6年3月31日（動画視聴：参加者数不明）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD、SDの取り組みを大学全体で組織的に継続していくことで、授業改善は着実に進んでいる。
令和6年度も同様に実施し、授業の質の担保・向上に努めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況（令和5年度）

a 実施の有無及び実施時期

年2回各学期末にWebにより実施。

春学期：令和5年7月10日～8月2日 秋学期：令和6年1月11日～2月7日

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は個人の集計結果を通知。また、教員、学生は全体の集計結果の情報を本学のホームページで閲覧できる。併せて、「FD活動報告書」（毎年度作成）の中で全体の集計結果の情報を掲載している（教員は配付、学生は図書館他で閲覧可能）。

以上の活動を通じて、教員の資質の維持向上を図っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人文学部心理学科は、既設の人間学部人間関係学科臨床心理専攻を改編し、令和6年に開設した。
教育研究上の目的として、「現代社会に起きているさまざまな心の現象を幅広い視点から理解するために必要な心理学の基礎知識と実践のための能力を修得させることを通じて、諸問題の解決に向けた社会活動に実践的に取り組むことのできる人材を養成する」と掲げ、教育・研究活動に取り組んでいる。
授業計画については、兼担及び兼任教員の未就任により、一部の科目において担当者の変更が生じたが、概ね当初の計画通りに授業科目を開講している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年4月公表

b 公表方法

・自己点検・報告書を大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和4年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の大学評価（認証評価）を受審し、大学基準に適合していると認定された。

次回は令和11年に大学基準協会の大学評価（認証評価）の受審を予定している。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。

対象校No. 969
注4

学校コード F129310109266
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部設置
注1

届出

注2
天理大学 人文学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人天理大学
令和6年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

人文学部

＜社会教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人天理大学

(2) 大 学 名

天理大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒632－8510

奈良県天理市杣之内町1050番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フカヤ ヨシタロウ) 深谷 善太郎 (平成28年3月)		
学 長	(ナガオ ヒナオ) 永尾 比奈夫 (令和5年4月)		
学 部 長	(ヤマナカ ヒデオ) 山中 秀夫 (令和6年4月)		
学科長等	(イシトビ カズヒコ) 石飛 和彦 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文学部 社会教育学科 学士(社会教育学)	文学関係 教育学・保育学関係	4年	40人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	160人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	—	0.57 倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []				
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.57				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 ・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	23 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	23 [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	23 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人文学部 社会教育学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合 教育 科目	天理 スピリット 科目群	天理教概説1	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教概説2	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教学1	2-3-4期		2							兼3
		天理教学2	2-3-4期		2							兼3
		建学の精神と天理大学のあゆみ	2前期	2								兼5
		英語1	1-2-3-4期	1								兼15
		英語2	1-2-3-4期	1								兼15
		韓国・朝鮮語1	1-2-3-4期		1							兼1
		韓国・朝鮮語2	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語1	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語2	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼2
		アカデミック英語上級	1-2-3-4期		1							兼1
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情1	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情2	1-2-3-4期		2							兼1
		健康スポーツ科学1	1-2-3-4期		2							兼8
		健康スポーツ科学2	1-2-3-4期		2							兼6
		国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4期		2							兼2
		保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4期		2							兼1
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4期		1							兼3
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4期		1							兼3
		国際協力入門	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力実習	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力演習1	1-2-3-4期		2							兼1
		国際協力演習2	1-2-3-4期		2							兼1
		国際ボランティア論	2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義1	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義2	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義3	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義4	1-2-3-4期		2							兼1
		天理異文化伝道	2-3-4期		2							兼1
	小計(45科目)	—	8	69	0	0	0	0	0	0	兼55	
キ ャ リ ア 教 育 科 目 群	キャリアプランニング	1-2-3期後		2							兼3	
	キャリアデザイン1	2-3-4期		2							兼1	
	キャリアデザイン2	2-3-4期		2							兼1	
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1	

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	天理スピリット科目群	天理教概説1	1-2-3-4期	2									兼10
		天理教概説2	1-2-3-4期	2									兼10
		天理教学1	2-3-4期		2								兼3
		天理教学2	2-3-4期		2								兼3
		建学の精神と天理大学のあゆみ	2前	2									兼5
		英語1	1-2-3-4期	1									兼16
		英語2	1-2-3-4期	1									兼16
		韓国・朝鮮語1	1-2-3-4期		1								兼1
		韓国・朝鮮語2	1-2-3-4期		1								兼1
		中国語1	1-2-3-4期		1								兼1
		中国語2	1-2-3-4期		1								兼1
		教養アカデミック英語1	1-2-3-4期		1								兼1
		教養アカデミック英語2	1-2-3-4期		1								兼1
		実践アカデミック英語1	1-2-3-4期		1								兼1
		実践アカデミック英語2	1-2-3-4期		1								兼2
		アカデミック英語上級	1-2-3-4期		1								兼1
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4期		2								兼2
		多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4期		2								兼1
		多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4期		2								兼1
		日本事情1	1-2-3-4期		2								兼1
		日本事情2	1-2-3-4期		2								兼1
		健康スポーツ科学1	1-2-3-4期		2								兼11
		健康スポーツ科学2	1-2-3-4期		2								兼8
		国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4期		2								兼2
		保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4期		2								兼1
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4期		1								兼3
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4期		1								兼3
		国際協力入門	1-2-3-4期		2								兼1
		国際協力実習	1-2-3-4期		2								兼1
		国際協力演習1(未開講)	1-2-3-4期		2								兼1
		国際協力演習2	1-2-3-4期		2								兼1
		国際ボランティア論	2-3-4期		2								兼1
		天理大学特別講義1	1-2-3-4期		2								兼1
		天理大学特別講義2	1-2-3-4期		2								兼1
		天理大学特別講義3	1-2-3-4期		2								兼1
		天理大学特別講義4	1-2-3-4期		2								兼1
		天理大学特別講義5	1-2-3-4期		2								兼1
		天理大学特別講義6	1-2-3-4期		2								兼1
		天理大学特別講義7	1-2-3-4期		2								兼1
		天理大学特別講義8	1-2-3-4期		2								兼1
		天理異文化伝道	2-3-4期		2								兼1
	小計(49科目)	—	8	77	0	0	0	0	0	0	0	兼63	
キャリア教育科目群	キャリアプランニング	1-2-3期後		2								兼5	
	キャリアデザイン1	2-3-4期		2								兼1	
	キャリアデザイン2	2-3-4期		2								兼1	
	インターンシップ1	1-2-3通		1								兼1	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
総合教育科目	キャリア教育科目群	インターンシップ2	1-2-3通		2								兼1	
		海外インターンシップ1	2-3-4通		1								兼1	
		海外インターンシップ2	2-3-4通		2								兼1	
		小計(7科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0		兼6	
	基礎リテラシー科目群	基礎ゼミナール1	1前	2			1		1					
		基礎ゼミナール2	1後		2		1	1						
		データサイエンス・AI入門	1前後		2								兼2	
		データサイエンス・AI応用	2-3-4前後		2								兼	
		データリテラシー	2-3-4前後		2								兼1	
		コンピュータ入門	1-2-3-4前後		2								兼2	
		情報処理	2-3-4前後		2								兼1	
		基礎からわかるレポート作成	1-2-3-4前後		2								兼4	
		基礎からわかる近代史	1-2-3-4前後		2								兼1	
		基礎からわかる現代社会	1-2-3-4前後		2								兼1	
	基礎からわかる数学	1-2-3-4前後		2								兼1		
	基礎からわかる生物・化学	1-2-3-4前後		2								兼1		
	小計(12科目)	—	2	22	0	2	1	1	0	0		兼11		
	一般教養教育科目群	生活の中の科学	1-2-3-4前後		2									兼1
		地球環境論	1-2-3-4前後		2									兼1
		科学と現代	1-2-3-4前後		2									兼1
		数学と論理	1-2-3-4前後		2									兼1
		統計学1	1-2-3-4前		2									兼1
		統計学2	1-2-3-4後		2									兼1
		経営学1	1-2-3-4前		2									兼1
		経営学2	1-2-3-4後		2									兼1
		地理学1	1-2-3-4前		2									兼1
		地理学2	1-2-3-4後		2									兼1
		日本国憲法	1-2-3-4後		2									兼2
		法学	1-2-3-4前		2									兼2
		経済学1	1-2-3-4前		2									兼1
		経済学2	1-2-3-4後		2									兼1
		政治学	1-2-3-4前後		2									兼1
		社会学	1-2-3-4前後		2									兼1
		民法1	1-2-3-4前		2									兼1
		民法2	1-2-3-4後		2									兼1
		行政法1	1-2-3-4前		2									兼1
		行政法2	1-2-3-4後		2									兼1
		哲学概論1	1-2-3-4前		2									兼2
		哲学概論2	1-2-3-4後		2									兼2
		倫理学1	1-2-3-4前後		2									兼1
倫理学2		1-2-3-4後		2									兼1	
心理学1		1-2-3-4前		2									兼2	
心理学2		1-2-3-4後		2									兼2	
ジェンダー・セクシャリティ		1-2-3-4前後		2									兼1	
近現代の遺産と未来		1-2-3-4前後		2									兼1	
宗教と芸能		1-2-3-4後		2									兼1	
労働と社会		1-2-3-4前後		2									兼1	
障害学		1-2-3-4前後		2									兼2	
世界の文学1		1-2-3-4前		2									兼1	
世界の文学2		1-2-3-4後		2									兼1	
カルチュラルスタディーズ		1-2-3-4前後		2									兼1	
宗教と現代社会		1-2-3-4前後		2									兼1	
人権と差別1		1-2-3-4前		2									兼3	
人権と差別2	1-2-3-4後		2									兼3		
日本手話A	1-2-3-4前後		2									兼1		
日本手話B	1-2-3-4後		2									兼1		
アウトドアスポーツ	1-2-3-4通		1									兼1		
レクリエーションスポーツ	2-3-4前		1									兼		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合教育科目	キャリア教育科目群	インターンシップ2	1-2-3通		2								兼1
		海外インターンシップ1	2-3-4通		1								兼1
		海外インターンシップ2	2-3-4通		2								兼1
		小計(7科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0		兼7
	基礎リテラシー科目群	基礎ゼミナール1	1前	2			1		1				
		基礎ゼミナール2	1後		2		1	1					
		データサイエンス・AI入門	1前後		2								兼2
		データサイエンス・AI応用	2-3-4前後		2								兼1
		データリテラシー	2-3-4前後		2								兼1
		コンピュータ入門	1-2-3-4前後		2								兼2
		情報処理	2-3-4前後		2								兼1
		基礎からわかるレポート作成	1-2-3-4前後		2								兼5
		基礎からわかる近代史	1-2-3-4前後		2								兼1
		基礎からわかる現代社会	1-2-3-4前後		2								兼1
		基礎からわかる数学	1-2-3-4前後		2								兼1
		基礎からわかる生物・化学	1-2-3-4前後		2								兼1
	小計(12科目)	—	2	22	0	2	1	1	0	0		兼11	
	一般教養教育科目群	生活の中の科学	1-2-3-4前後		2								兼1
		地球環境論	1-2-3-4前後		2								兼1
		科学と現代	1-2-3-4前後		2								兼1
		数学と論理	1-2-3-4前後		2								兼1
		統計学1	1-2-3-4前		2								兼1
		統計学2	1-2-3-4後		2								兼1
		経営学1	1-2-3-4前		2								兼1
		経営学2	1-2-3-4後		2								兼1
		地理学1	1-2-3-4前		2								兼1
		地理学2	1-2-3-4後		2								兼1
		日本国憲法	1-2-3-4後		2								兼2
		法学	1-2-3-4前		2								兼2
		経済学1	1-2-3-4前		2								兼1
		経済学2	1-2-3-4後		2								兼1
		政治学	1-2-3-4前後		2								兼1
		社会学	1-2-3-4前後		2								兼1
		民法1	1-2-3-4前		2								兼1
		民法2	1-2-3-4後		2								兼1
		行政法1	1-2-3-4前		2								兼1
		行政法2	1-2-3-4後		2								兼1
		哲学概論1	1-2-3-4前		2								兼2
		哲学概論2	1-2-3-4後		2								兼2
		倫理学1	1-2-3-4前後		2								兼1
		倫理学2	1-2-3-4後		2								兼1
		心理学1	1-2-3-4前		2								兼2
		心理学2	1-2-3-4後		2								兼2
		ジェンダー・セクシャリティ	1-2-3-4前後		2								兼1
		近現代の遺産と未来	1-2-3-4前後		2								兼1
		宗教と芸能	1-2-3-4後		2								兼1
労働と社会		1-2-3-4前後		2								兼1	
障害学		1-2-3-4前後		2								兼2	
世界の文学1		1-2-3-4前		2								兼1	
世界の文学2		1-2-3-4後		2								兼1	
カルチュラルスタディーズ		1-2-3-4前後		2								兼1	
宗教と現代社会	1-2-3-4前後		2								兼1		
人権と差別1	1-2-3-4前		2								兼3		
人権と差別2	1-2-3-4後		2								兼3		
日本手話A	1-2-3-4前後		2								兼1		
日本手話B	1-2-3-4後		2								兼1		
アウトドアスポーツ	1-2-3-4通		1								兼1		
レクリエーションスポーツ	2-3-4前		1								兼1		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 教育 科目		ニュースポーツ	2・3・4前		1							兼2
		小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0	兼32
		合計(106科目)	—	10	184	0	2	1	1	0	0	兼86
社会 教育 学 科 専 攻 科 目		生涯学習概論1	1前	2			1					兼1
		生涯学習概論2	1後	2			1					
		教育学概論1	1・2・3・4前		2		1					兼1
		社会教育基礎演習1	1前	2			3	1	1			
		社会教育基礎演習2	1後	2			1	1	1			
		生涯学習支援演習1	2前	2			1		1			
		生涯学習支援演習2	2後	2			1		1			
		生涯学習支援論1	2前	2				1				兼1
		生涯学習支援論2	2後	2			1					
		社会教育経営論1	3前		2		1					
		社会教育経営論2	3後		2		1		1			
		社会教育経営論3	3前		2			1				
		社会教育経営論4	3後		2			1				
		文化スポーツ支援論1	3前		2		1					
		文化スポーツ支援論2	3後		2		1					
		社会教育特講1	2・3・4前		2		1					
		社会教育特講2	2・3・4後		2			1				
		社会教育特講3	2・3・4前		2		1					
		社会教育特講4	2・3・4後		2							兼1
		生涯学習特論1	2・3・4前		2			1				
		生涯学習特論2	2・3・4後		2		1					
		生涯学習特論3	2・3・4前		2			1				
		生涯学習特論4	2・3・4後		2		1					
		生涯学習特論5	2・3・4前		2				1			
		生涯学習特論6	2・3・4後		2				1			
		生涯学習特論7	2・3・4前		2		1					
		生涯学習特論8	2・3・4後		2			1				
		図書館情報学概論	1・2・3・4前		2		1					
		図書館サービス概論	1・2・3・4後		2		1					
		図書館マネジメント論	2・3・4前		2		1					
		図書館情報学基礎特論	2・3・4後		2							兼1
		図書館とメディアの歴史	2・3・4前		2		1					
		文化政策学概論	2・3・4前		2				1			
		地域産業論	3・4前		2		1					
		地域金融論	3・4後		2		1					
		広報・PR論	3・4前		2		1					
		臨地文化施設実習	1後	1			2	1				
		野外教育実習	1・2・3・4後		1							兼1
		プロジェクト実習1	1・2・3・4後		1			1				
		プロジェクト実習2	1・2・3・4後		1		1					
	プロジェクト実習3	2・3・4通		1				1				
	プロジェクト実習4	2・3・4通		1		1						
	プロジェクト実習5	3・4通		1							兼1	
	プロジェクト実習6	3・4通		1		1						
	地域協働実習	2・3・4通		1		1						
	社会教育実習1	3前・休		2		1						
	社会教育実習2	3前・休		2			1					
	社会教育演習1(コーディネーター支援)	3前		2		1						
	社会教育演習2(コーディネーター支援)	3後		2		1						
	社会教育演習1(文化行政)	3前		2				1				
	社会教育演習2(地域文化共創)	3後		2				1				
	社会教育演習1(文化スポーツ支援)	3前		2		1						
	社会教育演習2(文化スポーツ支援)	3後		2		1						
	社会教育課題研究1	4前	2			2	1	1				
	社会教育課題研究2	4後	2			2	1	1				

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
				必修	選択	自由	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手	
総合 教育 科目		ニュースポーツ	2・3・4前		1							兼2
		小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0	兼34
		合計(110科目)	—	10	192	0	2	1	1	0	0	兼87
社会 教育 学 科 専 攻 科 目		生涯学習概論1	1前	2			1					兼1
		生涯学習概論2	1後	2			1					
		教育学概論1	1・2・3・4前		2		1					0
		社会教育基礎演習1	1前	2			3	1	1			
		社会教育基礎演習2	1後	2			1	1	1			
		生涯学習支援演習1	2前	2			1		1			
		生涯学習支援演習2	2後	2			1		1			
		生涯学習支援論1	2前	2				1				兼1
		生涯学習支援論2	2後	2			1					
		社会教育経営論1	3前		2		1					
		社会教育経営論2	3後		2		1		1			
		社会教育経営論3	3前		2			1				
		社会教育経営論4	3後		2			1				
		文化スポーツ支援論1	3前		2		1					
		文化スポーツ支援論2	3後		2		1					
		社会教育特講1	2・3・4前		2		1					
		社会教育特講2	2・3・4後		2			1				
		社会教育特講3	2・3・4前		2		1					
		社会教育特講4	2・3・4後		2							兼1
		生涯学習特論1	2・3・4前		2			1				
		生涯学習特論2	2・3・4後		2		1					
		生涯学習特論3	2・3・4前		2			1				
		生涯学習特論4	2・3・4後		2		1					
		生涯学習特論5	2・3・4前		2				1			
		生涯学習特論6	2・3・4後		2				1			
		生涯学習特論7	2・3・4前		2		1					
		生涯学習特論8	2・3・4後		2			1				
		図書館情報学概論	1・2・3・4前		2		1					
		図書館サービス概論	1・2・3・4後		2							兼1
		図書館マネジメント論	2・3・4前		2		1					
		図書館情報学基礎特論	2・3・4後		2							兼1
		図書館とメディアの歴史	2・3・4前		2		1					
		文化政策学概論	2・3・4前		2				1			
		地域産業論	3・4前		2		1					
		地域金融論	3・4後		2		1					
		広報・PR論	3・4前		2		1					
		臨地文化施設実習	1後	1			2	1				
		野外教育実習	1・2・3・4通		1							兼1
		プロジェクト実習1	1・2・3・4後		1			1				兼1
		プロジェクト実習2	1・2・3・4後		1		1					兼1
		プロジェクト実習3	2・3・4通		1				1			
		プロジェクト実習4	2・3・4通		1		1					
	プロジェクト実習5	3・4通		1							兼1	
	プロジェクト実習6	3・4通		1		1						
	地域協働実習	2・3・4通		1		1						
	社会教育実習1	3前・休		2		1						
	社会教育実習2	3前・休		2			1					
	社会教育演習1(コーディネーター支援)	3前		2		1						
	社会教育演習2(コーディネーター支援)	3後		2		1						
	社会教育演習1(文化行政)	3前		2				1				
	社会教育演習2(地域文化共創)	3後		2				1				
	社会教育演習1(文化スポーツ支援)	3前		2		1						
	社会教育演習2(文化スポーツ支援)	3後		2		1						
	社会教育課題研究1	4前	2			2	1	1				
	社会教育課題研究2	4後	2			2	1	1				

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
卒業課程 卒業科目 卒業科目		卒業課題研究	4通		4		1					
		卒業論文	4通		6		1					
		小計(57科目)	—	21	90	0	3	1	1	0	0	兼4
資格科目	天理 教学 部門	伝道実習1	1・2・3・4後			1						兼1
		伝道実習2	1・2・3・4後			1						兼1
		伝道実習3	2・3・4前			1						兼1
		伝道実習4	2・3・4後			1						兼1
		小計(4科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0	兼
	人文科学 部門	日本語学入門	1前			2						兼1
		日本語教育入門	1後			2						兼1
		日本語語彙論	2前			2						兼1
		日本語文法論1	2前			2						兼1
		日本語文法論2	2後			2						兼1
		日本語音声学	2後			2						兼1
		言語の対照研究	3前			2						兼1
		日本語教授法1	3前			2						兼1
		日本語教授法2	3後			2						兼1
		第二言語習得論	3前			2						兼1
		日本語指導法	4前			2						兼1
		日本語教育評価法	4後			2						兼1
		日本語教育実習	4通			2						兼1
	小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0	兼2	
	社会科学 部門	図書館情報システム論	2・3・4後			2						兼1
		情報サービス論	3・4前			2						兼1
		児童・YAサービス論	2・3・4前			2						兼1
		情報サービス演習1	3・4後			2						兼1
		情報サービス演習2	3・4後			2						兼1
		図書館情報資源概論	2・3・4前			2						兼1
		情報資源組織論	3・4前			2	1					
		情報資源組織演習1	3・4後			2	1					
情報資源組織演習2		3・4後			2	1						
図書館情報資源特論		3・4前			2						兼1	
図書館情報学特論		4前			2	1						
博物館実習1		3前			2						兼2	
博物館実習2		4通			1						兼3	
矯正概論		1・2・3・4前			2						兼1	
更生保護概論		1・2・3・4前			2						兼1	
矯正保護教育(施設参観を含む)		3・4後			2						兼1	
矯正保護支援実践論		2・3・4後			2						兼2	
犯罪被害者支援論		2・3・4後			2						兼1	
小計(18科目)	—	0	0	35	1	0	0	0	0	兼12		
教職に 関する 専門 教育 科目	教職論	1前後			2						兼1	
	教育原理	2・3・4前後			2						兼1	
	教育史	2・3・4前			2						兼1	
	教育課程論	3・4前後			2						兼1	
	学校教育心理学	2・3・4前後			2						兼1	
	学校教育社会学	2・3・4前後			2						兼1	
	道徳の理論及び指導法	3・4前後			2						兼1	
	教育相談の理論及び方法	3前後			2						兼2	
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3・4前後			2						兼1	
	教育実習講義	3後			1						兼3	
	介護等体験	3通			1						兼3	
	教職実践演習(中・高)	4後			2						兼5	
	教育実習1	4通			2						兼1	
	教育実習2	4通			2						兼1	
	人権教育論1	2・3・4前			2						兼3	
	人権教育論2	2・3・4後			2						兼3	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
卒業課程 卒業科目 卒業科目		卒業課題研究	4通		4		1					
		卒業論文	4通		6		1					
		小計(57科目)	—	21	90	0	3	1	1	0	0	兼5
資格科目	天理 教学 部門	伝道実習1	1・2・3・4後			1						兼1
		伝道実習2	1・2・3・4後			1						兼1
		伝道実習3	2・3・4前			1						兼1
		伝道実習4	2・3・4後			1						兼1
		小計(4科目)	—	0	0	4	0	0	0	0	0	兼1
	人文科学 部門	日本語学入門	1前			2						兼1
		日本語教育入門	1後			2						兼1
		日本語語彙論	2前			2						兼1
		日本語文法論1	2前			2						兼1
		日本語文法論2	2後			2						兼1
		日本語音声学	2後			2						兼1
		言語の対照研究	3前			2						兼1
		日本語教授法1	3前			2						兼1
		日本語教授法2	3後			2						兼1
		第二言語習得論	3前			2						兼1
		日本語指導法	4前			2						兼1
		日本語教育評価法	4後			2						兼1
		日本語教育実習	4通			2						兼1
	小計(13科目)	—	0	0	26	0	0	0	0	0	兼2	
	社会科学 部門	図書館情報システム論	2・3・4後			2						兼1
		情報サービス論	3・4前			2						兼1
		児童・YAサービス論	2・3・4前			2						兼1
		情報サービス演習1	3・4後			2						兼1
		情報サービス演習2	3・4後			2						兼1
		図書館情報資源概論	2・3・4前			2						兼1
		情報資源組織論	3・4前			2	1					
		情報資源組織演習1	3・4後			2	1					
		情報資源組織演習2	3・4後			2	1					
		図書館情報資源特論	3・4前			2						兼1
		図書館情報学特論	4前			2	1					
		博物館実習1	3前			2						兼2
		博物館実習2	4通			1						兼3
		矯正概論(未開講)	1・2・3・4前			2						兼1
		更生保護概論	1・2・3・4後			2						兼1
		矯正保護教育(施設参観を含む)	3・4後			2						兼1
		矯正保護支援実践論	2・3・4後			2						兼2
犯罪被害者支援論		2・3・4後			2						兼1	
小計(18科目)		—	0	0	35	1	0	0	0	0	兼12	
教職に 関する 専門 教育 科目	教職論	1前後			2						兼1	
	教育原理	2・3・4前後			2						兼1	
	教育史	2・3・4前			2						兼1	
	教育課程論	3・4前後			2						兼1	
	学校教育心理学	2・3・4前後			2						兼1	
	学校教育社会学	2・3・4前後			2						兼1	
	道徳の理論及び指導法	3・4前後			2						兼1	
	教育相談の理論及び方法	3前後			2						兼2	
	教育相談の理論及び方法	2・3・4前後			2						兼1	
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3・4前後			2						兼2	
	教育実習講義	3後			1						兼3	
	介護等体験	3通			1						兼3	
	教職実践演習(中・高)	4後			2						兼5	
	教育実習1	4通			2						兼1	
	教育実習2	4通			2						兼1	
	人権教育論1	2・3・4前			2						兼3	
	人権教育論2	2・3・4後			2						兼3	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
資格 科目	特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2						兼1
	学校教育支援	2・3・4通			1						兼3
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2・3・4通			2						兼1
	教育史特論	2・3・4後			2						兼1
	臨床教育学特論	2・3・4通			2						兼1
	小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0	兼12
	合計(57科目)	—	0	0	106	1	0	0	0	0	兼27
合計(220科目)			—	31	274	106	3	1	1	0	兼107
卒業要件及び履修方法											
総合教育科目:天理スピリット科目群16単位以上、キャリア科目群4単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群6単位以上 計32単位以上 社会教育学科専攻科目:必修科目21単位 選択科目は選択必修科目の必要単位を含め39単位以上 計60単位以上 総合教育科目、社会教育学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。 履修科目の登録上限:48単位(年間)											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
資格 科目	特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2						兼1
	学校教育支援	2・3・4通			1						兼3
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2・3・4通			2						兼1
	教育史特論	2・3・4後			2						兼1
	臨床教育学特論	2・3・4通			2						兼1
	小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0	兼12
	合計(57科目)	—	0	0	106	1	0	0	0	0	兼27
合計(224科目)			—	31	282	106	3	1	1	0	兼111
卒業要件及び履修方法											
総合教育科目:天理スピリット科目群16単位以上、キャリア科目群4単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群6単位以上 計32単位以上 社会教育学科専攻科目:必修科目21単位 選択科目は選択必修科目の必要単位を含め39単位以上 計60単位以上 総合教育科目、社会教育学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。 履修科目の登録上限:48単位(年間)											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・「英語1」 担当者の変更により、「兼15」から「兼16」に変更
- ・「英語2」 担当者の変更により、「兼15」から「兼16」に変更
- ・「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」 担当者の変更により、「兼1」から「兼2」に変更
- ・「健康スポーツ科学1」 担当者の変更により、「兼8」から「兼11」に変更
- ・「健康スポーツ科学2」 担当者の変更により、「兼6」から「兼8」に変更
- ・「天理大学特別講義1」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更
- ・「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」 天理スピリット科目群の教育課程を充実させるため科目を新設
- ・「キャリアプランニング」 担当者の変更及びクラス増により、「兼3」から「兼5」に変更
- ・「基礎からわかるレポート作成」 担当者の変更により、「兼4」から「兼5」に変更
- ・「教育学概論1」 開講クラス数減により、「教授1」「兼1」を「教授1」に変更
- ・「図書館サービス概論」 担当者の変更により、「教授1」から「兼1」に変更
- ・「プロジェクト実習1」 開講期間の見直しにより、「通年」から「前期」に変更。開講クラス数増により、「准教授1」を「准教授1」「兼1」に変更
- ・「プロジェクト実習2」 開講期間の見直しにより、「通年」から「後期」に変更。開講クラス数増により、「教授1」を「教授1」「兼1」に変更
- ・「更生保護概論」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
17 科目	146 科目	57 科目	220 科目	17 科目 [ー]	150 科目 [4]	57 科目 [ー]	224 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{220} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	面積が錯誤により増加したため(6)			
	校 舎 敷 地	148,449.28㎡ 148,332.61㎡	0 ㎡	0 ㎡	148,449.28㎡ 148,332.61㎡				
	運動場用地	163,322.48㎡	0 ㎡	0 ㎡	163,322.48㎡				
	小 計	311,771.76㎡ 311,655.09㎡	0 ㎡	0 ㎡	311,771.76㎡ 311,655.09㎡				
	そ の 他	28,069.17㎡ 27,034.99㎡	0 ㎡	0 ㎡	28,069.17㎡ 27,034.99㎡				
	合 計	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	0 ㎡	0 ㎡	339,840.93㎡ 338,690.08㎡				
(2) 校 舎	専 用	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) (-81,584.21㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) (-81,584.21㎡)	厚生補導施設が含まれており、その数値を除いたため(6)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	60 室	44 室	22 室	11 室 (補助職員 0人)	5 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人文学部 社会教育学科			5 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 学術雑誌／申請時の数値に誤り(学術雑誌数に電子ジャーナル種数を含めていなかった)があったため(6)	
		人文学部 社会教育学科	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)		0 (0)
		計	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)		0 (0)
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		面積／錯誤により減少したため(6) 閲覧座席数、収納可能冊数／申請時の数値に誤り(別所キャンパスの数値を含めていなかった)があったため(6)		
	14,260.80㎡ 14,348.40㎡		410 349		191,000 154,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				面積が錯誤により増加したため(6)		
	16,559.45㎡ 16,377.25㎡		武道館(柔剣道場)		弓道場				
			空手道場		トレーニングルーム				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費、共同研究費、設備購入費／申請時は人文学部の合計金額を記載(6)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	390千円	390千円	図書購入費	1,707千円 11,093千円	1,822千円 11,093千円	1,822千円 11,093千円	
		共 同 研 究 費 等	772千円 5,730千円	772千円 5,730千円	設備購入費	676千円 8,473千円	951千円 8,473千円	951千円 8,473千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
	1,080千円		1,030千円	1,030千円	1,030千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、私立大学等経常費補助金、手数料、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	天理大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	11	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考			
人文学部	4	240	0	960	—	0.55	—	—	令和6	—				
宗教学科	4	20	0	80	学士 (宗教学)	0.45	—	—	令和6	奈良県天理市 之内町1050番地				
国文学国語学科	4	40	0	160	学士 (国文学)	0.35	—	—	令和6	同上				
歴史文化学科	4	50	0	200	学士 (歴史文化 学)	0.68	—	—	令和6	同上				
心理学科	4	40	0	160	学士 (心理学)	0.55	—	—	令和6	同上				
社会教育学科	4	40	0	160	学士 (社会教育 学)	0.57	—	—	令和6	同上				
社会福祉学科	4	50	0	200	学士 (社会福祉 学)	0.60	—	—	令和6	同上				
国際学部	4	290	0	1160	—	0.59	—	—	平成22	—				
韓国・朝鮮語学科	4	40	0	160	学士 (韓国・朝鮮 語)	0.60	—	—	令和6	同上				
中国語学科	4	40	0	160	学士 (中国語)	0.27	—	—	令和6	同上				
英米語学科	4	60	0	240	学士 (英語)	0.58	—	—	令和6	同上				
国際文化学科	4	50	0	200	学士 (国際文化 学)	1.00	—	—	令和6	同上				
日本学科	4	40	0	160	学士 (日本学)	0.52	—	—	令和6	同上				
外国語学科	4	60	0	240	学士 (タイ語) (インドネシ ア語) (ドイツ語) (フランス 語) (ロシア語) (スペイン 語) (ブラジルポ ルトガル語)	0.56	—	—	平成22	同上	令和6年度から入学定員変更 (165→60)			
英米語専攻	4	—	—	—	学士 (英語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
中国語専攻	4	—	—	—	学士 (中国語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
韓国・朝鮮語 専攻	4	—	—	—	学士 (韓国・朝鮮 語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
スペイン語・ ブラジル ポルトガル語 専攻	4	—	—	—	学士 (スペイン 語)又は (ブラジルポ ルトガル語)	—	—	—	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
地域文化学科	4	—	—	—	学士 (地域文化)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
体育学部	4	240	0	960	—	1.06	—	—	昭和30	—				
体育学科	4	240	0	960	学士 (体育学)	1.06	—	—	昭和30	奈良県天理市 田井庄町80	令和6年度から入学定員変更 (200→240)			
医療学部	4	100	0	400	—	1.03	—	—	令和5	—				
看護学科	4	70	0	280	学士 (看護学)	1.14	—	—	令和5	奈良県天理市 別所町80-1	令和5年度学部の設置者変更			
臨床検査学科	4	30	0	120	学士 (臨床検査 学)	0.78	—	—	令和5	同上	令和5年度学部の設置者変更			
人間学部	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	—				
宗教学科	4	—	—	—	学士 (宗教学)	—	—	—	平成4	奈良県天理市 之内町1050番地	令和6年度入学生より学生募集停止			
人間関係学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
臨床心理専攻	4	—	—	—	学士 (臨床心理)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
生涯教育専攻	4	—	—	—	学士 (生涯教育)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
社会福祉専攻	4	—	—	—	学士 (社会福祉)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			

文学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和24	-	
国文学国語学科	4	-	-	-	学士 (国文学)	-	-	-	昭和24	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
歴史文化学科	4	-	-	-	学士 (歴史文化)	-	-	-	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
大学全体	4	870	-	3480	-	-	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(太学院、専攻科及び別科を除く)。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<人文学部 社会教育学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任(予定)年月> 保有学位等			<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	山中 秀夫 <令和6年4月> 博士(学術)	専	教授	山中 秀夫 <令和6年4月> 博士(学術)
		社会教育基礎演習1 社会教育基礎演習2 社会教育特講3 生涯学習特論7 図書館情報学概論 図書館サービス概論 図書館マネジメント論 図書館とメディアの歴史 地域産業論 地域金融論 広報・PR論 臨地文化施設実習 プロジェクト実習6 社会教育課題研究1 社会教育課題研究2 情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論			社会教育基礎演習1 社会教育基礎演習2 社会教育特講3 生涯学習特論7 図書館情報学概論 図書館サービス概論 図書館マネジメント論 図書館とメディアの歴史 地域産業論 地域金融論 広報・PR論 臨地文化施設実習 プロジェクト実習6 社会教育課題研究1 社会教育課題研究2 情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論
専	教授	石飛 和彦 <令和6年4月> 修士(教育学)※	専	教授	石飛 和彦 <令和6年4月> 修士(教育学)※
		基礎ゼミナール2 教育学概論1 社会教育基礎演習1 生涯学習支援論1 文化スポーツ支援論2 社会教育特講1 生涯学習特論2 臨地文化施設実習 プロジェクト実習4 社会教育演習1(文化スポーツ支援) 社会教育演習2(文化スポーツ支援) 社会教育課題研究1 社会教育課題研究2 卒業課題研究 卒業論文			基礎ゼミナール2 教育学概論1 社会教育基礎演習1 生涯学習支援論2 文化スポーツ支援論1 文化スポーツ支援論2 社会教育特講1 生涯学習特論2 臨地文化施設実習 プロジェクト実習4 社会教育演習1(文化スポーツ支援) 社会教育演習2(文化スポーツ支援) 社会教育課題研究1 社会教育課題研究2 卒業課題研究 卒業論文
専	教授	佐々木 保孝 <令和6年4月> 修士(教育学)※	専	教授	佐々木 保孝 <令和6年4月> 修士(教育学)※
		基礎ゼミナール1 生涯学習概論2 社会教育基礎演習1 生涯学習支援演習1 生涯学習支援演習2 社会教育経営論1 社会教育経営論2 生涯学習特論4 プロジェクト実習2 地域協働実習 社会教育実習1 社会教育演習1(コーディネーター支援) 社会教育演習2(コーディネーター支援)			基礎ゼミナール1 生涯学習概論2 社会教育基礎演習1 生涯学習支援演習1 生涯学習支援演習2 社会教育経営論1 社会教育経営論2 生涯学習特論4 プロジェクト実習2 地域協働実習 社会教育実習1 社会教育演習1(コーディネーター支援) 社会教育演習2(コーディネーター支援)
専	准教授	杉山 晋平 <令和6年4月> 修士(教育学)※	専	准教授	杉山 晋平 <令和6年4月> 修士(教育学)※
		基礎ゼミナール2 社会教育基礎演習1 社会教育基礎演習2 生涯学習支援論1 社会教育経営論3 社会教育経営論4 社会教育特講2 生涯学習特論1 生涯学習特論3 生涯学習特論8 臨地文化施設実習 プロジェクト実習1 社会教育実習2 社会教育課題研究1 社会教育課題研究2			基礎ゼミナール2 社会教育基礎演習1 社会教育基礎演習2 生涯学習支援論1 社会教育経営論3 社会教育経営論4 社会教育特講2 生涯学習特論1 生涯学習特論3 生涯学習特論8 臨地文化施設実習 プロジェクト実習1 社会教育実習2 社会教育課題研究1 社会教育課題研究2
専	講師	田中 梨絵 <令和6年4月> 修士(世界遺産学)※	専	講師	田中 梨絵 <令和6年4月> 修士(世界遺産学)※
		基礎ゼミナール1 社会教育基礎演習1 社会教育基礎演習2 生涯学習支援演習1 生涯学習支援演習2 社会教育経営論2 生涯学習特論5 生涯学習特論6 文化政策学概論 プロジェクト実習3 社会教育演習1(文化行政) 社会教育演習2(地域文化共創) 社会教育課題研究1 社会教育課題研究2			基礎ゼミナール1 社会教育基礎演習1 社会教育基礎演習2 生涯学習支援演習1 生涯学習支援演習2 社会教育経営論2 生涯学習特論5 生涯学習特論6 文化政策学概論 プロジェクト実習3 社会教育演習1(文化行政) 社会教育演習2(地域文化共創) 社会教育課題研究1 社会教育課題研究2
兼任	教授	岡田 正彦 <令和6年4月> Ph.D(米国)	兼任	教授	岡田 正彦 <令和6年4月> Ph.D(米国)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ

専任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	東馬場 郁生 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy(History of Religions) (米国)	兼任	教授	東馬場 郁生 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy(History of Religions) (米国)
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ
兼任	教授	齊藤 純 ＜令和6年4月＞ 文学修士※	兼任	教授	齊藤 純 ＜令和6年4月＞ 文学修士※
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	教授	幡鎌 一弘 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	教授	幡鎌 一弘 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		宗教と芸能			宗教と芸能
兼任	教授	小田木 治太郎 ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	教授	小田木 治太郎 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	教授	金山 元春 ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）	兼任	教授	金山 元春 ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）
		生徒指導・進路指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導の理論及び方法
兼任	教授	関本 克良 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	教授	関本 克良 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成			ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ボランティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成
兼任	教授	曾山 典子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	曾山 典子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理			データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理
兼任	教授	上田 喜彦 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）	兼任	教授	上田 喜彦 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）
		天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義3 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 教職実践演習（中・高）			天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 教職実践演習（中・高）
兼任	教授	竹村 景生 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※	兼任	教授	竹村 景生 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法			ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法
兼任	教授	仲 淳 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※	兼任	教授	仲 淳 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 教育実習1 教育実習2 学校教育支援			学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 教育実習1 教育実習2 学校教育支援

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	古賀 崇 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） Master of Library Science（米国）※	兼任	教授	古賀 崇 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） Master of Library Science（米国）※
		図書館情報学基礎特論 図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論			図書館情報学基礎特論 図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論
兼任	教授	魯 ゼウオン ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	兼任	教授	魯 ゼウオン ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）
		カルチュラルスタディーズ			カルチュラルスタディーズ
兼任	教授	野津 幸治 ＜令和6年4月＞ M.A.（タイ）	兼任	教授	野津 幸治 ＜令和6年4月＞ M.A.（タイ）
		多文化理解と言語（タイ語）			多文化理解と言語（タイ語）
兼任	教授	奥島 美夏 ＜令和6年4月＞ 文学修士※	兼任	教授	奥島 美夏 ＜令和6年4月＞ 文学修士※
		多文化理解と言語（インドネシア語） キャリアデザイン2			多文化理解と言語（インドネシア語） キャリアデザイン2
兼任	教授	森 洋明 ＜令和6年4月＞ 言語学（意味論）修士（フランス）	兼任	教授	森 洋明 ＜令和6年4月＞ 言語学（意味論）修士（フランス）
		多文化理解と言語（フランス語） 天理異文化伝道			多文化理解と言語（フランス語） 天理異文化伝道
兼任	教授	野口 茂 ＜令和6年4月＞ Magister en Historia（ベネズエラ）	兼任	教授	野口 茂 ＜令和6年4月＞ Magister en Historia（ベネズエラ）
		多文化理解と言語（スペイン語）			多文化理解と言語（スペイン語）
兼任	教授	北森 絵里 ＜令和6年4月＞ 修士（地域研究）	兼任	教授	北森 絵里 ＜令和6年4月＞ 修士（地域研究）
		多文化理解と言語（ポルトガル語）			多文化理解と言語（ポルトガル語）
兼任	教授	岡田 龍樹 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※	兼任	教授	岡田 龍樹 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※
		日本事情1 日本事情2 生涯学習概論1 生涯学習支援論1 社会教育特講4 プロジェクト実習5			生涯学習概論1 生涯学習支援論1 社会教育特講4 プロジェクト実習5
兼任	教授	菊池 律之 ＜令和6年4月＞ 修士（言語学）※	兼任	教授	菊池 律之 ＜令和6年4月＞ 修士（言語学）※
		日本語学入門 日本語文法論1 日本語文法論2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習			日本語学入門 日本語文法論1 日本語文法論2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習
兼任	教授	松永 稔也 ＜令和6年4月＞ 博士（言語文化学）	兼任	教授	松永 稔也 ＜令和6年4月＞ 博士（言語文化学）
		多文化理解と言語（日本語）			多文化理解と言語（日本語）
兼任	教授	奥田 真紀子 ＜令和6年4月＞ 修士（学術）※			
		保健医療の仕組みと健康づくり			
兼任	教授	増谷 弘 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	増谷 弘 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		基礎からわかる生物・化学			基礎からわかる生物・化学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	堀内 みどり ＜令和6年4月＞ 哲学博士（インド）	兼任	教授	堀内 みどり ＜令和6年4月＞ 哲学博士（インド）
		ジェンダー・セクシャリティ			ジェンダー・セクシャリティ
兼任	教授	金子 昭 ＜令和6年4月＞ 博士（哲学）	兼任	教授	金子 昭 ＜令和6年4月＞ 博士（哲学）
		哲学概論1 哲学概論2 倫理学1 倫理学2			哲学概論1 哲学概論2 倫理学1 倫理学2
兼任	准教授	澤井 治郎 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	澤井 治郎 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 英語1 英語2			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 英語1 英語2
兼任	准教授	黒岩 康博 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）			
		基礎からわかる近代史			
兼任	准教授	稲田 徹 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）			
		キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 社会学 哲学概論1 哲学概論2			
兼任	准教授	小野 朗子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	小野 朗子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2			ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2
兼任	講師	福井 孝三 ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育情報学）	兼任	講師	福井 孝三 ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育情報学）
		日本語教育入門 日本語語彙論			日本語教育入門 日本語語彙論
兼任	准教授	金 珠 ＜令和8年4月＞ 博士（日本語・日本文化）	兼任	准教授	金 珠 ＜令和8年4月＞ 博士（日本語・日本文化）
		日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法			日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法
兼任	准教授	中村 久美 ＜令和6年4月＞ Ph.D in Anglo-Irish Literature and Drama （アイルランド）			
		英語1 英語2 多文化理解と言語（英語） 世界の文学1 世界の文学2			
兼任	准教授	吉田 智佳 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）	兼任	教授	吉田 智佳 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）
		英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級			英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級
兼任	准教授	川上 晃司 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	准教授	川上 晃司 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		健康スポーツ科学2 ニュースポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 ニュースポーツ
兼任	准教授	梅崎 さゆり ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	梅崎 さゆり ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割			健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	穴井 隆将 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	兼任	准教授	穴井 隆将 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割			国際社会におけるスポーツの役割
兼任	准教授	逢田 高正 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	准教授	逢田 高正 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ 野外教育実習			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ 野外教育実習
兼任	准教授	小畑 治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	兼任	准教授	小畑 治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		健康スポーツ科学1 レクリエーションスポーツ			レクリエーションスポーツ
兼任	講師	深谷 耕治 ＜令和6年4月＞ 修士（社会学） 修士（宗教学）（米國）	兼任	講師	深谷 耕治 ＜令和6年4月＞ 修士（社会学） 修士（宗教学）（米國）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4
兼任	講師	澤井 真 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	澤井 真 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会
兼任	講師	須永 哲思 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）			
		教育学概説1 教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 教育史特論			
兼任	講師	小関 康平 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	兼任	講師	小関 康平 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）
		キャリアデザイン1 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2			キャリアブランニング キャリアデザイン1 基礎からわかるレポート作成 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2
兼任	講師	松本 優也 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）※			
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			
兼任	助教	金子 竜大 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	助教	金子 竜大 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼任	教授	森元 伸枝 ＜令和6年4月＞ 修士（経営学）※
					天理大学特別講義7 天理大学特別講義8
			兼任	教授	石井 幸弘 ＜令和6年4月＞ 修士（学術）
					天理大学特別講義3
			兼任	教授	黒木 勉 ＜令和6年4月＞ 文学博士（大韓民国）
					多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼担	教授	王 向華 ＜令和6年4月＞ 博士（社会人類学） 日本事情1 日本事情2
			兼担	教授	白石 晃 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学） 健康スポーツ科学1
			兼担	教授	寺田 和史 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼担	教授	金井 恵理 ＜令和6年4月＞ 博士（医学） 保健医療の仕組みと健康づくり
			兼担	准教授	山本 佳世子 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学） キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 哲学概論1
			兼担	准教授	高地 朋成 ＜令和6年4月＞ 文学博士（大韓民国） 多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）
			兼担	准教授	松山 尚道 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学） 健康スポーツ科学1
			兼担	助教	西田 昂平 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学） 健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	講師	蔡 珮菁 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 多文化理解と言語（中国語）	兼任	講師	蔡 珮菁 ＜令和6年4月＞ 博士（文学） 多文化理解と言語（中国語）
兼任	講師	Zaberezhnaia Olga ＜令和6年4月＞ 博士（文化学）（ロシア） 多文化理解と言語（ロシア語）	兼任	講師	Zaberezhnaia Olga ＜令和6年4月＞ 博士（文化学）（ロシア） 多文化理解と言語（ロシア語）
兼任	講師	井上 成人 ＜令和6年4月＞ 文学士 天理教概説1 天理教概説2	兼任	講師	井上 成人 ＜令和6年4月＞ 文学士 天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	伊橋 幸江 ＜令和7年4月＞ 文学士 天理教学1 天理教学2	兼任	講師	伊橋 幸江 ＜令和7年4月＞ 文学士 天理教学1 天理教学2
兼任	講師	上原 道延 ＜令和7年4月＞ 教育学士 天理教学1 天理教学2	兼任	講師	上原 道延 ＜令和7年4月＞ 教育学士 天理教学1 天理教学2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	梅田 正之 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	梅田 正之 ＜令和7年4月＞ 文学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任	講師	加藤 匡人 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	加藤 匡人 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	澤井 一郎 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	澤井 一郎 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	松山 常教 ＜令和6年4月＞ 学士（宗教学）	兼任	講師	松山 常教 ＜令和6年4月＞ 学士（宗教学）
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	安井 幹直 ＜令和6年4月＞ M.A（文学修士）（米国）	兼任	講師	安井 幹直 ＜令和6年4月＞ M.A（文学修士）（米国）
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	荒田 恵 ＜令和9年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	荒田 恵 ＜令和9年4月＞ 修士（文学）
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	乾 誠二 ＜令和9年4月＞ 文学士	兼任	講師	乾 誠二 ＜令和9年4月＞ 文学士
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	齊藤 純 ＜令和9年4月＞ 文学修士※	兼任	講師	齊藤 純 ＜令和9年4月＞ 文学修士※
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	講師	中尾 徳仁 ＜令和9年4月＞ 学士（教育学）	兼任	講師	中尾 徳仁 ＜令和9年4月＞ 学士（教育学）
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	今治 周平 ＜令和6年4月＞ 法務博士	兼任	講師	今治 周平 ＜令和6年4月＞ 法務博士
		民法1 民法2			民法1 民法2
兼任	講師	角 克明 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※	兼任	講師	角 克明 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※
		地理学1 地理学2			地理学1 地理学2
兼任	講師	加藤 康 ＜令和6年4月＞ 修士（商学）※	兼任	講師	加藤 康 ＜令和6年4月＞ 修士（商学）※
		経営学1 経営学2			経営学1 経営学2
兼任	講師	片岡 佐知子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）			
		科学と現代			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	坂手 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	講師	坂手 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		生活の中の科学			生活の中の科学
兼任	講師	鈴木 史子 ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学）※	兼任	講師	鈴木 史子 ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学）※
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	竹村 和也 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）※	兼任	講師	竹村 和也 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）※
		日本国憲法 法学			日本国憲法 法学
兼任	講師	東井 申雄 ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学）	兼任	講師	東井 申雄 ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学）
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	長沢 一恵 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	長沢 一恵 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		基礎からわかるレポート作成 近現代の遺産と未来			基礎からわかるレポート作成 基礎からわかる近代史 近現代の遺産と未来
兼任	講師	中村 珍晴 ＜令和6年4月＞ 博士（スポーツ科学）	兼任	講師	中村 珍晴 ＜令和6年4月＞ 博士（スポーツ科学）
		障害学			障害学
兼任	講師	西 直美 ＜令和6年4月＞ 博士（グローバル社会研究）	兼任	講師	西 直美 ＜令和6年4月＞ 博士（グローバル社会研究）
		基礎からわかるレポート作成 政治学			基礎からわかるレポート作成 政治学
兼任	講師	福島 沢美 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）	兼任	講師	福島 沢美 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）
		日本手話A 日本手話B			日本手話A 日本手話B
兼任	講師	藤井 稔 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	藤井 稔 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		基礎からわかるレポート作成			基礎からわかるレポート作成
兼任	講師	三宅 正夫 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	三宅 正夫 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		基礎からわかる数学			基礎からわかる数学
兼任	講師	八木 英治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	兼任	講師	八木 英治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		障害学			障害学
兼任	講師	安田 智博 ＜令和6年4月＞ 学士（文学）	兼任	講師	安田 智博 ＜令和6年4月＞ 学士（文学）
		キャリアプランニング 労働と社会			キャリアプランニング 労働と社会
兼任	講師	吉田 和弘 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）			
		地球環境論			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	持元 江津子 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	兼任	講師	持元 江津子 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		コンピュータ入門			コンピュータ入門
兼任	講師	渡邊 碩 ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）	兼任	講師	渡邊 碩 ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）
		経済学1 経済学2			経済学1 経済学2
兼任	講師	池田 華子 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）	兼任	講師	池田 華子 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）
		臨床教育学特論			臨床教育学特論
兼任	講師	奥本 武裕 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	奥本 武裕 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	金山 佐喜子 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※	兼任	講師	金山 佐喜子 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		特別な支援の必要な生徒の理解			特別な支援の必要な生徒の理解
兼任	講師	北口 学 ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）	兼任	講師	北口 学 ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	小島 源一郎 ＜令和8年4月＞ 教育学士	兼任	講師	小島 源一郎 ＜令和8年4月＞ 教育学士
		教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む）			教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む）
兼任	講師	富田 稔 ＜令和6年4月＞ 修士（都市政策）	兼任	講師	富田 稔 ＜令和6年4月＞ 修士（都市政策）
		人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習（中・高） 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習（中・高） 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	松枝 拓生 ＜令和8年4月＞ 博士（教育学）	兼任	講師	松枝 拓生 ＜令和8年4月＞ 博士（教育学）
		道徳の理論及び指導法			道徳の理論及び指導法
兼任	講師	犬飼 誠 ＜令和6年4月＞ 文学士	兼任	講師	犬飼 誠 ＜令和6年4月＞ 文学士
		矯正概論 矯正保護教育（施設参観を含む）			矯正概論 矯正保護教育（施設参観を含む）
兼任	講師	高橋 秀紀 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	高橋 秀紀 ＜令和7年4月＞ 文学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	中村 寛子 ＜令和6年4月＞ 学術修士※	兼任	講師	中村 寛子 ＜令和6年4月＞ 学術修士※
		更生保護概論			更生保護概論
兼任	講師	北條 正崇 ＜令和7年4月＞ 学士（法学）	兼任	講師	北條 正崇 ＜令和7年4月＞ 学士（法学）
		犯罪被害者支援論			犯罪被害者支援論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	山本 道次 ＜令和7年4月＞ 体育学士	兼任	講師	山本 道次 ＜令和7年4月＞ 体育学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	佐藤 敏江 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	佐藤 敏江 ＜令和6年4月＞ 文学士
		児童・YAサービス論			図書館サービス概論 児童・YAサービス論
兼任	講師	鈴木 陽二 ＜令和6年4月＞ 文学修士（韓国）	兼任	講師	鈴木 陽二 ＜令和6年4月＞ 文学修士（韓国）
		韓国・朝鮮語 1 韓国・朝鮮語 2			韓国・朝鮮語 1 韓国・朝鮮語 2
兼任	講師	吉川 万寿彦 ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	講師	吉川 万寿彦 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）			多文化理解と言語（韓国・朝鮮語） ※
兼任	講師	乾 拓也 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	乾 拓也 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	鈴島 梓 ＜令和6年4月＞ 博士（英文学）	兼任	講師	鈴島 梓 ＜令和6年4月＞ 博士（英文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	日沖 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（宗教美術）（米国）	兼任	講師	日沖 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（宗教美術）（米国）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	山下 大輔 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	山下 大輔 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		多文化理解と言語（ドイツ語）			多文化理解と言語（ドイツ語）
兼任	講師	石田 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）※	兼任	講師	石田 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	荻野 綾 ＜令和6年4月＞ 修士（外国語教育学）	兼任	講師	荻野 綾 ＜令和6年4月＞ 修士（外国語教育学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	家村 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）	兼任	講師	家村 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）
		教養アカデミック英語 1 教養アカデミック英語 2 実践アカデミック英語 2			教養アカデミック英語 1 教養アカデミック英語 2 実践アカデミック英語 2
兼任	講師	小林 和代 ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	講師	小林 和代 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		中国語 1 中国語 2			中国語 1 中国語 2
兼任	講師	後藤 朗子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	後藤 朗子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	内藤 貴夫 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	内藤 貴夫 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	野田 智子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	野田 智子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	疋田 隆康 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	疋田 隆康 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	山川 仁 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）	兼任	講師	山川 仁 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	山口 徳一 ＜令和6年4月＞ 修士（英文学）※	兼任	講師	山口 徳一 ＜令和6年4月＞ 修士（英文学）※
		英語1 英語2			英語1 英語2 世界の文学1 世界の文学2
兼任	講師	山村 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）	兼任	講師	山村 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	坂井 隆秀 ＜令和6年4月＞ 体育学士	兼任	講師	坂井 隆秀 ＜令和6年4月＞ 体育学士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	講師	山田 貞子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士	兼任	講師	山田 貞子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーション・スポーツ ニュース・スポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーション・スポーツ ニュース・スポーツ
			兼任	講師	森田 実 ＜令和6年4月＞ 学士（法学）
					天理大学特別講義6 天理大学特別講義6
			兼任	講師	高祖 和弘 ＜令和6年4月＞ 学士（体育学）
					プロジェクト実習1 プロジェクト実習2
			兼任	講師	片山 雅男 ＜令和6年4月＞ 理学修士
					地球環境論
			兼任	講師	金岡 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
					キャリアプランニング
			兼任	講師	緒田 徹 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
					哲学概論2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	細谷 祐司 ＜令和6年4月＞ 学士（通学） 科学と現代
			兼任	講師	須永 智恵 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学） 教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護等体験 職業実践演習（中・高） 学校教育文芸 教育史特論
			兼任	講師	芳賀 達彦 ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学） 社会学
			兼任	講師	北岡 一弘 ＜令和6年4月＞ 修士（学術） 修士（英文学） 修士（英語教育学） 英語1 英語2 多文化理解と言語（英語）
			兼任	講師	村田 恵子 ＜令和6年4月＞ 修士（政治学） 英語1 英語2
			兼任	講師	山本 樹 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学） 健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2

- （注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実）、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

・山中秀夫（専任）教授	担当科目の見直しにより「図書館サービス概論」1科目削除
・上田喜彦（兼任）教授	担当科目の見直しにより「天理大学特別講義3」1科目削除
・岡田龍樹（兼任）教授	担当科目の見直しにより「日本事情1」「日本事情2」2科目削除
・奥田真紀子（兼任）教授	を辞退
・黒岩康博（兼任）准教授	を辞退
・箱田徹（兼任）准教授	を辞退し（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎からわかる現代社会」「社会学」「哲学概論1」4科目削除
・中村久美（兼任）准教授	を辞退
・吉田智佳（兼任）准教授	から（兼任）教授に職位変更
・川上晃司（兼任）准教授	担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加
・穴井隆将（兼任）准教授	担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目削除
・小畑治（兼任）准教授	担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目削除
・澤井真（兼任）講師	から（兼任）准教授に職位変更
・須永哲思（兼任）准教授	を辞退し（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「教育学概論1」1科目削除
・小関康平（兼任）講師	担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎からわかるレポート作成」2科目追加
・松本優也（兼任）講師	を辞退
・森元伸枝（兼任）教授	として就任。担当科目の見直しにより「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」2科目追加
・石井孝弘（兼任）教授	として就任。担当科目の見直しにより「天理大学特別講義3」1科目追加
・熊木 勉（兼任）教授	として就任。担当科目の見直しにより「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」1科目追加
・王向華（兼任）教授	として就任。担当科目の見直しにより「日本事情1」「日本事情2」2科目追加
・白石晃（兼任）教授	として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加
・寺田和史（兼任）教授	として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加
・金井恵理（兼任）教授	として就任。担当科目の見直しにより「保健医療の仕組みと健康づくり」1科目追加
・山本佳世子（兼任）准教授	として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎からわかる現代社会」「哲学概論1」3科目追加
・高地 朋成（兼任）准教授	として就任。担当科目の見直しにより「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」1科目追加
・松山尚道（兼任）准教授	として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加
・西田昂平（兼任）助教	として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加
・片岡佐和子（兼任）講師	を辞退
・長沢一恵（兼任）講師	担当科目の見直しにより「基礎からわかる近代史」1科目追加
・吉田和弘（兼任）講師	を辞退
・佐藤敏江（兼任）講師	就任年月変更。担当科目の見直しにより「図書館サービス概論」1科目追加
・吉川万寿彦（兼任）講師	担当科目の見直しにより「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」をオムニバスに変更
・山口徳一（兼任）講師	担当科目の見直しにより「世界の文学1」「世界の文学2」2科目追加
・森田実（兼任）講師	として就任。担当科目の見直しにより「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」2科目追加
・高祖和弘（兼任）講師	として就任。担当科目の見直しにより「プロジェクト実習1」「プロジェクト実習2」2科目追加
・片山雅男（兼任）講師	として就任。担当科目の見直しにより「地球環境論」1科目追加
・金岡直子（兼任）講師	として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」1科目追加
・細谷祐司（兼任）講師	として就任。担当科目の見直しにより「科学と現代」1科目追加
・芳賀達彦（兼任）講師	として就任。担当科目の見直しにより「社会学」1科目追加
・北岡一弘（兼任）講師	として就任。担当科目の見直しにより「英語1」「英語2」「多文化理解と言語（英語）」3科目追加
・村田恵子（兼任）講師	として就任。担当科目の見直しにより「英語1」「英語2」2科目追加
・山本樹（兼任）講師	として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**
- ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
5	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
3	1	1	0	5	0	3	1	1	0	5	0
(3)	(1)	(1)	(0)	(5)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
3	1	1	0	5	0	3	1	1	0	5	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、〔 〕内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、〔 〕内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{5}{5} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1		該当なし								
合計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1		該当なし											
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）＋（F）						後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
0	人	必修	0	科目		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{5} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時 (令和5年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。(人文学部社会教育学科)	【届出】 遵守事項 学校法人天理大学就業規則において大学教員の定年は60歳となっているが、同規則及び天理大学教員再雇用規程に則り、本人の希望により60歳を超えても65歳まで引き続き雇用される【資料①】。同規則及び同規程の適用を受けた教員は、定年前と同様に当該教授会の構成員となる。また、学部長、学科主任、各種委員会の委員を務めるなど定年前の教員と何ら変わらない。 さらに同規程では、65歳を超えて教学上特に必要と認める教員を特別嘱託教授として、年度末の年齢満68歳を限度として雇用すると定めている。	履行済 人文学部社会教育学科では、1名の教員を令和9年度より特別嘱託教授としての雇用を予定している。 専任教員の高齢化は今後の教員組織においてふさわしい状況とは言い難いが、引き続き、定年規程の趣旨を踏まえつつ、教育研究の継続性と年齢構成を考慮して、後任人事を補充していく。
届出時 (令和5年)	人間学部宗教学科の収容定員未充足の是正に努めること	【届出】 遵守事項 人間学部宗教学科の収容定員未充足を改善すべく改編を行った。人間学部宗教学科は令和6年4月より学生募集を停止し、入学定員を40名から20名に削減した人文学部宗教学科を設置した。 ただし、改編初年度となる令和6年度の人文学部宗教学科の入学者数は9名(収容定員充足率45%)となり、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	履行済 令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学者選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。
届出時 (令和5年)	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足の是正に努めること	【届出】 遵守事項 国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足を改善すべく、外国語学科の韓国・朝鮮語専攻、中国語専攻、英米語専攻、スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻の各専攻と地域文化学科を国際学部韓国・朝鮮語学科、中国語学科、英米語学科、外国語学科、国際文化学科、日本学科に改編した。 外国語学科の各専攻と地域文化学科は令和6年4月より学生募集を停止し、国際学部全体の入学定員を360名から290名に削減した。 ただし、改編初年度となる令和6年度の国際学部各学科の入学者数は韓国・朝鮮語学科24名(収容定員充足率60%)、中国語学科11名(同27%)、英米語学科35名(同58%)、外国語学科13名(同56%)、国際文化学科50名(同100%)、日本学科21名(同52%)となった。国際文化学科を除く5学科は、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	履行済 令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学者選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】**
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
- 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】**
- 令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。
- 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**
- 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文学部 社会教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成17年4月に天理大学FD委員会が設置された。同委員会は、令和6年4月より天理大学全学教育推進会議（専門委員会）に引き継がれ、審議等を行っている。同会議には委員として、学部長及び学科主任、もしくは学科の専任教員が出席している【資料②】。

FD委員会とは異なる形だが、平成29年度よりスタッフ・ディベロップメントが義務化されたことに伴い、「天理大学SDの実施方針」および「SDの実施計画」を定め、担当部署が研修を企画実施している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

全学教育推進会議は、本学の教学マネジメントを担う会議体として、基本的に毎月1回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席している。

FD委員会は、令和5年度は6回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席していた。

SDに関する委員会は設置されていない。

c 委員会の審議事項等

FDに関することは全学教育推進会議で諮られている。

(1) 教育の計画、内容、方法及び評価・改善に関すること。

(2) 教育課程の編成に関すること。

(3) 単位の認定に関すること。

(4) FD活動に関すること。

(5) 教員養成教育及び資格課程に関すること。

(6) その他全学の教育推進に関すること。

SDの研修等に関しては、事務局の部長連絡会で調整され実施をしている。

② 実施状況

a 実施内容（令和5年度）

<FD>

○FD研修会 ○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク） ○学生による授業評価アンケート

○ティーチング・ポートフォリオ ○学外研修会等参加

<SD>

○SD研修会

b 実施方法

<FD>

○FD研修会

各学部・研究科単位で研修会を実施し、専任教員は全員参加（欠席者に対しては事後研修）。

各学部・研究科が独自に設定したテーマで研修を行う。

○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）

専任教員は、毎年度定められた期間内に1科目以上の授業の公開と1科目以上の参観を義務づけて実施。

また、参観後は教員個人が報告書を学内グループウェアの専用ファイルに記載し公開しており、

教員相互の授業改善に活用する。

○学生による授業評価アンケート

年2回、学期（春期と秋期）末に、学生による授業評価アンケートを実施。

○ティーチング・ポートフォリオ

各教員が個別に研究・習得した教授法に関する知識・情報を全学的に共有し、それぞれの授業改善および教育内容の充実に役立てる意図のもと令和3年度より導入。学内のグループウェアを使用しアップロードや閲覧可能なシステムを構築している。

○学外研修会等参加

本学が加盟する日本私立大学連盟が主催するFD推進ワークショップの案内や関西地区FD連絡協議会が主催する各種研修会の案内を随時行い希望者が参加する。

○FD活動報告書

FD活動を体系的に整理し、報告書を作成。

<SD>

○SD研修会

全体研修として、外部団体より講師を招き全教職員を対象に研修会を開催。
職階別研修として、日本私立大学連盟などが実施している研修などの情報を提供し、職階に応じた教職員が各研修会に参加。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<FD>

○FD研修会 ※令和5年度

・各学部（5学部）で各テーマを設定し実施。教員は全員参加（事後研修含む）。

○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）※令和5年度

・実施期間：令和5年10月10日（火）～令和6年1月31日（水）
・公開科目：194科目（参観のあった科目：109科目）参観した教職員：165人

○学生による授業評価アンケート※令和5年度

・各学期（春学期・秋学期）の履修登録者5名以上の全学部の全授業科目対象（非常勤講師含む）に実施。

○ティーチング・ポートフォリオ（令和3年度～令和5年度）

・各教員が学内グループウェアに年度・学期・学部毎に掲載する形式で実施。

○学外研修会等参加（令和3年度～令和5年度）

・希望者が日本私立大学連盟主催のFD推進ワークショップ（新任教員向け）に参加。

○FD活動報告書

・毎年作成し公表。

<SD>

○SD研修会 ※令和5年度

・業務領域の知見の獲得を目的とする内容

学外から講師を招いてのSD講演会

「志願者獲得に向けた昨年度入試にかかる分析結果について」

（令和5年7月26日開催＋録画視聴：参加者367名のうち、教員の参加者169名）

・学生の厚生補導に関する内容

学生相談委員会、人権教育推進会議共催による学内研修会

「学校における労働安全衛生管理の観点からの適切な職場環境づくり

—労働安全衛生法と教職員の健康管理—」

令和5年12月1日～令和6年3月31日（動画視聴：参加者数不明）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD、SDの取り組みを大学全体で組織的に継続していくことで、授業改善は着実に進んでいる。

令和6年度も同様に実施し、授業の質の担保・向上に努めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況（令和5年度）

a 実施の有無及び実施時期

年2回各学期末にWebにより実施。

春学期：令和5年7月10日～8月2日 秋学期：令和6年1月11日～2月7日

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は個人の集計結果を通知。また、教員、学生は全体の集計結果の情報を本学のホームページで閲覧できる。併せて、「FD活動報告書」（毎年度作成）の中で全体の集計結果の情報を掲載している（教員は配付、学生は図書館他で閲覧可能）。

以上の活動を通じて、教員の資質の維持向上を図っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人文学部社会教育学科は、既設の人間学部人間関係学科生涯教育専攻を改編し、令和6年に開設した。
教育研究上の目的として、「社会教育の基礎となる知識と技術を修得し、地域社会の持続的な発展に資する多様な学習支援の在り方を実践的に体験・探求していくことで、誰もが主体的に参画できる生涯学習社会の形成に寄与する人材を養成する」と掲げ、教育・研究活動に取り組んでいる。
授業計画については、兼任及び兼任教員の未就任により、一部の科目において担当者の変更が生じたが、概ね当初の計画通りに授業科目を開講している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年4月公表

b 公表方法

・自己点検・報告書を大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

令和4年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の大学評価（認証評価）を受審し、大学基準に適合していると認定された。

今回は令和11年に大学基準協会の大学評価（認証評価）の受審を予定している。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。

対象校No. 970
注4

学校コード F129310109266
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部設置
注1

届出

注2
天理大学 人文学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人天理大学
令和6年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

人文学部

＜社会福祉学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	34
7. その他全般的事項	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人天理大学

(2) 大 学 名

天理大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒632-8510
奈良県天理市杣之内町1050番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フカヤ ヨシタロウ) 深谷 善太郎 (平成28年3月)		
学 長	(ナガオ ヒナオ) 永尾 比奈夫 (令和5年4月)		
学 部 長	(ヤマナカ ヒデオ) 山中 秀夫 (令和6年4月)		
学科長等	(ワタナベ カズクニ) 渡辺 一城 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
- (例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人文学部 社会福祉学科 学士(社会福祉学)	社会学・社会 福祉学関係	4 年	50 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	200 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 － (ー) [ー]	人 50 (ー) [ー]					
志願者数	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	52 (ー) [ー]					
受験者数	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	50 (ー) [ー]					
合格者数	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	41 (ー) [ー]					
B 入学者数	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	30 (ー) [ー]					
入学定員超過率 B/A	－		－		－		－		－		0.60					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	30 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)		— [—] (—)		— [—] (—)		— [—] (—)		— [—] (—)		30 [—] (—)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入**してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	30 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{30} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人文学部 社会福祉学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合 教育 科目	天理 スピリット 科目群	天理教概説1	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教概説2	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教学1	2-3-4期		2							兼3
		天理教学2	2-3-4期		2							兼3
		建学の精神と天理大学のあゆみ	2前期	2								兼5
		英語1	1-2-3-4期	1								兼15
		英語2	1-2-3-4期	1								兼15
		韓国・朝鮮語1	1-2-3-4期		1							兼1
		韓国・朝鮮語2	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語1	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語2	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼2
		アカデミック英語上級	1-2-3-4期		1							兼1
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情1	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情2	1-2-3-4期		2							兼1
		健康スポーツ科学1	1-2-3-4期		2							兼8
		健康スポーツ科学2	1-2-3-4期		2							兼6
		国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4期		2							兼2
		保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4期		2							兼1
		ローカリアク天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4期		1		1					兼2
		ローカリアク天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4期		1		1					兼2
		国際協力入門	1-2-3-4期		2		1					
		国際協力実習	1-2-3-4期		2		1					
		国際協力演習1	1-2-3-4期		2		1					
		国際協力演習2	1-2-3-4期		2		1					
		国際ボランティア論	2-3-4期		2		1					
		天理大学特別講義1	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義2	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義3	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義4	1-2-3-4期		2							兼1
		天理異文化伝道	2-3-4期		2							兼1
	小計(45科目)	—	8	69	0	1	0	0	0	0	兼54	
キ ャ リ ア 教 育 科 目 群	キャリアプランニング	1-2-3期後		2		1					兼2	
	キャリアデザイン1	2-3-4期		2							兼1	
	キャリアデザイン2	2-3-4期		2							兼1	
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1	

【令和6年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合教育科目	天理 スピ リッ ト 科 目 群	天理教概説1	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教概説2	1-2-3-4期	2								兼10
		天理教学1	2-3-4期		2							兼3
		天理教学2	2-3-4期		2							兼3
		建学の精神と天理大学のあゆみ	2前	2								兼5
		英語1	1-2-3-4期	1								兼16
		英語2	1-2-3-4期	1								兼16
		韓国・朝鮮語1	1-2-3-4期		1							兼1
		韓国・朝鮮語2	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語1	1-2-3-4期		1							兼1
		中国語2	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		教養アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語1	1-2-3-4期		1							兼1
		実践アカデミック英語2	1-2-3-4期		1							兼2
		アカデミック英語上級	1-2-3-4期		1							兼1
		多文化理解と言語(韓国・朝鮮語)	1-2-3-4期		2							兼2
		多文化理解と言語(中国語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(英語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(タイ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(インドネシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ドイツ語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(フランス語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ロシア語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(スペイン語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(ポルトガル語)	1-2-3-4期		2							兼1
		多文化理解と言語(日本語)	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情1	1-2-3-4期		2							兼1
		日本事情2	1-2-3-4期		2							兼1
		健康スポーツ科学1	1-2-3-4期		2							兼11
		健康スポーツ科学2	1-2-3-4期		2							兼8
		国際社会におけるスポーツの役割	1-2-3-4期		2							兼2
		保健医療の仕組みと健康づくり	1-2-3-4期		2							兼1
		ローカリアク天理SDGs 森に生きる入門編	1-2-3-4期		1			1				兼2
		ローカリアク天理SDGs 森に生きる実践編	2-3-4期		1			1				兼2
		国際協力入門	1-2-3-4期		2			1				
		国際協力実習	1-2-3-4期		2			1				
		国際協力演習1(未開講)	1-2-3-4期		2			1				
		国際協力演習2	1-2-3-4期		2			1				
		国際ボランティア論	2-3-4期		2			1				
		天理大学特別講義1	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義2	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義3	1-2-3-4期		2			1				
		天理大学特別講義4	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義5	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義6	1-2-3-4期		2							兼1
		天理大学特別講義7	1-2-3-4期		2			1				
		天理大学特別講義8	1-2-3-4期		2			1				
		天理異文化伝道	2-3-4期		2							兼1
	小計(49科目)	—	8	77	0	3	0	0	0	0	兼60	
キ ャ リ ア 教 育 科 目 群	キャリアプランニング	1-2-3期後		2		1					兼4	
	キャリアデザイン1	2-3-4期		2							兼1	
	キャリアデザイン2	2-3-4期		2							兼1	
	インターンシップ1	1-2-3通		1							兼1	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合 教育 科目	キャリア 教育 科目 群	インターンシップ2	1-2-3通		2							兼1	
		海外インターンシップ1	2-3-4通		1							兼1	
		海外インターンシップ2	2-3-4通		2							兼1	
		小計(7科目)	—	0	12	0	1	0	0	0	0	兼5	
	基礎リ テラシ ー 科目 群	基礎ゼミナール1	1前	2			2	1					
		基礎ゼミナール2	1後		2		3						
		データサイエンス・AI入門	1前後		2							兼2	
		データサイエンス・AI応用	2-3-4前後		2							兼1	
		データリテラシー	2-3-4前後		2							兼1	
		コンピュータ入門	1-2-3-4前後		2							兼2	
		情報処理	2-3-4前後		2							兼1	
		基礎からわかるレポート作成	1-2-3-4前後		2		1					兼3	
		基礎からわかる近代史	1-2-3-4前後		2							兼1	
		基礎からわかる現代社会	1-2-3-4前後		2							兼1	
		基礎からわかる数学	1-2-3-4前後		2							兼1	
		基礎からわかる生物・化学	1-2-3-4前後		2							兼1	
		小計(12科目)	—	2	22	0	4	1	0	0	0	兼10	
	一般 教養 教育 科目 群	生活の中の科学	1-2-3-4前後		2								兼1
		地球環境論	1-2-3-4前後		2								兼1
		科学と現代	1-2-3-4前後		2								兼1
		数学と論理	1-2-3-4前後		2								兼1
		統計学1	1-2-3-4前		2								兼1
		統計学2	1-2-3-4後		2								兼1
		経営学1	1-2-3-4前		2								兼1
		経営学2	1-2-3-4後		2								兼1
		地理学1	1-2-3-4前		2								兼1
		地理学2	1-2-3-4後		2								兼1
		日本国憲法	1-2-3-4後		2								兼2
		法学	1-2-3-4前		2								兼2
		経済学1	1-2-3-4前		2								兼1
		経済学2	1-2-3-4後		2								兼1
		政治学	1-2-3-4前後		2								兼1
		社会学	1-2-3-4前後		2								兼1
		民法1	1-2-3-4前		2								兼1
		民法2	1-2-3-4後		2								兼1
		行政法1	1-2-3-4前		2								兼1
		行政法2	1-2-3-4後		2								兼1
		哲学概論1	1-2-3-4前		2								兼2
		哲学概論2	1-2-3-4後		2								兼2
		倫理学1	1-2-3-4前後		2								兼1
		倫理学2	1-2-3-4後		2								兼1
心理学1		1-2-3-4前		2								兼2	
心理学2		1-2-3-4後		2								兼2	
ジェンダー・セクシャリティ		1-2-3-4前後		2								兼1	
近現代の遺産と未来		1-2-3-4前後		2								兼1	
宗教と芸能		1-2-3-4後		2								兼1	
労働と社会		1-2-3-4前後		2								兼1	
障害学		1-2-3-4前後		2								兼2	
世界の文学1		1-2-3-4前		2								兼1	
世界の文学2		1-2-3-4後		2								兼1	
カルチュラルスタディーズ		1-2-3-4前後		2								兼1	
宗教と現代社会		1-2-3-4前後		2								兼1	
人権と差別1		1-2-3-4前		2								兼3	
人権と差別2	1-2-3-4後		2								兼3		
日本手話A	1-2-3-4前後		2								兼1		
日本手話B	1-2-3-4後		2								兼1		
アウトドアスポーツ	1-2-3-4通		1								兼1		
レクリエーションスポーツ	2-3-4前		1								兼1		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合教育科目	キャリア教育科目群	インターンシップ2	1-2-3通		2							兼1
		海外インターンシップ1	2-3-4通		1							兼1
		海外インターンシップ2	2-3-4通		2							兼1
		小計(7科目)	—	0	12	0	1	0	0	0	0	兼6
	基礎リテラシー科目群	基礎ゼミナール1	1前	2			2	1				
		基礎ゼミナール2	1後		2		3					
		データサイエンス・AI入門	1前後		2							兼2
		データサイエンス・AI応用	2-3-4前後		2							兼1
		データリテラシー	2-3-4前後		2							兼1
		コンピュータ入門	1-2-3-4前後		2							兼2
		情報処理	2-3-4前後		2							兼1
		基礎からわかるレポート作成	1-2-3-4前後		2		1					兼4
		基礎からわかる近代史	1-2-3-4前後		2							兼1
		基礎からわかる現代社会	1-2-3-4前後		2							兼1
		基礎からわかる数学	1-2-3-4前後		2							兼1
		基礎からわかる生物・化学	1-2-3-4前後		2							兼1
	小計(12科目)	—	2	22	0	4	1	0	0	0	兼10	
	一般教養教育科目群	生活の中の科学	1-2-3-4前後		2							兼1
		地球環境論	1-2-3-4前後		2							兼1
		科学と現代	1-2-3-4前後		2							兼1
		数学と論理	1-2-3-4前後		2							兼1
		統計学1	1-2-3-4前		2							兼1
		統計学2	1-2-3-4後		2							兼1
		経営学1	1-2-3-4前		2							兼1
		経営学2	1-2-3-4後		2							兼1
		地理学1	1-2-3-4前		2							兼1
		地理学2	1-2-3-4後		2							兼1
		日本国憲法	1-2-3-4後		2							兼2
		法学	1-2-3-4前		2							兼2
		経済学1	1-2-3-4前		2							兼1
		経済学2	1-2-3-4後		2							兼1
		政治学	1-2-3-4前後		2							兼1
		社会学	1-2-3-4前後		2							兼1
		民法1	1-2-3-4前		2							兼1
		民法2	1-2-3-4後		2							兼1
		行政法1	1-2-3-4前		2							兼1
		行政法2	1-2-3-4後		2							兼1
		哲学概論1	1-2-3-4前		2							兼2
		哲学概論2	1-2-3-4後		2							兼2
		倫理学1	1-2-3-4前後		2							兼1
		倫理学2	1-2-3-4後		2							兼1
		心理学1	1-2-3-4前		2							兼2
		心理学2	1-2-3-4後		2							兼2
		ジェンダー・セクシャリティ	1-2-3-4前後		2							兼1
		近現代の遺産と未来	1-2-3-4前後		2							兼1
		宗教と芸能	1-2-3-4後		2							兼1
労働と社会		1-2-3-4前後		2							兼1	
障害学		1-2-3-4前後		2							兼2	
世界の文学1		1-2-3-4前		2							兼1	
世界の文学2		1-2-3-4後		2							兼1	
カルチュラルスタディーズ		1-2-3-4前後		2							兼1	
宗教と現代社会	1-2-3-4前後		2							兼1		
人権と差別1	1-2-3-4前		2							兼3		
人権と差別2	1-2-3-4後		2							兼3		
日本手話A	1-2-3-4前後		2							兼1		
日本手話B	1-2-3-4後		2							兼1		
アウトドアスポーツ	1-2-3-4通		1							兼1		
レクリエーションスポーツ	2-3-4前		1							兼1		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 教育 科目		ニュースポーツ	2・3・4前		1							兼2
		小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0	兼32
		合計(106科目)	—	10	184	0	4	1	0	0	0	兼85
社会 福祉 学 科 専 攻 科 目		社会福祉学演習1	2前	2			5					
		社会福祉学演習2	3後	2			4	1				
		社会福祉学演習3	4前	2			5	3				
		社会福祉学演習4	4後	2			5	3				
		社会福祉概論1	1・2・3・4前	2			1					
		社会福祉概論2	1・2・3・4後	2			1					
		人体の構造と機能及び疾病	2・3・4前		2		1					
		社会学と社会システム	1・2・3・4後		2							兼1
		社会保障論1	2・3・4前		2		1					
		社会保障論2	2・3・4後		2		1					
		社会福祉調査法	3・4前		2		1					
		ソーシャルワーク論1	1・2・3・4前	2				1				
		ソーシャルワーク論2	1・2・3・4後		2			1				
		ソーシャルワーク論3	2・3・4前		2			1				
		ソーシャルワーク論4	2・3・4後		2			1				
		ソーシャルワーク論5	3・4後		2				1			
		ソーシャルワーク論6	3・4後		2				1			
		地域福祉と包括的支援体制1	2・3・4前		2		1					
		地域福祉と包括的支援体制2	2・3・4後		2		1					
		福祉経営論	4前		2		1					
		障害者福祉論	1・2・3・4前		2		1					
		児童福祉論	1・2・3・4前		2			1				
		高齢者福祉論	1・2・3・4後		2				1			
		公的扶助論	2・3・4前		2		1					
		医療福祉論	2・3・4前		2		1					
		権利擁護を支える法制度	2・3・4前		2		1					
		刑事司法と福祉	2・3・4後		2							兼1
		ソーシャルワーク演習1	2前		2			1	1			兼1
		ソーシャルワーク演習2	2後		2			1	1			兼1
		ソーシャルワーク演習3	3前		2		1	1	1			
		ソーシャルワーク演習4	3後		2		1	1	1			
		ソーシャルワーク演習5	4前		2		1		1			兼1
		ソーシャルワーク実習指導1	2後		2		2	1				
		ソーシャルワーク実習指導2	3前		2		2	2	1			
		ソーシャルワーク実習指導3	3後		2		2	2	1			
		ソーシャルワーク実習1	2後		2		1	1	1			
		ソーシャルワーク実習2	3休		4		2	2	1			
		地域連携実習	2・3・4休		2		4	1				
		天理教社会福祉論	1・2・3・4前	2			1					
		精神医学と精神医療1	2・3・4前		2							兼1
	精神医学と精神医療2	2・3・4後		2							兼1	
	現代の精神保健の課題と支援1	2・3・4前		2							兼1	
	現代の精神保健の課題と支援2	2・3・4後		2							兼1	
	精神保健福祉の原理1	2・3・4前		2			1					
	精神保健福祉の原理2	2・3・4後		2			1					
	現代家族論	1・2・3・4後		2							兼1	
	ソーシャルワーク理論と方法(専門)1	3・4前		2			1					
	ソーシャルワーク理論と方法(専門)2	3・4後		2			1					
	精神障害リハビリテーション論	2・3・4前		2		1						
	精神保健福祉制度論	2・3・4後		2			1					
	精神保健福祉援助演習1	2・3後		2			1					
	精神保健福祉援助演習2	3・4前		2			1					
	精神保健福祉援助演習3	3・4後		2			1					
	精神保健福祉援助実習A	3・4休		5			2					
	精神保健福祉援助実習B	4休		3			2					

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合 教育 科目		ニュースポーツ	2・3・4前		1							兼2	
		小計(42科目)	—	0	81	0	0	0	0	0	0	兼34	
		合計(110科目)	—	10	192	0	5	1	0	0	0	兼94	
社会 福祉 学 科 専 攻 科 目		社会福祉学演習1	2前	2			5					兼1	
		社会福祉学演習2	3後	2			4	1					
		社会福祉学演習3	4前	2			5	3					
		社会福祉学演習4	4後	2			5	3					
		社会福祉概論1	1・2・3・4前	2			1						
		社会福祉概論2	1・2・3・4後	2			1						
		人体の構造と機能及び疾病	2・3・4前		2		1						
		社会学と社会システム	1・2・3・4後		2								
		社会保障論1	2・3・4前		2		1						
		社会保障論2	2・3・4後		2		1						
		社会福祉調査法	3・4前		2		1						
		ソーシャルワーク論1	1・2・3・4前	2				1					
		ソーシャルワーク論2	1・2・3・4後		2			1					
		ソーシャルワーク論3	2・3・4前		2			1					
		ソーシャルワーク論4	2・3・4後		2			1					
		ソーシャルワーク論5	3・4後		2				1				
		ソーシャルワーク論6	3・4後		2				1				
		地域福祉と包括的支援体制1	2・3・4前		2		1						
		地域福祉と包括的支援体制2	2・3・4後		2		1						
		福祉経営論	4前		2		1						
		障害者福祉論	1・2・3・4前		2		1						
		児童福祉論	1・2・3・4前		2			1					
		高齢者福祉論	1・2・3・4後		2				1				
		公的扶助論	2・3・4前		2		1						
		医療福祉論	2・3・4前		2		1						
		権利擁護を支える法制度	2・3・4前		2		1						
		刑事司法と福祉	2・3・4後		2							兼1	
		ソーシャルワーク演習1	2前		2			1	1			兼1	
		ソーシャルワーク演習2	2後		2			1	1			兼1	
		ソーシャルワーク演習3	3前		2		1	1	1				
		ソーシャルワーク演習4	3後		2		1	1	1				
		ソーシャルワーク演習5	4前		2		1		1			兼1	
		ソーシャルワーク実習指導1	2後		2		2	1					
		ソーシャルワーク実習指導2	3前		2		2	2	1				
		ソーシャルワーク実習指導3	3後		2		2	2	1				
		ソーシャルワーク実習1	2後		2		1	1	1				
		ソーシャルワーク実習2	3休		4		2	2	1				
		地域連携実習	2・3・4休		2		4	1					
		天理教社会福祉論	1・2・3・4前	2			1						
		精神医学と精神医療1	2・3・4前		2							兼1	
	精神医学と精神医療2	2・3・4後		2							兼1		
	現代の精神保健の課題と支援1	2・3・4前		2							兼1		
	現代の精神保健の課題と支援2	2・3・4後		2							兼1		
	精神保健福祉の原理1	2・3・4前		2			1						
	精神保健福祉の原理2	2・3・4後		2			1						
	現代家族論	1・2・3・4後		2							兼1		
	ソーシャルワーク理論と方法(専門)1	3・4前		2			1						
	ソーシャルワーク理論と方法(専門)2	3・4後		2			1						
	精神障害リハビリテーション論	2・3・4前		2		1							
	精神保健福祉制度論	2・3・4後		2			1						
	精神保健福祉援助演習1	2・3後		2			1						
	精神保健福祉援助演習2	3・4前		2			1						
	精神保健福祉援助演習3	3・4後		2			1						
	精神保健福祉援助実習A	3・4休		5			2						
	精神保健福祉援助実習B	4休		3			2						

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
社会福祉学科専攻科目		精神保健福祉援助実習指導1	2・3後		2			2				
		精神保健福祉援助実習指導2	3・4前		2			2				
		精神保健福祉援助実習指導3	3・4後		2			2				
		卒業論文	4通	6			1					
		小計(59科目)	一	22	106	0	7	4	1	0	0	兼5
資格科目	天理 教学 部門	伝道実習1				1						兼1
		伝道実習2				1						兼1
		伝道実習3				1						兼1
		伝道実習4				1						兼1
		小計(4科目)	一	0	0	4	0	0	0	0	0	兼1
	人文 科学 部門	日本語学入門	1前			2						兼1
		日本語教育入門	1後			2						兼1
		日本語語彙論	2前			2						兼1
		日本語文法論1	2前			2						兼1
		日本語文法論2	2後			2						兼1
		日本語音声学	2後			2						兼1
		言語の対照研究	3前			2						兼1
		日本語教授法1	3前			2						兼1
		日本語教授法2	3後			2						兼1
		第二言語習得論	3前			2						兼1
		日本語指導法	4前			2						兼1
		日本語教育評価法	4後			2						兼1
		日本語教育実習	4通			2						兼1
		小計(13科目)	一	0	0	26	0	0	0	0	0	兼2
	社会 科学 部門	図書館情報システム論	2・3・4後			2						兼1
		情報サービス論	3・4前			2						兼1
		児童・YAサービス論	2・3・4前			2						兼1
		情報サービス演習1	3・4後			2						兼1
		情報サービス演習2	3・4後			2						兼1
		図書館情報資源概論	2・3・4前			2						兼1
		情報資源組織論	3・4前			2						兼1
		情報資源組織演習1	3・4後			2						兼1
		情報資源組織演習2	3・4後			2						兼1
図書館情報資源特論		3・4前			2						兼1	
図書館情報学特論		4前			2						兼1	
博物館実習1		3前			2						兼2	
博物館実習2		4通			1						兼3	
矯正概論		1・2・3・4前			2						兼1	
更生保護概論		1・2・3・4前			2						兼1	
矯正保護教育(施設参観を含む)		3・4後			2						兼1	
矯正保護支援実践論		2・3・4後			2						兼2	
犯罪被害者支援論		2・3・4後			2						兼1	
小計(18科目)		一	0	0	35	0	0	0	0	0	兼13	
教職に 関する 専門 教育 科目	教職論	1前後			2						兼1	
	教育原理	2・3・4前後			2						兼1	
	教育史	2・3・4前			2						兼1	
	教育課程論	3・4前後			2						兼1	
	学校教育心理学	2・3・4前後			2						兼1	
	学校教育社会学	2・3・4前後			2						兼1	
	道徳の理論及び指導法	3・4前後			2						兼1	
	教育相談の理論及び方法	3前後			2						兼2	
	教育相談の理論及び方法	2・3・4前後			2						兼1	
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3・4前後			2						兼2	
	教育実習講義	3後			1						兼3	
	介護等体験	3通			1						兼3	
	教職実践演習(中・高)	4後			2						兼5	
	教育実習1	4通			2						兼1	
	教育実習2	4通			2						兼1	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
社会福祉学科専攻科目		精神保健福祉援助実習指導1	2・3後		2			2					
		精神保健福祉援助実習指導2	3・4前		2			2					
		精神保健福祉援助実習指導3	3・4後		2			2					
		卒業論文	4通	6			1						
		小計(59科目)	一	22	106	0	7	4	1	0	0	兼5	
資格科目	天理 教学 部門	伝道実習1				1							兼1
		伝道実習2				1							兼1
		伝道実習3				1							兼1
		伝道実習4				1							兼1
		小計(4科目)	一	0	0	4	0	0	0	0	0	兼1	
	人文 科学 部門	日本語学入門	1前			2							兼1
		日本語教育入門	1後			2							兼1
		日本語語彙論	2前			2							兼1
		日本語文法論1	2前			2							兼1
		日本語文法論2	2後			2							兼1
		日本語音声学	2後			2							兼1
		言語の対照研究	3前			2							兼1
		日本語教授法1	3前			2							兼1
		日本語教授法2	3後			2							兼1
		第二言語習得論	3前			2							兼1
		日本語指導法	4前			2							兼1
		日本語教育評価法	4後			2							兼1
		日本語教育実習	4通			2							兼1
		小計(13科目)	一	0	0	26	0	0	0	0	0	兼2	
	社会 科学 部門	図書館情報システム論	2・3・4後			2							兼1
		情報サービス論	3・4前			2							兼1
		児童・YAサービス論	2・3・4前			2							兼1
		情報サービス演習1	3・4後			2							兼1
		情報サービス演習2	3・4後			2							兼1
		図書館情報資源概論	2・3・4前			2							兼1
		情報資源組織論	3・4前			2							兼1
		情報資源組織演習1	3・4後			2							兼1
		情報資源組織演習2	3・4後			2							兼1
		図書館情報資源特論	3・4前			2							兼1
		図書館情報学特論	4前			2							兼1
		博物館実習1	3前			2							兼2
		博物館実習2	4通			1							兼3
		矯正概論(未開講)	1・2・3・4前			2							兼1
		更生保護概論	1・2・3・4後			2							兼1
		矯正保護教育(施設参観を含む)	3・4後			2							兼1
		矯正保護支援実践論	2・3・4後			2							兼2
		犯罪被害者支援論	2・3・4後			2							兼1
		小計(18科目)	一	0	0	35	0	0	0	0	0	兼13	
		教職に 関する 専門 教育 科目	教職論	1前後			2						
	教育原理		2・3・4前後			2							兼1
教育史	2・3・4前				2							兼1	
教育課程論	3・4前後				2							兼1	
学校教育心理学	2・3・4前後				2							兼1	
学校教育社会学	2・3・4前後				2							兼1	
道徳の理論及び指導法	3・4前後				2							兼1	
教育相談の理論及び方法	3前後				2							兼2	
教育相談の理論及び方法	2・3・4前後				2							兼1	
生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3・4前後				2							兼2	
教育実習講義	3後				1							兼3	
介護等体験	3通				1							兼3	
教職実践演習(中・高)	4後				2							兼5	
教育実習1	4通				2							兼1	
教育実習2	4通				2							兼1	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
資 格 科 目	教 職 に 関 する 専 門 教 育 科 目	人権教育論1	2-3-4前			2						兼3
		人権教育論2	2-3-4後			2						兼3
		特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2						兼1
		学校教育支援	2-3-4通			1						兼3
		特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2-3-4前後			2						兼1
		教育史特論	2-3-4後			2						兼1
		臨床教育学特論	2-3-4通			2						兼1
		小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0	兼12
	合計(57科目)		—	0	0	106	0	0	0	0	0	兼28
合計(222科目)			—	32	290	106	7	4	1	0	0	兼112
卒業要件及び履修方法												
総合教育科目:天理スピリット科目群12単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群4単位以上 計24単位以上 社会福祉学科専攻科目:必修科目22単位 選択科目48単位以上 計70単位以上 総合教育科目、社会福祉学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。 履修科目の登録上限:48単位(年間)												

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
資格科目	教職に 関する 専門 教育科目	人権教育論1	2-3-4前			2							兼3
		人権教育論2	2-3-4後			2							兼3
		特別な支援の必要な生徒の理解	1前後			2							兼1
		学校教育支援	2-3-4通			1							兼3
		特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2-3-4前後			2							兼1
		教育史特論	2-3-4後			2							兼1
		臨床教育学特論	2-3-4通			2							兼1
		小計(22科目)	—	0	0	41	0	0	0	0	0		兼12
	合計(57科目)	—	0	0	106	0	0	0	0	0		兼28	
合計(226科目)		—	32	298	106	7	4	1	0	0		兼121	
卒業要件及び履修方法													
総合教育科目:天理スピリット科目群12単位以上、キャリア科目群2単位以上、基礎リテラシー科目群6単位以上、一般教養教育科目群4単位以上 計24単位以上 社会福祉学科専攻科目:必修科目22単位 選択科目48単位以上 計70単位以上 総合教育科目、社会福祉学科専攻科目、他学部・学科の開放科目 計124単位以上修得すること。 履修科目の登録上限:48単位(年間)													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
- 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
- (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・「英語1」 担当者の変更により、「兼15」から「兼16」に変更
- ・「英語2」 担当者の変更により、「兼15」から「兼16」に変更
- ・「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」 担当者の変更により、「兼1」から「兼2」に変更
- ・「健康スポーツ科学1」 担当者の変更により、「兼8」から「兼11」に変更
- ・「健康スポーツ科学2」 担当者の変更により、「兼6」から「兼8」に変更
- ・「天理大学特別講義1」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更
- ・「天理大学特別講義3」 担当者の変更により、「兼1」から「教授1」に変更
- ・「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」 天理スピリット科目群の教育課程を充実させるため科目を新設
- ・「キャリアプランニング」 担当者の変更及びクラス増により、「教授1」「兼2」から「教授1」「兼4」に変更
- ・「基礎からわかるレポート作成」 担当者の変更により、「兼4」から「兼5」に変更
- ・「高齢者福祉論」 開講期間の見直しにより、「後期」から「前期」に変更
- ・「更生保護概論」 開講期間の見直しにより、「前期」から「後期」に変更

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
15 科目	150 科目	57 科目	222 科目	15 科目 [ー]	154 科目 [4]	57 科目 [ー]	226 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{222} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計	面積が錯誤により増加したため（６）		
	校 舎 敷 地	148,449.28㎡ 148,332.61㎡	0 ㎡	0 ㎡		148,449.28㎡ 148,332.61㎡			
	運動場用地	163,322.48㎡	0 ㎡	0 ㎡		163,322.48㎡			
	小 計	311,771.76㎡ 311,655.09㎡	0 ㎡	0 ㎡		311,771.76㎡ 311,655.09㎡			
	そ の 他	28,069.17㎡ 27,034.99㎡	0 ㎡	0 ㎡		28,069.17㎡ 27,034.99㎡			
	合 計	339,840.93㎡ 338,690.08㎡	0 ㎡	0 ㎡		339,840.93㎡ 338,690.08㎡			
(2) 校 舎	専 用	81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) (-81,584.21㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)		81,530.01㎡ 81,584.21㎡ (81,530.01㎡) (-81,584.21㎡)	厚生補導施設が含まれており、その数値を除いたため（６）		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設		語学学習施設	大学全体		
	60 室	44 室	22 室	11 室 (補助職員 0人)		5 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		人文学部 社会福祉学科			12 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 学術雑誌／申請時の数値に誤り（学術雑誌数に電子ジャーナル種数を含めていなかった）があったため（６）	
		人文学部 社会福祉学科	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)		0 (0)
		計	665,080 [134,290] (639,214 [133,265]) (640,270 [133,330])	36,150 [29,200] 7,940 [2,200] (37,205 [29,821]) (7,850 [2,180])	28,250 [27,010] (29,3690 [27,654]) (28,240 [27,000])	13,930 (13,610)	0 (0)		0 (0)
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		面積／錯誤により減少したため（６） 閲覧座席数、収納可能冊数／申請時の数値に誤り（別所キャンパスの数値を含めていなかった）があったため（６）	
		14,260.80㎡ 14,348.40㎡		410 349		191,000 154,000			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				面積が錯誤により増加したため（６）	
		16,559.45㎡ 16,377.25㎡		武道館（柔剣道場）		弓道場			
				空手道場		トレーニングルーム			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費、共同研究費、設備購入費／申請時は人文学部の合計金額を記載（６）
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	390千円	390千円	図書購入費	1,949千円 11,093千円	2,941千円 11,093千円	2,941千円 11,093千円	
		共 同 研 究 費 等	1,853千円 5,730千円	1,853千円 5,730千円	設備購入費	3,094千円 8,473千円	3,044千円 8,473千円	3,044千円 8,473千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,080千円	1,030千円	1,030千円	1,030千円	－ 千円	－ 千円		
		学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、私立大学等経常費補助金、手数料、資産運用収入、雑収入 等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	天理大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	11	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
人文学部	4	240	0	960	—	0.55	—	—	令和6	—				
宗教学科	4	20	0	80	学士(宗教学)	0.45	—	—	令和6	奈良県天理市杣之内町1050番地				
国文学国語学科	4	40	0	160	学士(国文学)	0.35	—	—	令和6	同上				
歴史文化学科	4	50	0	200	学士(歴史文化学)	0.68	—	—	令和6	同上				
心理学科	4	40	0	160	学士(心理学)	0.55	—	—	令和6	同上				
社会教育学科	4	40	0	160	学士(社会教育学)	0.57	—	—	令和6	同上				
社会福祉学科	4	50	0	200	学士(社会福祉学)	0.60	—	—	令和6	同上				
国際学部	4	290	0	1160	—	0.59	—	—	平成22	—				
韓国・朝鮮語学科	4	40	0	160	学士(韓国・朝鮮語)	0.60	—	—	令和6	同上				
中国語学科	4	40	0	160	学士(中国語)	0.27	—	—	令和6	同上				
英米語学科	4	60	0	240	学士(英語)	0.58	—	—	令和6	同上				
国際文化学科	4	50	0	200	学士(国際文化学)	1.00	—	—	令和6	同上				
日本学科	4	40	0	160	学士(日本学)	0.52	—	—	令和6	同上				
外国語学科	4	60	0	240	学士(タイ語) (インドネシア語) (ドイツ語) (フランス語) (ロシア語) (スペイン語) (ブラジルポルトガル語)	0.56	—	—	平成22	同上	令和6年度から入学定員変更(165→60)			
英米語専攻	4	—	—	—	学士(英語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
中国語専攻	4	—	—	—	学士(中国語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
韓国・朝鮮語専攻	4	—	—	—	学士(韓国・朝鮮語)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻	4	—	—	—	学士(スペイン語)又は(ブラジルポルトガル語)	—	—	—	平成27	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
地域文化学科	4	—	—	—	学士(地域文化)	—	—	—	平成22	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
体育学部	4	240	0	960	—	1.06	—	—	昭和30	—				
体育学科	4	240	0	960	学士(体育学)	1.06	—	—	昭和30	奈良県天理市田井庄町80	令和6年度から入学定員変更(200→240)			
医療学部	4	100	0	400	—	1.03	—	—	令和5	—				
看護学科	4	70	0	280	学士(看護学)	1.14	—	—	令和5	奈良県天理市別所町80-1	令和5年度学部の設置者変更			
臨床検査学科	4	30	0	120	学士(臨床検査学)	0.78	—	—	令和5	同上	令和5年度学部の設置者変更			
人間学部	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	—				
宗教学科	4	—	—	—	学士(宗教学)	—	—	—	平成4	奈良県天理市杣之内町1050番地	令和6年度入学生より学生募集停止			
人間関係学科	4	—	—	—	—	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
臨床心理専攻	4	—	—	—	学士(臨床心理)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
生涯教育専攻	4	—	—	—	学士(生涯教育)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
社会福祉専攻	4	—	—	—	学士(社会福祉)	—	—	—	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			

文学部	4	-	-	-	-	-	-	-	昭和24	-	
国文学国語学科	4	-	-	-	学士 (国文学)	-	-	-	昭和24	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
歴史文化学科	4	-	-	-	学士 (歴史文化)	-	-	-	平成4	同上	令和6年度入学生より学生募集停止
大学全体	4	870	-	3480	-	-	-	-	-	-	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(太学院、専攻科及び別科を除く)。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
- ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

＜人文学部 社会福祉学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名			＜就任（予定）年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	渡辺 一城 ＜令和6年4月＞ 修士（社会福祉学） 社会福祉学演習1 社会福祉学演習3 社会福祉学演習4 地域福祉と包括的支援体制1 地域福祉と包括的支援体制2 公的扶助論 ソーシャルワーク演習5 ソーシャルワーク実習指導1 ソーシャルワーク実習指導2 ソーシャルワーク実習指導3 ソーシャルワーク実習2 天理教社会福祉論 卒業論文	専	教授	渡辺 一城 ＜令和6年4月＞ 修士（社会福祉学） 社会福祉学演習1 社会福祉学演習3 社会福祉学演習4 地域福祉と包括的支援体制1 地域福祉と包括的支援体制2 公的扶助論 ソーシャルワーク演習5 ソーシャルワーク実習指導1 ソーシャルワーク実習指導2 ソーシャルワーク実習指導3 ソーシャルワーク実習2 天理教社会福祉論 卒業論文
		関本 克良 ＜令和6年4月＞ 博士（学術） ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ポテンティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成 社会福祉学演習1			関本 克良 ＜令和6年4月＞ 博士（学術） ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森に生きる実践編 国際協力入門 国際協力実習 国際協力演習1 国際協力演習2 国際ポテンティア論 キャリアプランニング 基礎からわかるレポート作成 社会福祉学演習1
専	教授	松原 浩一郎 ＜令和6年4月＞ 修士（社会福祉学）※ 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 社会福祉学演習2 障害者福祉論 権利擁護を支える法制度 ソーシャルワーク演習3 ソーシャルワーク演習4 ソーシャルワーク実習指導1 ソーシャルワーク実習指導2 ソーシャルワーク実習指導3 ソーシャルワーク実習1 ソーシャルワーク実習2	専	教授	松原 浩一郎 ＜令和6年4月＞ 修士（社会福祉学）※ 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 社会福祉学演習2 障害者福祉論 権利擁護を支える法制度 ソーシャルワーク演習3 ソーシャルワーク演習4 ソーシャルワーク実習指導1 ソーシャルワーク実習指導2 ソーシャルワーク実習指導3 ソーシャルワーク実習1 ソーシャルワーク実習2
		吉田 初恵 ＜令和6年4月＞ 修士（経済学） 修士（商学）※ 基礎ゼミナール2 社会福祉学演習1 社会福祉学演習2 社会福祉学演習3 社会福祉学演習4 社会福祉概論1 社会福祉概論2 社会保険論1 社会保険論2 医療福祉論 地域連携実習			吉田 初恵 ＜令和6年4月＞ 修士（経済学） 修士（商学）※ 基礎ゼミナール2 社会福祉学演習1 社会福祉学演習2 社会福祉学演習3 社会福祉学演習4 社会福祉概論1 社会福祉概論2 社会保険論1 社会保険論2 医療福祉論 地域連携実習
専	教授	森元 伸枝 ＜令和6年4月＞ 修士（経営学）※ 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 社会福祉学演習3 社会福祉学演習4 社会福祉調査法 福祉経営論 地域連携実習	専	教授	森元 伸枝 ＜令和6年4月＞ 修士（経営学）※ 基礎ゼミナール1 基礎ゼミナール2 社会福祉学演習3 社会福祉学演習4 社会福祉調査法 福祉経営論 地域連携実習
		昇 寛 ＜令和6年4月＞ 博士（保健医療学） 社会福祉学演習1 社会福祉学演習2 社会福祉学演習3 社会福祉学演習4 人体の構造と機能及び疾病 地域連携実習			昇 寛 ＜令和6年4月＞ 博士（保健医療学） 社会福祉学演習1 社会福祉学演習2 社会福祉学演習3 社会福祉学演習4 人体の構造と機能及び疾病 地域連携実習
専	教授	石井 孝弘 ＜令和6年4月＞ 修士（学術） 社会福祉学演習1 社会福祉学演習2 社会福祉学演習3 社会福祉学演習4 地域連携実習 精神障害リハビリテーション論	専	教授	石井 孝弘 ＜令和6年4月＞ 修士（学術） 天理大学特別講義3 社会福祉学演習1 社会福祉学演習2 社会福祉学演習3 社会福祉学演習4 地域連携実習 精神障害リハビリテーション論
		森口 弘美 ＜令和6年4月＞ 博士（社会福祉学） 社会福祉学演習3 社会福祉学演習4 ソーシャルワーク論1 ソーシャルワーク論2 ソーシャルワーク実習指導2 ソーシャルワーク実習指導3 ソーシャルワーク実習2 精神保健福祉援助演習1 精神保健福祉援助演習2 精神保健福祉援助実習A 精神保健福祉援助実習B 精神保健福祉援助実習指導1 精神保健福祉援助実習指導2 精神保健福祉援助実習指導3			森口 弘美 ＜令和6年4月＞ 博士（社会福祉学） 社会福祉学演習3 社会福祉学演習4 ソーシャルワーク論1 ソーシャルワーク論2 ソーシャルワーク実習指導2 ソーシャルワーク実習指導3 ソーシャルワーク実習2 精神保健福祉援助演習1 精神保健福祉援助演習2 精神保健福祉援助実習A 精神保健福祉援助実習B 精神保健福祉援助実習指導1 精神保健福祉援助実習指導2 精神保健福祉援助実習指導3

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	北垣 智基 ＜令和6年4月＞ 修士（社会学）※	専	准教授	北垣 智基 ＜令和6年4月＞ 修士（社会学）※
		社会福祉学演習3 社会福祉学演習4 ソーシャルワーク論3 ソーシャルワーク論4 ソーシャルワーク演習1 ソーシャルワーク演習2 ソーシャルワーク演習3 ソーシャルワーク演習4 ソーシャルワーク実習指導1 ソーシャルワーク実習指導2 ソーシャルワーク実習指導3 ソーシャルワーク実習1 ソーシャルワーク実習2			社会福祉学演習3 社会福祉学演習4 ソーシャルワーク論3 ソーシャルワーク論4 ソーシャルワーク演習1 ソーシャルワーク演習2 ソーシャルワーク演習3 ソーシャルワーク演習4 ソーシャルワーク実習指導1 ソーシャルワーク実習指導2 ソーシャルワーク実習指導3 ソーシャルワーク実習1 ソーシャルワーク実習2
専	准教授	深谷 弘和 ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	専	准教授	深谷 弘和 ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）
		社会福祉学演習3 社会福祉学演習4 児童福祉論 精神保健福祉の原理1 精神保健福祉の原理2 ソーシャルワーク理論と方法（専門）1 ソーシャルワーク理論と方法（専門）2 精神保健福祉制度論 精神保健福祉援助演習3 精神保健福祉援助実習A 精神保健福祉援助実習B 精神保健福祉援助実習指導1 精神保健福祉援助実習指導2 精神保健福祉援助実習指導3			社会福祉学演習3 社会福祉学演習4 児童福祉論 精神保健福祉の原理1 精神保健福祉の原理2 ソーシャルワーク理論と方法（専門）1 ソーシャルワーク理論と方法（専門）2 精神保健福祉制度論 精神保健福祉援助演習3 精神保健福祉援助実習A 精神保健福祉援助実習B 精神保健福祉援助実習指導1 精神保健福祉援助実習指導2 精神保健福祉援助実習指導3
専	准教授	福井 康博 ＜令和6年4月＞ 文学士	専	准教授	福井 康博 ＜令和6年4月＞ 文学士
		基礎ゼミナール1 社会福祉学演習2 地域連携実習			基礎ゼミナール1 社会福祉学演習2 地域連携実習
専	講師	種村 理太郎 ＜令和6年4月＞ 修士（社会福祉学）※	専	講師	種村 理太郎 ＜令和6年4月＞ 修士（社会福祉学）※
		基礎ゼミナール1 ソーシャルワーク論5 ソーシャルワーク論6 高齢者福祉論 ソーシャルワーク演習1 ソーシャルワーク演習2 ソーシャルワーク演習3 ソーシャルワーク演習4 ソーシャルワーク演習5 ソーシャルワーク実習指導2 ソーシャルワーク実習指導3 ソーシャルワーク実習1 ソーシャルワーク実習2			ソーシャルワーク論5 ソーシャルワーク論6 高齢者福祉論 ソーシャルワーク演習1 ソーシャルワーク演習2 ソーシャルワーク演習3 ソーシャルワーク演習4 ソーシャルワーク演習5 ソーシャルワーク実習指導2 ソーシャルワーク実習指導3 ソーシャルワーク実習1 ソーシャルワーク実習2
兼任	教授	岡田 正彦 ＜令和6年4月＞ Ph.D（米国）	兼任	教授	岡田 正彦 ＜令和6年4月＞ Ph.D（米国）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ
兼任	教授	東馬場 郁生 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy(History of Religions)（米国）	兼任	教授	東馬場 郁生 ＜令和6年4月＞ Doctor of Philosophy(History of Religions)（米国）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ
兼任	教授	齊藤 純 ＜令和6年4月＞ 文学修士※	兼任	教授	齊藤 純 ＜令和6年4月＞ 文学修士※
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	教授	幡鎌 一弘 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	教授	幡鎌 一弘 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		宗教と芸能			宗教と芸能
兼任	教授	小田木 治太郎 ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	教授	小田木 治太郎 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	教授	金山 元春 ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）	兼任	教授	金山 元春 ＜令和6年4月＞ 博士（心理学）
		生徒指導・進路指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導の理論及び方法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名
		<就任（予定）年月> 保有学位等			<就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	山中 秀夫 <令和6年4月> 博士（学術）	兼任	教授	山中 秀夫 <令和6年4月> 博士（学術）
		情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論			情報資源組織論 情報資源組織演習1 情報資源組織演習2 図書館情報学特論
兼任	教授	曾山 典子 <令和6年4月> 博士（理学）	兼任	教授	曾山 典子 <令和6年4月> 博士（理学）
		データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理			データサイエンス・AI入門 コンピュータ入門 情報処理
兼任	教授	上田 喜彦 <令和6年4月> 学士（教育学）	兼任	教授	上田 喜彦 <令和6年4月> 学士（教育学）
		天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義3 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 教職実践演習（中・高）			天理大学特別講義1 天理大学特別講義2 天理大学特別講義4 インターンシップ1 インターンシップ2 海外インターンシップ1 海外インターンシップ2 教職論 教育課程論 教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） 教職実践演習（中・高）
兼任	教授	竹村 景生 <令和6年4月> 修士（教育学）※	兼任	教授	竹村 景生 <令和6年4月> 修士（教育学）※
		ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法			ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 生徒指導・進路指導の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 特別活動・総合的な学習の時間の指導法
兼任	教授	仲 淳 <令和6年4月> 修士（教育学）※	兼任	教授	仲 淳 <令和6年4月> 修士（教育学）※
		学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 教育実習1 教育実習2 学校教育支援			学校教育心理学 教育相談の理論及び方法 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 教育実習1 教育実習2 学校教育支援
兼任	教授	古賀 崇 <令和6年4月> 修士（教育学） Master of Library Science （米園）※	兼任	教授	古賀 崇 <令和6年4月> 修士（教育学） Master of Library Science （米園）※
		図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論			図書館情報システム論 情報サービス論 情報サービス演習1 情報サービス演習2 図書館情報資源概論 図書館情報資源特論
兼任	教授	魯 ゼウオン <令和6年4月> 博士（社会学）	兼任	教授	魯 ゼウオン <令和6年4月> 博士（社会学）
		カルチュラルスタディーズ			カルチュラルスタディーズ
兼任	教授	野津 幸治 <令和6年4月> M.A.（タイ）	兼任	教授	野津 幸治 <令和6年4月> M.A.（タイ）
		多文化理解と言語（タイ語）			多文化理解と言語（タイ語）
兼任	教授	奥島 美夏 <令和6年4月> 文学修士※	兼任	教授	奥島 美夏 <令和6年4月> 文学修士※
		多文化理解と言語（インドネシア語） キャリアデザイン2			多文化理解と言語（インドネシア語） キャリアデザイン2
兼任	教授	森 洋明 <令和6年4月> 言語学（意味論）修士 （フランス）	兼任	教授	森 洋明 <令和6年4月> 言語学（意味論）修士 （フランス）
		多文化理解と言語（フランス語） 天理異文化伝道			多文化理解と言語（フランス語） 天理異文化伝道

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	野口 茂 ＜令和6年4月＞ Magister en Historia （ベネズエラ）	兼任	教授	野口 茂 ＜令和6年4月＞ Magister en Historia （ベネズエラ）
		多文化理解と言語（スペイン語）			多文化理解と言語（スペイン語）
兼任	教授	北森 絵里 ＜令和6年4月＞ 修士（地域研究）	兼任	教授	北森 絵里 ＜令和6年4月＞ 修士（地域研究）
		多文化理解と言語（ポルトガル語）			多文化理解と言語（ポルトガル語）
兼任	教授	岡田 龍樹 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※			
		日本事情 1 日本事情 2			
兼任	教授	菊池 律之 ＜令和6年4月＞ 修士（言語学）※	兼任	教授	菊池 律之 ＜令和6年4月＞ 修士（言語学）※
		日本語学入門 日本語文法論 1 日本語文法論 2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習			日本語学入門 日本語文法論 1 日本語文法論 2 日本語音声学 言語の対照研究 日本語指導法 日本語教育実習
兼任	教授	松永 稔也 ＜令和6年4月＞ 博士（言語文化学）	兼任	教授	松永 稔也 ＜令和6年4月＞ 博士（言語文化学）
		多文化理解と言語（日本語）			多文化理解と言語（日本語）
兼任	教授	奥田 真紀子 ＜令和6年4月＞ 修士（学術）※			
		保健医療の仕組みと健康づくり			
兼任	教授	増谷 弘 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	増谷 弘 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
		基礎からわかる生物・化学			基礎からわかる生物・化学
兼任	教授	堀内 みどり ＜令和6年4月＞ 哲学博士（インド）	兼任	教授	堀内 みどり ＜令和6年4月＞ 哲学博士（インド）
		ジェンダー・セクシャリティ			ジェンダー・セクシャリティ
兼任	教授	金子 昭 ＜令和6年4月＞ 博士（哲学）	兼任	教授	金子 昭 ＜令和6年4月＞ 博士（哲学）
		哲学概論 1 哲学概論 2 倫理学 1 倫理学 2			哲学概論 1 哲学概論 2 倫理学 1 倫理学 2
兼任	准教授	澤井 治郎 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	准教授	澤井 治郎 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		天理教概説 1 天理教概説 2 建学の精神と天理大学のあゆみ 英語 1 英語 2			天理教概説 1 天理教概説 2 建学の精神と天理大学のあゆみ 英語 1 英語 2
兼任	准教授	黒岩 康博 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）			
		基礎からわかる近代史			
兼任	准教授	箱田 徹 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）			
		キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 社会学 哲学概論 1 哲学概論 2			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	小野 朗子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	小野 朗子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）
		ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2			ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる入門編 ローカリーアクト天理SDGs 森 に生きる実践編 データサイエンス・AI入門 データサイエンス・AI応用 データリテラシー 数学と論理 統計学1 統計学2
兼任	講師	福井 孝三 ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育情報学）	兼任	講師	福井 孝三 ＜令和6年4月＞ 修士（言語教育情報学）
		日本語教育入門 日本語語彙論			日本語教育入門 日本語語彙論
兼任	准教授	金 珠 ＜令和8年4月＞ 博士（日本語・日本文化）	兼任	准教授	金 珠 ＜令和8年4月＞ 博士（日本語・日本文化）
		日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法			日本語教育入門 日本語語彙論 日本語教授法1 日本語教授法2 第二言語習得論 日本語教育評価法
兼任	准教授	中村 久美 ＜令和6年4月＞ Ph.D in Anglo-Irish Literature and Drama （アイルランド）			
		英語1 英語2 多文化理解と言語（英語） 世界の文学1 世界の文学2			
兼任	准教授	吉田 智佳 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）	兼任	教授	吉田 智佳 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）
		英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級			英語1 英語2 実践アカデミック英語1 実践アカデミック英語2 アカデミック英語上級
兼任	准教授	川上 晃司 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	准教授	川上 晃司 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		健康スポーツ科学2 ニュースポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 ニュースポーツ
兼任	准教授	梅崎 さゆり ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	准教授	梅崎 さゆり ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割			健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割
兼任	准教授	穴井 隆将 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	兼任	准教授	穴井 隆将 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		健康スポーツ科学1 国際社会におけるスポーツの役割			国際社会におけるスポーツの役割
兼任	准教授	蓬田 高正 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	准教授	蓬田 高正 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 アウトドアスポーツ
兼任	准教授	小畑 治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	兼任	准教授	小畑 治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		健康スポーツ科学1 レクリエーションスポーツ			レクリエーションスポーツ
兼任	講師	深谷 耕治 ＜令和6年4月＞ 修士（社会学） 修士（宗教学）（米国）	兼任	講師	深谷 耕治 ＜令和6年4月＞ 修士（社会学） 修士（宗教学）（米国）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 伝道実習1 伝道実習2 伝道実習3 伝道実習4
兼任	講師	澤井 真 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	教授	澤井 真 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会			天理教概説1 天理教概説2 建学の精神と天理大学のあゆみ 宗教と現代社会

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	須永 哲思 ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）			
		教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護等体験 教職実践演習（中・高） 学校教育支援 教育史特論			
兼任	講師	小関 康平 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）	兼任	講師	小関 康平 ＜令和6年4月＞ 博士（法学）
		キャリアデザイン1 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2			キャリアデザイン1 基礎からわかるレポート作成 日本国憲法 法学 行政法1 行政法2
兼任	講師	松木 優也 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）※			
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			
兼任	助教	金子 竜大 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）	兼任	助教	金子 竜大 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼任	教授	熊木 勉 ＜令和6年4月＞ 文学博士（大韓民国）
					多文化理解と言語（韓国・朝鮮語） ※
			兼任	教授	王 向華 ＜令和6年4月＞ 博士（社会人観学）
					日本事情1 日本事情2
			兼任	教授	白石 晃 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
					健康スポーツ科学1
			兼任	教授	寺田 和史 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
					健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
			兼任	教授	金井 恵理 ＜令和6年4月＞ 博士（医学）
					保健医療の仕組みと健康づくり
			兼任	准教授	山本 佳世子 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）
					キャリアプランニング 基礎からわかる現代社会 哲学概論1
			兼任	准教授	高地 朋成 ＜令和6年4月＞ 文学博士（大韓民国）
					多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）
			兼任	准教授	松山 尚道 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
					健康スポーツ科学1

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼担 助教		西田 昂平 ＜令和6年4月＞ 修士（体育学）
					健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任 講師		蔡 瑞菁 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任 講師		蔡 瑞菁 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		多文化理解と言語（中国語）			多文化理解と言語（中国語）
兼担 講師		Zaberezhnaia Olga ＜令和6年4月＞ 博士（文化学）（ロシア）	兼担 講師		Zaberezhnaia Olga ＜令和6年4月＞ 博士（文化学）（ロシア）
		多文化理解と言語（ロシア語）			多文化理解と言語（ロシア語）
兼任 講師		赤穂 光郁 ＜令和9年4月＞ 修士（人間福祉学）	兼任 講師		赤穂 光郁 ＜令和9年4月＞ 修士（人間福祉学）
		ソーシャルワーク演習5			ソーシャルワーク演習5
兼任 講師		榎本 悠孝 ＜令和7年4月＞ 修士（学術）※	兼任 講師		榎本 悠孝 ＜令和7年4月＞ 修士（学術）※
		精神医学と精神医療1 精神医学と精神医療2 現代の精神保健の課題と支援1 現代の精神保健の課題と支援2			精神医学と精神医療1 精神医学と精神医療2 現代の精神保健の課題と支援1 現代の精神保健の課題と支援2
兼任 講師		白井 三千代 ＜令和7年4月＞ 修士（社会学）	兼任 講師		白井 三千代 ＜令和7年4月＞ 修士（社会学）
		ソーシャルワーク演習1 ソーシャルワーク演習2			ソーシャルワーク演習1 ソーシャルワーク演習2
兼任 講師		須河 浩一 ＜令和7年4月＞ 学士（社会福祉学）	兼任 講師		須河 浩一 ＜令和7年4月＞ 学士（社会福祉学）
		刑事司法と福祉			刑事司法と福祉
兼任 講師		前田 崇博 ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）	兼任 講師		前田 崇博 ＜令和6年4月＞ 博士（社会学）
		社会学と社会システム 現代家族論			社会学と社会システム 現代家族論
兼任 講師		井上 成人 ＜令和6年4月＞ 文学士	兼任 講師		井上 成人 ＜令和6年4月＞ 文学士
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任 講師		伊橋 幸江 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任 講師		伊橋 幸江 ＜令和7年4月＞ 文学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任 講師		上原 道延 ＜令和7年4月＞ 教育学士	兼任 講師		上原 道延 ＜令和7年4月＞ 教育学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任 講師		梅田 正之 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任 講師		梅田 正之 ＜令和7年4月＞ 文学士
		天理教学1 天理教学2			天理教学1 天理教学2
兼任 講師		加藤 匡人 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任 講師		加藤 匡人 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	澤井 一郎 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	澤井 一郎 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	松山 常教 ＜令和6年4月＞ 学士（宗教学）	兼任	講師	松山 常教 ＜令和6年4月＞ 学士（宗教学）
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	安井 幹直 ＜令和6年4月＞ M.A（文学修士）（米國）	兼任	講師	安井 幹直 ＜令和6年4月＞ M.A（文学修士）（米國）
		天理教概説1 天理教概説2			天理教概説1 天理教概説2
兼任	講師	荒田 恵 ＜令和9年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	荒田 恵 ＜令和9年4月＞ 修士（文学）
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	乾 誠二 ＜令和9年4月＞ 文学士	兼任	講師	乾 誠二 ＜令和9年4月＞ 文学士
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	齊藤 純 ＜令和9年4月＞ 文学修士※	兼任	講師	齊藤 純 ＜令和9年4月＞ 文学修士※
		博物館実習1			博物館実習1
兼任	講師	中尾 徳仁 ＜令和9年4月＞ 学士（教育学）	兼任	講師	中尾 徳仁 ＜令和9年4月＞ 学士（教育学）
		博物館実習2			博物館実習2
兼任	講師	今治 周平 ＜令和6年4月＞ 法務博士	兼任	講師	今治 周平 ＜令和6年4月＞ 法務博士
		民法1 民法2			民法1 民法2
兼任	講師	角 克明 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※	兼任	講師	角 克明 ＜令和6年4月＞ 教育学修士※
		地理学1 地理学2			地理学1 地理学2
兼任	講師	加藤 康 ＜令和6年4月＞ 修士（商学）※	兼任	講師	加藤 康 ＜令和6年4月＞ 修士（商学）※
		経営学1 経営学2			経営学1 経営学2
兼任	講師	片岡 佐知子 ＜令和6年4月＞ 博士（理学）			
		科学と現代			
兼任	講師	坂手 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）	兼任	講師	坂手 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		生活の中の科学			生活の中の科学
兼任	講師	鈴木 史子 ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学）※	兼任	講師	鈴木 史子 ＜令和6年4月＞ 修士（臨床心理学）※
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	竹村 和也 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）※	兼任	講師	竹村 和也 ＜令和6年4月＞ 修士（法学）※
		日本国憲法 法学			日本国憲法 法学
兼任	講師	東井 申雄 ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学）	兼任	講師	東井 申雄 ＜令和6年4月＞ 修士（人間科学）
		心理学1 心理学2			心理学1 心理学2
兼任	講師	長沢 一恵 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	長沢 一恵 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		基礎からわかるレポート作成 近現代の遺産と未来			基礎からわかるレポート作成 基礎からわかる近代史 近現代の遺産と未来
兼任	講師	中村 珍晴 ＜令和6年4月＞ 博士（スポーツ科学）	兼任	講師	中村 珍晴 ＜令和6年4月＞ 博士（スポーツ科学）
		障害学			障害学
兼任	講師	西 直美 ＜令和6年4月＞ 博士（グローバル社会研究）	兼任	講師	西 直美 ＜令和6年4月＞ 博士（グローバル社会研究）
		基礎からわかるレポート作成 政治学			基礎からわかるレポート作成 政治学
兼任	講師	福島 沢美 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）	兼任	講師	福島 沢美 ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）
		日本語A 日本語B			日本語A 日本語B
兼任	講師	藤井 稔 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	藤井 稔 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		基礎からわかるレポート作成			基礎からわかるレポート作成
兼任	講師	三宅 正夫 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）	兼任	講師	三宅 正夫 ＜令和6年4月＞ 博士（工学）
		基礎からわかる数学			基礎からわかる数学
兼任	講師	八木 英治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）	兼任	講師	八木 英治 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		障害学			障害学
兼任	講師	安田 智博 ＜令和6年4月＞ 学士（文学）	兼任	講師	安田 智博 ＜令和6年4月＞ 学士（文学）
		キャリアプランニング 労働と社会			キャリアプランニング 労働と社会
兼任	講師	吉田 和弘 ＜令和6年4月＞ 博士（農学）			
		地球環境論			
兼任	講師	持元 江津子 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）	兼任	講師	持元 江津子 ＜令和6年4月＞ 博士（経済学）
		コンピュータ入門			コンピュータ入門
兼任	講師	渡邊 碩 ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）	兼任	講師	渡邊 碩 ＜令和6年4月＞ 修士（経済学）
		経済学1 経済学2			経済学1 経済学2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	池田 華子 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）	兼任	講師	池田 華子 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）
		臨床教育学特論			臨床教育学特論
兼任	講師	奥本 武裕 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	奥本 武裕 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	金山 佐喜子 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※	兼任	講師	金山 佐喜子 ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）※
		特別な支援の必要な生徒の理解			特別な支援の必要な生徒の理解
兼任	講師	北口 学 ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）	兼任	講師	北口 学 ＜令和6年4月＞ 学士（芸術）
		人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	小島 源一郎 ＜令和8年4月＞ 教育学士	兼任	講師	小島 源一郎 ＜令和8年4月＞ 教育学士
		教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む）			教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む）
兼任	講師	富田 稔 ＜令和6年4月＞ 修士（都市政策）	兼任	講師	富田 稔 ＜令和6年4月＞ 修士（都市政策）
		人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習（中・高） 人権教育論1 人権教育論2			人権と差別1 人権と差別2 教職実践演習（中・高） 人権教育論1 人権教育論2
兼任	講師	松枝 拓生 ＜令和8年4月＞ 博士（教育学）	兼任	講師	松枝 拓生 ＜令和8年4月＞ 博士（教育学）
		道徳の理論及び指導法			道徳の理論及び指導法
兼任	講師	犬飼 誠 ＜令和6年4月＞ 文学士	兼任	講師	犬飼 誠 ＜令和6年4月＞ 文学士
		矯正概論 矯正保護教育（施設参観を含む）			矯正概論 矯正保護教育（施設参観を含む）
兼任	講師	高橋 秀紀 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	高橋 秀紀 ＜令和7年4月＞ 文学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	中村 寛子 ＜令和6年4月＞ 学術修士※	兼任	講師	中村 寛子 ＜令和6年4月＞ 学術修士※
		更生保護概論			更生保護概論
兼任	講師	北條 正崇 ＜令和7年4月＞ 学士（法学）	兼任	講師	北條 正崇 ＜令和7年4月＞ 学士（法学）
		犯罪被害者支援論			犯罪被害者支援論
兼任	講師	山本 道次 ＜令和7年4月＞ 体育学士	兼任	講師	山本 道次 ＜令和7年4月＞ 体育学士
		矯正保護支援実践論 ※			矯正保護支援実践論 ※
兼任	講師	佐藤 敏江 ＜令和7年4月＞ 文学士	兼任	講師	佐藤 敏江 ＜令和7年4月＞ 文学士
		児童・YAサービス論			児童・YAサービス論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 陽二 ＜令和6年4月＞ 文学修士（韓国）	兼任	講師	鈴木 陽二 ＜令和6年4月＞ 文学修士（韓国）
		韓国・朝鮮語 1 韓国・朝鮮語 2			韓国・朝鮮語 1 韓国・朝鮮語 2
兼任	講師	吉川 万寿彦 ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	講師	吉川 万寿彦 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）			多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）※
兼任	講師	乾 拓也 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）	兼任	講師	乾 拓也 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	鈴島 梓 ＜令和6年4月＞ 博士（英文学）	兼任	講師	鈴島 梓 ＜令和6年4月＞ 博士（英文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	日沖 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（宗教美術）（米国）	兼任	講師	日沖 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（宗教美術）（米国）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	山下 大輔 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	山下 大輔 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		多文化理解と言語（ドイツ語）			多文化理解と言語（ドイツ語）
兼任	講師	石田 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）※	兼任	講師	石田 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	荻野 綾 ＜令和6年4月＞ 修士（外国語教育学）	兼任	講師	荻野 綾 ＜令和6年4月＞ 修士（外国語教育学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	家村 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）	兼任	講師	家村 雅子 ＜令和6年4月＞ 修士（言語文化学）
		教養アカデミック英語 1 教養アカデミック英語 2 実践アカデミック英語 2			教養アカデミック英語 1 教養アカデミック英語 2 実践アカデミック英語 2
兼任	講師	小林 和代 ＜令和6年4月＞ 文学修士	兼任	講師	小林 和代 ＜令和6年4月＞ 文学修士
		中国語 1 中国語 2			中国語 1 中国語 2
兼任	講師	後藤 朗子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	後藤 朗子 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	内藤 貴夫 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※	兼任	講師	内藤 貴夫 ＜令和6年4月＞ 修士（文学）※
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2
兼任	講師	野田 智子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	野田 智子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		英語 1 英語 2			英語 1 英語 2

専任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	定田 隆康 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	定田 隆康 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	山川 仁 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）	兼任	講師	山川 仁 ＜令和6年4月＞ 博士（人間・環境学）
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	山口 徳一 ＜令和6年4月＞ 修士（英文学）※	兼任	講師	山口 徳一 ＜令和6年4月＞ 修士（英文学）※
		英語1 英語2			英語1 英語2 世界の文学1 世界の文学2
兼任	講師	山村 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）	兼任	講師	山村 誠治 ＜令和6年4月＞ 博士（英語学）
		英語1 英語2			英語1 英語2
兼任	講師	坂井 隆秀 ＜令和6年4月＞ 体育学士	兼任	講師	坂井 隆秀 ＜令和6年4月＞ 体育学士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2
兼任	講師	山田 貞子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士	兼任	講師	山田 貞子 ＜令和6年4月＞ 教育学修士
		健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーション・スポーツ ニュースポーツ			健康スポーツ科学1 健康スポーツ科学2 レクリエーション・スポーツ ニュースポーツ
			兼任	講師	森田 実 ＜令和6年4月＞ 学士（法学）
					天理大学特別講義5 天理大学特別講義6
			兼任	講師	片山 雄男 ＜令和6年4月＞ 理学修士
					地球環境論
			兼任	講師	金岡 直子 ＜令和6年4月＞ 博士（文学）
					キャリアプランニング
			兼任	講師	窪田 徹 ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
					哲学概論2
			兼任	講師	細谷 祐司 ＜令和6年4月＞ 学士（理学）
					科学と現代
			兼任	講師	須永 哲恵 ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）
					教育原理 教育史 学校教育社会学 教育実習講義 介護等体験 職業実践演習（中・高） 学校教育支援 教育史特論

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

・森元伸枝（専任）教授 担当科目の見直しにより「天理大学特別講義7」「天理大学特別講義8」2科目追加 ・石井孝弘（専任）教授 担当科目の見直しにより「天理大学特別講義3」1科目追加 ・種村理太郎（専任）講師 誤記のため「基礎ゼミナール1」1科目削除 ・上田喜彦（兼任）教授 担当科目の見直しにより「天理大学特別講義3」1科目削除 ・岡田龍樹（兼任）教授を辞退 ・奥田真紀子（兼任）教授を辞退 ・黒岩康博（兼任）准教授を辞退 ・箱田徹（兼任）准教授を辞退し（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎からわかる現代社会」「社会学」「哲学概論1」4科目削除 ・中村久美（兼任）准教授を辞退 ・吉田智佳（兼任）准教授から（兼任）教授に職位変更 ・川上晃司（兼任）准教授 担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加 ・穴井隆将（兼任）准教授 担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目削除 ・小畑治（兼任）准教授 担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目削除 ・澤井真（兼任）講師から（兼任）准教授に職位変更 ・須永哲思（兼任）准教授を辞退し（兼任）講師として就任。 ・小関康平（兼任）講師 担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎からわかるレポート作成」2科目追加 ・松木優也（兼任）講師を辞退 ・熊木 勉（兼任）教授として就任。 担当科目の見直しにより「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」1科目追加 ・王向華（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「日本事情1」「日本事情2」2科目追加 ・白石晃（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加 ・寺田和史（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加 ・金井恵理（兼任）教授として就任。担当科目の見直しにより「保健医療の仕組みと健康づくり」1科目追加 ・山本佳世子（兼任）准教授として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」「基礎からわかる現代社会」「哲学概論1」3科目追加 ・高地 朋成（兼任）准教授として就任。 担当科目の見直しにより「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」1科目追加 ・松山尚道（兼任）准教授として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」1科目追加 ・西田昂平（兼任）助教として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加 ・片岡佐和子（兼任）講師を辞退 ・長沢一恵（兼任）講師 担当科目の見直しにより「基礎からわかる近代史」1科目追加 ・吉田和弘（兼任）講師を辞退 ・吉川万寿彦（兼任）講師 担当科目の見直しにより「多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）」をオムニバスに変更 ・山口徳一（兼任）講師 担当科目の見直しにより「世界の文学1」「世界の文学2」2科目追加 ・森田実（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「天理大学特別講義5」「天理大学特別講義6」2科目追加 ・片山雅男（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「地球環境論」1科目追加 ・金岡直子（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「キャリアプランニング」1科目追加 ・細谷祐司（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「科学と現代」1科目追加 ・芳賀達彦（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「社会学」1科目追加 ・北岡一弘（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「英語1」「英語2」「多文化理解と言語（英語）」3科目追加 ・村田恵子（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「英語1」「英語2」2科目追加 ・山本樹（兼任）講師として就任。担当科目の見直しにより「健康スポーツ科学1」「健康スポーツ科学2」2科目追加
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ませ**。
- ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
7	4	1	0	12	0	7	4	1	0	12	0
(7)	(4)	(1)	(0)	(12)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
7	4	1	0	12	0	7	4	1	0	12	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1		該当なし									
合計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0人			必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1		該当なし									
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0人			必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）						後任補充状況の集計（E）+（G）				
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
0 人			必修	0	科目	必修	0	必修	0	科目
			選択	0	科目	選択	0	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	自由	0	科目
			計	0	科目	計	0	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{12} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届出時 (令和5年)	人間学部宗教学科の収容定員未充足の是正に努めること	人間学部宗教学科の収容定員未充足を改善すべく改編を行った。人間学部宗教学科は令和6年4月より学生募集を停止し、入学定員を40名から20名に削減した人間学部宗教学科を設置した。ただし、改編初年度となる令和6年度の人間学部宗教学科の入学人数は9名(収容定員充足率45%)となり、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。
届出時 (令和5年)	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足の是正に努めること	国際学部外国語学科、地域文化学科の収容定員未充足を改善すべく、外国語学科の韓国・朝鮮語専攻、中国語専攻、英米語専攻、スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻の各専攻と地域文化学科を国際学部韓国・朝鮮語学科、中国語学科、英米語学科、外国語学科、国際文化学科、日本学科に改編した。外国語学科の各専攻と地域文化学科は令和6年4月より学生募集を停止し、国際学部全体の入学定員を360名から290名に削減した。ただし、改編初年度となる令和6年度の国際学部各学科の入学人数は韓国・朝鮮語学科24名(収容定員充足率60%)、中国語学科11名(同27%)、英米語学科35名(同58%)、外国語学科13名(同56%)、国際文化学科50名(同100%)、日本学科21名(同52%)となった。国際文化学科を除く5学科は、収容定員未充足の状況改善に至らなかった。	令和6年度の収容定員未充足の状況をふまえ、令和7年度の入学選抜では、総合型選抜自己アピール選抜、学校推薦型選抜公募推薦選抜の入試制度の見直しを行う。また、県内高等学校との関係強化を目的とした職員による入試アドバイザーを導入する等、入試広報活動の強化に努める。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。

【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<人文学部 社会福祉学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成17年4月に天理大学FD委員会が設置された。同委員会は、令和6年4月より天理大学全学教育推進会議（専門委員会）に引き継がれ、審議等を行っている。同会議には委員として、学部長及び学科主任、もしくは学科の専任教員が出席している【資料】。

FD委員会とは異なる形だが、平成29年度よりスタッフ・ディベロップメントが義務化されたことに伴い、「天理大学SDの実施方針」および「SDの実施計画」を定め、担当部署が研修を企画実施している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

全学教育推進会議は、本学の教学マネジメントを担う会議体として、基本的に毎月1回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席している。

FD委員会は、令和5年度は6回開催され、委員は毎回ほぼ全員出席していた。

SDに関する委員会は設置されていない。

c 委員会の審議事項等

FDに関することは全学教育推進会議で諮られている。

- (1) 教育の計画、内容、方法及び評価・改善に関すること。
- (2) 教育課程の編成に関すること。
- (3) 単位の認定に関すること。
- (4) FD活動に関すること。
- (5) 教員養成教育及び資格課程に関すること。
- (6) その他全学の教育推進に関すること。

SDの研修等に関しては、事務局の部長連絡会で調整され実施をしている。

② 実施状況

a 実施内容（令和5年度）

<FD>

- FD研修会 ○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク） ○学生による授業評価アンケート
- ティーチング・ポートフォリオ ○学外研修会等参加

<SD>

- SD研修会

b 実施方法

<FD>

- FD研修会
各学部・研究科単位で研修会を実施し、専任教員は全員参加（欠席者に対しては事後研修）。各学部・研究科が独自に設定したテーマで研修を行う。
- FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）
専任教員は、毎年度定められた期間内に1科目以上の授業の公開と1科目以上の参観を義務づけて実施。また、参観後は教員個人が報告書を学内グループウェアの専用ファイルに記載し公開しており、教員相互の授業改善に活用する。
- 学生による授業評価アンケート
年2回、学期（春期と秋期）末に、学生による授業評価アンケートを実施。
- ティーチング・ポートフォリオ
各教員が個別に研究・習得した教授法に関する知識・情報を全学的に共有し、それぞれの授業改善および教育内容の充実役に役立てる意図のもと令和3年度より導入。学内のグループウェアを使用しアップロードや閲覧可能なシステムを構築している。
- 学外研修会等参加
本学が加盟する日本私立大学連盟が主催するFD推進ワークショップの案内や関西地区FD連絡協議会が主催する各種研修会の案内を随時行い希望者が参加する。
- FD活動報告書
FD活動を体系的に整理し、報告書を作成。

<SD>

○SD研修会

全体研修として、外部団体より講師を招き全教職員を対象に研修会を開催。
職階別研修として、日本私立大学連盟などが実施している研修などの情報を提供し、職階に応じた教職員が各研修会に参加。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<FD>

○FD研修会 ※令和5年度

・各学部（5学部）で各テーマを設定し実施。教員は全員参加（事後研修含む）。

○FD公開授業（FDオープンクラスウィーク）※令和5年度

・実施期間：令和5年10月10日（火）～令和6年1月31日（水）
・公開科目：194科目（参観のあった科目：109科目）参観した教職員：165人

○学生による授業評価アンケート※令和5年度

・各学期（春学期・秋学期）の履修登録者5名以上の全学部の全授業科目対象（非常勤講師含む）に実施。

○ティーチング・ポートフォリオ（令和3年度～令和5年度）

・各教員が学内グループウェアに年度・学期・学部毎に掲載する形式で実施。

○学外研修会等参加（令和3年度～令和5年度）

・希望者が日本私立大学連盟主催のFD推進ワークショップ（新任教員向け）に参加。

○FD活動報告書

・毎年作成し公表。

<SD>

○SD研修会 ※令和5年度

・業務領域の知見の獲得を目的とする内容

学外から講師を招いてのSD講演会

「志願者獲得に向けた昨年度入試にかかる分析結果について」

（令和5年7月26日開催＋録画視聴：参加者367名のうち、教員の参加者169名）

・学生の厚生補導に関する内容

学生相談委員会、人権教育推進会議共催による学内研修会

「学校における労働安全衛生管理の観点からの適切な職場環境づくり

—労働安全衛生法と教職員の健康管理—」

令和5年12月1日～令和6年3月31日（動画視聴：参加者数不明）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD、SDの取り組みを大学全体で組織的に継続していくことで、授業改善は着実に進んでいる。
令和6年度も同様に実施し、授業の質の担保・向上に努めていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況（令和5年度）

a 実施の有無及び実施時期

年2回各学期末にWebにより実施。

春学期：令和5年7月10日～8月2日 秋学期：令和6年1月11日～2月7日

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員は個人の集計結果を通知。また、教員、学生は全体の集計結果の情報を本学のホームページで閲覧できる。併せて、「FD活動報告書」（毎年度作成）の中で全体の集計結果の情報を掲載している（教員は配付、学生は図書館他で閲覧可能）。

以上の活動を通じて、教員の資質の維持向上を図っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

人文学部社会福祉学科は、既設の人間学部人間関係学科社会福祉専攻を改編し、令和6年に開設した。教育研究上の目的として、「社会福祉のプロフェッショナルとして必要な、理念への理解、現場に関する専門的知識、福祉活動をめぐる諸技能等を修得させ、福祉への視点と理解をもつ市民をひろく育成するとともに、社会福祉施設や機関、団体、病院等で活躍できる人材を養成する」と掲げ、教育・研究活動に取り組んでいる。授業計画については、兼任及び兼任教員の未就任により、一部の科目において担当者の変更が生じたが、概ね当初の計画通りに授業科目を開講している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年4月公表

b 公表方法

・自己点検・報告書を大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

令和4年度に評価機関(公益財団法人大学基準協会)の大学評価(認証評価)を受審し、大学基準に適合していると認定された。

今回は令和11年に大学基準協会の大学評価(認証評価)の受審を予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和6年度)

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

≪aで「有」の場合≫

b 公表(予定)時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他()]

≪aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。